

令和2年度スポーツ庁委託事業
スポーツスペース・ボードレスプロジェクト
(学校体育施設の有効活用推進事業)

報告書

～町村部の総合型地域スポーツクラブによる
効果的な学校体育施設の管理・活用と部活動後の活動の支援～

令和3年3月

特定非営利活動法人チャレンジゆう Achi

目次

第1章 本事業の概要.....	1
1. 事業の背景・目的.....	1
2. 事業の実施方針	3
第2章 学校体育施設を地域スポーツの場として活用する持続可能な仕組みの検討.....	7
1. 現状分析	7
2. 先行事例研究	44
3. 持続可能な仕組みの検討.....	60
第3章 学校体育施設を地域スポーツの場として活動する仕組みの検証.....	72
1. 実証事業の実施結果.....	72
2. 事業効果の評価	81
第4章 考察	145
1. 阿智中学校体育館管理について.....	145
2. 体育館を活用したプログラム提供について.....	145
3. 町村部における総合型地域スポーツクラブのあり方について.....	146
(付録1) 全村アンケート調査票.....	149
(付録2) 全村アンケート結果.....	153
(付録3) 阿智中アンケート調査票.....	176
(付録4) 阿智中アンケート結果.....	181
(付録5) 令和2年度 阿智中学校体育館（学校体育施設開放）使用の申し合わせ...	216

第1章 本事業の概要

1. 事業の背景・目的

(1) 本事業の背景

学校体育施設は地域の最も身近なスポーツ施設の一つであり、学校教育法、社会教育法、スポーツ基本法等によって「教育に支障がない限り」において公共のために供することが求められている。特に令和元年度に策定された「学校体育施設の有効活用に関する手引き」においては、地方自治体の財政が逼迫する中で、持続可能な地域スポーツ環境を確保するためには、学校体育施設の一層の活用が必要であることが指摘されている。また、「学校や行政からの外部化」として、民間団体に学校開放事業を委ねることの有効性が示されている。

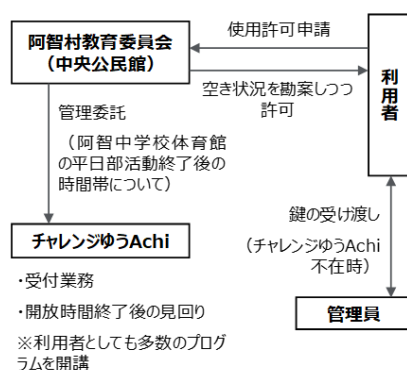
同時に、「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」（平成30年3月）においては、学校と地域が協働・融合した形での地域のスポーツ環境の充実を推進する必要性が指摘されている。

これらを踏まえると、総合型地域スポーツクラブ¹には、学校開放事業等の運営の担い手等として学校体育施設の一層の有効活用に貢献する役割や、学校と連携しながら部活動をはじめとする学校体育を補完していく役割が求められていると考えられる。

当クラブは、学校開放時間帯（17:00～21:00）の阿智中学校体育館の管理委託を村教育委員会より受けて、管理業務を行っている。その中で、中学校体育館を核にスポーツ教室を展開して、地域住民の誰もが日常的にスポーツに参加できる機会の確保に努めてきた。

現在の阿智中学校体育館の管理運営スキームは下図表の通り。当クラブは施設の管理運営を担うと同時に、学校体育施設を活用したスポーツプログラムの提供も実施している。

図表 1 阿智中学校体育館の管理運営スキーム



出所：スポーツ庁「学校体育施設の有効活用に関する手引き」より引用

¹ スポーツ庁によれば、総合型地域スポーツクラブは「人々が、身近な地域でスポーツに親しむことのできる新しいタイプのスポーツクラブで、子供から高齢者まで（多世代）、様々なスポーツを愛好する人々が（多種目）、初心者からトップレベルまで、それぞれの志向・レベルに合わせて参加できる（多志向）、という特徴を持ち、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブ」である。平成7年度から育成が開始され、チャレンジうAchiは平成16年に設立された。

さらに、本年度より中学校の部活動の終了後、引き続き練習をしたいと願う生徒に対して、受け皿になるような講座を立ち上げる協議を続けてきた。

阿智中学校では従来より、部活動終了後も練習時間を確保したいと考える生徒によるスポーツ活動が「阿智中クラブ」として実施されていた。元来「阿智中クラブ」は学校体育と社会体育の中間的な活動として、教員が主要な担い手（日程調整や指導者の確保を実施）となっていた。しかしながら、全国的な部活動改革等を受け、2019年4月ごろから「阿智中クラブ」を学校体育から切り離し、地域に運営を移管することが議論されるようになった。保護者会、村教育委員会、阿智中学校、チャレンジゆう Achi の協議の結果、令和2年度から「阿智中クラブ」をチャレンジゆう Achi の一講座として位置づけて開講することとなった。

開講にあたっては、部活動と連携し一体となって指導が行われるシステムづくりや、学校部活動の用具を当クラブの活動でも引き続き使用することができるように、村教育委員会及び中学校と申し合わせ書を締結して、一体となって活動を支援する体制を構築してきた。本事業を通じてこの体制を確立し、地域と学校が連携した、町村部における新たな部活動の在り方を示したいと考えている。

また、これらの取組を、今まで取り組んできた学校体育館でのスポーツプログラム提供や管理委託の質的向上につながる機会にし、地域住民がより安全・便利に学校体育施設を利用できるようにしたいと考えた。

（2）本事業の目的

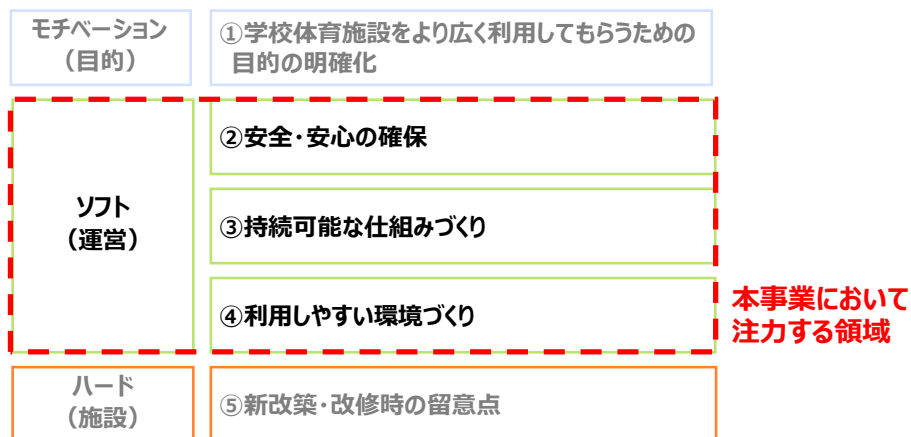
本事業において最終的に達成すべき成果は、学校体育施設が地域スポーツの場としても有効活用されることであると考えます。

学校体育施設の有効活用の達成手段として、「学校体育施設の有効活用に関する手引き」においては、図表3で示す5類型が示されている。

前述したとおり、阿智村においては学校体育施設を地域スポーツの場として活用する必要性については既に強く認識されているところである。特に平成21年の中学校体育館改築時には、社会体育施設としても活用可能な設計とするよう当クラブが中心となって村長に要望書を提出している。このような経緯から、現在体育館棟は校舎とは独立して整備されており、ギャラリー部分を活用したランニングコース、トレーニングルーム、総合型地域スポーツクラブの活動拠点となる社会開放室、トイレ、更衣室、AED等が設置されている。

したがって、本事業で特に注力すべきであるのは、下図表において赤枠で囲った3項目であると思料する。

図表 2 本事業において注力する領域



こうした考え方を基本に据えた上で、図表1のように本事業の短期的目標、中期的目標、長期的目標を据える。

図表 3 本事業の目標

短期的目標	<ul style="list-style-type: none"> ・総合型地域スポーツクラブ、学校・保護者、自治体等関係者間の連携を強化し、クラブによる部活動の支援体制を確立 ・一般利用者による学校体育施設利用の利便性の向上 ・学校教育の学校体育施設管理等に係る業務負担軽減
中期的目標	<ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心の確保 ・持続可能な仕組みづくり ・利用しやすい環境づくり
長期的目標	<ul style="list-style-type: none"> ・総合型地域スポーツクラブが担い手となり、学校体育施設が地域スポーツの場としても有効活用される

2. 事業の実施方針

(1) 本事業の全体像

本事業の全体像は下記の通り。「学校体育施設を地域スポーツの場として活用する持続可能な仕組みの検討」（以下、「仕組みの検討」とする）と「学校体育施設を地域スポーツの場として活動する仕組みの検証」（以下、「実証事業」とする）を並行して行う。

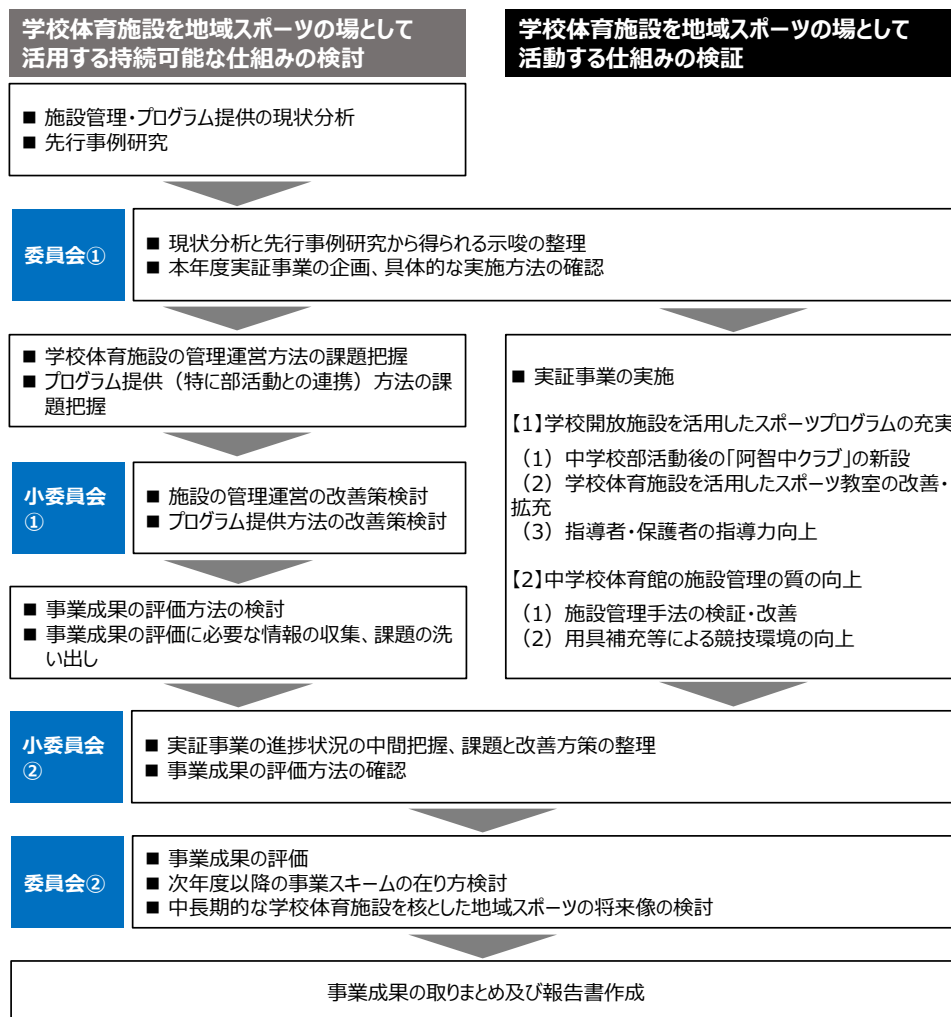
「仕組みの検討」においては、本年度「実証事業」の企画・進捗管理・成果の検証を行うとともに、中長期的な学校体育施設の在り方についても検討する。

「実証事業」では、主として【1】学校開放施設を活用したスポーツプログラムの充実（総合

型地域スポーツクラブによる部活動後の活動の支援を含む)、【2】中学校体育館の施設管理の質の向上の2点を実施する。上記2つの観点から「事業の背景・目的」で挙げた課題の解決を図り、体育館の稼働率向上を目指す。

「仕組みの検討」及び「実証事業」の具体的な内容・方法・スケジュールについては、後段「事業実施計画と実施方法」において詳述する。

図表 4 本事業の全体像

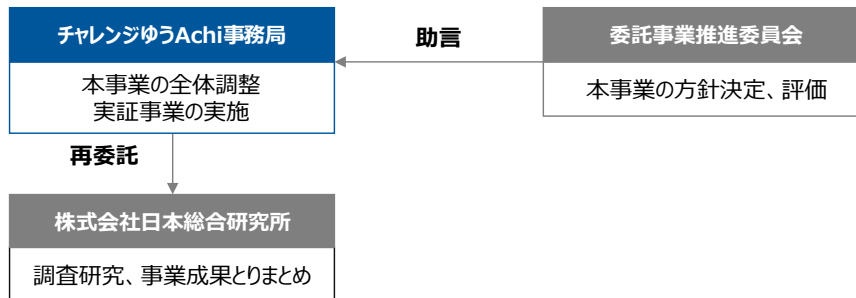


(2) 本事業の実施体制

本事業の実施体制は下記の通り。本事業はチャレンジゆう Achi 事務局が主体となって実施する。また、本事業の方針決定や成果の評価について助言を得る目的で、新たに委託事業推進委員会を立ち上げる（詳細は後述）。学校体育施設を地域スポーツの場として活用する持続可能な仕組みの検討や事業成果のとりまとめにあたっては、調査研究業務等を株式会社日本総合研究所に再委託す

る。

図表 5 事業実施体制



(3) 事業実施計画と実施方法

「学校体育施設を地域スポーツの場として活用する持続可能な仕組みの検討」ならびに「学校体育施設を地域スポーツの場として活動する仕組みの検証」は、具体的には以下の方法によって実施する。また、これらの取組の効果の検証や考察もあわせて行うこととする。

図表 6 事業実施方法

I. 学校体育施設を地域スポーツの場として活用する持続可能な仕組みの検討	
1. 持続可能な仕組みに関する調査研究	学校施設の有効活用や部活動後の活動の支援等に関する先行事例研究等を通じ、本事業の参考となりうる情報を収集する。
2. 委託事業推進委員会の開催	事業の進捗管理、評価、今後に向けた取組の検討等を行うため、委託事業推進委員会を開催する。
II. 学校体育施設を地域スポーツの場として活動する仕組みの検証	
1. 中学校部活動後の「阿智中クラブ」の実施	「阿智中クラブ」として7講座を開講し、次年度に向けた改善点等を洗い出す。
2. 学校体育施設を活用したスポーツ教室の改善・拡充	チャレンジゆう Achi がこれまで学校施設を活用して実施してきた各種スポーツ教室について、改善の方策を検討する。
3. 指導者・保護者の指導力向上	救命救急やスポーツ栄養学、ウォーキング・ランニングに関する講演会を開催する。
4. 施設管理手法の検証・改善	クラブがこれまで行ってきた阿智中学校体育館の管理委託について、改善点の洗い出しを行う。
5. 用具補充等による競技環境の向上	実証事業に必要な用具等を調達する。

本事業の実施スケジュールは以下のとおり。

図表 7 事業の実施スケジュール

月	1【1】 調査研究 仕組検討	1【2】 推進委員会 仕組検討	2【1】(1) 部活動後の 仕組検証	2【1】(2) 一般教室の 仕組検証	2【3】 研修会等 仕組検証	2【2】 管理委託 仕組検証	2【3】 用具補充 仕組検証
7	通年 調査・研究		通年 講座実施	通年 教室実施 バドミントン			
8	先行事例 等の検討	委員会① 業務分担等 の検討				体育館利用 者会議開催	卓球用具机 ・イス
9				ピンポン	ランニン グ講習会	管理規定日 誌見直し	トレーニング 用具
10	委託管理 の課題	小委員会① 委託管理等 の検討			AED講 習会開催		活用状況の 検証
11			トップアスリート 等講演会	バスケットボール 一般の教室 あり方検証	スポーツ 栄養学講 習会	緊急時対応 研修	
12	事業評価 の観点等	小委員会② 事業評価、 改善の方向	部活動後の あり方検証			管理委託の あり方検証	
1					指導者講 習会の検 証		
2	事業まとめ 報告書作成	委員会② 事業評価と 改善の方向					
3	事業のまとめ、事業報告（事業報告書・委託業務経費の精算）						

第2章 学校体育施設を地域スポーツの場として活用する持続可能な仕組みの検討

1. 現状分析

(1) これまでのクラブの活動状況

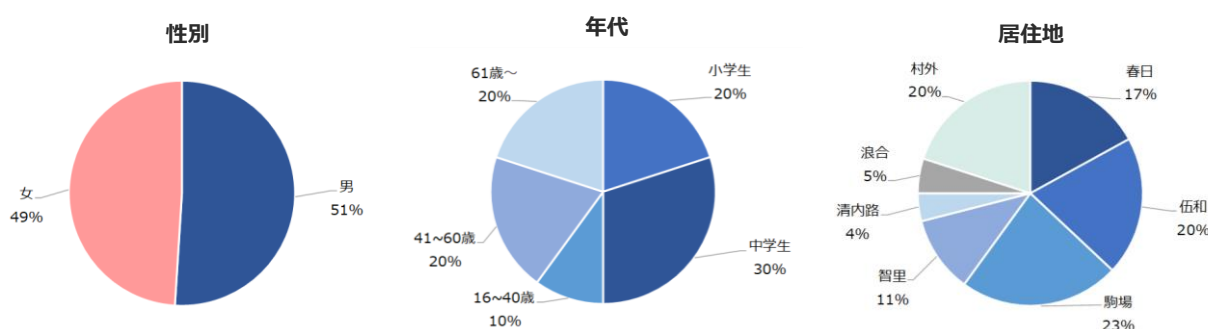
阿智村においては、平成14年から総合型地域スポーツクラブ設立の検討が始まり、平成16年4月に任意団体として「チャレンジゆう Achi」が発足した。以来、地域住民の健全な心身を育成し、地域の発展に寄与することを目的に、総合型地域スポーツクラブを「村づくりの一つの手段(道具)」として活動してきた。

現在は①多様な文化・スポーツプログラムの実施、ならびに②阿智中学校体育館の委託管理業務を中心に幅広い活動を行っている。

また、令和元年度には活動の継続・発展充実と、阿智中学校の部活動を支援する「阿智中クラブ」の取組を目的として、NPO法人格を取得した。

令和2年3月31日時点で、チャレンジゆう Achi の会員は455名であった。男女はほぼ同数である。また会員の年代は小中学生もしくは40歳以上が多い。

図表 8 チャレンジゆう Achi の会員分析



(2) 全村意識調査の実施

① 全村意識調査の実施概要

村民の運動・スポーツに対するニーズや、これまでのクラブの活動に対する村民の認知度・満足度を把握するため、全村民を対象としたアンケート調査を行った。

全村意識調査の実施概要は以下の通り。

図表 9 全村意識調査の実施概要

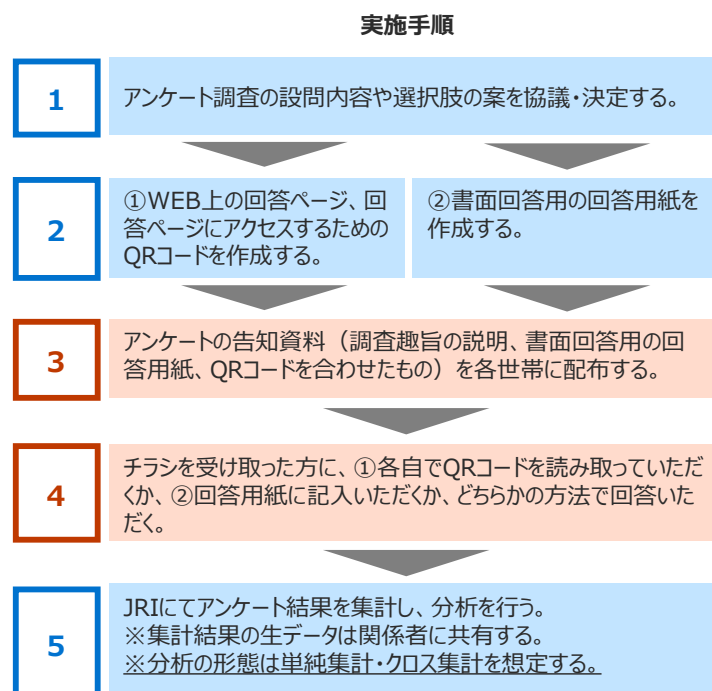
実施期間	2020年10月1日～10月30日
対象	阿智村の全世帯：2,360世帯（注）
回答数	285件（回収率：12%）
実施方法	配布：書面（組合回覧経由） 回収：以下2通りの回収を並行して実施。 ①WEB ②書面（阿智村公民館にて回収）

（注）阿智村「阿智村の統計2019」を参照。

アンケート実施にあたっては、先行した村の広報誌「広報あち」にて調査を実施する旨を掲載し、協力を呼びかけた。その上で、組合回覧で各戸に調査用紙の配布を行った。調査票の回収にあたっては、①WEB回答と②書面回答の2通りの方法を取った。

調査票の配布・回収方法は以下の通りである。

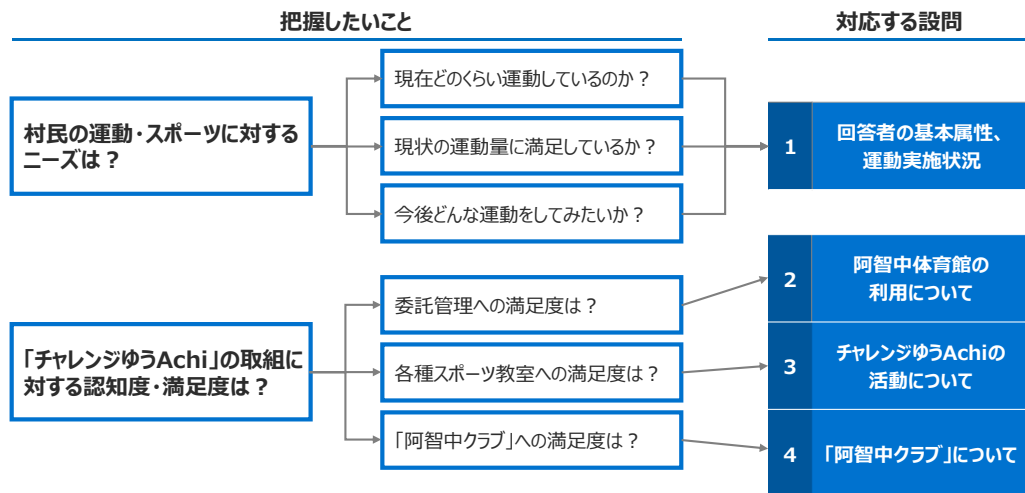
図表 10 調査票の配布・回収方法



「村民の運動・スポーツに対するニーズを把握する」「クラブの活動に対する村民の認知度・満足度を把握する」という調査目的を踏まえ、以下の通り設問内容を検討した。主要な質問項目は以下に示すとおりである。

結果の概要は1（2）で示すが、詳細については別途付録2を参照されたい。

図表 11 主要な質問項目



1	回答者の基本属性、運動実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ■ 年代、性別 ■ 現在の運動・スポーツの実施状況 ■ 今後の運動・スポーツの実施意向、興味のある種目
2	阿智中体育館の利用について	<ul style="list-style-type: none"> ■ 現在利用している村内体育施設 ■ （阿智中体育館を利用したことがある場合）利用時の感想、満足度 ■ （阿智中体育館を利用したことがない場合）なぜ利用しなかったのか
3	チャレンジゆうAchiの活動について	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「チャレンジゆうAchi」を知っているか。クラブ主催のスポーツ教室等に参加したことがあるか。 ■ （ある場合）参加時の感想、満足度 ■ （ない場合）なぜ参加しなかったか ■ 今後クラブにどのような役割を期待するか
4	「阿智中クラブ」について	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「阿智中クラブ」の取組が始まったことを知っているか ■ （知っている場合）どのように評価しているか

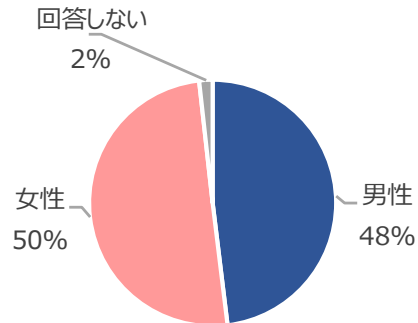
② 全村意識調査の結果概要

（ア） 回答者の基本属性、運動実施状況について

回答者の基本属性は以下の通りである。

男女はほぼ同数である。年代を見ると、小中学生と40歳以上が多く、16～40歳が少ない。これはクラブの会員層とほぼ一致している。また、阿智中学校に対して、個別に調査への協力依頼を行ったことに起因していると考えられる。

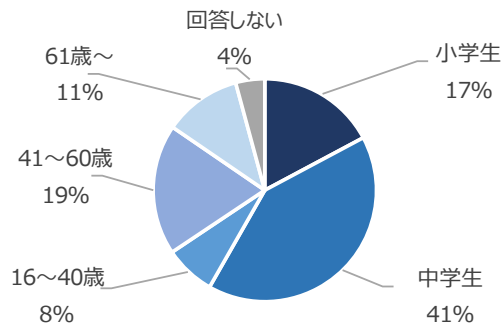
図表 12 1-1 あなたの性別について



全体 (n=285)

	N	%
男性	137	48.1%
女性	143	50.2%
回答しない	5	1.8%
合計	285	100.0%

図表 13 1-2 あなたの年齢について

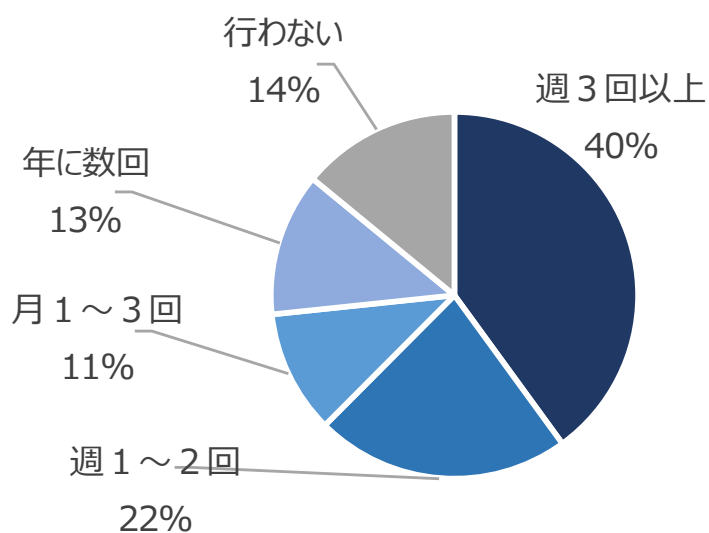


全体 (n=285)

	N	%
小学生	49	17.2%
中学生	117	41.1%
16~40歳	21	7.4%
41~60歳	54	18.9%
61歳~	32	11.2%
回答しない	12	4.2%
合計	285	100.0%

週1回以上スポーツを実施する人の割合は62.5%で、全国の成人の週1日以上スポーツ実施率53.6%（令和元年度「スポーツの実施状況等に関する世論調査」による）より高い。しかし、年代別に見ると、小中学生を除くと週1日以上スポーツ実施率は1～2割程度であり、成人に関しては運動不足といえる。

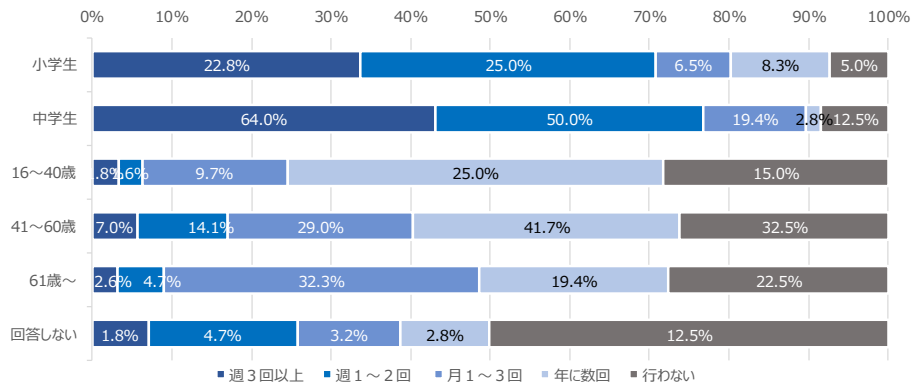
図表 14 1-3 あなたの最近1年間のスポーツの実施頻度



全体 (n=285)

	N	%
週3回以上	114	40.0%
週1～2回	64	22.5%
月1～3回	31	10.9%
年回数	36	12.6%
行わない	40	14.0%
合計	285	100.0%

図表 15 1-3 あなたの最近1年間のスポーツの実施頻度（×年代別）

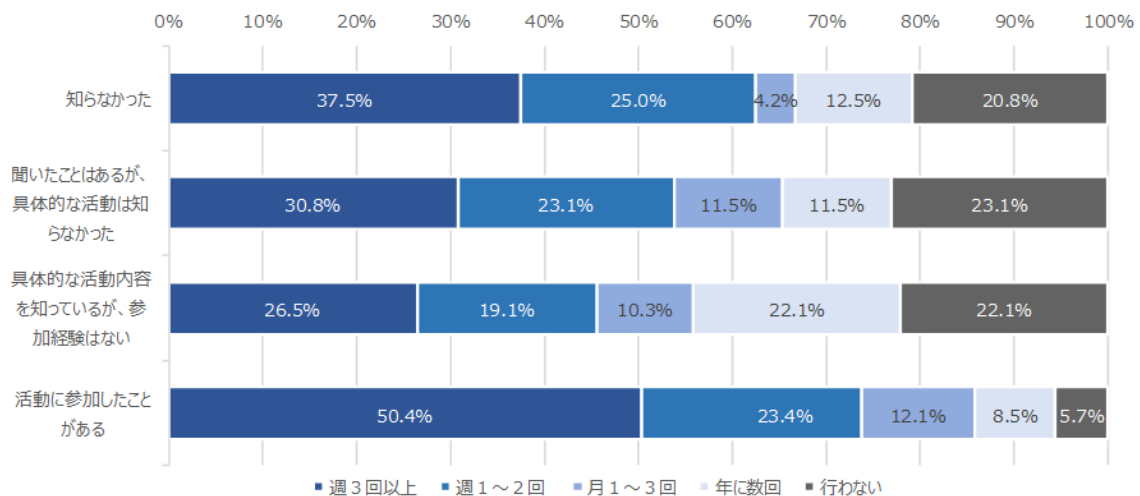


全体(n=285)

N表	小学生	中学生	16~40歳	41~60歳	61歳~	回答しない	合計
週3回以上	26	73	2	8	3	2	114
週1~2回	16	32	1	9	3	3	64
月1~3回	2	6	3	9	10	1	31
年に数回	3	1	9	15	7	1	36
行わない	2	5	6	13	9	5	40
合計	49	117	21	54	32	12	285

また、チャレンジゆう Achi の活動に参加している人は、そうでない人と比較して運動・スポーツの実施頻度が高くなっており、クラブの活動は村民の運動習慣形成に寄与していると考えられる。

図表 16 1-3 あなたの最近1年間のスポーツの実施頻度（×チャレンジゆう Achi への参加）

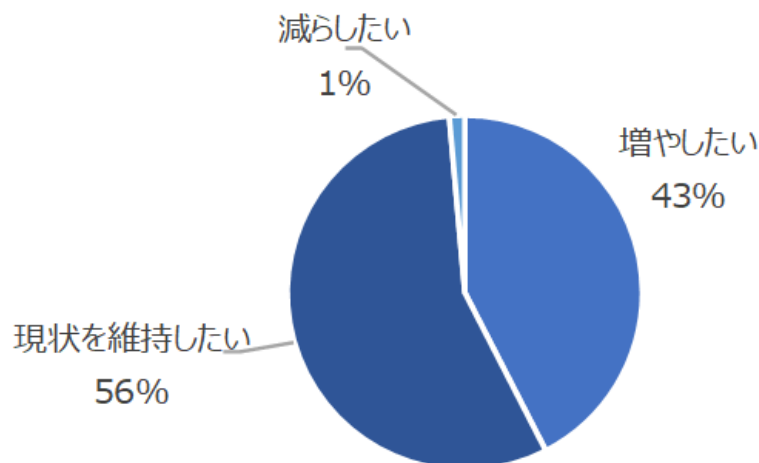


全体(n=285)

N表	知らなかった	聞いたことはあるが、具体的な活動は知らなかった	具体的な活動内容を知っているが、参加経験はない	活動に参加したことがある	合計
週3回以上	9	16	18	71	114
週1～2回	6	12	13	33	64
月1～3回	1	6	7	17	31
年に数回	3	6	15	12	36
行わない	5	12	15	8	40
合計	24	52	68	141	285

今後のスポーツ実施頻度についての意向を尋ねる質問では、約4割が「増やしたい」と回答しており、村民には「運動・スポーツを実施したい」というニーズが一定あると考えられる。

図表 17 1-4 今後のスポーツの実施頻度について



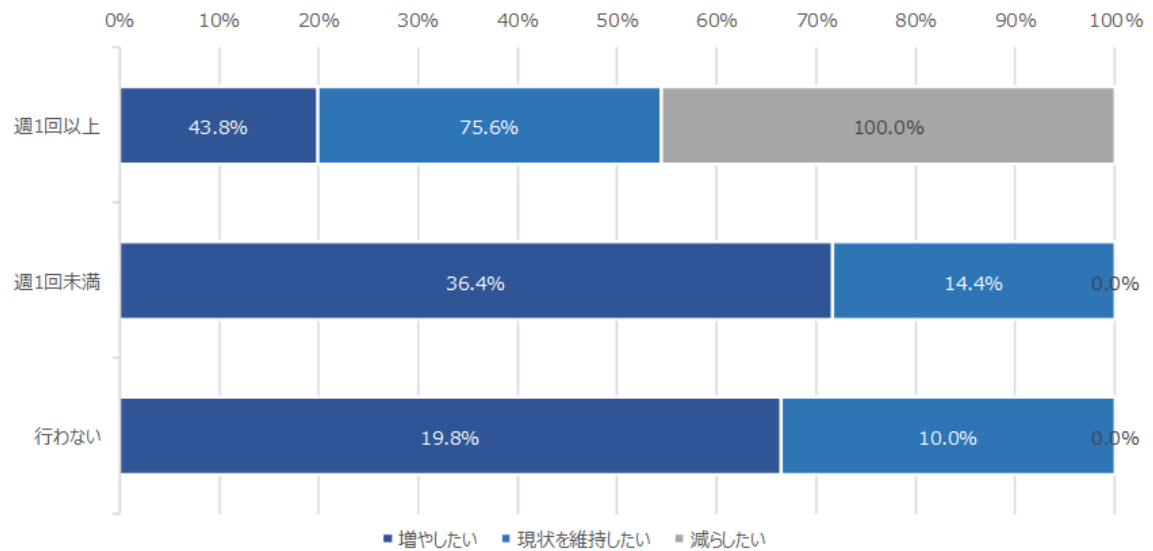
全体 (n=285)

	N	%
増やしたい	121	42.5%
現状を維持したい	160	56.1%
減らしたい	4	1.4%
合計	285	100.0%

運動頻度別にみると、特に現状の運動頻度が週1回を下回っている人について、運動不足を解消

したいというニーズがあることが示唆される。

図表 18 1-4 今後のスポーツの実施頻度について (×運動頻度)



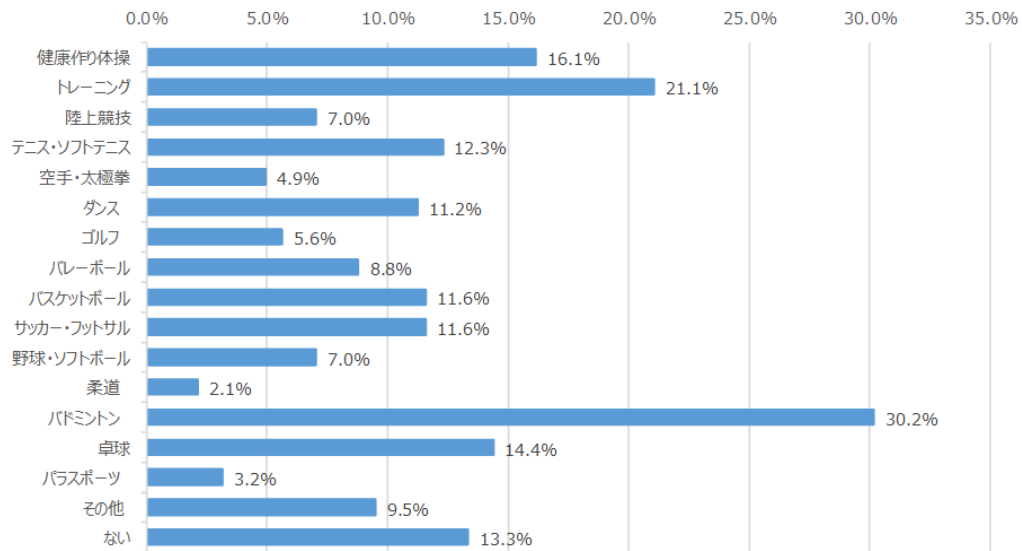
全体 (n=285)

N 表	増やしたい	現状を維持したい	減らしたい	合計
週 1 回以上	53	121	4	178
週 1 回未満	44	23	0	67
行わない	24	16	0	40
合計	121	160	4	285

今後やってみたいスポーツについては、バドミントンが広く支持を集めている。次いでトレーニ

ング、健康作り体操、卓球等が多い。

図表 19 1-5 今後やってみたいスポーツ



全体 (n=285)

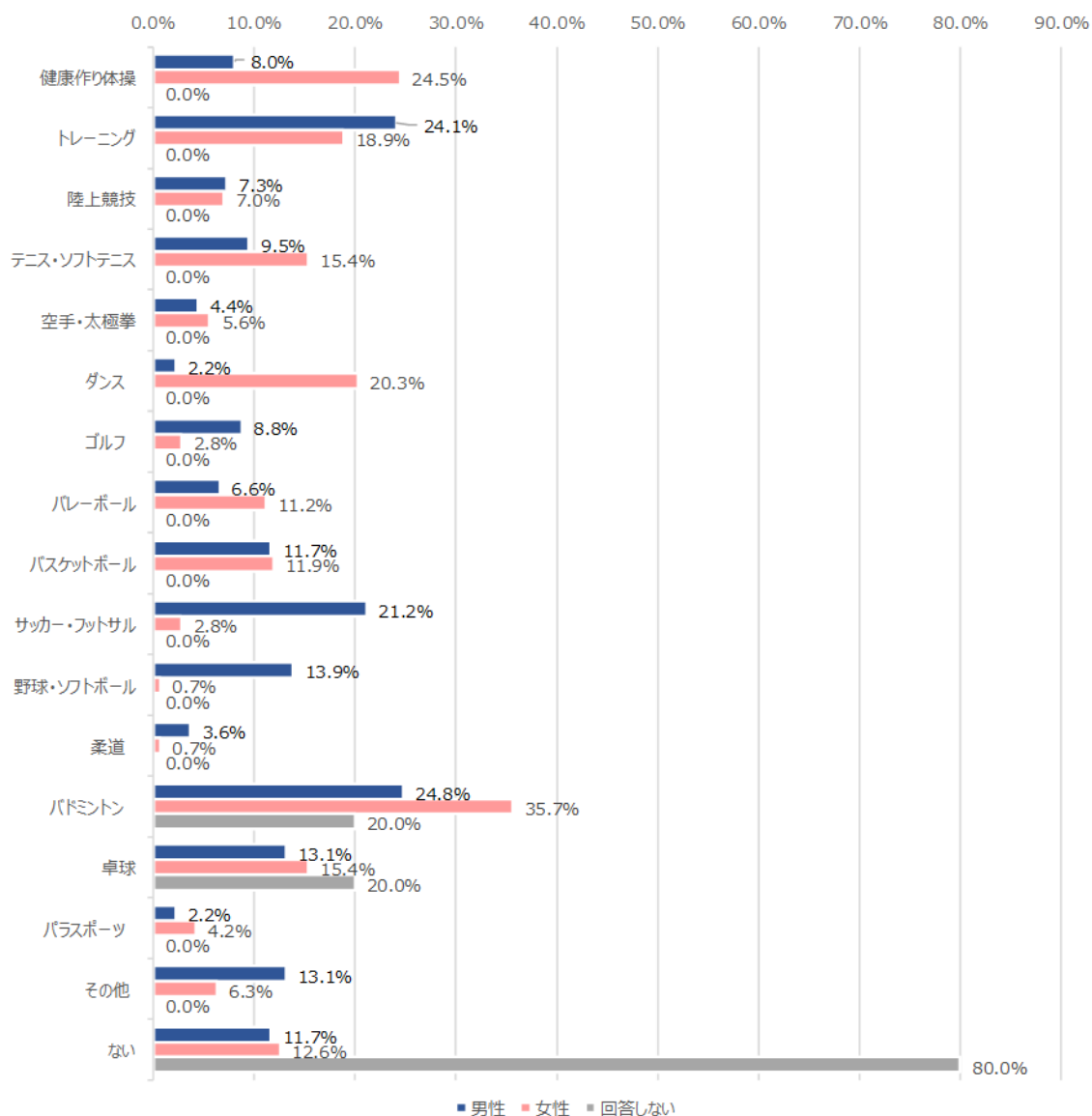
	N	%
健康作り体操	46	16.1%
トレーニング	60	21.1%
陸上競技	20	7.0%
テニス・ソフトテニス	35	12.3%
空手・太極拳	14	4.9%
ダンス	32	11.2%
ゴルフ	16	5.6%
バレーボール	25	8.8%
バスケットボール	33	11.6%
サッカー・フットサル	33	11.6%
野球・ソフトボール	20	7.0%
柔道	6	2.1%
バドミントン	86	30.2%
卓球	41	14.4%
パラスポーツ	9	3.2%
その他	27	9.5%
ない	38	13.3%

その他	
水泳	7
スキー	3
ヨガ	2
シクロクロス	1
分からない	1
体操	1
マレットゴルフ	1
キックボクシング	1
筋トレ	1
ストレッチ 肩甲骨股関節回り	1
自転車	1
スノーボード	1
水中運動	1
ソフトバレー	1
釣り	1
フェンシング	1
ウィンター、サマースポーツ	1
ボルダリング	1

男女別にみると、特に健康作り体操、テニス・ソフトテニス、ダンス、バドミントンについて、

男性よりも女性の方が好む傾向にある。

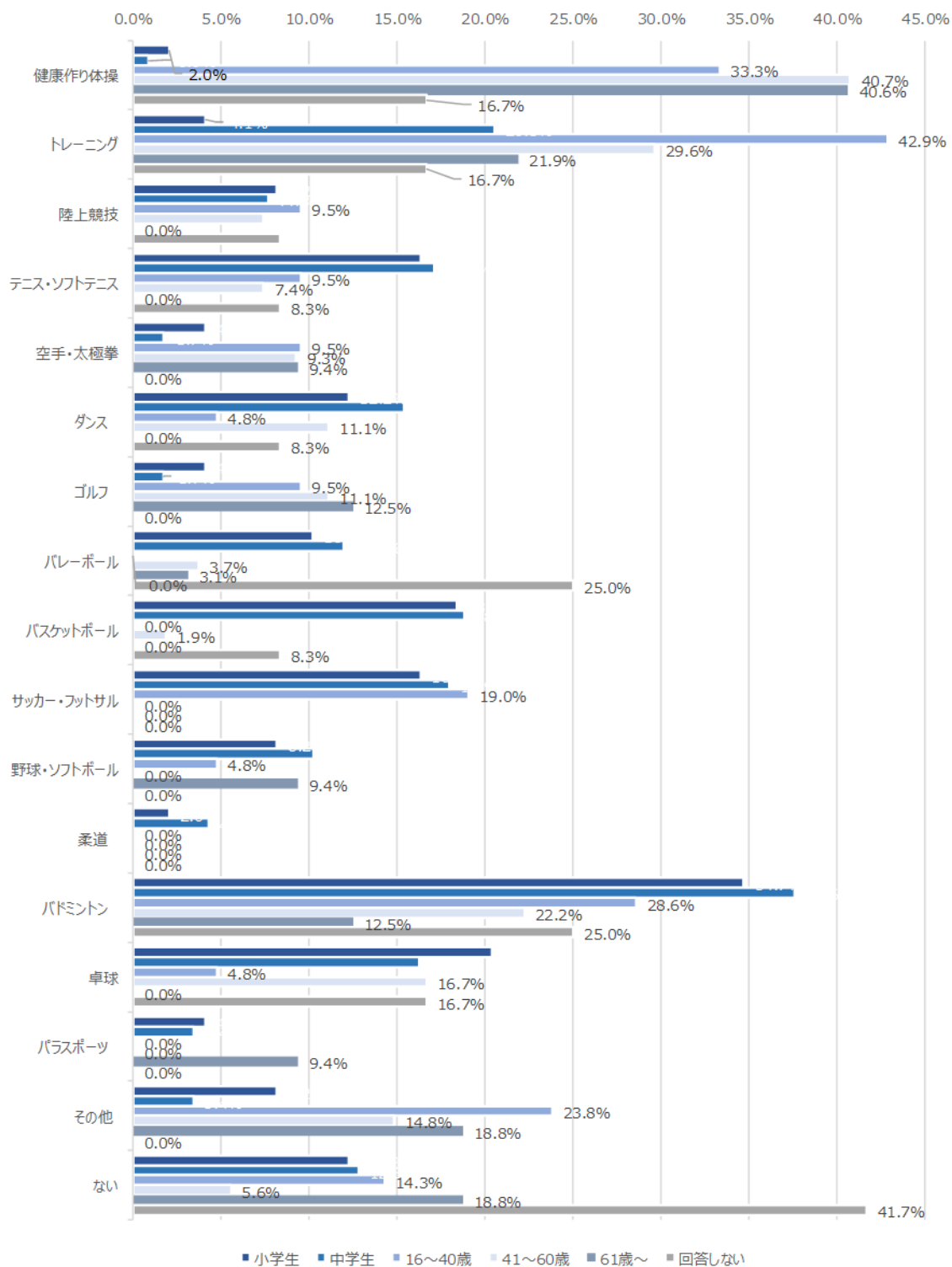
図表 20 1-5 今後やってみたいスポーツ (×性別)



年代別にみると、ダンスや球技（ゴルフを除く）については小中学生が好む傾向がある。他方、

健康作り体操は成人が好む傾向がある。バドミントンは比較的幅広い年代が好んでいる。

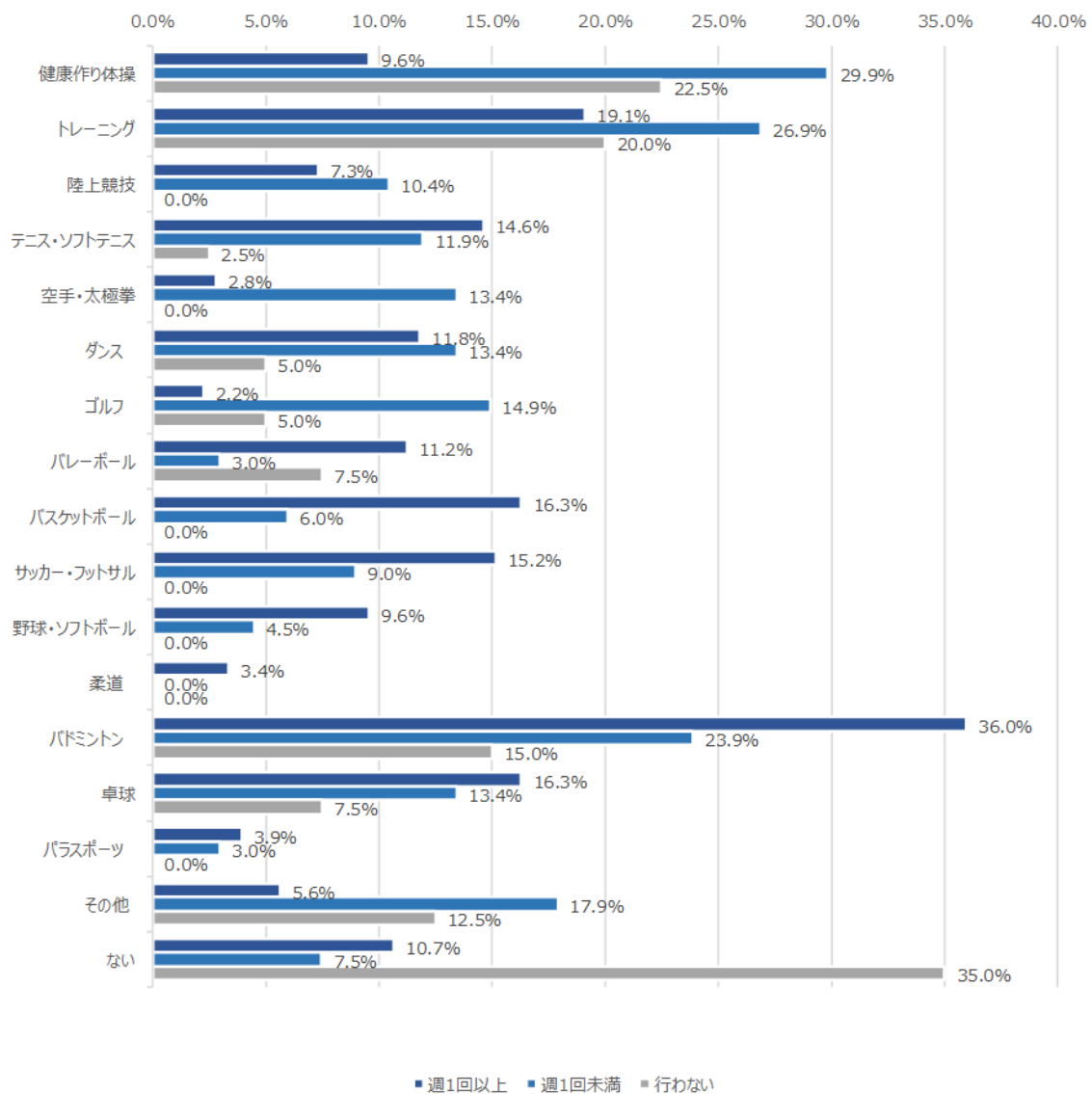
図表 21 1-5 今後やってみたいスポーツ (×年代別)



運動頻度別にみると、球技は既に運動習慣のある人が好む傾向にある。トレーニングは幅広く好

まれており、健康づくり体操や空手・太極拳はあまり運動習慣のない人が好む傾向にある。

図表 22 1-5 今後やってみたいスポーツ（×運動頻度）



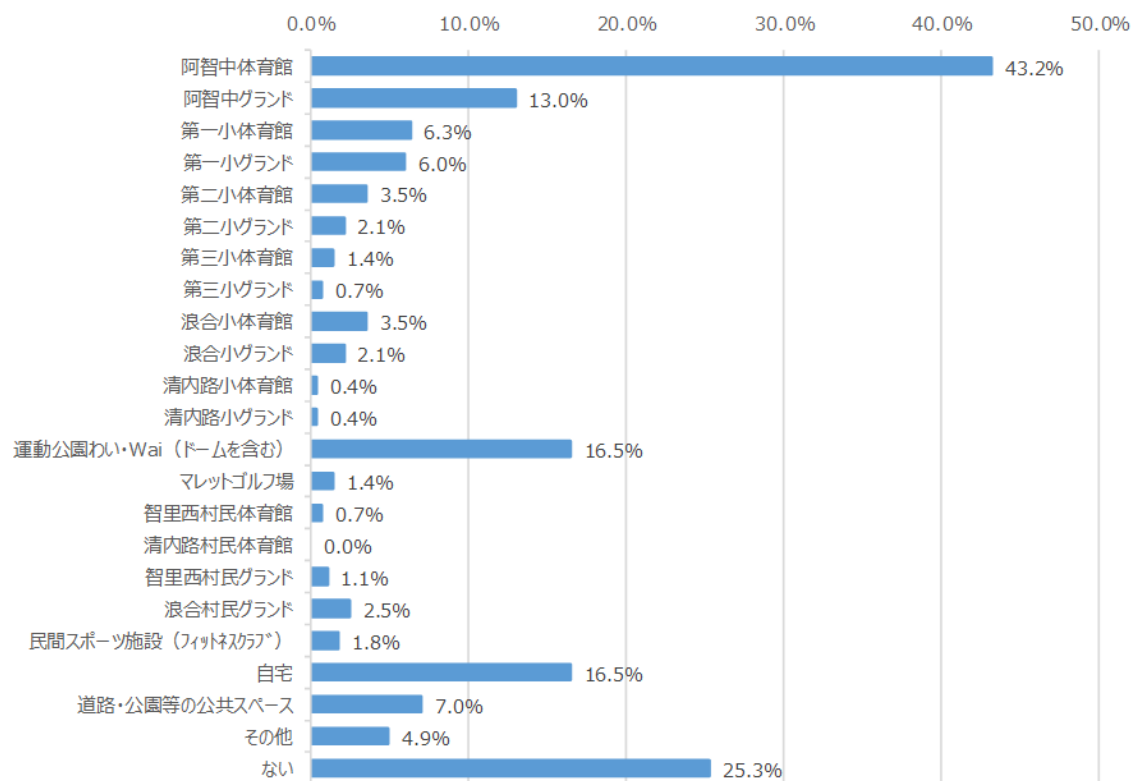
(イ) 阿智中体育館の利用について

現在利用している村内体育施設を訊ねたところ、阿智中体育館が最も多く、次いで阿智中グラウンド、運動公園わい・Wai、自宅が多かった。

阿智中学校体育館は、平日 17 時半から 21 時まで村民に開放されている（休日の利用については中学校との個別協議が必要）。体育館を利用可能なのは 10 名以上の団体のみであるが、トレーニングルームについては、チャレンジゆう Achi の活動メニューに位置付けることで個人利用が可能になっている。体育館の使用を希望する団体は、事前に阿智村中央公民館で体育施設使用申込書を提出し、許可を受ける必要がある。現状施設使用料等は特段徴収されていない。

上記のようなやや複雑な所定の手続が必要ではあるものの、阿智中体育館は村民にとって非常に身近な運動施設であることが読み取れる。

図表 23 2-1 現在利用している村内体育施設



全体 (n=285)

	N	%
阿智中体育館	123	43.2%
阿智中グラウンド	37	13.0%
第一小体育館	18	6.3%
第一小グラウンド	17	6.0%
第二小体育館	10	3.5%
第二小グラウンド	6	2.1%

その他	
ヘブンスそのはら	1
ゆったりーな昼神	2
阿智高校体育館	1
記入なし	3
公民館	3
公民館ホール	2

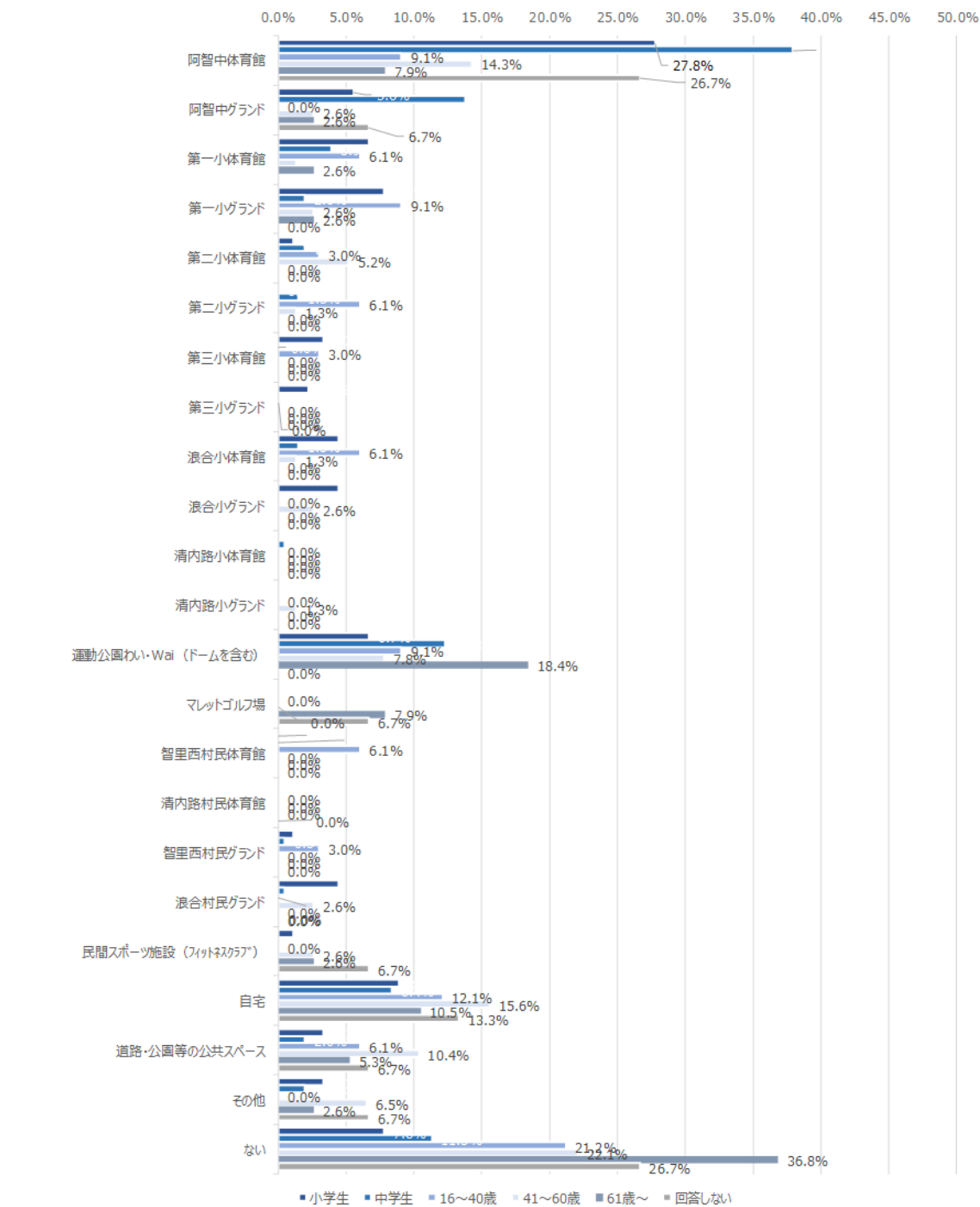
第三小体育館	4	1.4%
第三小グラウンド	2	0.7%
浪合小体育館	10	3.5%
浪合小グラウンド	6	2.1%
清内路小体育館	1	0.4%
清内路小グラウンド	1	0.4%
運動公園わい・Wai（ドームを含む）	47	16.5%
マレットゴルフ場	4	1.4%
智里西村民体育館	2	0.7%
清内路村民体育館	0	0.0%
智里西村民グラウンド	3	1.1%
浪合村民グラウンド	7	2.5%
民間スポーツ施設（フィットネスクラブ）	5	1.8%
自宅	47	16.5%
道路・公園等の公共スペース	20	7.0%
その他	14	4.9%
ない	72	25.3%

施設	1
未記入	1

年代別にみると、阿智中体育館の主要な利用者は小中学生であることが分かる。しかしながら、

成人にも一定利用されている。

図表 24 2-1 現在利用している村内体育施設（×年代別）

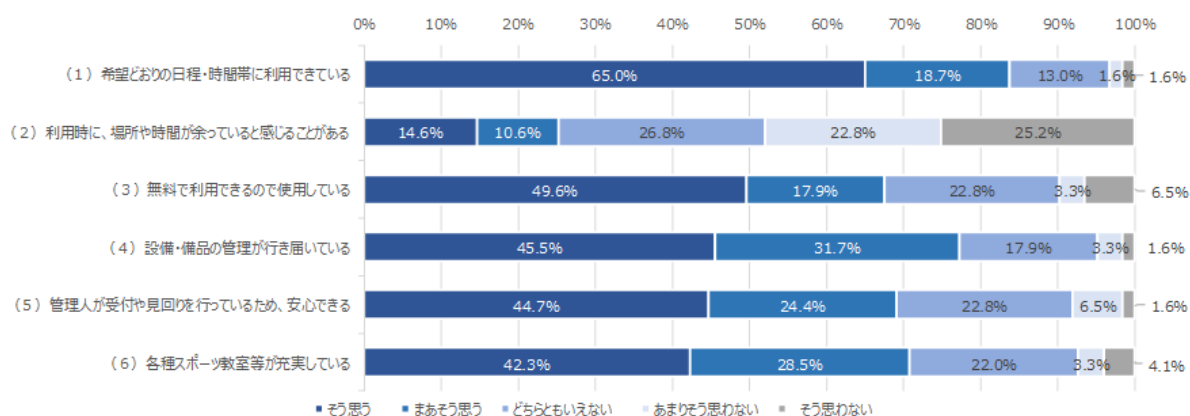


阿智中体育館を利用した際の評価について、「そう思う」=5点、「まあそう思う」=4点、「どちら

らともいえない」=3点、「あまりそう思わない」=2点、「そう思わない」=1点とした場合、各項目の評価点の加重平均は概ね4を上回っており、現状の委託管理に対する評価は一定高い水準にあると考えられる。特に「希望どおりの日程・時間帯に利用できている」および「設備・備品の管理が行き届いている」に対する評価が高い。

また、「利用時に、場所や時間が余っていると感ずることがある」を選択する人は少なく、ある程度空間の有効活用ができていていると考えられる。

図表 25 2-2 阿智中学校体育館を利用した際の感想



	そう思う		まあそう思う		どちらともいえない		あまりそう思わない		そう思わない	
	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%
(1) 希望どおりの日程・時間帯に利用できている	80	65.0%	23	18.7%	16	13.0%	2	1.6%	2	1.6%
(2) 利用時に、場所や時間が余っていると感ずることがある	18	14.6%	13	10.6%	33	26.8%	28	22.8%	31	25.2%
(3) 無料で利用できるため使用している	61	49.6%	22	17.9%	28	22.8%	4	3.3%	8	6.5%
(4) 設備・備品の管理が行き届いている	56	45.5%	39	31.7%	22	17.9%	4	3.3%	2	1.6%
(5) 管理人が受付や見回りを行っているため、安心できる	55	44.7%	30	24.4%	28	22.8%	8	6.5%	2	1.6%
(6) 各種スポーツ教室等が充実している	52	42.3%	35	28.5%	27	22.0%	4	3.3%	5	4.1%

「そう思う」＝5点、「まあそう思う」＝4点、「どちらともいえない」＝3点、「あまりそう思わない」＝2点、「そう思わない」＝1点とした場合、各項目の評価点の加重平均は以下の通り。

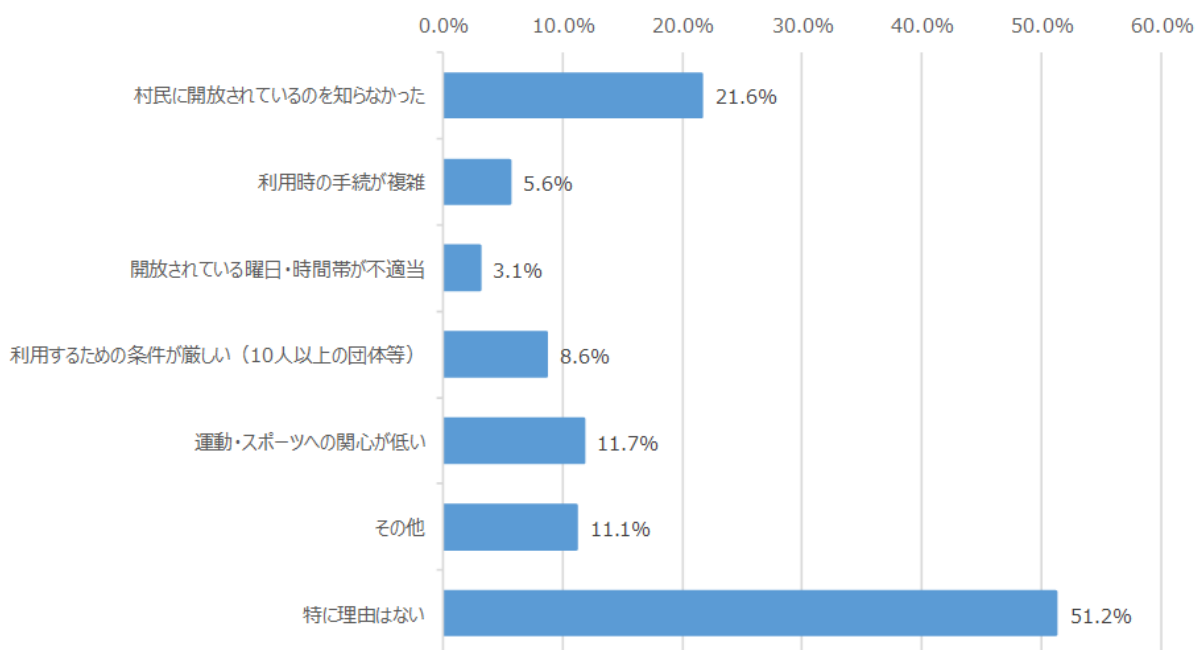
図表 26 各項目の評価点の加重平均

(1) 希望どおりの日程・時間帯に利用できている	4.44
(2) 利用時に、場所や時間が余っていると感じることがある	2.67
(3) 無料で利用できるので使用している	4.01
(4) 設備・備品の管理が行き届いている	4.16
(5) 管理者が受付や見回りを行っているため、安心できる	4.04
(6) 各種スポーツ教室等が充実している	4.02

阿智中学校体育館を利用していない人に対し、利用しなかった理由を尋ねたところ、「村民に開放されているのを知らなかった」が最多であった。

阿智中体育館の開放状況や予約方法等については、今後さらなる周知を図る必要があると考えられる。

図表 27 2-3 阿智中学校体育館を利用しなかった理由



全体 (n=162)

	N	%
村民に開放されているのを知らなかった	35	21.6%
利用時の手続が複雑	9	5.6%
開放されている曜日・時間帯が不適當	5	3.1%
利用するための条件が厳しい (10人以上の団体等)	14	8.6%
運動・スポーツへの関心が低い	19	11.7%
その他	18	11.1%
特に理由はない	83	51.2%

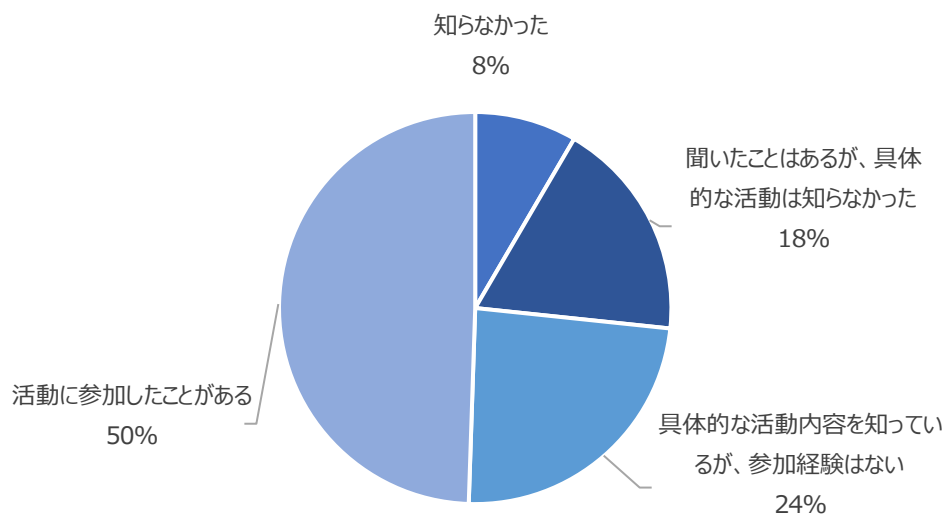
その他	
記入なし	4
使わない	1
スポーツ行っていない	1
時間がない	1
フットサルはやってもいいのか?	1
サッカーのクラブチーム入っている	1
遠い	1
子供の使用で出入りはするが自分自身はない。	1
屋内スポーツをやっていない為	1
自分のペースで行いたため	1
吹奏楽部に入っても	1
吹奏楽部のため	1
駐車場	1
個人では使いづらい	1
今の60代から40代の方がやっていて今でも使用している	1

(ウ) チャレンジゆう Achi の活動について

チャレンジゆう Achi の認知度を訊ねたところ、回答者の半分が活動への参加経験を有していた。また、9割以上が何らかの形でチャレンジゆう Achi のことを知っているという回答した。

クラブの活動を認知している方がアンケートの回答に対する協力を得やすい等のバイアスはあると考えられるものの、クラブの存在・活動はかなり村民に浸透していると考えられる。

図表 28 3-1 「チャレンジゆう Achi」の認知度

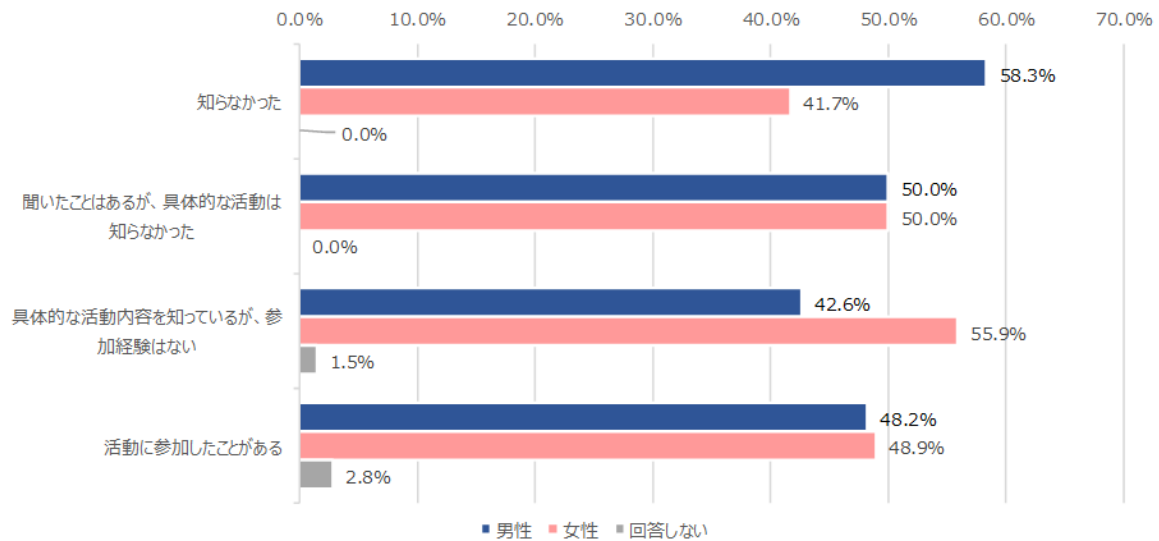


全体 (n=285)

	N	%
知らなかった	24	8.4%
聞いたことはあるが、具体的な活動は知らなかった	52	18.2%
具体的な活動内容を知っているが、参加経験はない	68	23.9%
活動に参加したことがある	141	49.5%

男女別にみると、男性よりも女性の方がチャレンジゆう Achi の活動を知っている傾向にあった。クラブの活動に参加したことがあるかどうかには、男女による差はなかった。

図表 29 3-1 「チャレンジゆう Achi」の認知度（×性別）

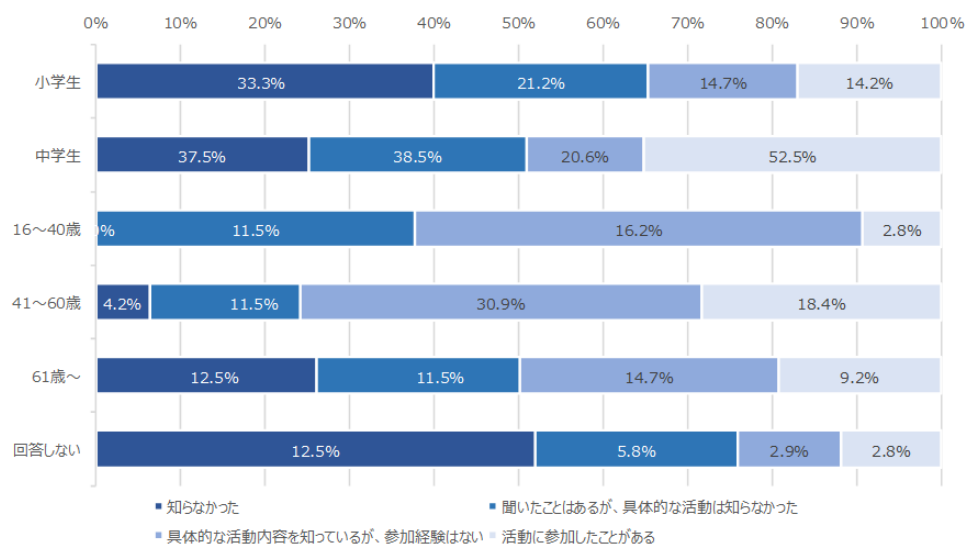


全体 (n=285)

N 表	男性	女性	回答しない	合計
知らなかった	14	10	0	24
聞いたことはあるが、具体的な活動は知らなかった	26	26	0	52
具体的な活動内容を知っているが、参加経験はない	29	38	1	68
活動に参加したことがある	68	69	4	141
合計	137	143	5	285

年代別にみると、小中学生および 61 歳以上においてクラブの認知度が高い。現在会員数が少ない年代については、クラブの活動が十分に認知されていないものと考えられる。

図表 30 3-1 「チャレンジゆう Achi」の認知度（×年代別）



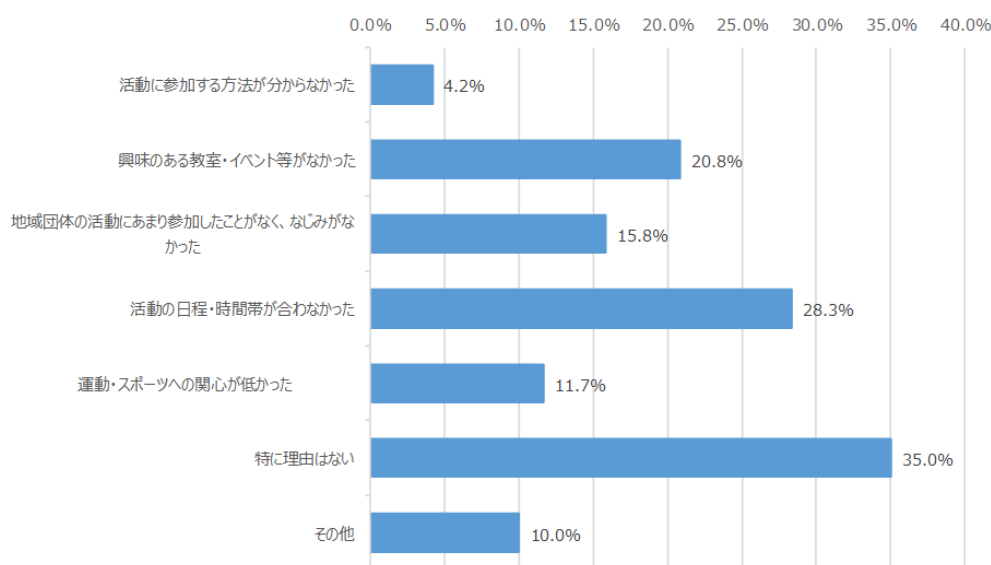
全体(n=285)

N 表	小学生	中学生	16~40歳	41~60歳	61歳~	回答しない	合計
知らなかった	8	9	0	1	3	3	24
聞いたことはあるが、具体的な活動は知らなかった	11	20	6	6	6	3	52
具体的な活動内容を知っているが、参加経験はない	10	14	11	21	10	2	68
活動に参加したことがある	20	74	4	26	13	4	141
合計	49	117	21	54	32	12	285

現在チャレンジゆうが開催しているスポーツ教室・イベント等は「令和2年度 年間プログラム」に示すとおり。平日夜間（19～21 時ごろ）を中心に、13 種目のスポーツ教室と 8 種類の文化教室（「阿智中クラブ」を除く）を開催している。また、定期的に開催されるスポーツ・文化教室とは別に、冬季のスキー教室等の期間限定のスポーツ講座や、夏休み中の小学生を対象に実施する「チャレンジフェスティバル」などのイベントも開催している。

チャレンジゆう Achi の活動に参加していない人に対し、活動に参加しなかった理由を訊ねたところ、「興味のある教室・イベント等がなかった」「活動の日程・時間帯が合わなかった」の割合が高かった。特に種目の検討にあたっては、大問 1 の結果等を参照しながら、改善していくことが考えられる。

図表 31 3-2 「チャレンジゆう Achi」の活動に参加しなかった理由



	全体 (n=120)	
	N	%
活動に参加する方法が分からなかった	5	4.2%
興味のある教室・イベント等がなかった	25	20.8%
地域団体の活動にあまり参加したことがなく、なじみがなかった	19	15.8%
活動の日程・時間帯が合わなかった	34	28.3%
運動・スポーツへの関心が低かった	14	11.7%
特に理由はない	42	35.0%
その他	12	10.0%

記入なし	2
他の習い事で忙しい	1
会員では無い	1
移動手段が無い	1
自分のペースで行いたため	1
宿題がある	1
村以外のチームに入っている	1
嫌いな人が入っていた	1
他をやっているお金がかかる	1
参加費	1
子供が小さいため	1

図表 32 令和2年度 年間プログラム

特定非営利活動(NPO)法人 チャレンジゆう ACHI

2020(令和2)年度 年間プログラム

開催日時や定員等が変更になる場合があります。参加人数や天候等で実施できない場合があります。

	講座名	開催日(期)	時間	場 所	定員等	指導者	対象	受講料
イベント	1 ウォーキング講習会 足元を固めながら歩く歩行講習会(新しいウォーキング)	6月	19:00~20:30	阿智中体育館	25名程度	岡原 健弘 明志大学陸上競技部監督	会 員 一般	無 料
	2 ランニング講習会 大学編と練習指導員資格が役立つランニング	9月	19:00~20:30	阿智中体育館	25名程度	岡原 健弘 明志大学陸上競技部監督	会 員 一般	無 料
	3 チャレンジフェスティバル バドミントン、バドなど、いろいろなスポーツに挑戦	8月	8:00~12:00	阿智第二小学校	小学生50名	松永敏子(徳谷大学) スポーツ推進委員	会 員 一般	300円 500円
	4 水辺の動植物観察会 「夏期水辺でそらさん」からの観察もあり	7月	9:00~12:00	かわらんべ周辺	小学生以上 (最低3名)	かわらんべ 中村 貴俊	会 員 一般	300円 500円
スポーツ教室	5 エンジョイ体ほくし運動 からだほくして、笑顔つくろう	木曜日 (5月14日)	19:30~20:30	阿智中体育館	10名	熊谷 佳世	会 員	1回 200円
	6 基礎トレーニング からだの基礎をつくってスキルアップ!	火曜日 (5月12日)	19:30~21:00	阿智中体育館	小学生以上 (最低3名)	大坪 卓男	会 員	月 額 2,000円 家族3,000円
	7 履 上 ゴムを歩かせてスピード!	月曜日 (5月11日)	19:30~20:45	阿智中体育館	小中学生向け	大坪 卓男	会 員	月 1,000円
	8 ソフトJrテニス 楽しく、そして美しく!	火曜日 (4月7日)	19:30~21:00	阿智中体育館	小学生	岡原健弘・藤 広明 ・坂沢幸美	会 員	月 500円 月費 2,000円
	9 空 手 気心体一致	金曜日 (4月10日)	18:15~19:45	阿智中格技室		榊道 尚 木下 幸一	会 員	月 2,500円
	10 ミニバス 走り回って、楽しもう	土曜日 (4月11日)	9:00~12:00	阿智第三小体育館	小学生向け	安川 史・井原 毅 ・松江珠子	会 員	年 1,000円
	11 バスケットボール 楽しく、そして美しく!	土曜日 (4月11日)	19:00~21:00	阿智第三小体育館	中学生・ 高校生向け (最低6名)	安川 史 井原 毅	会 員	年 1,000円
	12 踊ってみまいかフラダンス 仲間つくりは目標に近しいフラダンス	月2回 土曜日	10:00~11:30	中央公民館	10名	代田 美幸	会 員	月 2,000円
	13 ゴルフ教室 初心者のための18ホール練習コース	火曜日(5部×3コース) 4/21~7/7~9/29~	19:00~21:00	ウエストポート	15名	伊藤 昭久	会 員	15~21 (ボール代別)
	14 エンジョイ・フットサル 楽しく、そして美しく!	5/7-9/11月 第3土曜日 (5月16日)	19:00~21:00	阿智第一小体育館	小5以上 15名	阿智フットサル部 片桐 久貴	会 員	1回 100円
	15 エンジョイ・フットサルJr 楽しく、そして美しく!	4/6-10月第3土曜日 8月第4土曜日(4月18日)	19:00~21:00	阿智第一小体育館	小学生以下 15名	阿智フットサル部 片桐 久貴	会 員	1回 100円
	16 ソフトボール 仲間つくり、仲間づくり、ソフトボールが楽しくなる	火曜日	19:00~21:00	阿智中グラウンド 運動公園1号棟		ソフトボール協会 榊田 千博	会 員	年 1,000円
17 太極拳・八極拳 静かになり、心静かになり、健康になる	土曜日(5月16日) ※1-2月はお休み	太極拳9:00~10:00 八極拳10:00~11:00	et wal公館	小学生から 大人まで	奥村 裕明	会 員	1回 100円	
18 エンジョイ・イングリッシュ 楽しく、そして美しく!	月曜日 (4月12日)	19:30~21:00	中央公民館	高校生以上	Western Brooke Island (Lack) 藤野 T	会 員	月 1,500円	
19 ソバ打ち 季節の味を味わって、笑顔つくろう	第2日曜日 (4月12日)	13:00~15:00	昼神ソバ打ち館	若干名	岡庭 啓武	会 員	1回 1,500円 (材料別)	
20 中国語教室 楽しく、そして美しく!	第2・4火曜日 (5月12日)	18:00~19:00	中央公民館		牧 廣美	会 員	年 1,000円	
21 生け花 季節の味を味わって、笑顔つくろう	第3水曜日 (5月20日)	19:30~21:00	中央公民館	10名	伊藤知世子・ 鈴木直美	会 員	1回 500円 +材料費 1,100円	
22 絵画教室 楽しく、そして美しく!	第2・4水曜日 (4月8日)	19:00~21:00	中央公民館	10名	赤羽 孝之	会 員	月 1,000円 (別途、材料費)	
23 写真教室 楽しく、そして美しく!	年6回	19:00~21:00	中央公民館		佐々木敬叔	会 員	年 1,000円 (別途、材料費)	
24 リコーダーサークル 楽しく、そして美しく!	月2回	19:30~21:00	中央公民館		品川 治夫	会 員	月 1,000円	
25 将棋教室 楽しく、そして美しく!	日曜日	13:00~17:00	中央公民館	小学生以上 一般	水野 悠平	会 員	子ども 無料 おとな 有料	
スポーツ講座	26 百名山を歩こう 山を歩くと、心も体も強くなる	①6月23日(土) ②7月18日(土) ③10月17日(土)	終 日	①駒山 ②北八ヶ岳 ③駒山(山頂南北柱)	小4年以上 20名(最低10名)	佐々木英一 小林盛彦・徳田謙司 岸 孝久・小池 謙 岸 登	会 員	1回 2,000円 (目的地により変更あり)
	27 楽しいピンポン 楽しく、そして美しく!	5月27日(水)~ 全5回	19:30~21:00	阿智中体育館	小学生以上	岸 孝久・小池 謙 岸 登	会 員	全 800円
	28 バドミントン 楽しく、そして美しく!	7月22日(水)~ 全8回	19:30~21:00	阿智中体育館	小学生以上	中山朝香・井原 毅 ・長谷 貴之	会 員	全 800円
	29 ウィンターバスケット 楽しく、そして美しく!	11月4日(水)~ 全9回	19:30~21:00	阿智中体育館	小学生以上 (最低6名)	安川 史・井原 毅 ・松江珠子	会 員	全 800円
	30 スキー教室 楽しく、そして美しく!	12月	9:00~12:00	ヘブンスのほら	小3以上 20名(最低5名)	阿智スキークラブ 熊谷 均	会 員	1,000円
講座文化	31 アロマクラフト入門 楽しく、そして美しく!	6/9-12/3月 第1土曜日 ※第3土曜日に変更も有り	10:00~11:00	中央公民館		宮内 幸乃	会 員	1回 1,000円 (材料別)
阿智中クラブ	32 野 球 楽しく、そして美しく!	水・金曜日	~19:00	阿智中グラウンド他 雨天・冬期間 体育館	中学校 野球部員	保護者会	会 員 (中学生)	
	33 サ ッ カ ー 楽しく、そして美しく!	火・木曜日	~19:00	阿智中グラウンド他 雨天・冬期間 体育館	中学校 サッカー部員	高村 龍郎 保護者会	会 員 (中学生)	
	34 ソフトテニス 楽しく、そして美しく!	月曜日	~19:00	阿智中テニスコート 雨天・冬期間 体育館	中学校 ソフトテニス部	市原 和美 保護者会	会 員 (中学生)	月 1,000円
	35 女子バレーボール 楽しく、そして美しく!	火・木曜日	~19:00	阿智中体育館	中学校 バレーボール部	水上 勝秀 保護者会	会 員 (中学生)	なし、各クラブの 実情による
	36 卓 球 楽しく、そして美しく!	水・金曜日	~19:00	阿智中体育館	中学校 卓球部員	小池 謙 保護者会	会 員 (中学生)	
	37 柔 道 楽しく、そして美しく!	火・木曜日	~19:00	阿智中格技室	中学校 柔道部員	澤 佑介 保護者会	会 員 (中学生)	
	38 吹 奏 楽 楽しく、そして美しく!	火・木曜日	~19:00	阿智中音楽室	中学校 吹奏楽部員	山田 仁 保護者会	会 員 (中学生)	

上記の講座と別に、遠征研修会等の各種研修を開催します。別途ご案内します。

阿智中クラブの活動費は別項に、別途説明してあります。また、各回の活動費は3名~6名まであります。

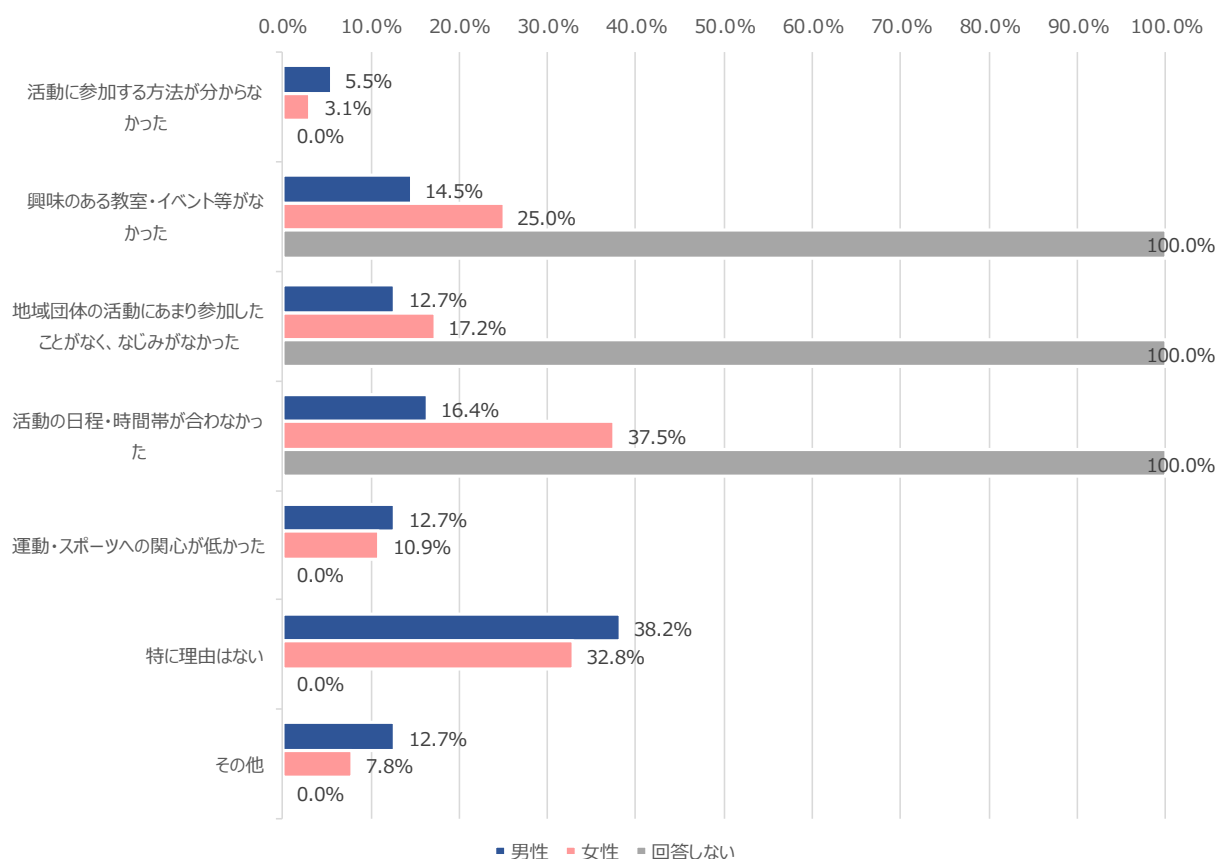
お申込み・お問い合わせ先 TEL: 0265-43-2061 FAX: 0265-43-2350

〒396-0303 長野県下伊那郡阿智町大字468-1 特定非営利活動(NPO)法人 チャレンジゆう Achi 事務局

阿智村中央公民館内

男女別にみると、特に女性について「興味のある教室・イベント等がなかった」「活動の日程・時間帯が合わなかった」が選択される割合が相対的に高かった。今後プログラム案の改善等を行うにあたっては、特に女性のニーズを踏まえる必要があると考えられる。

図表 33 3-2 「チャレンジゆう Achi」の活動に参加しなかった理由（×性別）



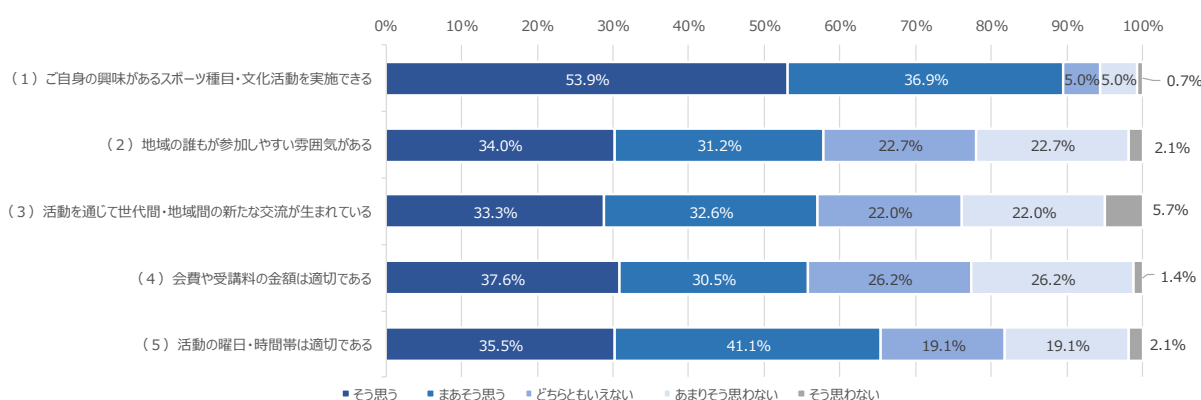
全体(n=120)

N 表	男性	女性	回答しない	合計
活動に参加する方法が分からなかった	3	2	0	5
興味のある教室・イベント等がなかった	8	16	1	25
地域団体の活動にあまり参加したことがなく、なじみがなかった	7	11	1	19
活動の日程・時間帯が合わなかった	9	24	1	34
運動・スポーツへの関心が低かった	7	7	0	14
特に理由はない	21	21	0	42
その他	7	5	0	12

「そう思う」＝5点、「まあそう思う」＝4点、「どちらともいえない」＝3点、「あまりそう思わない」＝2点、「そう思わない」＝1点とすると、各項目の評価点の加重平均は総じて高かった。しかしながら、「地域の誰もが参加しやすい雰囲気がある」「活動を通じて世代間・地域間の新たな交流が生まれている」は相対的に評点がやや低く、今後の課題であると考えられる。

なお、現在のチャレンジゆう Achi の年会費は個人会員 2,000 円、ファミリー会員 5,000 円である。各講座の受講料については、月単位で徴収するものと各回の金額が設定されているものがあり、前者は 100～200 円程度、後者は 1,000～2,500 円程度である。これらの金額設定についても、おおむね適切であるとの評価が得られた。

図表 34 3-3 「チャレンジゆう Achi」の活動に参加した際の感想



全体(n=141)

	そう思う		まあそう思う		どちらともいえない		あまりそう思わない		そう思わない		合計
	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	
(1) ご自身の興味があるスポーツ種目・文化活動を実施できる	76	53.9%	52	36.9%	7	5.0%	7	5.0%	1	0.7%	143
(2) 地域の誰もが参加しやすい雰囲気がある	48	34.0%	44	31.2%	32	22.7%	32	22.7%	3	2.1%	159
(3) 活動を通じて世代間・地域間の新たな交流が生まれている	47	33.3%	46	32.6%	31	22.0%	31	22.0%	8	5.7%	163
(4) 会費や受講料の金額は適切である	53	37.6%	43	30.5%	37	26.2%	37	26.2%	2	1.4%	172
(5) 活動の曜日・時間帯は適切である	50	35.5%	58	41.1%	27	19.1%	27	19.1%	3	2.1%	165

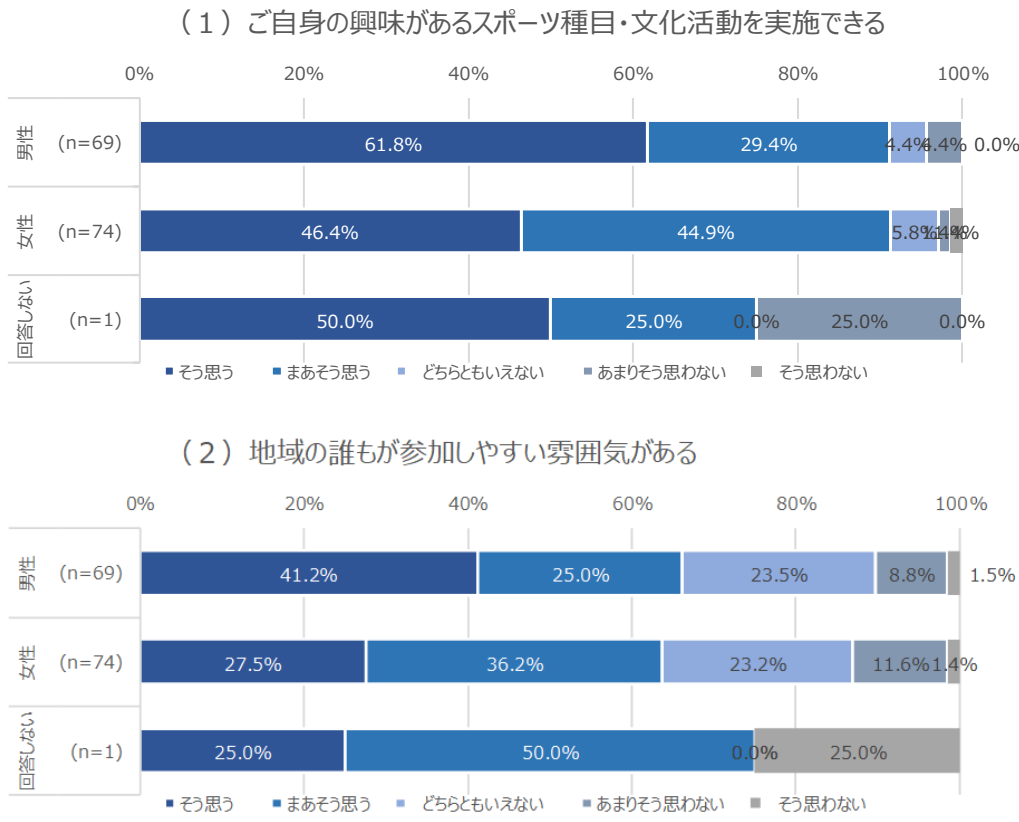
仮に「そう思う」＝5点、「まあそう思う」＝4点、「どちらともいえない」＝3点、「あまりそう思わない」＝2点、「そう思わない」＝1点とした場合、各項目の評価点の加重平均は以下の通り。

図表 35 各項目の評価点の加重平均

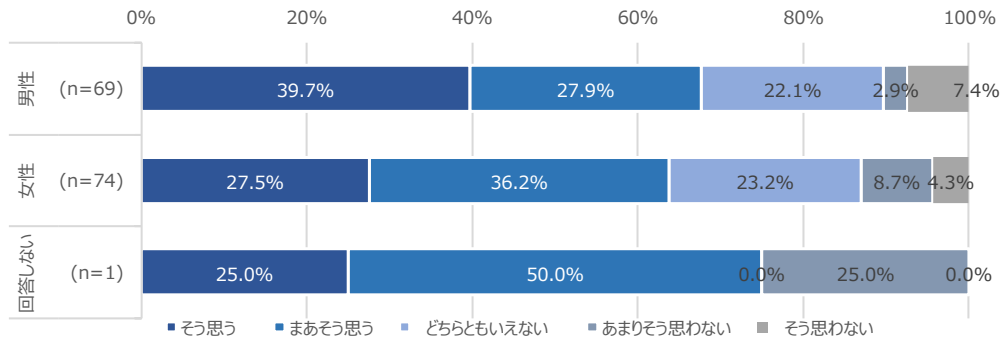
(1) ご自身の興味があるスポーツ種目・文化活動を実施できる	4.43
(2) 地域の誰もが参加しやすい雰囲気がある	4.11
(3) 活動を通じて世代間・地域間の新たな交流が生まれている	4.13
(4) 会費や受講料の金額は適切である	4.43
(5) 活動の曜日・時間帯は適切である	4.40
(1) ご自身の興味があるスポーツ種目・文化活動を実施できる	4.43

男女別にみると、総じて男性の方が女性よりもクラブの活動に対する評価が高くなる傾向にあった。

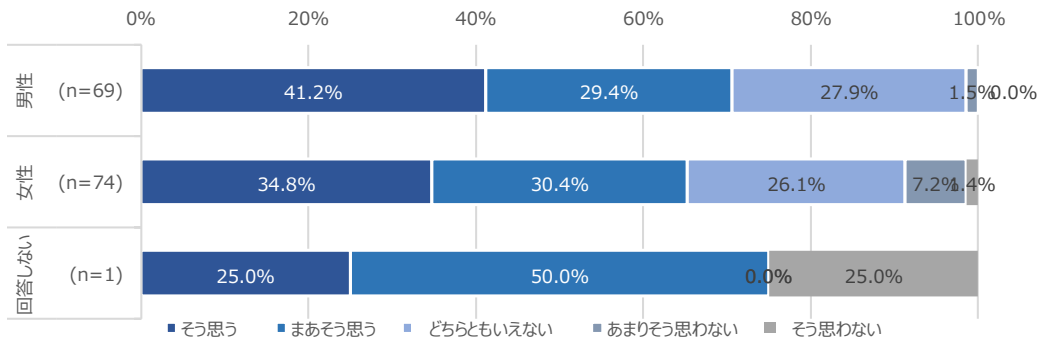
図表 36 3-3 あなたが「チャレンジゆう Achi」の活動に参加した際の感想（×性別）



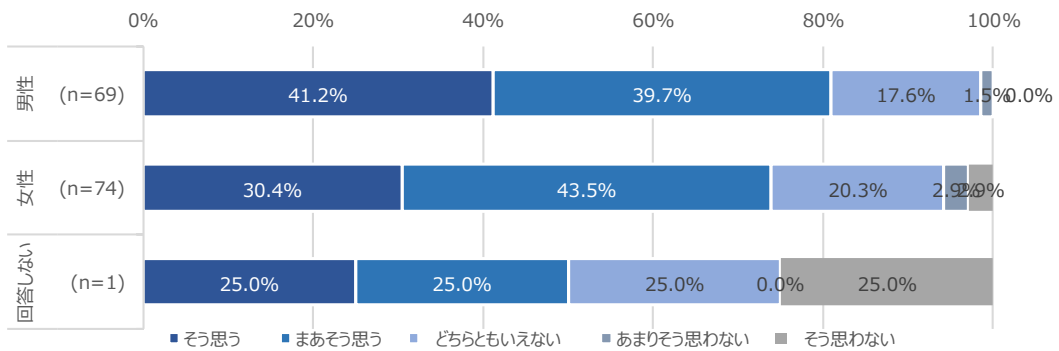
(3) 活動を通じて世代間・地域間の新たな交流が生まれている



(4) 会費や受講料の金額は適切である



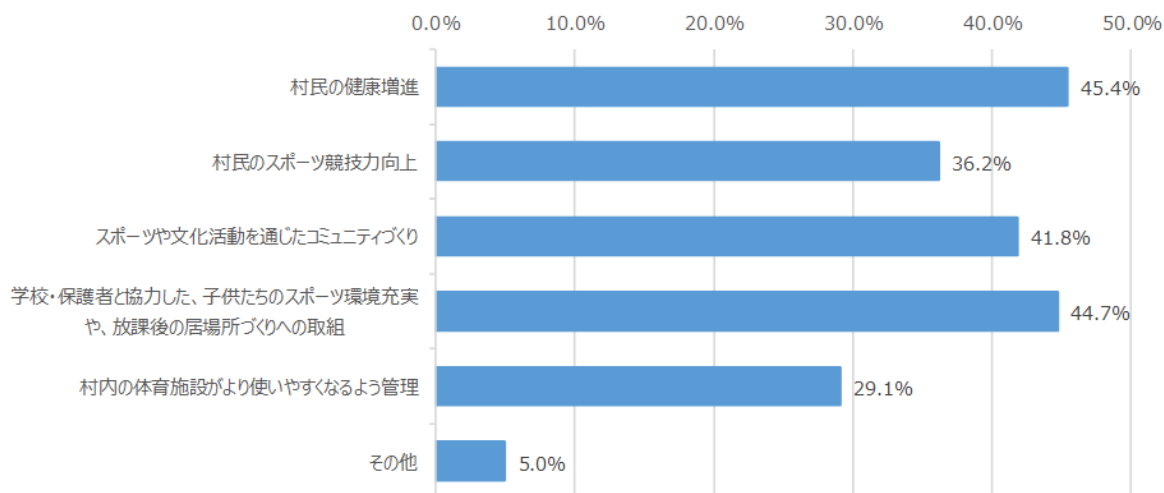
(5) 活動の曜日・時間帯は適切である



今後チャレンジゆう Achi に期待する役割を尋ねたところ、「村民の健康増進」「スポーツや文化活動を通じたコミュニティづくり」「学校・保護者と協力した、子供たちのスポーツ環境充実や、放課後の居場所づくりへの取組」が多く選択された。

クラブの活動目的にもある通り、運動・スポーツ活動にとどまらず、幅広く地域づくりに貢献することが期待されていると考えられる。

図表 37 3-4 今後「チャレンジゆう Achi」に期待する役割



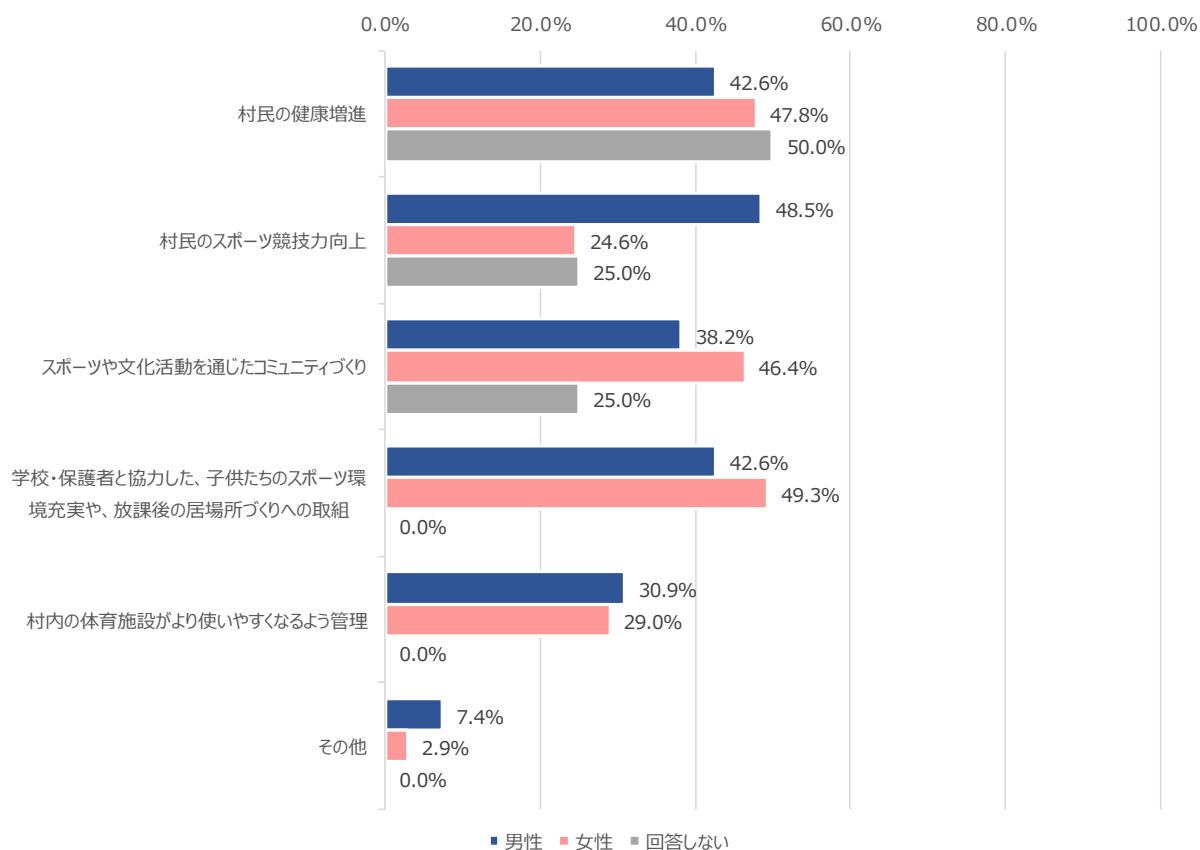
全体(n=141)

	N	%
村民の健康増進	64	45.4%
村民のスポーツ競技力向上	51	36.2%
スポーツや文化活動を通じたコミュニティづくり	59	41.8%
学校・保護者と協力した、子供たちのスポーツ環境充実や、放課後の居場所づくりへの取組	63	44.7%
村内の体育施設がより使いやすくなるよう管理	41	29.1%
その他	7	5.0%

その他	
記入なし	4
公共施設を増やす	1
施設の充実・幅広いスポーツを楽しめる環境作り	1
中学校部活動の代わりにするスポーツクラブ化	1

男女別にみると、「村民のスポーツ競技力向上」は男性が多く選択する傾向にある。「村民の健康増進」「スポーツや文化活動を通じたコミュニティづくり」「学校・保護者と協力した、子供たちのスポーツ環境充実や、放課後の居場所づくりへの取組」については、女性の方が多く選択する傾向にあった。

図表 38 3-4 今後「チャレンジゆう Achi」に期待する役割（×性別）

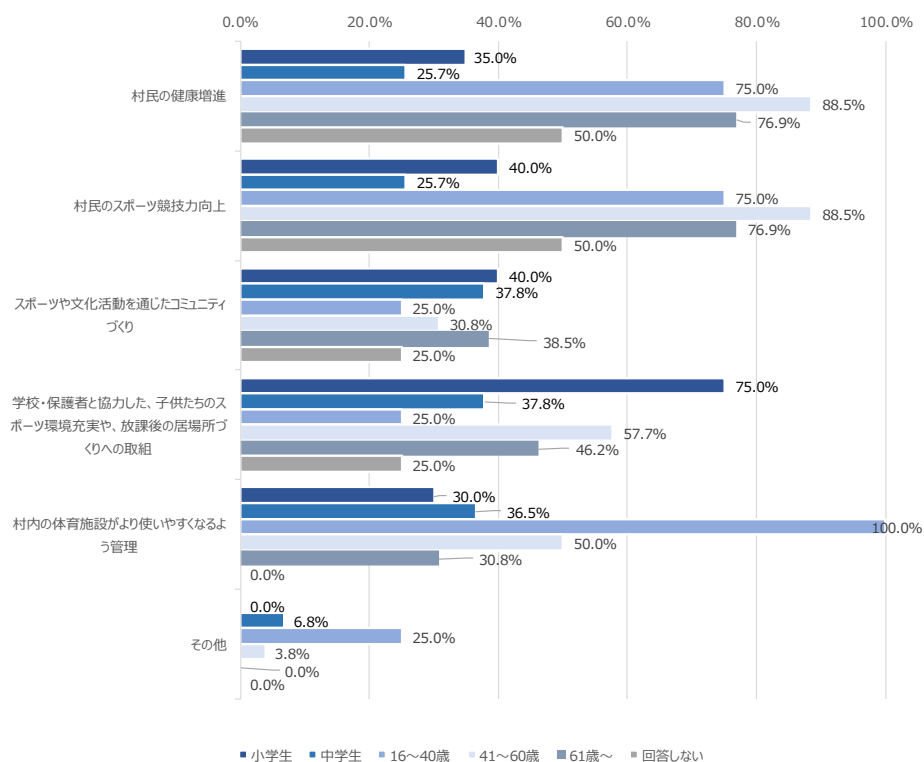


全体(n=141)

N 表	男性	女性	回答しない	合計
村民の健康増進	29	33	2	64
村民のスポーツ競技力向上	33	17	1	51
スポーツや文化活動を通じたコミュニティづくり	26	32	1	59
学校・保護者と協力した、子供たちのスポーツ環境充実や、放課後の居場所づくりへの取組	29	34	0	63
村内の体育施設がより使いやすくなるよう管理	21	20	0	41
その他	5	2	0	7

年代別にみると、「村民のスポーツ競技力向上」「村内の体育施設がより使いやすくなるよう管理」は成人が選択する割合が高かった。「学校・保護者と協力した、子供たちのスポーツ環境充実や、放課後の居場所づくりへの取組」は、小中学生や子育て世代の選択する割合が高かった。

図表 39 3-4 今後「チャレンジゆう Achi」に期待する役割（×年代別）

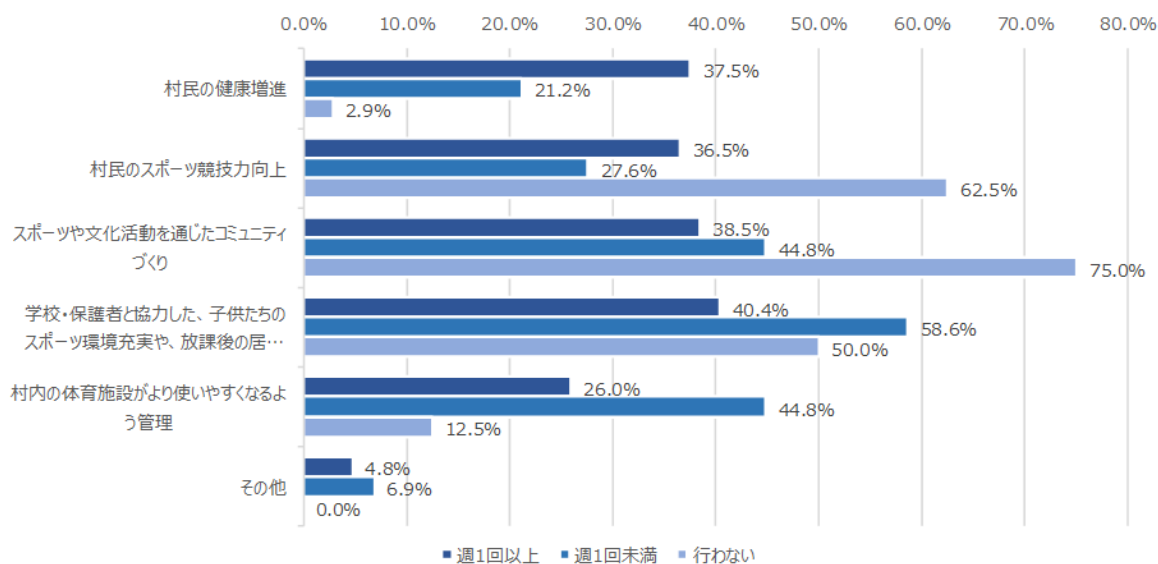


全体(n=141)

N 表	小学生	中学生	16~40歳	41~60歳	61歳~	回答しない	合計
村民の健康増進	7	19	3	23	10	2	65
村民のスポーツ競技力向上	8	19	3	23	10	2	65
スポーツや文化活動を通じたコミュニティづくり	8	28	1	8	5	1	51
学校・保護者と協力した、子供たちのスポーツ環境充実や、放課後の居場所づくりへの取組	15	28	1	15	6	1	66
村内の体育施設がより使いやすくなるよう管理	6	27	4	13	4	0	54
その他	0	5	1	1	0	0	7
合計	37	107	10	60	25	4	243

運動頻度別にみると、「村民のスポーツ競技力向上」「スポーツや文化活動を通じたコミュニティづくり」は運動頻度の低い人が選択する割合が高かった。「村民の健康増進」は運動頻度の高い人が選択する割合が高かった。

図表 40 3-4 今後「チャレンジゆう Achi」に期待する役割×運動頻度



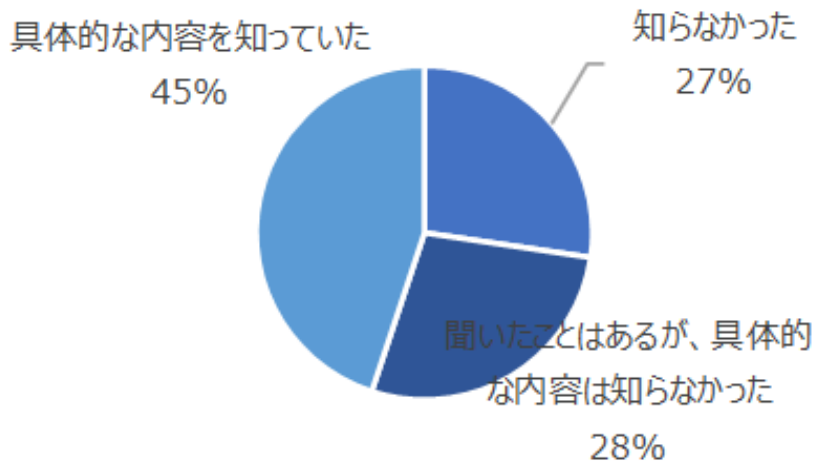
全体(n=141)

N 表	週 1 回以上	週 1 回未満	行わない	合計
村民の健康増進	39	22	3	64
村民のスポーツ競技力向上	38	8	5	51
スポーツや文化活動を通じたコミュニティづくり	40	13	6	59
学校・保護者と協力した、子供たちのスポーツ環境充実や、放課後の居場所づくりへの取組	42	17	4	63
村内の体育施設がより使いやすくなるよう管理	27	13	1	41
その他	5	2	0	7

(エ) 「阿智中クラブ」について

阿智中クラブの認知度を訊ねたところ、回答者の約7割が何らかの形で知っていると回答した。

図表 41 4-1 「阿智中クラブ」の認知度

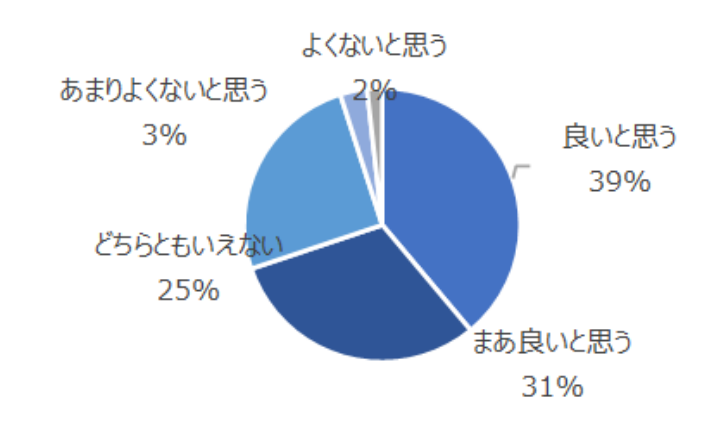


全体 (n=285)

	N	%
知らなかった	78	27.4%
聞いたことはあるが、具体的な内容は知らなかった	79	27.7%
具体的な内容を知っていた	128	44.9%
合計	285	100.0%

活動に対する印象を訊ねたところ、約7割が何らかの形でよい印象を持っていると回答した。他方で、現在の形での活動初年度であることもあり、回答者の約4分の1が評価を保留した。

図表 42 4-1 「阿智中クラブ」の活動に対する印象

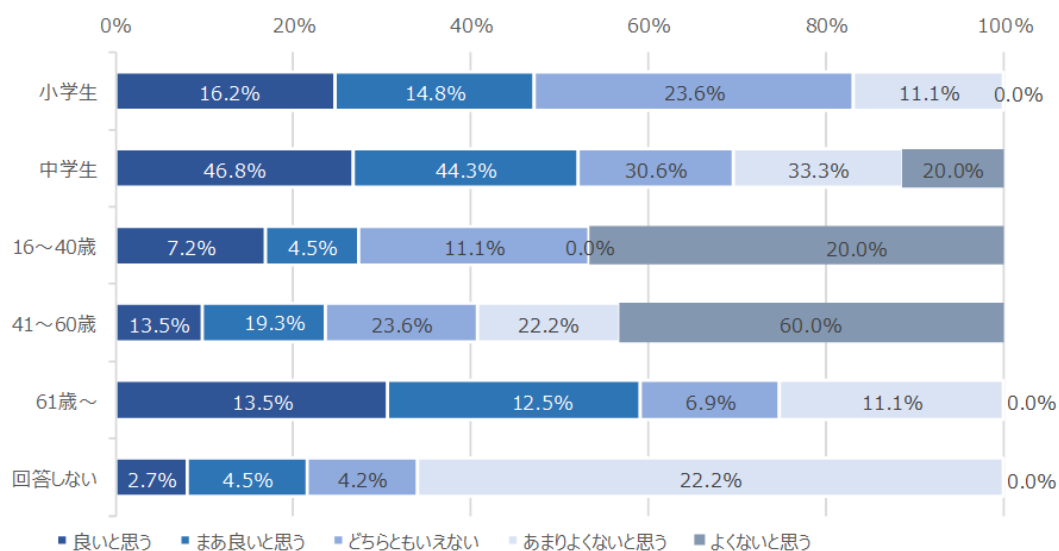


全体 (n=285)		
	N	%
良いと思う	111	38.9%
まあ良いと思う	88	30.9%
どちらともいえない	72	25.3%
あまりよくないと思う	9	3.2%
よくないと思う	5	1.8%
合計	285	100.0%

年代別にみると、子育て世代を含む16～60歳においてやや評価が低くなる傾向にあった。

「阿智中クラブ」が本年度からチャレンジゆう Achi の一講座として開講されるようになり、受益者負担の観点から、保護者は年会費や指導者への謝金を支払うこととなった。また、後述する通り、保護者は「世話役」として講座運営に主体的にかかわることとなっている。今後、保護者等の負担が課題にならないよう、配慮しながら活動していく必要があると考えられる。

図表 43 4-2 「阿智中クラブ」の活動に対する印象（×年代別）



全体(n=285)

N 表	小学生	中学生	16～40歳	41～60歳	61歳～	回答しない	合計
良いと思う	18	52	8	15	15	3	111
まあ良いと思う	13	39	4	17	11	4	88
どちらともいえない	17	22	8	17	5	3	72
あまりよくないと思う	1	3	0	2	1	2	9
よくないと思う	0	1	1	3	0	0	5
合計	49	117	21	54	32	12	285

③ 考察

(ア) 回答者の基本属性、運動実施状況について

本調査によれば、阿智村で週 1 回以上スポーツを実施する人の割合は 62.5%で、全国の成人の週 1 日以上スポーツ実施率 53.6%（令和元年度「スポーツの実施状況等に関する世論調査」による）より高い。ただしこれは体育の授業や運動部活動を行っている小中学生が結果を引き上げているものである。その他の年代において週 1 回以上の頻度で運動している人の割合は 1~2 割程度にとどまっており、成人については運動不足の傾向があると言える。

現在の運動頻度が低い人の多くは今後運動頻度を「増やしたい」と回答しているため、将来的に村民の運動・スポーツ実施を促していく余地は十分にあると考えられる。今後どのような運動・スポーツに取り組んでいきたいかは、年代／性別／現在運動・スポーツを行っているかどうかにより、大きく異なっている。

今後に向けて、特に成人の運動不足を解消していく上で、チャレンジゆう Achi の活動が果たす役割は非常に大きいと考える。村の高齢化等の進展を踏まえても、運動・スポーツにより村民の健康増進等に取り組むことは非常に重要である。

「現在運動していないが、今後は取り組んでいきたい」と考えている人は一定数存在すると推測されるため、今後は特にこうした層にアプローチしていくことが考えられる。クラブの教室プログラムの構成や、広報等を検討するにあたっては、下記のような運動・スポーツに対する趣向の違いを踏まえることが有効である。

基礎的な体力づくり：女性、成人、現在あまり運動していない人
競技スポーツ（球技等）：男性、小中学生、運動習慣がある人
ダンス：女性、小中学生
バドミントンやトレーニング：比較的幅広く支持を得ている

(イ) 阿智中体育館の利用について

現在利用している村内体育施設としては、阿智中体育館を挙げる人が多かった（小中学生や、現在すでにチャレンジゆう Achi の活動に参加している人が主たる利用者であるが、比較的幅広く利用されている）。次いで阿智中グラウンド、運動公園わい・Wai、自宅、「ない」が多かった。

阿智中体育館の管理に対する評価はおおむね高く、特に「希望通りの時間に利用できていること」「設備・備品の管理が行き届いていること」への評価が高かった。場所やスペースが余っていると感じる人はあまりいなかった。

阿智中体育館を利用しない理由については、「特に理由はない」を除けば、「村民に開放されているのを知らなかった」が最多であり、特に現在チャレンジゆう Achi の活動に参加していない人がこの理由を選択することが多かった。

阿智中体育館は、村内でも最も多くの人に使われている体育施設であり、村民がスポーツをする上で最も身近な場所の一つといえる。他方で村民に開放されていることを知らなかった人も一定数おり、「知っていたら使っていた」可能性もあると考えられる。今後に向けては、阿智中体育館の利用方法や利用時のルールについて、更に周知を図っていく必要がある。

チャレンジゆう Achi による体育館の委託管理は、おおむね利用者に高く評価されている。後述する通り、チャレンジゆう Achi にはコミュニティづくりや、子どもたちの居場所づくりといった役割も大いに期待されている。今後委託管理業務のさらなる向上を図る点があるとするれば、阿智中体育館がますますコミュニティの中心となるような場所にできると良いのではないかと考えられる。

(ウ) チャレンジゆう Achi の活動について

本調査によればチャレンジゆう Achi の活動に参加したことがある人が約半数を占めており、チャレンジゆう Achi を知らない人は全体の1割未満であった。

チャレンジゆう Achi の活動に参加したことがない理由としては、「特に理由はない」を除けば「興味のある教室・イベントがなかった」「活動の日程・時間帯が合わなかった」が多かった。(いずれについても女性の方がやや選択する割合が高い。)

チャレンジゆう Achi の活動に参加している人の、クラブの活動に対する評価は概して高いが、「地域の誰もが参加しやすい雰囲気づくり」や多世代での交流の促進については、若干ではあるがさらなる向上の余地がある状況である。また、全体として、男性の方がチャレンジゆう Achi の活動に対する評価が高かった。

今後チャレンジゆう Achi に求める役割として最も多く選択されたのは「村民の健康増進」であったが、「スポーツや文化活動を通じたコミュニティづくり」を期待するとした回答者も同程度に多かった。

これまでのチャレンジゆう Achi の活動の積み重ねにより、既に村民の間にかなり活動が浸透していると考えられる。また、既にチャレンジゆう Achi に参加している人の、チャレンジゆう Achi の活動に対する評価は高い。

ただ、現行チャレンジゆう Achi の活動の時間帯・内容はやや男性向けになっている可能性がある。今後プログラムの見直しをする際には、女性のニーズにも考慮するとよいと考えられる。(女性が好ましいと考える運動・スポーツの種目については「1. 回答者の基本属性、運動実施状況について」で整理した通り)

クラブには今後「スポーツや文化活動を通じたコミュニティづくり」や子供たちの居場所づくりといった役割も求められている。「阿智中クラブ」の活動が軌道に乗ることで、クラブがますますこのような役割を果たすことができるようになると考えられる。

(エ) 「阿智中クラブ」について

回答者の半数近くが「阿智中クラブ」の活動を認知していた。また、回答者の7割近くが「阿智中クラブ」に好印象を持っている一方、始まったばかりの取組でもあり、回答者の4分の1は評価を保留している。

「阿智中クラブ」は中学生および保護者世代(41～60歳)の認知度が高かった。一方で16～60歳の世代の評価がやや低く、「阿智中クラブ」の運営に係る負担感等がある可能性もある。

チャレンジゆう Achi 自体の村内での認知度が高いため、「阿智中クラブ」の活動も比較的認知されているものと考えられる。また、始まったばかりの取組であるにもかかわらず、比較的高い評価を受けている。

今後「阿智中クラブ」の取組を継続していくにあたっては、阿智中の生徒の満足度を高めるだけでなく、保護者の負担感が課題にならないよう配慮する必要があると考えられる。

保護者の満足度を高める上では、「阿智中クラブ」が放課後の子供たちの居場所づくりに寄与する取組であると理解されることが重要であると考えられる。また、今年度開催した栄養講習会のような、保護者のニーズにこたえるイベントを行うことも有用であると推測される。

(3) 既存の取組の課題

全村意識調査の結果、チャレンジゆう Achi の活動は村民に浸透していること、クラブの主たる活動である①多様な文化・スポーツプログラムの実施、ならびに②阿智中学校体育館の委託管理業務はいずれも高く評価されていることが分かった。

他方で、クラブの会員の年齢層が小中学生および高齢者に集中している点は今後の課題であると考えられる。今年から開始された「阿智中クラブ」の取組は、子どもたちが地域スポーツに触れるきっかけの一つになることが期待される。

個別の取組を見ると、文化・スポーツプログラムの実施については、個々のニーズ(特に女性など)を踏まえたさらなる講座ラインナップの磨き上げが必要である。委託管理については、利用方法や利用時のルールの周知が必要である。阿智中クラブについては、まだ評価を保留している回答者も一定数おり、保護者の負担感の軽減等にも留意しながら活動を推進する必要があると考えられる。

今後の活動全般の方向性としては、運動・スポーツの実施にとどまらず、「スポーツや文化活動を通じたコミュニティづくり」や子供たちの居場所づくりといった役割がクラブに期待されていることが分かった。クラブが地域づくりにどのように貢献していくか、という点は今後も常に念頭に置く必要がある。

2. 先行事例研究

(1) 先行事例調査の実施概要

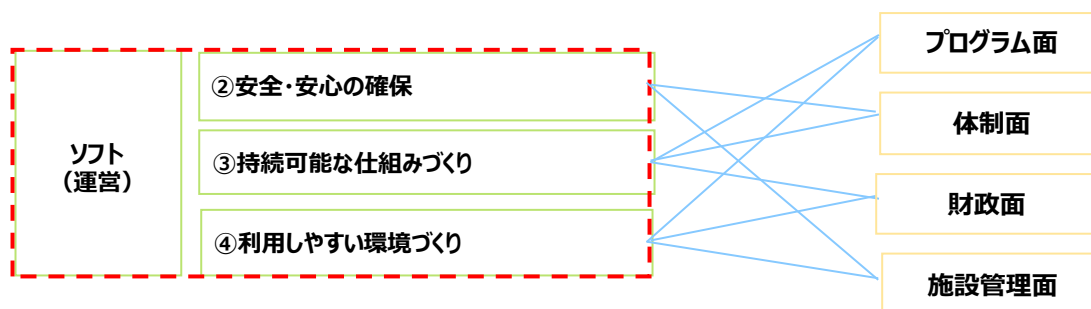
先行事例調査の対象先は次のとおり。対象先を検討するにあたっては、前章において整理した「本事業において注力する領域」に関する検討を進めるにあたり、参考となる取組を行っていることを選定の目安とした。今般の新型コロナウイルスの拡大の影響を踏まえ、実地でのヒアリング調査は最小限とし、実地ヒアリングが難しい団体については HP 等公表情報をベースにした文献調査を行った。

図表 44 先行事例調査対象

調査方法	事例番号	調査対象団体	所在地
文献調査	事例 1	NPO 法人高津総合型スポーツクラブ SELF	神奈川県川崎市
文献調査	事例 2	NPO 法人ウェブスポーツクラブ 21 西国分	福岡県久留米市
文献調査	事例 3	東海大学地域スポーツクラブ	神奈川県平塚市
文献調査	事例 4	特定非営利活動法人ソシオ成岩スポーツクラブ	愛知県半田市
文献調査	事例 5	一般社団法人飛騨シューレ	富山県飛騨市
文献調査	事例 6	徳島ヴォルティス株式会社	徳島県美馬市
文献調査	事例 7	一般社団法人ヴァンフォーレ甲府	山梨県甲府市
ヒアリング調査	事例 1	荃崎地区文化・スポーツクラブ (令和元年11月18日に対面ヒアリングを実施)	茨城県つくば市
ヒアリング調査	事例 2	杉並区教育委員会 (令和元年9月9日に対面ヒアリングを実施)	東京都杉並区

先行事例研究について、特に「活動・運営上の工夫」に関して、「プログラム面」「体制面」「財政面」「施設管理面」の4つの観点から特に参考になるポイントを列挙している。これら4つの観点と、前述した「本事業において注力する領域」との関連は以下の通り。

図表 45 「活動・運営上の工夫」と「本事業において注力する領域」の関係性の整理



また、対面ヒアリング時の質問項目は、次のとおりである。現地でヒアリングしきれなかった部分や不明点についてはデスクリサーチにて補足調査をしている。

図表 46 ヒアリング項目

- ・ 基本情報（設立年、設立経緯 等）
- ・ 活動内容
 - 提供されているプログラムの種類、数
 - 施設の管理、整備に関する業務の内容
- ・ 運営体制
 - 運営スタッフの人数、体制
 - 会員数
- ・ 利用対象層
 - 利用者の年齢、性別、職業
 - 会費の有無、使用者による会費の違い
- ・ 行政との関係について
 - 業務分担の考え方
 - 補助金の有無
- ・ 財務状況
- ・ 運営上の工夫
- ・ 事業の実施による効果(定量的であれば望ましい)
- ・ 今後の課題、展望について

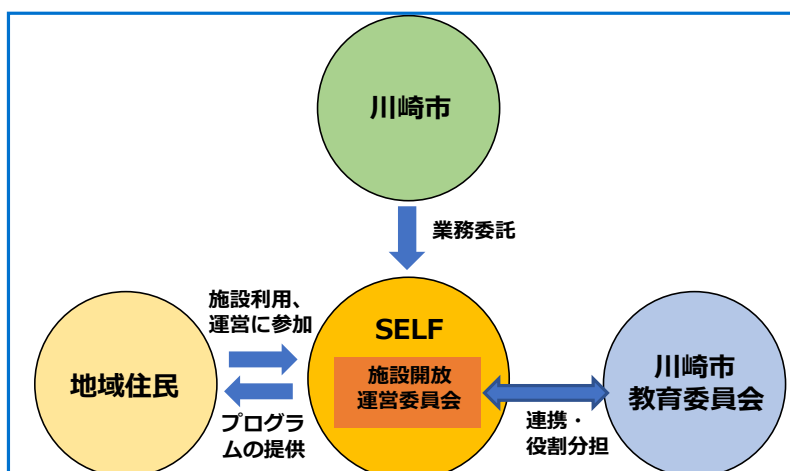
(2) 先行事例調査の実施結果

※①文献調査と②ヒアリング調査のそれぞれについて、結果を取りまとめて記載する。

①文献調査

【事例1】NPO法人高津総合型スポーツクラブ SELF

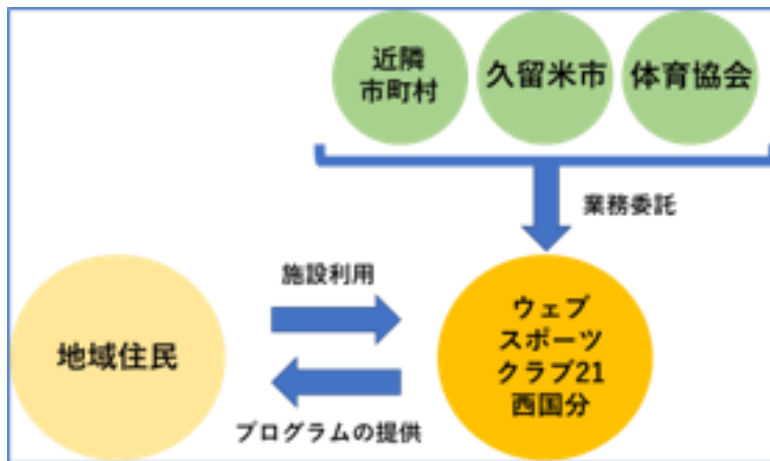
図表 47 取組の概要とポイント（高津総合型スポーツクラブ SELF）



取組概要	取組体制	<p>【設立年度】 2004 年</p> <p>【スタッフ数】 理事 2 名、その他ボランティア等により構成</p> <p>【会員数】 約 1300 名 (H28 年時点)</p> <p>【運営会費】</p> <p>一般会員 1,200 円/月、18 歳以下、シニア・障がい者 600 円/月</p> <p>【利用対象】 原則として、学区内の未就学児からお年寄り。</p>
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・40 種類以上の運動プログラムを定期的で開催 (Sports) するとともに、イベントを自主企画し (Enjoy)、地域のつながりを大切に育み (Life)、企業・他団体との協働を通して社会課題の解決を図る (Friendly) ことを目指す。 ・学校施設を活用した運動教室の開催及び予約調整業務、学校の用務員及び夜間警備の代替業務、運動教室の開催、施設管理業務を中心として活動している。
活動・運営上の工夫	プログラム面	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が下校した夜間 (18 時～21 時) や休日の学校施設を利用し活動する都市型スポーツクラブとして、地域住民のスポーツ・文化活動、健康、コミュニケーションの促進を図るプログラムを提供。
	体制面	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の学校施設の利用、会員がボランティアで講師をするなど、地域の住民が自主的に運営しており、経費をかけずに安価な利用料で運営。
	財政面	<ul style="list-style-type: none"> ・体育館利用は受益者負担の観点から光熱費等として利用料金を徴収している。夜間グラウンドを使用する場合は照明用のコインを購入する。
	施設管理面	<ul style="list-style-type: none"> ・川崎市より市立学校 4 校の学校施設有効活用事業を受託。学校開放の受付・調整は SELF の組織する「施設開放運営委員会」で行い、利用団体の登録業務や開放時の管理運営責任は川崎市教育委員会が担当している。 ・校務員業務及び夜間警備業務も併せて受託し、学校とクラブの信頼関係の構築に寄与。
取組効果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域団体が学校開放運営と校務員業務を実施することで、安全確保、施設・利用者管理により目が行き届くようになった。 ・学校施設を使ったスポーツ活動を通じて新たな交友関係が広がり、学校に行きづらかった子供が学校に居場所を持てるようになった。 	
今後の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・団体利用だと利用者が固定化されており、また個人また利用できないかと問合せも多いため、曜日ごとに実施する種目を決める等して個人開放できるようにしたいと考えている。 ・毎日プログラムを実施していくうえで、管理人を置ける管理経費程度は賄えるような受益者負担が必要となってくる。 	

【事例2】NPO 法人ウェブスポーツクラブ 21 西国分

図表 48 取組の概要とポイント（ウェブスポーツクラブ 21 西国分）



取組概要	取組体制	<p>【設立年度】2002年4月3日</p> <p>【スタッフ数】役員9名 指導者40名（有資格者：15 無資格者：25）</p> <p>【会員数】約455名</p> <p>【運営会費】</p> <p>クラブ会員：2,400円/年 200円/月</p> <p>一般会員：3,000円/年 250円/月</p> <p>【利用対象】スポーツクラブ会員、西国分校区内のスポーツ団体等。</p>
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 平成14年に地域住民の生涯スポーツや文化活動及び健康増進を図る事業を行う目的で設立された。 主な事業としては、学校施設でのスポーツ教室、市所有のクラブハウス運営（スポーツ振興くじを活用）、市内2カ所の学校開放事業受託、小学校の体育支援や高齢者向け健康指導などを実施。
活動・運営上の工夫	体制面	<ul style="list-style-type: none"> 毎月第1月曜日に学校開放の管理運営についての調整会議を開き、学校の教頭・教務や、各クラブの指導者、まちづくり委員会の代表者らと、トラブルや修繕カ所等情報共有し、対策を即決できるようにしている。
	財政面	<ul style="list-style-type: none"> 文部科学省「地域スポーツとトップスポーツの好循環推進プロジェクト業」の一環として実施した、小学校の体育支援や高齢者向け健康指導の事業を近隣市町村から継続して受託しており、主要な収入源となっている。
	施設管理面	<ul style="list-style-type: none"> コイン投入式のナイター照明設備のある学校では、夜間照明を使用する際のコイン販売、及び回収業務を体育協会から委託されて行っている。委託料を受け取っており、コイン収入は体育協会が受け取る。修繕が必要な場合、体育協会と相談して対応している。

取組効果	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで先生一人で行っていた体育の授業にサポートを派遣することで授業が円滑に進み、子供たちの体育への興味・関心・意欲が高まり、難しいことへ挑戦したり、それが出来た達成感でスポーツの楽しさを感じてもらえるようになった。
今後の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・新規の団体の利用も認めたいが、活動が途中で立ち消えになってしまう可能性も高く、継続的な活動になるようにどうサポートしていくかが課題である。

【事例3】東海大学地域スポーツクラブ

図表 49 取組の概要とポイント（東海大学地域スポーツクラブ）

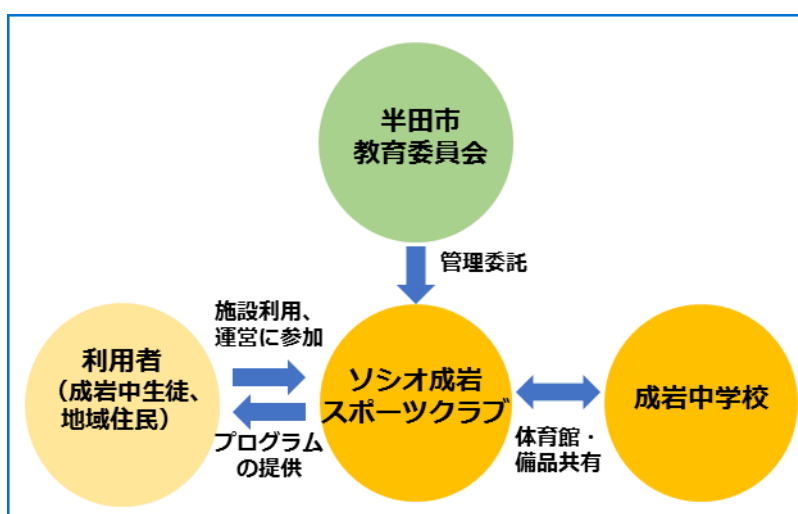


取組概要	取組体制	<p>【設立年度】 2014年</p> <p>【スタッフ数】不明</p> <p>【会員数】不明</p> <p>【運営会費】無料</p> <p>【利用対象】市内在住・在勤・在学の方（小学3年生以下は保護者同伴）</p>
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が気軽にスポーツを楽しむ機会の充実を図るため、東海大学の学生と平塚市の協働事業として設立。 ・個人利用者に向けた学校施設開放を企画・運営。当日登録で誰でも利用できる。ボッチャのコートや卓球台など用意しており、当日管理者の学生が指導やケガの際の応急処置などを行う。 ・神奈川県障害者スポーツ振興に向けての事業を受託し、パラスポーツ体験会を企画・運営。
活動・運営上の工夫	プログラム面	<ul style="list-style-type: none"> ・パラスポーツ体験会では、東海大学に在学のパラアスリートが参加し、専門の指導者による本格的なプログラムを提供した。 ・当日登録なので事前に登録しておく煩わしさがなく、また急遽行けなくなっても連絡などの必要もないので手軽に参加できる。
	施設管理面	<ul style="list-style-type: none"> ・学校施設の開放は事前に利用者登録をしたスポーツ団体しか使用できなかったが、団体に所属していない個人のスポーツ機会創出、また個人で運動できる場所を探している人のために、学校の体育館で月数回誰でも参加できる個人開放を行っている。

取組効果	<ul style="list-style-type: none"> ・もともと個人利用のニーズがあったため、アンケートの満足度も高く、小規模開催ながら毎年 400 人程度の参加がある。それまで個人利用は 0 人だったので、市民のスポーツを楽しむ機会の充実に寄与している。
今後の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ愛好者ではない市民をターゲットにしているが、体を動かしたい個人の参加が多く、個人でスポーツできる場へのニーズが高いことがわかる。アンケートから、実施する学校を増やしてほしい、毎日行ってほしいという意見があり、この活動が市内で拡大していくとよい。 ・本事業を恒常的に進めていくには運営管理者及びその謝金の調達が必要である。これらをどうすすめていくのか。参加費無料なので、受益者負担という考え方を浸透させていくか。

【事例 4】 特定非営利活動法人ソシオ成岩スポーツクラブ

図表 50 取組の概要とポイント（ソシオ成岩スポーツクラブ）



取組概要	取組体制	<p>【設立年度】 1996 年 3 月</p> <p>【スタッフ数】 理事長、職員 5 名、パート 10 名、その他ボランティア等により構成</p> <p>【会員数】 2,877 名 (R2 年 9 月時点)</p> <p>【運営会費】</p> <p>月会費：個人会員 1,500 円、家族会員 2,000 円</p> <p>親子会員 1,500 円</p> <p>入会金：3,000 円</p> <p>【利用対象】 原則として、学区内の未就学児からお年寄り。</p>
------	------	---

	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・未就学児及び小中学生を対象としたスポーツスクールと、小学生を対象とした平日放課後のプレイスクール、多世代を対象としたスポーツサークルを年間通して運営し、生涯スポーツの環境づくりや文化活動の推進を図る。 ・地域住民の健康づくり、子どもを対象とした自然体験プログラム、及びスポーツ・文化振興のための各種プログラム、イベントを実施。 ・ジュニアスリートの育成やリーグ戦なども定期的に行っている。
活動・運営上の工夫	プログラム面	<ul style="list-style-type: none"> ・半田市からの委託を受け、親子を対象としたスポーツ教室や経験豊富なプロアスリートから、より専門的な指導を受ける事が出来る「ウィングススポーツ」を実施している。 ・小学生を対象に子育て支援の一貫として、子ども達の勉強に取り組む姿勢の構築を目的とした学習支援やスポーツ・レクリエーションを通じた異世代交流の機会を提供している。
	体制面	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後スクールのバス送迎時には、地域の子供達を犯罪や交通事故から守るため、近隣小学校の下校時刻の通学路を巡回し、安心・安全に下校できるよう見守り活動に取り組んでいる。 ・「スポーツ基本計画」に記載のある「総合型地域スポーツクラブの望ましいあり方」について研究開発し、関係機関と連携して全国に情報発信をしている。
	施設管理面	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校の体育館を共有のクラブハウスとして活用し、メインアリーナ、サブアリーナ、スカイアリーナ、スタジオ、カフェテリア、更衣室等を設置し、一般の方でも一日利用チケット購入で自由に利用可能。
取組効果		<ul style="list-style-type: none"> ・学校の部活動の受け皿として機能するだけでなく、子ども達の放課後の居場所として活用が広がっており、学校・地域共同で利用できる施設として、地域のコミュニティの拠点となっている。
今後の展開		<ul style="list-style-type: none"> ・中学校の部活動をより外部と連携して推進し、学校の部活動から「街の部活動」に転換することを目指す。 ・地域・学校・行政が連携し、多世代にわたる住民スポーツサービスの充実を図る。

【事例5】一般社団法人飛驒シューレ

図表 51 取組の概要とポイント（一般社団法人飛驒シューレ）

取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ機会提供と学童教育を組み合わせた活動である「インクルーシヴ・スポーツ学童」を推進している。 ・対象は、幼児から小学3年生まで。特別支援学校の生徒を含む。 ・ペアレンティング（保護者教育）、グッドコーチングワークショップ（コーチ教育）なども併せて開催し、子どものスポーツ実施を支える大人側の意識改革も試みる。
活動・運営上の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に活動場所を分散させ、メンバーの広域化を図っている。 ・飛驒地区の他のスポーツ団体との連携も推進。 ・障害の有無にかかわらず、同じ種目に取り組むプログラムを提供。 ・高等部生徒やOB・OGメンバーがキッズクラブのリーダーとして参加し、運営補助を担っている。
取組効果	<ul style="list-style-type: none"> ・障害の有無に関係なくスポーツを通じて交流を図ることを通じ、子供たちが相手への思いやりを持って活動するようになる。 ・特別支援学校の生徒やOB・OGメンバーが、イベント時のリーダーやサポーター的な役割を担うことを通じて、やりがいや生きがいを感じる場を創出している。
今後の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・会員数の拡大・広域化を目指す。 ・OB・OGに対して、イベント時のリーダーやサポーターを担うことを通じて教育の場を提供することを目指す。 ・子供の活動を支える親や指導者の意識改革を図る。

出所：飛驒シューレ HP より

【事例6】徳島ヴォルティス

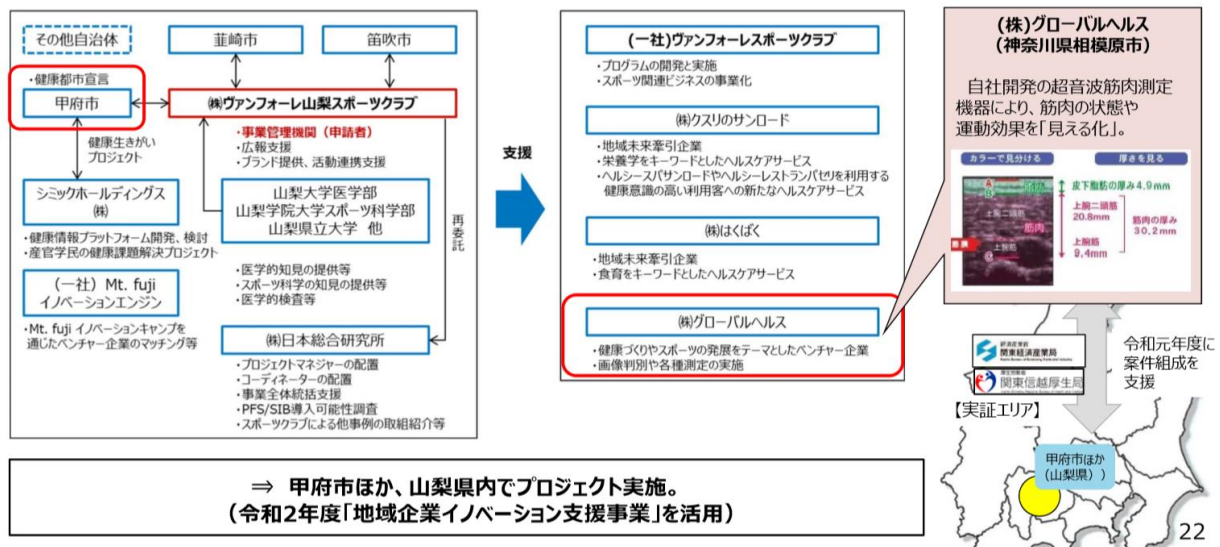
図表 52 取組の概要とポイント（徳島ヴォルティス）



取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・市民対象に健康セミナー、健康度測定会、運動習慣へのインセンティブ付与の機会（美馬市が実施する健康、スポーツに関するイベントへの参加、大塚製薬指定薬局での健康相談等）を提供。 ・運動プログラムの提供も併せて提供。データの見える化を推進。
活動・運営上の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・8週間の運動プログラムに加え、栄養補給（大塚製薬「ボディメンテゼリー」の摂取）、ICTを活用した日々の活動データ等の「見える化」を併せて行うことにより効果を高める。 ・上記プログラム卒業後、OB・OGとして友人・家族に対して健康情報を発信してもらうため、月に1回OB・OG会を開催している。
取組効果	<ul style="list-style-type: none"> ・一般世代の運動習慣の改善が見られた。（「1週間の運動時間：30分以下」と答えた者が減少。） ・高齢者（65歳以上）のサービス対象者3名について、事前の基本チェックリストで「問題あり」の項目が、プログラム参加後には解消した。
今後の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・運動習慣の定着を図ることを通じて美馬市民の健康の維持・増進に寄与し、将来的な医療費・介護給付費の削減につなげる。 ・Jリーグ等との連携による他地域・他自治体へ拡大する。 ・ICT技術も活用しつつ、スポーツの健康への貢献を可視化する。

【事例7】一般社団法人ヴァンフォーレ甲府

図表 53 取組の概要とポイント（一般社団法人ヴァンフォーレ甲府）

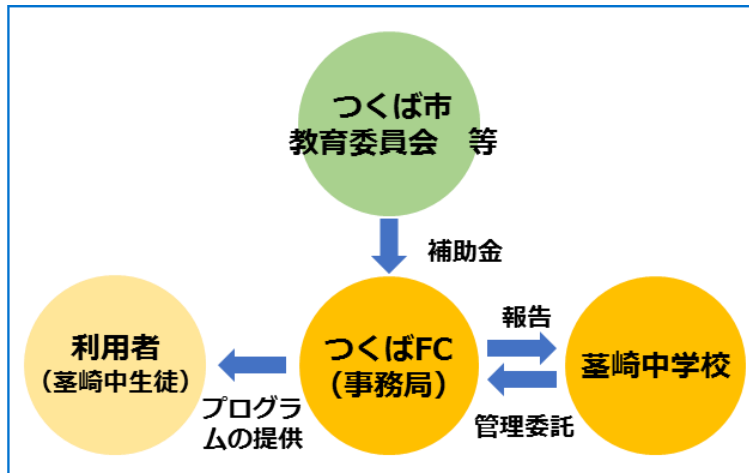


取組概要	<ul style="list-style-type: none"> 山梨県内唯一のプロスポーツクラブである（株）ヴァンフォーレ山梨スポーツクラブをハブとして、県民の運動機能の改善や QOL 向上に資する事業を実施する企業が参画可能なプラットフォームを構築し、医療費削減等の社会課題解決と当該企業群の収益向上を図る取組。 ヘルスケアプログラムを高齢者、中高生に実施し、握力、体重、筋肉量、姿勢等の指標を計測。各回 30 名程度の参加者あり。 試合会場でも指標測定を行い、健康意識の改革を促す取り組みも実施。
活動・運営上の工夫	<ul style="list-style-type: none"> 地域に寄り添ったチームのブランド力を活かし、ヘルスケアデータを活用した地域活動や産業創出のプラットフォームを構築し、多様な地域企業を巻き込んだ活動を展開している。 トレーニングプログラムを展開することに加え、指標等を用いた「見える化」に取り組んでいる。これにより、参加者のモチベーションの向上・維持に努めている。 サッカーの試合会場であるスタジアムで健康指標の測定会を開催することを通じて、健康意識の向上を図るとともに、スタジアムの稼働率の向上につなげる。
取組効果	<ul style="list-style-type: none"> 地域企業と一体となった取り組みを通じ、ビジネスチャンスが拡大するとともに新たなファン層の拡大を目指す。 「指標の見える化」による運動モチベーションの維持・向上につなげる。
今後の展開	<ul style="list-style-type: none"> 得られたデータを用いつつ、医療費の削減や健康増進等の社会課題への解決を目指す。 トレーニングプログラム参加者のデータを取得し、健康情報プラットフォームに蓄積し、将来的にはデータをビジネスへの活用を図る。

②ヒアリング調査

【事例1】 荃崎地区文化・スポーツクラブ

図表 54 取組の概要とポイント（荃崎地区文化・スポーツクラブ）



取組概要	取組体制	<p>【設立年度】 2018年11月</p> <p>【スタッフ数】 副理事（学校長）1名、理事（教頭）1名、事務局補佐（教諭）1名 事務局2名（つくばFCに業務委託）【会員数】 約40名（R1年4月時点）</p> <p>【運営会費】 月会費：1,500円（3カ月ごとに集金） 受講料：プロの指導者は2時間で6,600円、 見守り活動の場合は1回1,000円</p> <p>【利用対象】 基本的には中学生（小学生も可）</p>
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学校と地域が協働・融合した形での地域における文化・スポーツ活動の環境整備を進めることを目的に設立した「荃崎地区文化・スポーツクラブ（KCSC）」は、学校長の指揮のもと、小さな学校でも出来る新しい活動を目指し実践している。 ・「つくばFC」に事務局業務を委託。学校職員は基本的には運営に介入せず、外部講師を招くことで、生徒は専門的な指導を受けることが可能である。 <p>※「つくばFC」：トップチームは関東サッカーリーグ1部所属。Jリーグへの参加を目指すことに加え、地域活動にも盛んに取り組んでいるサッカークラブ。</p>

活動・運営上の工夫	プログラム面	<ul style="list-style-type: none"> ・6種目でスタートし、部活動とは別に月3回の開催。 ・指導者は現役のプロ選手などの専門人材と、適任者が見つかるまでの見守りとしてボランティア的に係る指導者からなる。プログラムは指導者が決め、初心者でも少人数でも対応可能となっている。
	体制面	<ul style="list-style-type: none"> ・立ち上げ理由は、①部活動の人数が少なく、生徒のニーズに合わせた多様な種目の提供が困難②教員の指導者の不足③教員の働き方改革 ・地域との連携という観点から、PTA 会長を理事長とし、クラブ―地域―学校で連携した運営を行っている。
	財政面	<ul style="list-style-type: none"> ・つくば市の「アイラブつくばまちづくり補助事業補助金」や県教委及びスポーツ庁の補助金を活用。財務状況は厳しく、受益者負担では賄えないことから、クラウドファンディングも導入。
	施設管理面	<ul style="list-style-type: none"> ・学校職員は KCSC には基本的に関わらない。平日の活動は教員が部屋の鍵の管理等を行うが、休日活動は学校から指導者に体育館・部室等の鍵を渡している。体育館棟が独立していることもあり、セキュリティ面での問題はない。活動管理は、事務局作成の管理名簿に指導者が活動内容を記入し、事務局が確認・謝金の支払いを行っている。
取組効果	<ul style="list-style-type: none"> ・子供たちの満足度は高く、特に技能の向上について評価が高い。 ・市大会で入賞するなどの成果競技力の向上においても一定の成果が出ている。 	
今後の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・学区内の小学校に声かけを行い、規模の拡大を目指す。 ・近隣中学校との共同運営を通じて事務局・指導者・施設の共有を目指す。 ・市内の同接立校同士での練習試合の実施や、部活動ではなく KCSC としての大会参加を目指す。 	

【事例2】 杉並区教育委員会

図表 55 取組の概要とポイント（杉並区教育委員会）

取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の皆さんが使用する学校施設。 ・学校開放事業では、体育館等の体育施設を中心に地域の団体への開放を行っている。特に中学校の施設予約は、利用団体の代表者で組織した利用者団体協議会が自主的に実施。 ・総合的な学習の時間をはじめ、ゲストティチャーやサポーターを登用する学校の応援団であり、初代和田中民間人校長藤原先生発案の学校を応援する地域住民を組織化した「地域支援本部」を発足、区内公立小中学校全校において「学校支援本部」という名称で全校設置。
------	--

【中学校の部活 3 つの支援事業】

- ・①外部指導員事業：部活動の指導補助として、地域のボランティアや自校の卒業生（大学生）に支援をいただく事業。顧問の補佐であるため、顧問の立ち合いが必要。
- ・②部活動活性化事業：2代目和田中民間人校長代田先生（現長野県飯田市教育長）が実施した「部活イノベーション」を参考に、学校の求めに応じた運動部における専門コーチによる部活の実施。人材派遣会社やテニスクラブ、NPO と委託契約し、所属のコーチによる指導中は、教員の立ち合いを不要とすることで、指導困難な教員の負担を軽減している。
- ・③部活動指導員事業 顧問になれて、引率もできる会計年度任用職員を校長の部下として任用。配置校では、当該部活に教員が関わらないため、教員の負担軽減に繋がる。

【教員の 3 つのタイプ】

- ・A タイプ：部活大好きな教員が、従来通り部活動の顧問となり、単独で顧問業務を行う。
- ・C タイプ：任された部活の指導が困難な教員が、上記②の部活動活性化事業のコーチにより、指導部分を任せることができる支援事業。顧問や引率は教員が行う。委託料は時給 5,000 円で、教育委員会が 1 部活当たり 100 時間程度で契約。23 中学校の 50 運動部で活用。
- ・B タイプ：A と C の中間的教員には、ボランティアの外部指導員にサポートいただく従来型の部活支援事業。予算は外部指導員の交通費の費用弁償（1 日 2,200 円）として各校 360 回配当。

【富士見ヶ丘中学校の取り組み】

- ・学校支援本部では、教員からの依頼により上記①の外部指導員を探す役割や交通費の費用弁償の支払事務を担い、時には、卒業生（大学生）を探し、部活支援を行っている。
- ・上記②の部活動活性化事業では近隣のテニスクラブが受託業者となり、テニスクラブのコーチによる指導が行われている。また、ダーツボランティア部では、地元の NPO の皆さんにダーツを習い、更に、NPO が主催する全国障害者ダーツ大会にて、部員の中学生が大会ボランティアのスタッフを務めている。更に、体力に自信の無い生徒などを対象とした、上記②の部活動活性化事業受託企業のコーチが指導する取り組みに、生徒が希望する種目を数種類変えながら取り組む「ゆる部活」を創設し、公式試合が無くても楽しい部活に参加する生徒に対応している。
- ・また、陸上部においては、上記③の部活動指導員を導入し、自校の大先

	輩である同窓で陸連の役員という方が陸上部の部活動指導員となり、教員の負担軽減に取り組んでいる。																												
令和2年度 部活動活性化事業 委託先	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>企業・団体名</th> <th></th> <th>企業・団体名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>有限会社野田ライフサービス[善福寺公園テニスクラブ]</td> <td>7</td> <td>公営財団法人杉並区スポーツ振興財団</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>株式会社クニヒロ卓球</td> <td>8</td> <td>特定非営利活動法人サービスフロンティア</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>リーフラス株式会社</td> <td>9</td> <td>特定非営利活動法人プロックK</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>株式会社Sports & Works</td> <td>10</td> <td>株式会社ERUTLUC</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>スポーツデータバンクコーチングサービス株式会社</td> <td>11</td> <td>株式会社国際スポーツ医学研究所</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>有限会社武蔵野ローンテニスクラブ</td> <td>12</td> <td>合同会社 HY-PROJECT</td> </tr> </tbody> </table>		企業・団体名		企業・団体名	1	有限会社野田ライフサービス[善福寺公園テニスクラブ]	7	公営財団法人杉並区スポーツ振興財団	2	株式会社クニヒロ卓球	8	特定非営利活動法人サービスフロンティア	3	リーフラス株式会社	9	特定非営利活動法人プロックK	4	株式会社Sports & Works	10	株式会社ERUTLUC	5	スポーツデータバンクコーチングサービス株式会社	11	株式会社国際スポーツ医学研究所	6	有限会社武蔵野ローンテニスクラブ	12	合同会社 HY-PROJECT
	企業・団体名		企業・団体名																										
1	有限会社野田ライフサービス[善福寺公園テニスクラブ]	7	公営財団法人杉並区スポーツ振興財団																										
2	株式会社クニヒロ卓球	8	特定非営利活動法人サービスフロンティア																										
3	リーフラス株式会社	9	特定非営利活動法人プロックK																										
4	株式会社Sports & Works	10	株式会社ERUTLUC																										
5	スポーツデータバンクコーチングサービス株式会社	11	株式会社国際スポーツ医学研究所																										
6	有限会社武蔵野ローンテニスクラブ	12	合同会社 HY-PROJECT																										
取組効果	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校支援本部」の活用として、教育課程以外の取り組みに関しても、地域とのやり取りができる環境が創出し、学校に協力するゲストティーチャーやサポーター、部活支援者を地域人材から探すことができている。「部活動活性化事業」においても、近隣のスポーツ施設や地元のNPOが関わっていただくことで、地域連携となっている。 ・このように、富士見ヶ丘中学校では、校長の経営力が地域の力を集約し、大きな地域連携となり、充実した教育活動となっている。 																												
今後の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・学校施設を活用している団体構成員より将来の部活指導者人材の発掘や育成に期待する。 ・学校開放施設は、体育施設に限らず、特別教室等も貸出対象とし、多くの地域住民の生涯活動の場や地域の拠点をとなることに期待する。 ・校舎改築等の際は、各取り組みが実施しやすい環境整備に取り組む。 																												

(3) 考察

【観点1】安全・安心の確保について

「安全・安心の確保」については、次のような対応方策が考えられる。自治体や学校との役割分担を適切に行ったうえで運営・管理の体制を構築する観点は参考にするべきである。また、送迎時の見回り活動等、活動前後の移動時の事故・事件を未然に防ぐ取組も安全・安心の確保の観点では重要である。

図表 56 安全・安心の確保に関する方策

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校開放の管理運営に関する調整会議を定期的で開催し、トラブルや修繕箇所等の情報共有を行う。 ・ 意思決定に関わるメンバーを調整会議に含め、トラブル等への対策が即決できる体制を構築する。 ・ 送迎時等に近隣小学校の通学路を巡回し見守り活動に取り組む。 |
|--|

- ・ 自治体から学校施設の有効活用に係る事業を受託する等自治体と役割分担したうえで学校施設の管理を実施する。
- ・ 学校の用務員業務や警備業務を自治体から受託し、学校とクラブの信頼関係の構築に寄与する。
- ・ 休日・夜間も独立して活動する環境整備のため、活動場所とその他の学校施設を明確に分離し、管理区分の明確化やセキュリティの向上を図る。

【観点2】持続可能な仕組みづくりについて

「持続可能な仕組みづくり」については、次のような対応方策が挙げられた。大学生や競技経験者等の地域人材を積極的に巻き込み、専門的なプログラムの提供や運営スタッフの負担軽減を図ることは参考になる取組であると考え。また、提供するプログラム・種目に関して、部活動と総合型地域スポーツクラブが互いに補完し合い、利用者が多様な種目に触れられる機会を準備する観点も今後盛り込んでいくべきと考える。

図表 57 持続可能な仕組みづくりに関する方策

- ・ 校外指導員を導入しつつ部活動に関わる学校教員の負担を減らしつつ、生徒が運動に取り組める体制を構築する。(例：競技者もしくは競技経験者の大学生等の協力、競技経験者の地域人材の活用)
- ・ 学校部活動では提供が難しい種目を総合型地域スポーツクラブが提供し、生徒のニーズに合わせた多様な種目を提供できるようにする。
- ・ スポーツ・レクリエーションを通じた異世代交流の機会を提供する。障害の有無に関わらず運動に親しめるようなプログラムを提供する。
- ・ 学校(教員)・クラブのいずれかに負担が偏らないよう適切な役割分担を行う。(例：平日の活動場所の管理は教員が行い、利用料金の徴収や休日の活動はクラブに任せる 等)
- ・ クラブと地域の連携も体制づくりの観点に組み込む。(例：PTA もクラブの運営体制に含める。地域企業や地域のトップチームの巻き込みを図る。)
- ・ 参加者の運動意欲の向上のため、ICT 機器を活用しつつ、体力指標の見える化に取り組む。
- ・ ボランティアなど地域住民の自主的な運営体制への参加を促し、経費を抑え安価な利用料で運営をすることを心掛ける。
- ・ 夜間グラウンド利用する場合等追加の費用が掛かる場合には、一定程度受益者負担を求める。(例：夜間利用する場合には、夜間照明のコインの購入を求める。)
- ・ 国・自治体の補助金の活用、クラウドファンディングの導入も検討し多様な財源の確保を目指す。

【観点3】利用しやすい環境づくり

「利用しやすい環境づくり」については、次のような対応方策が挙げられた。事前登録を不要と

してチケット制を導入する等誰でも気軽に参加できる仕組みの導入が重要であるとともに、両親が不在で送迎が難しい場合でも、子供を預かり、学習支援と組み合わせつつスポーツ活動を提供するような「学童」的なサービスの導入も今後検討していきたい。

図表 58 利用しやすい環境づくりに関する方策

- ・ 当日手軽にプログラムに参加できる仕組みを構築する。(例：事前登録等を不要にし、当日利用チケットを購入してプログラムに参加できるようにする。)
- ・ 団体に所属していない個人も自由に参加できるようにするため、個人開放を行う期間を準備している。
- ・ スポーツ活動の機会を提供するとともに、小学生等への学習支援や見守り活動も行い、「学童」的な要素を取り入れる。
- ・ 競技経験や人数を問わず対応可能なプログラムを提供する。

3. 持続可能な仕組みの検討

(1) 持続可能な施設管理の在り方の検討

① 現在の委託管理業務について

現在阿智中体育館は、下校時刻までは学校の管理下で中学校の授業や部活動で使用し、下校時間から 21 時までには開放時間、社会体育館として使用している。また、開放時間のうち 17 時半～19 時半までは「阿智中クラブ」の利用時間と位置付けているものの、保護者の責任で当番管理を行うのは負担が大きいため、17 時半以降はチャレンジゆう Achi が管理委託を受けて施設の管理を行う形をとっている。

図表 59 管理等比較

利用内容	部活	阿智中クラブ	社会体育
責任	学校	保護者	利用者団体
管理	学校	チャレンジゆう Achi (クラブの一講座と位置付け)	チャレンジゆう Achi
管理状況 ・詳細	下校時刻までは学校	保護者だけでは毎日の当番管理が無理であると言うことで、中学生の技術向上や、居場所確保のために、体育館管理委員会(注)と、チャレンジゆう Achi が協力を決定。チャレンジゆう Achi が阿智中クラブの時間帯は管理者を雇用し管理を行う。体育館管理委員会や保護者の代表者の協議により、阿智中クラブはチャレンジゆう Achi の会員になる事を決めた。	チャレンジゆう Achi 管理の下、利用する団体等により当番制で管理。 (チャレンジゆう Achi マネージャー、指導者、利用者、スポーツ指導者、利用者、スポーツ推進員、事務局により)
管理時刻	下校時刻まで	5:30～7:30 要望に応じて、管理人が早く鍵を開ける事も可能。	7:30～9:00
出入	校舎 (終了後、校舎より下校)	社会開放玄関 (部活の延長でそのまま使用はできない。)	社会開放玄関

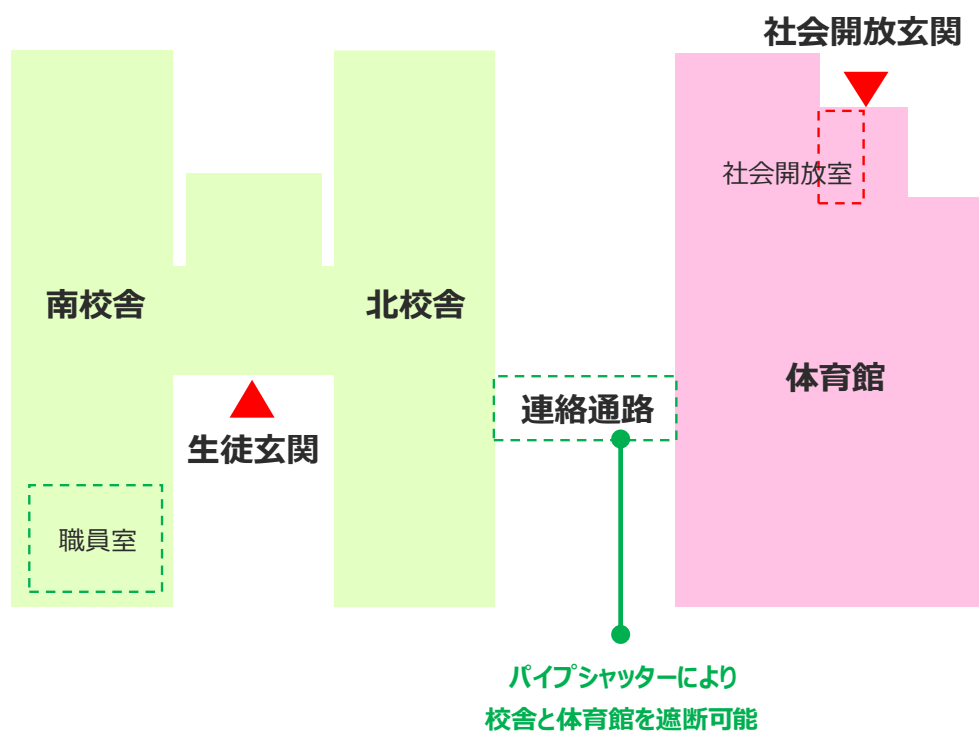
出所：阿智中学校社会体育館の使用について

(注) 阿智中学校体育館管理委員会は、体育館のすべての使用団体と中学校、教育委員会、チャレンジゆう Achi をはじめとする社会体育関係者（その他体育協会、スポーツ推進委員等）から構成される。

阿智中学校体育館の出入口等の状況は以下の通りである。

体育館と校舎は連絡通路でつながっているが、開放時間帯等はパイプシャッターで両者を遮断することが可能である。また、校舎からのアクセスとは別に、体育館利用者の出入口として「社会開放玄関」が設けられている。社会開放玄関から体育館内部に入るとすぐに、チャレンジゆう Achi の雇用する管理人が待機する「社会開放室」があり、人の出入りに目配りすることが可能である。

図表 60 阿智中学校および体育館の配置図（概略）



クラブによる施設管理を行う時間帯は、管理者が社会開放室に待機し、使用者の入退館の管理、使用後の見回り確認（清掃、整理整頓、備品・設備の棄損や滅失の有無、火気・消灯・施錠の確認）、駐車場入口のポールの開閉、管理日誌の記入等を行う。特に入退館の管理を行うにあたっては、所定の用紙に使用者の氏名、所属、入館時間、退館時間の記入を依頼している。

その他、クラブで使用している管理用の書式等は以下の通りである。

図表 61 阿智中体育館 管理用書式

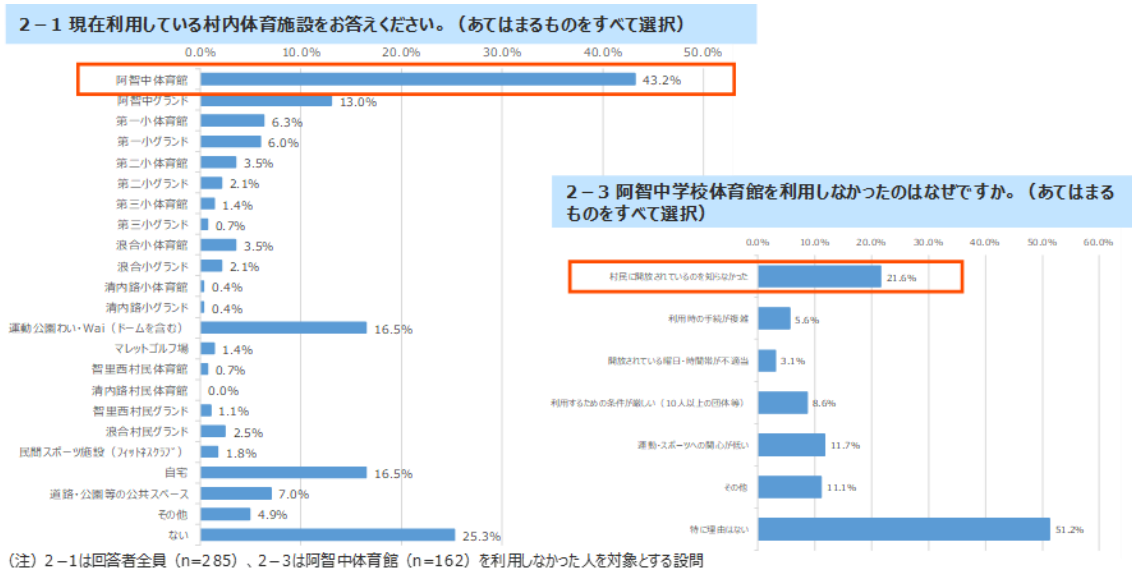
阿智中学校体育館管理日誌					中学校体育館見回り確認簿			
年	月	日	曜日				チェック欄	特記事項
管理当番		所属	氏名	時間				
			印	～19:30				
			印	19:30～				
使用施設		19:00まで		19:00から				
		使用団体	使用人数	使用団体	使用人数			
アリーナA (ステージ側)			名		名			
アリーナB (入り口側)			名		名			
トレーニングコーナー			名		名			
ランニングコース			名		名			
ミーティングルーム			名		名			
格技室			名		名			
社会開放室			名		名			
使用後チェック項目			レ印	対処				
施設・設備等は丁寧に使われましたか								
ゴミは片づいていますか								
使った施設の清掃がされていますか								
使用した器具は元に戻っていますか								
器具庫の整理整頓はできていますか								
トイレ、水道の水廻りの確認をしましたか			裏面参照					
体育館・トイレ等施設の照明を切りましたか			裏面参照					
窓・玄関の施錠を確実にしましたか			裏面参照					
火気の点検はしましたか			裏面参照					
施設・設備のき損・滅失等はありませんか								
特記事項 (引継事項)								

格技室	施錠	校舎側の窓 西側ドア 通気窓		
	消灯	格技室 踏込		
	火の元	ストープ		
ミーティングルーム	消灯	ミーティングルーム		
	火の元	ストープ		
ランニングコース	施錠	窓(1周) 校舎連絡口		
	消灯	ランニングコース ミーティングルーム校舎側 ステージ隣階段		
	水管理	トイレ3カ所 水飲み場		
トイレ・水飲み場	施錠	格技室側ドア		
	消灯	トイレ前廊下 水飲み場・ベンチ (トイレは自動)		
	水管理	トイレ3カ所 水飲み場		
アリーナ	施錠	引き戸3カ所 通気窓		
	消灯	アリーナ 器具庫 更衣室2カ所 ステージ器具庫 ステージ		
	水管理	トイレ3カ所 水飲み場		
階段	施錠	身障者用玄関		
	消灯	身障者用玄関 物入れ 階段		
トレーニングコーナー	消灯	トレーニングコーナー		
社会開放室	施錠	西側窓		
	火の元	キッチン ストープ		
	水管理	キッチン		
玄関ホール	施錠	北側窓 玄関内戸 玄関		
	消灯	ホール ポーチ		
	水管理	手洗い		

② アンケート調査から得られる示唆

阿智中体育館は、村内でも最も多くの人に使われている体育施設であり、村民がスポーツをする上で最も身近な場所の一つと言える。他方、阿智中体育館が村民に開放されていることを知らない人も一定数いることが分かった。

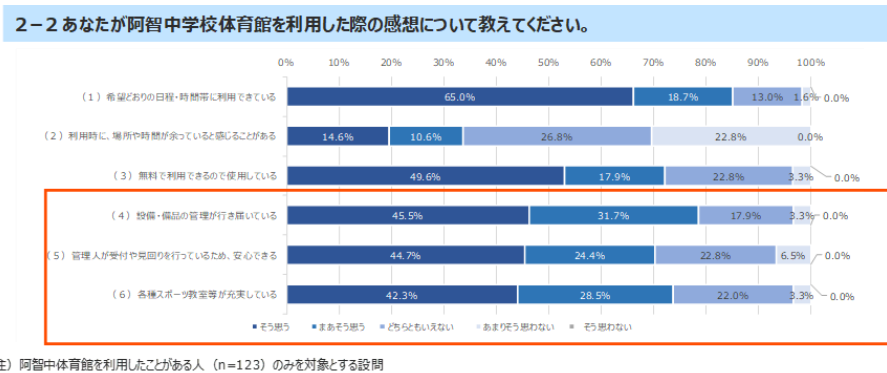
図表 62 2-1 現在利用している村内体育施設



阿智中体育館を利用者のうち、概ね7~8割が「設備・備品の管理が行き届いている」「管理人が受付や見回りを行っているため、安心できる」「各種スポーツ教室等が充実している」と回答しており、クラブの委託管理に対する評価は比較的高いといえる。

特に「設備・備品の管理が行き届いている」の評価が高くなっているが、これはクラブが設備・備品等について、毎日細やかな点検を行っているためであると考えられる。

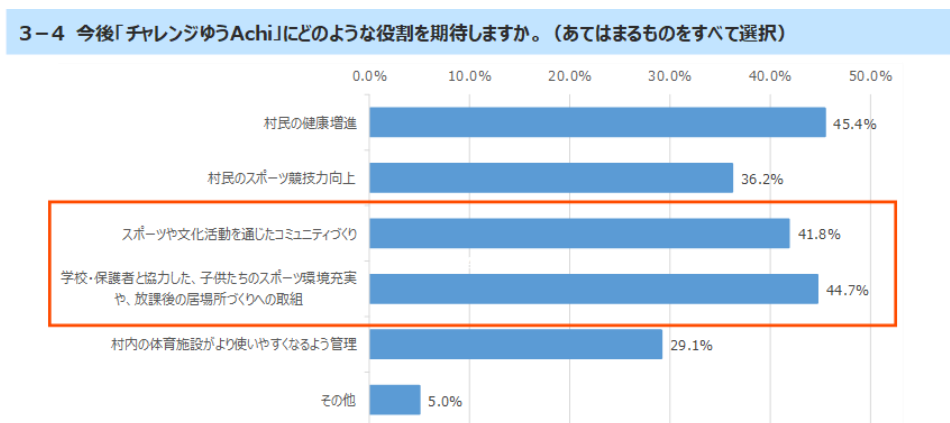
図表 63 2-2 あなたが阿智中学校体育館を利用した際の感想



また、同様にアンケート調査結果から、クラブには村民の健康増進や競技力向上だけでなく、「スポーツや文化活動を通じたコミュニティづくり」や「学校・保護者と協力した、子供たちのスポーツ環境充実や、放課後の居場所づくりへの取組」も期待されていることが分かる。

阿智中体育館についても、“コミュニティの中心”としての機能することが求められていると考えられる。

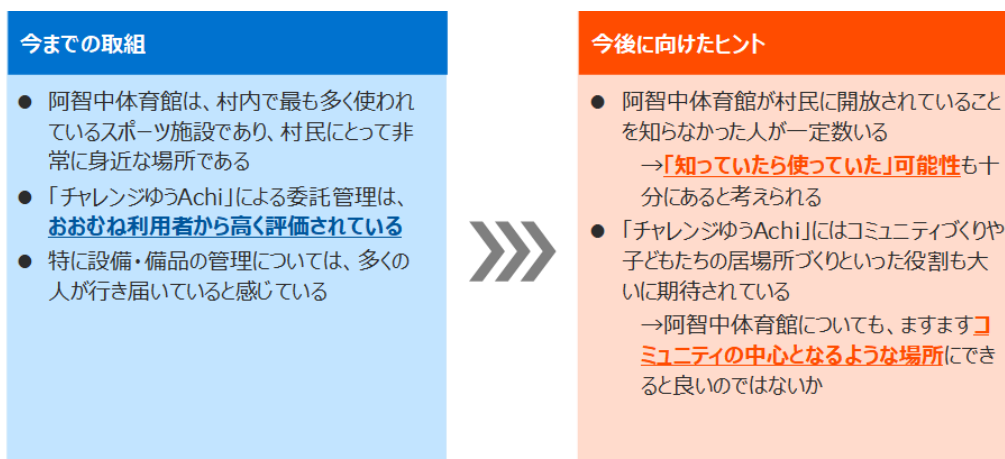
図表 64 3-4 今後「チャレンジゆうAchi」にどのような役割を期待しますか。



(注)「チャレンジゆうAchi」の活動に参加したことがある人 (n=134) のみを対象とする設問

阿智中体育館の管理について、アンケート調査結果から得られる示唆を取りまとめると以下の通りである。

図表 65 アンケート結果まとめ

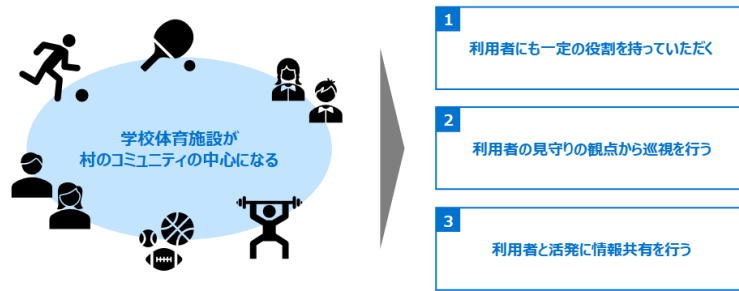


③ 今後の改善の方向性について

全村意識調査の結果に加え、他自治体における学校開放の事例を参照し、今後の委託管理業務の改善の方向性を検討した。

阿智中体育館が今後村のコミュニティの中心となるような、さらに活気のある場とする上では、たとえば①利用者にも一定の役割を持たせる、②利用者の見守りの観点から巡視を行うこと、③利用者と活発に情報共有を行うこと 等の方向性が考えられる。

図表 66 阿智中体育館の今後の在り方



「学校体育施設の有効活用に関する手引き」によれば、学校体育施設を活用する上では「地域で見守る学校施設（学校体育施設）」であるという認識の浸透が重要である。

学校施設は、「かかわる人全員が協力して大切に使うもの」という意識の共有が重要であり、利用者にも一定の役割を担わせることで、こうした意識が浸透することが期待される。

例えば神奈川県川崎市等では、施設の利用状況を利用者自身に報告させる

図表 67 役割分担の一例

(様式4)

開放管理者		運営委員長	
年 月 日			
学校施設開放利用報告書			
(宛先) 川崎市立 学校			
学校施設開放運営委員会			
利用団体名 _____			
代表者氏名 _____			
電話番号(自宅) _____			
緊急連絡先 _____			
次のとおり、学校施設を利用しましたので、報告いたします。			
利用施設	<input type="checkbox"/> 体育館	<input type="checkbox"/> 校庭	<input type="checkbox"/> 特別教室() <input type="checkbox"/> 夜間校庭
利用日時	年 月 日(曜日) 時 ~ 時		
利用内容	_____		
利用人員	幼児	小学生	中学生
学校用具の使用状況等	<input type="checkbox"/> 使用した (使用した用具類) _____		
施設設備の点検	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> ガラスを破損した(学校→連絡済・連絡未)		
	<input type="checkbox"/> 設備()を全損した(学校→連絡済・連絡未)		
清掃・復旧・片付けの確認	<input type="checkbox"/> ゴミ類の持ち去り <input type="checkbox"/> グラウンドの整備		
	<input type="checkbox"/> 使用施設の清掃 <input type="checkbox"/> 施 錠		
その他(連絡事項)	_____		

※ この報告書は、利用後速やかに学校施設開放運営委員会へ提出してください。

例：学校施設開放利用報告書（川崎市）
 以下のような項目について、利用者自身に記入いただきます。

- 利用施設
- 利用日時
- 利用内容
- 利用人員
- 学校用具の使用状況
- 施設設備の破損等の有無
- その他連絡事項

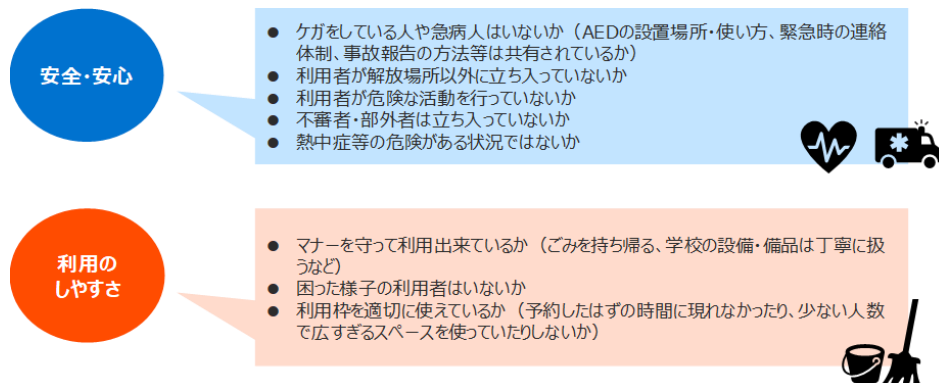
- 学校は「地域で大切に使うもの」という意識の共有
- 管理者と利用者の間でのコミュニケーションのきっかけづくり
- 管理者の負担の軽減

出所：川崎市「学校施設活用事業実施の手引き」

現在管理者が行っている見回り業務は、きめ細やかではあるものの、やや安全・安心（設備に破損がないか等）にチェック項目が集中している。見回りを行う際には、これらの視点に加え、利用しやすい環境であるかという視点があるとなおよいものと考えられる。

今後は例えば以下のような観点から見回りを行い、適宜利用者とコミュニケーションをとることが考えられる。

図表 68 見回りの観点



一例として、「千葉市学校体育施設開放事務の手引き」においては、以下のような巡視の目的・方法・チェックポイント等が示されている。

図表 69 千葉市学校体育施設開放事務の手引き

開放状況巡視	対象学校	対象施設	回数
開放状況巡視	小学校 中学校	校庭、体育館 * 武道場は開放のみ。	月 1 回 (2 人で実施)
自由開放巡視	小学校	校庭	月 3 回 (1 人で実施)

■巡視の形態
巡視は常駐ではありません。1回20分～30分程度。

■巡視の目的
利用者の安全確保・利用状況の把握です。
運営委員会で協力し、安全管理体制づくりをお願いします。

■巡視の流れ

- ① 校門の開錠
- ② 利用者、利用状況の把握
- ③ 利用者への声かけ等実施
- ④ 巡視報告書の作成(小・中共通)→巡視日時・巡視者名・巡視内容等

☆小学校校庭の自由開放巡視は、校庭利用日誌に、巡視日時、巡視者氏名、利用人数を記入する。

■巡視の主なチェックポイント

＜利用者について＞

- 利用者は安全に活動しているか。
- 利用者は危険な行為を行っていないか。
- 利用者は開放場所以外に立ち入っていないか。
- 開放時間外の立ち入りがないか。

＜施設の状態について＞

- 門扉の開閉に異常はないか。
- 遊具が危険な状況でないか。

＜その他＞

- 準動不審者が立ち入っていないか。
- 光化学スモッグ警報（注意報）が発令されていないか。

※光化学スモッグ テレホンサービス（自動音声）
電話番号 043-238-7491～2【4月～10月】

出所：千葉市「千葉市学校体育施設開放 事務の手引き」

また、施設の利用方法や利用者に心がけてほしいことについては、分かりやすく取りまとめ、日ごろから広く公開しておくことが望ましいと考えられる。

例えば福岡県福岡市では、「学校施設開放の手引き」をインターネット上で広く公開している。また、その他にもメールで必要事項を伝達したり、利用団体・学校との定期的な情報共有の場を設けたりする等の工夫が考えられる。例えば NPO 法人ウェブスポーツクラブ 21 西国分は、市から学校施設開放事業に係る管理運営業務を受託しており、毎月調整会議を開催している。


図表 70 情報共有について

使用団体用

学校施設開放事業の手引き
(平成 28 年 4 月～)

1. 学校施設開放事業について	
(1) 開放施設と使用時間	1
(2) 団体登録	1
(3) 施設使用料	2
2. 学校施設の使用申込みについて	
(1) 一般開放日の使用日決定	3
(2) 施設使用料の支払い	4
(3) 利用調整会議開催後の追加申込み方法	4
(4) 使用予定のキャンセル・変更	5
「参考」使用手続きの流れ	6
3. Q&A (よくあるご質問)	
(1) 開放施設と使用時間	7
(2) 団体登録	8
(3) 使用申込み	8
(4) 使用の追加申込み	9
(5) 使用のキャンセル・変更	10
(6) 使用料の支払い	11
(7) 使用時の注意	12
4. 様式	
(1) 団体登録 (変更) 申請書	14
(2) 使用許可申請書	16
(3) 使用中止書	17

『教育委員会 教育環境課』
〒810-8621 福岡市中央区天神 1-8-1
TEL: 711-4379 / FAX: 733-5539



図表：情報共有の方法（例）

- ① 学校開放に関連する各種ルールを取りまとめ、公開する
- 学校施設開放事業の趣旨、施設の利用方法、利用時のルール・決まり、必要書類、関係する市町村の条例・規則等を「手引き」などとして取りまとめ、公開している例は多くあります。
 - 公開の方法としては、例えば以下のようものが考えられます。
 - 村のホームページに掲載する
 - 公民館や体育館においておくなど、誰でも見られるようにする
 - 管理委員会等の場で関係者に配布する
- そのほかにも…
- ② メール等で必要事項を連絡する
- 予め利用団体の代表者の連絡先を把握しておき、学校からの急な連絡事項（休校など）があれば共有することが考えられます。
- ③ 利用団体・学校との定期的な情報共有の場を設ける
- 月に1回程度、学校・総合型地域スポーツクラブ・利用団体の会議を行い、学校からの連絡事項や空いている利用枠に関する情報を共有している団体の例もあります。
 - コロナ禍においては、対面での会議以外にも、メールやSNSなどを用いた情報共有の仕組みを設けることも考えられます。

出所：福岡市「学校施設開放事業の手引き」

(2) 持続可能なプログラム提供の在り方の検討

① 昨年度の講座開設状況について

昨年度チャレンジゆう Achi が実施した講座および各講座の参加者数は以下の通りである。

図表 71 各種プログラムの参加者数

カテゴリ	講座名称	参加者数
イベント	水生生物探検隊	23
	チャレンジフェスティバル	22
	ランニング	48
	健康体づくり	37
教室	リコーダーサークル	0
	写真教室	7
	絵画教室	3
	生け花 (夜)	5
	中国語教室	1
	ソバ打ち	9
	イングリッシュ	8
	ソフトボール	15
フットサル Jr	8	

	フットサル	0
	ゴルフ	12
	フラダンス	2
	バスケット	5
	ミニバス	18
	空手	16
	Jr テニス	21
	陸上	19
	基礎トレ	21
	体ほぐし	7
	スポーツ文化講座	ガーデニング
スキー		3
ウィンターバスケット		4
バドミントン		26
ピンポン		13
百名山		36

2019年度チャレンジゆう Achi 会員 455名 R2.3.31 現在

出所：2019年利用統計

② アンケート調査から得られる示唆

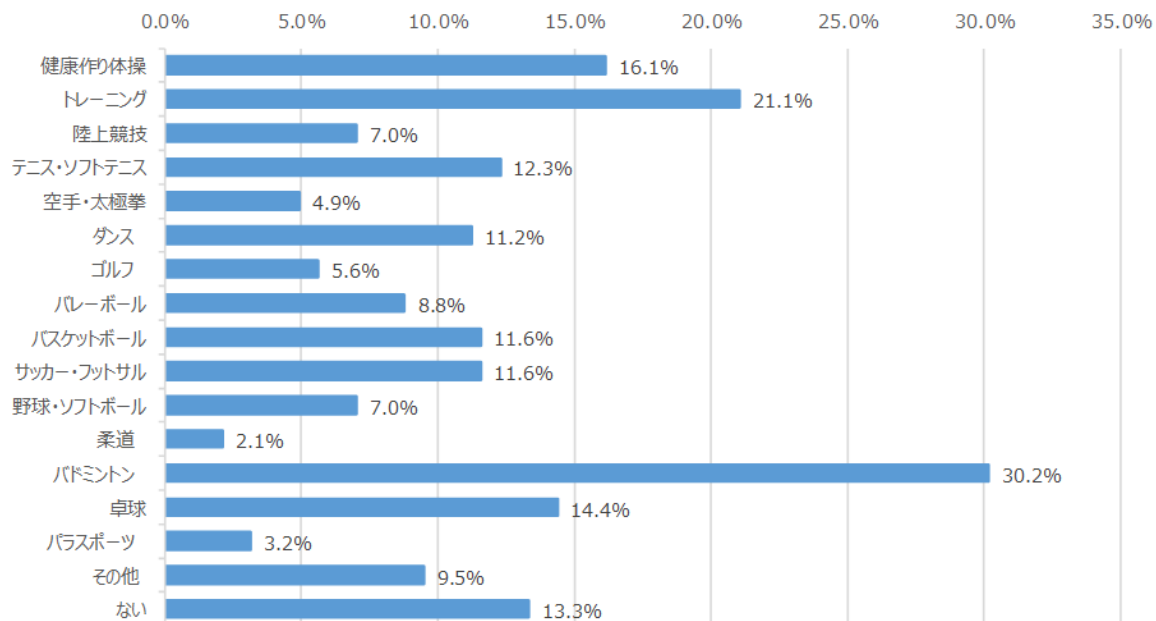
全村意識調査によれば、今後やってみたいスポーツは図表 53 の通り。

また、性別や年齢、日頃から運動をするかどうかによって、好ましいと感じる競技に違いがあることが分かった。

主要な傾向は以下の通り。

<p>基礎的な体力づくり：女性、成人、現在あまり運動していない人 競技スポーツ（球技等）：男性、小中学生、運動習慣がある人 ダンス：女性、小中学生 バドミントンやトレーニング：比較的幅広く支持を得ている</p>
--

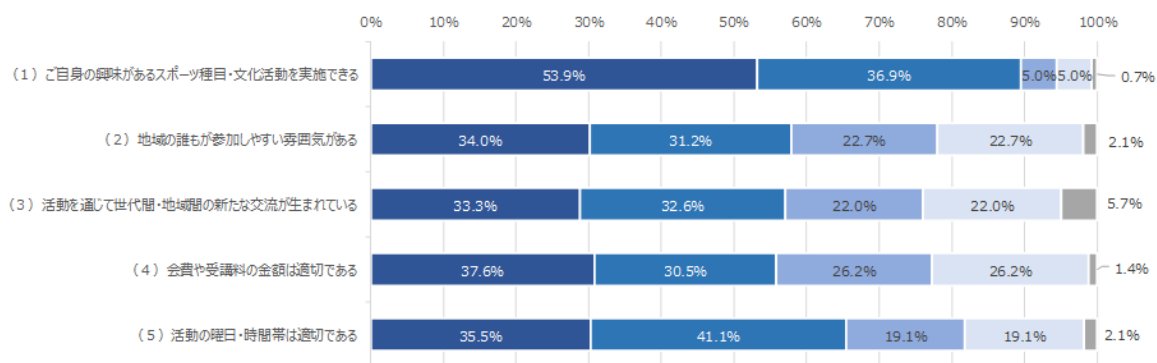
図表 72 1-5 今後やってみたいスポーツ



各種文化・スポーツクラブについての満足度は下図表の通りで、概ね高い評価を得ている。ただし、各項目の評点の加重平均を出すと「地域の誰もが参加しやすい雰囲気がある」「活動を通じて世代間・地域間の新たな交流が生まれている」といった評価項目にはやや課題があり、今後はさらに参加しやすい雰囲気づくりや、参加者間の交流促進に努める必要があると考えられる。

また、全体的として女性の満足度が男性と比較して相対的に低かった点については、留意する必要がある。

図表 73 各種文化・スポーツプログラムに対する満足度



③ 今後の改善の方向性について

アンケート調査結果からは、ニーズの違いに合わせて種目の取捨選択・開催日時の精査が必要であること、参加しやすい雰囲気づくりや、参加者間の交流促進に努める必要があることが示唆され

た。

加えて、事例調査からは下図表のような示唆が得られた。以下すべてを短期的に実現するのは困難であるものの、中長期的な検討を含め、エッセンスを取り込んでいく必要があると考えられる。

例えば子供たちの学習支援については、後述の通り本年度簡易的な机やイスを導入し、子どもたちが放課後の空き時間に宿題等に取り組む場を提供している。また、部活動で取り組んでいる以外の種目に趣味や気晴らしに取り組んでみたい、というニーズは、阿智中学校向けのアンケートでも一定確認できたところである。これらの要望を満たす上では、「楽しいピンポン」「バドミントン」「ウィンターバスケット」などの既存の初心者向け講座を継続・周知していくことが考えられる。また、チャレンジゆう Achi では例年夏休みに「チャレンジフェスティバル」（龍谷大学の松永敬子教授のゼミが中心となり、村内小学生が様々なスポーツに取り組んだり、大学生と交流したりするもの）を開催している。こちらについても継続・拡充を検討することが想定される。

さらには、中長期的には障がい者スポーツや、「学童」的な取組を行うことも考えられる。

図表 74 事例調査から得られる示唆

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・ 競技経験や人数を問わず対応可能なプログラムを提供する。・ 団体に所属していない個人も自由に参加できるようなプログラムを提供する。・ スポーツ活動の機会を提供するとともに、小学生等への学習支援や見守り活動も行い、「学童」的な要素を取り入れる。・ 学校部活動では提供が難しい種目を総合型地域スポーツクラブが提供し、生徒のニーズに合わせた多様な種目を提供できるようにする。・ スポーツ・レクリエーションを通じた異世代交流の機会を提供する。障害の有無に関わらず運動に親しめるようなプログラムを提供する。 |
|---|

これらの改善点の中には中長期的に取り組んでいく必要があるものの、次年度のプログラムについては、下図表の通り参加者のニーズを踏まえて入れ替えを行った。

また、後段で詳述する阿智中学校向けアンケート調査では、中学生に放課後気軽にスポーツを楽しみたいというニーズがあることが示唆された。クラブの既存のプログラムの中にもイベント的に様々な種目に取り組めるもの（チャレンジフェスティバル）や気軽に参加できる初心者向けの講座（「楽しいピンポン」など）があることから、これらについての情報提供にも注力することが考えられる。

NPO法人チャレンジゆうAchi 令和3年度(2021)年間プログラム

開催日時や受講料等が変更になる場合があります。参加人数や天候等で開講できない場合があります。

	講座名	開催日(初回)	時間	場所	定員等	指導者	対象	受講料	
イベント	① ウォーキング講習会 <small>競歩元五輪選手が教える無理無駄のないウォーキング</small>	6月28日(月)	19:00~20:30	阿智中体育館	30名程度	國原 健弘 <small>明治大学陸上競技部監督</small>	会員 一般	無料	
	② ランニング講習会 <small>大学陸上競技部監督が教える理想的なランニング</small>	9月6日(月)	19:00~20:30	阿智中体育館	30名程度	國原 健弘 <small>明治大学陸上競技部監督</small>	会員 一般	無料	
	③ チャレンジフェスティバル	8月9日(月)	9:00~12:00	阿智中体育館	小学生以上 80名	松永敬子(龍谷大学) スポーツ推進委員	会員 一般	300円 500円	
	④ 水辺の動植物観察会 <small>「天龍峡大橋そばさんぽ」からの観察もあり</small>	7月29日(木)	9:00~12:00	かわらんべ周辺	小学生以上 (最低3名)	かわらんべ 中村 貴俊	会員 一般	300円 500円	
スポーツ教室	⑤ エンジョイ体ほぐし運動 <small>からだをほぐして、健康づくり</small>	月2回 2・4木曜日 (5月13日)	19:30~20:30	阿智中体育館	10名	熊谷 佳世	会員	1回 200円	
	⑥ 体幹トレーニング <small>からだの基礎をつくってスキルアップ!</small>	火曜日 (4月6日)	19:30~21:00	阿智中体育館	小学生から大人まで (最低3名)	陸連公認コーチ・トレーナー 大坪 章男	会員	月額入2,000円 家康3,000円	
	⑦ 陸上 <small>ゴールをめざしてヨーイドン!</small>	月曜日 (4月12日)	19:30~20:45	阿智中体育館	小中学生向け	陸連公認コーチ・トレーナー 大坪 章男	会員	月1,000円	
	⑧ ソフトJrテニス <small>楽しく、そして楽しく!</small>	火曜日 (4月6日)	19:30~20:30	阿智中体育館	小学生	岡庭 啓真・原 広明 塩沢 卓美	会員	月 500円 用具2,000円	
	⑨ 空手 <small>初心者大歓迎</small>	金曜日 (4月9日)	18:15~19:45	阿智中格技室	-	禅道会 木下 幸一	会員	月2,500円	
	⑩ ミニバス <small>まず基本、ボールになれよう</small>	土曜日 (4月10日)	9:00~12:00	阿智第三小体育館	小学生向け	安川 央・井原 毅 松江 玲子	会員	年1,000円	
	⑪ バスケットボール <small>実践、ゲーム形式で楽しもう</small>	土曜日 (4月10日)	19:00~21:00	阿智第三小体育館	中学生・高校生向け (最低6名)	安川 央・井原 毅	会員	年1,000円	
	⑫ 踊ってみたいかフラダンス <small>仲間づくりに優雅に楽しいフラダンス</small>	月2回土曜日	10:00~11:30	中央公民館	10名	代田 美幸	会員	月2,000円	
	⑬ ゴルフ教室 <small>相談で、ラウンドレッスンもあり</small>	火曜日 5回×3シーズン 4/20~、7/6~、9/28~	19:00~21:00	ウエストポート ゴルフクラブ	15名 申込みが多い場合は、 火・木曜日開催もあり	伊藤 昭久	会員	1回×1,500円 ボール代費	
	⑭ エンジョイ・フットサルJr <small>ロナウジーニョも、 Neymarもフットサルをやっていた</small>	4~11月 第3土曜日 (4月21日)	19:00~21:00	阿智第一小体育館	小学生以下 15名	阿智フットサル部 片桐 久貴	会員	1回 100円	
	⑮ ソフトボール <small>仲間と競い、仲間と笑う、ソフトの深さが此処にある</small>	火曜日	19:00~21:00	阿智中グラウンド 運動公園ドーム	-	ソフトボール協会会員 塚田 千博	会員	年1,000円	
	⑯ 太極拳・八極拳 <small>中国武術で体幹アップ、護身術やチャンバラもやります</small>	木曜日(4月8日) 土曜日(4月10日)	19:00~21:00 9:00~11:00	わいWai公園 中学校格技室 他	小学生から大人まで	奥村 将明	会員	1回 100円	
	文化教室	⑰ エンジョイ・イングリッシュ <small>英会話で行事、歌、ゲームなどを楽しく体験</small>	月曜日 (4月13日)	19:30~21:00	中央公民館	高校生以上	Medison Brooke Haland (Jack) 阿智中ALT	会員	月1,500円
		⑱ ソバ打ち <small>手打ちソバを食べて健康づくり</small>	第2日曜日 (4月11日)	13:00~15:00	屋神ソバ打ち館	若干名	岡庭 啓真	会員	1回1,500円 材料費込
		⑲ 生け花 <small>季節の花を生けて楽しもう</small>	第3水曜日 (5月19日)	19:30~21:00	中央公民館	10名	伊藤 知世子 鈴木 直美	会員	1回 500円 材料費1,100円
⑳ 絵画教室 <small>自分も想いを自由に描いてみませんか!</small>		第2・4水曜日 (4月13日)	19:00~21:00	中央公民館	10名	赤羽 孝之	会員	月1,000円 材料費別	
㉑ 将棋教室 <small>藤井聡大七段をめざせ!夏休み子ども将棋教室も計画します</small>		日曜日	13:00~17:00	中央公民館	小学生以上・一般	水野 佐平	会員	子ども 無料 おとな 相談	
⑳ 健康マージャン教室 <small>マージャンで脳トレ!初心者は「いろは」から教えます</small>	第1・3水曜日 (5月19日) 年20回	13:00~15:00	中央公民館	16名 賭けない、飲まない、吸わないが守られる方	指導者・世話役募集 軌道に乗るまで事務局で対応	会員	年会費3,000円		
スポーツ講座	㉓ 百名山を楽しもう <small>山々を眺め、チャレンジして楽しもう</small>	①5/15(土) ②7/17(土) ③10/16(土)	終日	①網掛山 ②北八ヶ岳 ③瑞穂山(山梨県北杜市)	小4以上 20名(最低10名)	佐々木 昇一 小林義勝、篠原謙司	会員	1回 2,000円 中継により変更あり	
	㉔ 楽しいピンポン <small>ラリーでエクササイズしませんか</small>	5/26(水)~ 全8回	19:30~21:00	阿智中体育館	小学生以上	原 崇久・小池 謙 井原 毅	会員	全 800円	
	㉕ バドミントン <small>スマッシュを決めよう</small>	7/21(水)~ 全8回	19:30~21:00	阿智中体育館	小学生以上	牛山明彦・井原善志美 熊谷貴之・住吉映秋	会員	全 800円	
	㉖ ウインターバスケット <small>レベルアップに、体力づくりに</small>	11/10(水)~ 全8回	19:30~21:00	阿智中体育館	小学生以上 (最低6名)	安川 央・井原 毅 松江 玲子	会員	全 800円	
	㉗ スキー教室 <small>初心者大歓迎、冬限定のスポーツを楽しもう</small>	1月	9:00~12:00	へプンスそのほら	小3以上 20名(最低5名)	阿智スキークラブ 熊谷 均 他	会員	1,000円	
	㉘ アロマクラフト入門 <small>植物の持つ香りや成分を活用したアロマセラピーを体験</small>	8・10・12・2月 第1土曜日 第3土曜日に変更あり	9:15~10:30 10:45~12:00	中央公民館	2年度に 申し込まれた方優先	宮内 幸乃	会員	1回1,000円 材料代込み	
	㉙ ガーデン散策~バラ園を歩く~ <small>バラや四季の花々を楽しみます。剪定の仕方等も観察</small>	年4回 春夏秋冬 6・8・10・12月第2水曜を基本	午後を基本	花フェスタ記念公園 (岐阜県可児市)	15名	事務局 世話役募集	会員	年会費8,000円 年間バスカード 代金含む	
阿智中クラブ	㉚ 野球	水・金曜日	~19:00	阿智中グラウンド他 雨天・冬期間 体育館	中学校野球部員	保護者会	会員 (中学生)	月1,000円 但し、クラブ の実績による	
	㉛ サッカー	火・木曜日	~19:00	阿智中グラウンド他 雨天・冬期間 体育館	中学校サッカー部員	高村 毅郎 保護者会	会員 (中学生)		
	㉜ ソフトテニス	月曜日	~19:00	阿智中テニスコート 雨天・冬期間 体育館	中学校ソフトテニス部員	市東 和美 保護者会	会員 (中学生)		
	㉝ 女子バレーボール	火・木曜日	~19:00	阿智中体育館	中学校バレーボール部員	水上 勝秀 保護者会	会員 (中学生)		
	㉞ 卓球	水・金曜日	~19:00	阿智中体育館	中学校卓球部員	熊谷 宏 保護者会	会員 (中学生)		
	㉟ 柔道	火・木曜日	~19:00	阿智中格技室	中学校柔道部員	原 佑介 保護者会	会員 (中学生)		
㊱ 吹奏楽	火・木曜日	~19:00	阿智中音楽室	中学校吹奏楽部員	小野 光 保護者会	会員 (中学生)			

第3章 学校体育施設を地域スポーツの場として活動する仕組みの検証

1. 実証事業の実施結果

(1) 実証事業への新型コロナウイルスの感染拡大の影響について

新型コロナウイルス感染拡大による全国を対象とした緊急事態宣言発出のため、令和2年4月10日（金）から5月6日（水）まで阿智中学校体育館が使用停止となった。これに伴い、チャレンジゆう Achi も令和2年4月10日～5月31日まで、新型コロナウイルス感染症予防のため、活動（「阿智中クラブ」を含む）を停止した。

緊急事態宣言の解除後、クラブの活動は再開されたが、長野県の方針により、1万人当たりの感染者数が5名を超える都道府県との人の往来が制限されることとなった。その結果、各種講習会の講師や事業推進アドバイザー、再委託先等の関係者等の入村が不可となった。WEB会議システムの活用によって各種講習会や事業推進委員会は滞りなく開催することができたが、毎年夏休み期間中に開催していた「チャレンジフェスティバル」をはじめ、一部イベントは中止せざるを得なかった。

その後、人の往来に関する措置が一部緩和され、訪問前2週間健康観察を行い、問題がなければ入村できることとなった。

しかしながら、令和3年1月より一部都道府県を対象に緊急事態宣言が再発令されたため、再度村外との人の往来が困難になった。また、村内においても、阿智中学校体育館の開放時間を20時までに短縮するなどの措置を講じたほか、新たにスキー教室等のイベントが中止となった。

(2) 学校開放施設を活用したスポーツプログラムの充実

① 中学校部活動後の「阿智中クラブ」の新設

阿智中学校では、部活動終了後も居残って練習を行いたいと考える生徒を対象として、保護者等の見守りの下活動する「阿智中クラブ」の取組が行われてきた。

従来の「阿智中クラブ」は「部活動の延長としての社会体育」と位置付けられていた。しかしながら、平成30年にスポーツ庁「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」、文化庁「部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」が発出されるなど、全国的に部活動の在り方を見直す動きが見られるようになった。また、こうした動きを受け、長野県教育委員会は平成31年2月に「長野県中学生期のスポーツ活動指針」を策定した。本指針では、責任の所在曖昧、活動の過熱、中学校教員の負担増等を理由に、「部活動の延長としての社会体育」を廃し、部活動のみとするか、もしくは地域の社会体育活動として整理すべきであるとの方針が提示された。

これらを踏まえ、阿智中学校は部活動の延長として行われる「阿智中クラブ」を廃止する方針を打ち出し、村教育委員会もこうした考え方を支持することを表明した。

令和元年5月には、阿智中学校長より、現行「阿智中クラブ」廃止後も部活動に付加する形での練習を希望するクラブについてはチャレンジゆう Achi の講座に位置付けて運営できないか、との申し入れがあった。以来、中学校、村教育委員会、阿智中クラブ保護者会、チャレンジゆう Achi での協議や勉強会を重ね、以下10項目を基本として、チャレンジゆう Achi の講座として「阿智中

クラブ」を位置付け、運営することとなった。

10項目のうち、特に前年度と異なる点は①、③、⑥、⑧である。

①について、「阿智中クラブ」を学校体育から切り離し、完全な社会体育の活動と位置付ける観点から、チャレンジゆう Achi の講座に組み込んだ。

③について、従来の「阿智中クラブ」では教員が主体となって運営が行われていた。本年度チャレンジゆう Achi の一講座として実施するにあたり、保護者会にも主体的な関与を求めることとなった。「阿智中クラブ」の各講座には保護者 1 名が「世話役」として関与し、日程調整や謝金の回収等の役割を担っている（「阿智中クラブ」全体の運営はチャレンジゆう Achi が担っている）。

⑥について、生徒の指導はチャレンジゆう Achi が探索した地域の指導者（保護者でも可）が、適宜学校とも情報共有しつつ担うこととなった。

⑧について、受益者負担の考え方を本年度から新たに導入した。ただ、後述するように「阿智中クラブ」に係るすべての費用負担を保護者に転嫁するのは現実的でないため、一部村からの補助を受けている。

図表 75 チャレンジゆう Achi が示した受入 10 項目

① 希望するクラブは、講座として位置づける。
② 「阿智中クラブ」の名称を継続して使う。
③ 保護者会が講座の運営主体として活動の推進役となる。
④ 保険の範囲内で賠償責任を負い、諸規定に従い、自己責任で活動する。
⑤ 教育活動と関連が強いことから、部活動に加入している生徒を原則とする。
⑥ 指導者は地域の指導者とする。保護者会が自ら指導にあたることも可。
⑦ 活動時は、指導者の他、保護者会が「世話役」を置く。
⑧ 受講料を集め、指導者に 1 回 2,000 円、世話役に 1 回 500 円を支払う。(注)
⑨ 指導力向上、安全対応向上のため、研修会を実施する。
⑩ 大会等への参加に向けて、中学校部活動と連携していく。

(注) 月 8 回分までを限度として支払いを行う。

「阿智中クラブ」の運営体制は以下のとおり。

チャレンジゆう Achi、阿智村、阿智中学校、保護者の 4 者の連携によって講座運営がなされている。チャレンジゆう Achi 事務局は講座全体のとりまとめや指導者の探索を担っている。保護者は会費・指導者謝金等を支払うほか、一部は「世話役」を務める。中学校とチャレンジゆう Achi の間では、指導方針始め各種情報共有を行うほか、備品の共有等を行っている。

「阿智中クラブ」では、生徒 1 人あたり月 1,000 円の受講料を設定している（クラブが開講している他の講座と同程度の金額を設定。保護者自ら指導を行う講座については月 500 円程度に減額する場合がある）。受益者負担で必要経費を完全に賄うのは保護者の負担の観点から困難であるため、全体経費の半額程度は村の補助金（数 10 万円程度）を補填している。

図表 76 「阿智中クラブ」の運営体制



本年度の活動実績は下図表に示すとおりである。なお、前述の通り、新型コロナウイルスの感染拡大により、一部活動できない時期があった。

図表 77 2020年度 阿智中クラブ 活動実績 4月～11月

	女バレ	テニス	サッカー	野球	卓球	柔道	吹奏楽	
4月	5	0	0	0	0	0	0	5
5月	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	12	0	4	0	8	0	4	28
7月	12	0	7	0	6	11	8	44
8月	18	2	2	0	4	5	7	38
9月	16	2	6	8	7	8	8	55
10月	12	4	7	10	7	9	8	57
11月	13	4	4	12	4	9	8	54
	88	12	30	30	36	42	43	281

出所：阿智中クラブ活動実績

② 学校体育施設を活用したスポーツ教室の改善・拡充

「阿智中クラブ」を除く各種教室事業の開催実績は下図表の通りである。一部講座は新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止せざるを得なかったものの、大半は予定通り実施することができた。

図表 78 各種スポーツ教室の実施風景



図表 79 各種教室の開催実績

(令和2年4月10日～5月31日まで、コロナウイルス感染症予防のため、活動停止)

種目		参加者数	実施頻度等
イベント	ウォーキング講習会	0	中止
	ランニング講習会	0	参加者 42名 兼指導者研修会
	チャレンジフェスティバル	1	中止
	水辺の動植物観察会	0	中止
スポーツ 教室	体ほぐし	7	週1回
	基礎トレ	19	週1回
	陸上	20	週1回
	ソフトテニス	15	週1回
	空手	18	週1回
	ミニバス	13	週1回
	バスケ	4	週1回
	フラダンス	2	月2回
	ゴルフ	27	5回×3シーズン 1シーズンは中止
	フットサル	9	隔月1回
	フットサル jr	8	隔月1回
	ソフトボール	15	週1回

	太極拳	10	週 1 回
文化講座	イングリッシュ	6	週 1 回
	ソバ打ち	6	月 1 回
	中国語	0	実施できず
	生け花	4	月 1 回
	絵画	4	月 2 回
	写真	2	実施できず
	リコーダー	0	実施できず
	将棋	4	週 1 回
スポーツ 講座	登山	7	中止 3 回すべて
	ピンポン	7	8 回 延期 18 名
	バドミントン	25	8 回 26 名
	バスケット	2	8 回 20 名
	スキー	4	1 回 3 名
文化講座	アロマ	14	3 月実施予定
個人（トレーニング等）		55	
延べ参加者		462	

出所：2020 チャレンジゆう Achi 会員分析 R2.12.21 より抜粋

③ 指導者・保護者の指導力向上

指導者・保護者の指導力向上のための取組として、ウォーキング・ランニング講習会、AED（救命救急）講習会、スポーツ栄養学講習会を実施した。

令和2年9月7日、感染症予防策を万全に講じた上で、中学校体育館において、ランニング講習会を行った。参加者は村駅伝部指導者やスポーツ推進委員等の大人8名、児童・生徒34名であった。

当日は関節の可動域を広げるためのストレッチを兼ねたトレーニングに時間をかけた。早く走るコツは関節の可動域を広げることであり、色々な角度から取り組んでいくべきであるとの説明があった。後半は、器具を使ったトレーニングを試したり、高校生の見本を見学し、フォームを確認したりした。また、講師からはトレーニングには適時があり、よい年齢になったときに行うと効果的である等のコメントがあった。

図表 80 ランニング講習会の開催概要



項目	概要
開催日時	9月7日(月) 午後7時30分～9時00分
開催場所	阿智中学校 体育館
対象	42名(大人8名、児童・生徒34名)
内容	各競技の基本となる動きや走り方、関節の可動域を広げるためのストレッチを兼ねたトレーニング等の講習、器具を使ったトレーニング、高校生の見本の見学
講師	大坪 章男 氏(飯田市)日本陸連トレーナー部A級トレーナー 指導補助(実技指導) 宮澤 香音(下伊那農業高校陸上部) 田中 里歩(松川高校陸上部)

令和2年10月29日には、阿智中学校体育館格技室にて、コロナ禍の救命講習会を開催した。感染症予防の観点から、所属団体からの参加者を1名に絞り、時間も1時間に短縮した。

主な講習内容は①コロナ禍の救命救急の留意点の確認、②心臓マッサージ(胸骨圧迫)の実習、③AEDの操作方法の実習であった。①について、特にコロナ禍での注意点として、すべての心肺停止傷病者に感染の疑いがあるものと考えて近づきすぎないこと、心臓マッサージ(胸骨圧迫)を行う前に、ハンカチ等で傷病者の鼻と口を覆うこと、人工呼吸は行わず、心臓マッサージ(胸骨圧迫)のみを続けること等が挙げられた。また、実習をより実践的な内容とするため、中央公民館(図書館入口)及び中学校体育館(社会体育館玄関)に設置してあるAEDを持参し、実物を参加者に見てもらおう等の工夫を行った。

図表 81 AED（救命救急）講習会の開催概要



項目	概要
開催日時	10月29日（木） 午後7時00分～8時00分
開催場所	阿智中学校 格技室
対象	24名 チャレンジゆう Achi 9名、体育協会8名、一般1名、スポーツ推進委員2名、 教育委員会4名
内容	コロナ禍の救命救急の留意点の確認、心臓マッサージ（胸骨圧迫）の実習、AEDの操作方法の実習。
講師	南信州広域連合飯田広域消防 伊賀良消防署山本分署第1係係長 消防指令補 矢澤 靖弘 氏

令和2年11月17日には、大阪体育大学体育学部学部長の岡村教授を講師とし、「スポーツ栄養学講演会～親子で学ぶスポーツ栄養」を開催した。感染症予防の観点から、会場への入場の際には、検温・マスク着用及び体調確認を実施した。また、講師はWEB会議ツール「Zoom」を用いて、オンラインで講演を行った。

講演は「スポーツ栄養に関するIOC（国際オリンピック委員会）の合意声明2010」を切り口に、1つ1つの項目が具体的な事実裏付けられたものであった。「意外と悪くない朝食」など、保護者が日常の食卓で取り入れやすい工夫が紹介された。また、「スポーツ栄養と誤解」と題し、炭水化物の重要性など、誤解されやすいポイントについても丁寧な説明があった。

講演の最後には、会場の参加者との質疑応答も行った。

図表 82 スポーツ栄養学講習会の開催概要



項目	概要
開催日時	令和2年11月17日(火) 19時00分～20時00分
開催場所	阿智中央公民館ホール
対象	27名 チャレンジゆう Achi・体育協会 指導者・保護者、中学校職員、近隣 町村栄養士、一般、村教育委員会
内容	スポーツ栄養学講演会～親子で学ぶスポーツ栄養～
講師	大阪体育大学体育学部学部長・教授 岡村 浩嗣先生

(3) 中学校体育館の施設管理の質の向上

① 施設管理手法の検証・改善

施設管理の向上を目的として、特定非営利法人高津総合型スポーツクラブ SELF の菊地正氏を招いて委託管理講習会を行った。本講習会についても、講師はWEB 会議ツール「Zoom」を用いてオンラインで講演を行った。

高津総合型スポーツクラブ SELF は学校開放に関連する業務のみならず、川崎市高津スポーツセンター、多摩スポーツセンターの指定管理業務も受託している。講習会ではこれらの業務を通じて得られた経験、総合型地域スポーツクラブが社会体育施設・学校体育施設を管理する意義、学校開放関連業務と校務員業務を並行して受託することの意義等について説明があった。

講演の最後には、会場の参加者との質疑応答も行い、総合型地域スポーツクラブの運営全般について、幅広くご回答いただいた。

また、令和2年11月17日に開催されたスポーツ栄養学講習会の後、日本総合研究所より他自治体の社会体育施設・学校開放等に関する情報提供が行われた。

図表 83 委託管理講習会の開催概要

項目	概要
開催日時	令和2年9月24日（木） 午後7時から8時
開催場所	阿智村中央公民館 3・4会議室（2階）
対象	中学校体育館管理者・体育館管理等に関心のある方
内容	学校体育施設の管理のあり方（緊急対応を含む）
講師	菊池 正 氏 特定非営利法人高津総合型スポーツクラブ SELF 川崎市高津スポーツセンター館長

また、体育館の利用方法・利用時のルールについて改めて明文化・周知することを目的として、新たに『令和2年度 阿智中学校体育館（学校体育施設開放）使用の申し合わせ』を策定した。本申し合わせは以下に示す5項目から構成される。（詳細は付録5を参照されたい。）

図表 84 阿智中学校体育館（学校体育施設開放）使用の申し合わせ 概要

項目	内容
1. 基本方針	<ul style="list-style-type: none"> 「阿智村学校体育施設開放に関する規則」に従って管理・利用する。 阿智中学校体育館管理委員会を置く。
2. 管理委員会の設置	<ul style="list-style-type: none"> 管理委員会は利用団体及び社会体育関係者から構成する。
3. 利用のきまり	<ul style="list-style-type: none"> 利用時間、条件、申し込み方法、入退館時の手続、利用者が使用後に実施すべき作業を示す。
4. 体育館の管理	<ul style="list-style-type: none"> 村教委からの委託を受け、チャレンジゆう Achi が施設の管理を行う。また、管理人が実施すべき業務を示す。
5. 社会開放室の利用	<ul style="list-style-type: none"> 社会体育室は児童生徒の放課後の居場所、管理人の待機場所、チャレンジゆう Achi のクラブハウスとして使用する。

② 用具補充等による競技環境の向上

阿智中学校体育館の競技環境向上のため、スポーツ教室や阿智中クラブで使用する消耗品を主として備品を購入した。消耗のほか、校舎からテニスコートに向かう道が暗く、夜間の練習の行き返り等に生徒が転倒する等のリスクがあったため、センサーライトを取り付けた。こちらについては、生徒の安全・安心の確保に寄与したものと思料する。

また、生徒が「阿智中クラブ」までの待機時間に宿題等ができるよう、待機場所等の環境整備も行った。

2. 事業効果の評価

(1) 委託事業推進委員会の開催

① 委託事業推進委員会の構成

本事業においては、事業期間中に2回の推進委員会、2回の推進委員会小委員会を開催し、目的達成のための課題検討、調査研究、実証評価等を行うこととした。

委託事業推進委員会の組織は下図表の通りである。

NO1～17の17名で委託事業推進委員会を組織する。また、特にNO1～13の者で小委員会を組織し、事業の具体的な推進とそれに伴う成果と課題を洗い出す。

推進委員会での議論をより充実させるための工夫として、一点目に、教育委員会及び中学校との連携を円滑に行うため、当該機関の担当者を委員に加えた。二点目に、松永敬子氏（龍谷大学）に事業推進アドバイザーに就任いただいた。松永氏はスポーツマネジメントの専門家であり、「学校体育施設の有効活用に関する手引き検討委員会」の委員を務めた経験を有する。当クラブ設立に際しても松永氏の助言を得た経緯があり、地域の事情にも精通している。

図表 85 事業推進委員会組織

No	氏名	所属	クラブ役職	事業での業務分担
1	園原 健志	村体協理事長	クラブ 理事長	総括、総務・広報部長
2	井原 毅	村スポ進委員長	クラブ 副理事長	統括補佐、指導・企画部長
3	岡庭 啓眞	村中央公民館長	クラブ 理事	総務・広報
4	井原 光子		クラブ 運営委員	同上
5	熊谷 美晴	村スポ進委員	同上	指導・企画
6	小池 隆代	同上	同上	同上
7	金田 智也	同上	同上	同上
8	渋谷 晃一	同上	同上	同上
9	熊谷 祐太	同上	同上	同上
10	原 典子	同上	同上	同上
11	高村 毅郎	同上	同上	同上
12	大坪 章男	スポーツトレーナー	同上	同上
13	原 勝人		クラブマネージャー	事務・会計・渉外
14	松永 敬子	龍谷大学教授	—	事業推進アドバイザー
15	大庭あかり	日本総合研究所研究員	—	調査研究、報告書作成
16	上澤 浩	阿智中学校長	—	中学校との連絡・調整
17	佐々木 悟	村教委社会教育係長	—	村・村教委との連絡・調整

② 委託事業推進委員会の実施概要

当初計画では下図表に示す通り、計4回の会議を予定していた。コロナウイルス感染拡大の影響で一部委員が入村できなくなる等の影響があったものの、WEB会議を一部導入する等して、当初計画通り進行することができた。

図表 86 委託事業推進委員会（回数・時期・主な内容）

■委託事業推進委員会

第1回 8月 事業計画、業務分担、先行研究の整理 等

第2回 12月 事業評価（中間）課題把握と改善点の整理 等

■同 小委員会

第1回 10月 委託管理の改善への方策、研修会等の立案 等

第2回 2月 事業評価、改善の方向、報告書作成 等

第1回推進委員会では、委託事業の実施計画を報告した。

また、全村意識調査について委員の意見を募ったほか、先行事例研究（文献調査部分）の結果の説明を行った。

図表 87 第1回委員会の開催概要



(2) アンケート調査の実施

① 阿智中学校アンケート調査の実施概要

「阿智中クラブ」に対する満足度や、中学生の放課後の過ごし方に対するニーズを把握し、今後チャレンジゆう Achi が果たしうる役割を検討するため、阿智中学校の生徒を対象とするアンケート調査を実施した。

調査の実施概要は以下の通り。

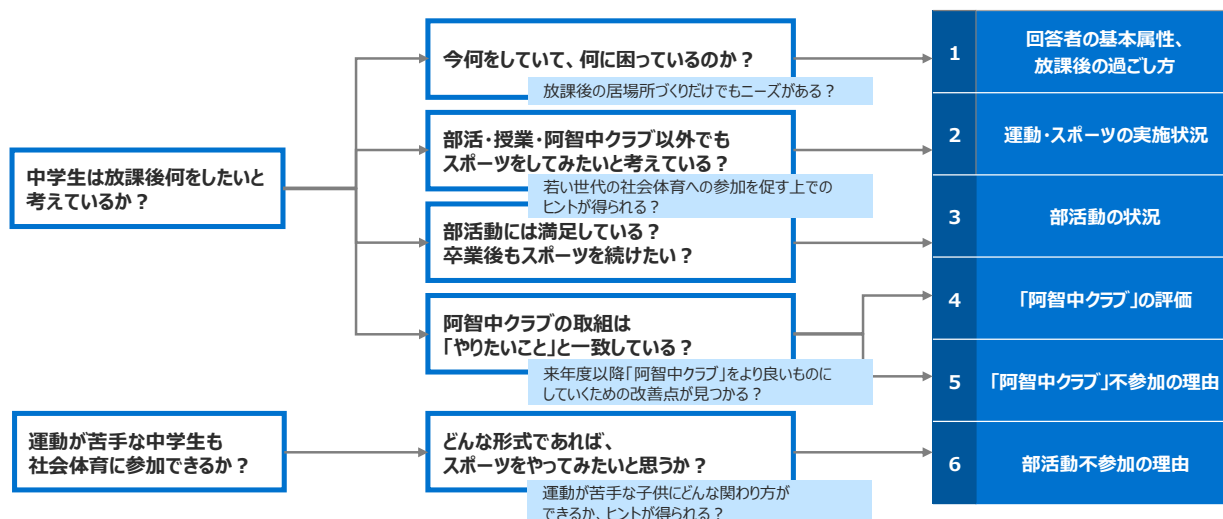
調査にあたっては阿智中学校の協力を得て、授業中に配布・回収を行い、対象者ほぼ全員から調査票を回収することができた。

図表 90 アンケート調査の概要

実施期間	2020年12月
対象	阿智中学校の全生徒（177名）
回答数	176件（回収率99.4%）
実施方法	配布・回収：書面 阿智中学校の協力により、授業中に生徒に本調査票ならびに回答用紙を配布し、その場で記入を依頼した。 回答用紙はその場で回収し、日本総合研究所にて集計・分析を行った。

調査目的を踏まえ、以下の通り設問内容を検討した。主要な質問項目は以下に示すとおりである。結果の概要は第3章1（2）②で示すが、詳細については別途付録4を参照されたい。

図表 91 主要な質問項目



1	回答者の基本属性、放課後の過ごし方	対象：全員 ■ 性別、学年 ■ 現在放課後どこで、何をしているか ■ 今後放課後どこで、何をしたいか など
2	運動・スポーツの実施状況	対象：全員 ■ 現在部活動や阿智中クラブに所属しているか ■ 現在部活動、阿智中クラブ、体育の授業以外で運動・スポーツをしているか ■ 今後部活動、阿智中クラブ、体育の授業以外で運動・スポーツをしたいか
3	部活動の状況	対象：部活動に参加している生徒全員 ■ 何部に所属しているか、その部を選んだ理由は何か ■ 部活動に満足しているか ■ 部活動で取り組んでいる種目を、卒業後も続けたいか
4	「阿智中クラブ」の評価	対象：部活動と阿智中クラブの両方に参加している生徒 ■ 阿智中クラブへの満足度（頻度、練習の長さ、楽しさ、上達具合、指導方法など） ■ 阿智中クラブの活動に対する意見・感想 ■ 来年度の活動についての要望
5	「阿智中クラブ」不参加の理由	対象：部活動に参加しているが、阿智中クラブには参加していない生徒 ■ 阿智中クラブに参加しなかった理由
6	部活動不参加の理由	対象：部活動と阿智中クラブのどちらにも参加していない生徒 ■ 部活動に所属していない理由 ■ 運動・スポーツに対する考え方

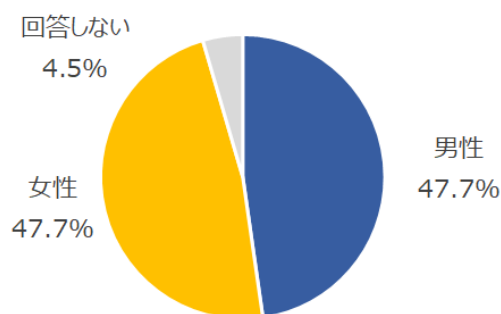
② 阿智中学校アンケート調査の実施結果

(ア) 回答者の基本属性、放課後の過ごし方について

回答者の男女比は同数である。

学年ごとの人数はほぼ同数であるが、1年生がやや多く、2・3年生がやや少ない。

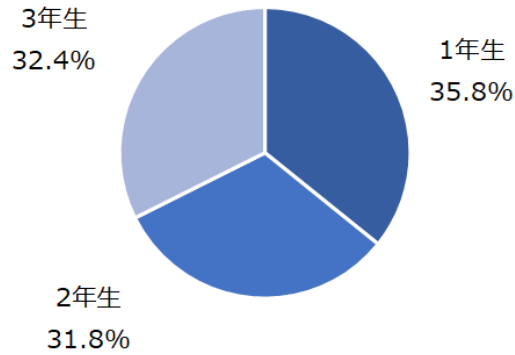
図表 92 1-1 あなたの性別について



全体 (n=285)

	N	%
男性	84	47.7%
女性	84	47.7%
回答しない	8	4.5%
合計	176	100.0%

図表 93 1-2 あなたの学年について

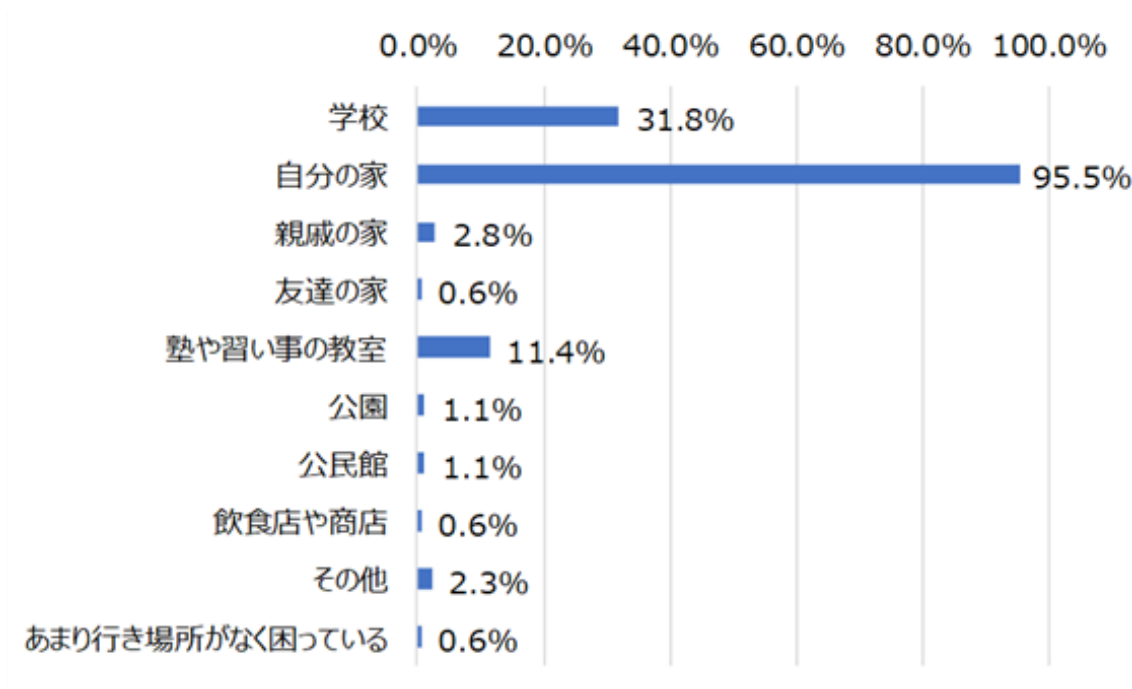


全体 (n=176)

	N	%
1年生	63	35.8%
2年生	56	31.8%
3年生	57	32.4%
合計	176	100.0%

放課後は殆どの生徒が自分の家で過ごしている。次いで多いのが学校で過ごす生徒であり、全体の3分の1程度である。塾や習い事に通っている生徒も一定数いる。

図表 94 1-3 平日の放課後、授業後から夜19時ごろまでを過ごすことが多い場所（3つまで）



全体 (n=176)

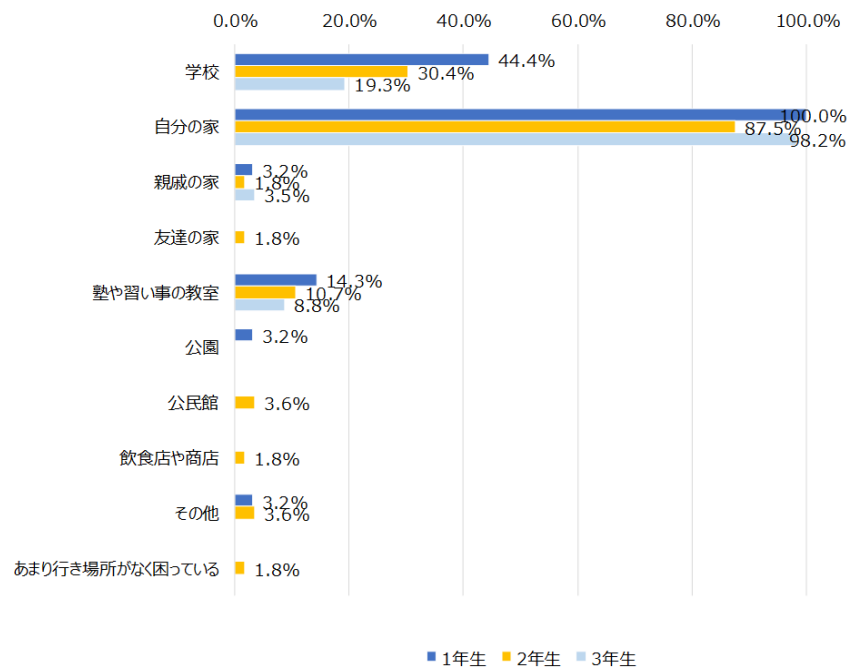
	N	%
学校	56	31.8%
自分の家	168	95.5%
親戚の家	5	2.8%
友達の家	1	0.6%
塾や習い事の教室	20	11.4%
公園	2	1.1%
公民館	2	1.1%
飲食店や商店	1	0.6%
その他	4	2.3%
あまり行き場所がなく困っている	1	0.6%
無回答	0	0.0%

その他

社体時に使うグラウンド	1
グラウンド	1
集会所	1

放課後学校で過ごす割合は、学年が低いほど高かった。

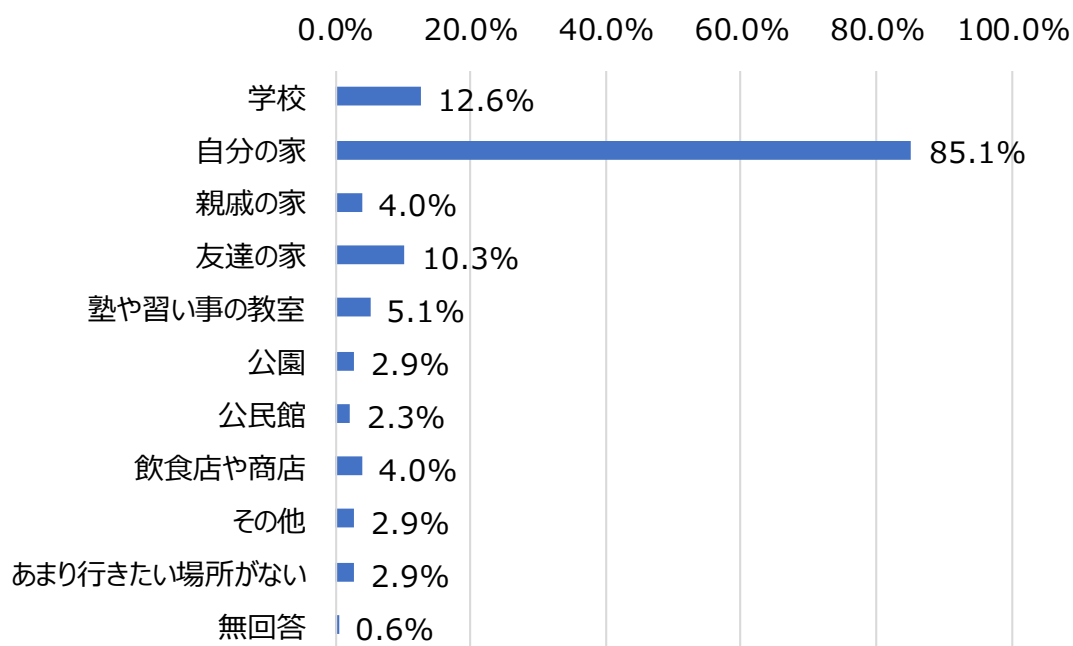
図表 95 1-3 平日の放課後を過ごすことが多い場所（3つまで）（×学年軸）



	全体	1年生	2年生	3年生
全体	176	63	56	57
学校	56	28	17	11
自分の家	168	63	49	56
親戚の家	5	2	1	2
友達の家	1	0	1	0
塾や習い事の教室	20	9	6	5
公園	2	2	0	0
公民館	2	0	2	0
飲食店や商店	1	0	1	0
その他	4	2	2	0
あまり行き場所がなく困っている	1	0	1	0
無回答	176	63	56	57

どのような場所で過ごしたいかを訊ねた設問では、自分の家が選択される割合が最も多く、次いで学校、友達の家が多かった。「現状過ごしている場所」と「今後過ごしたい場所」に大きな差はなかった。

図表 96 1-4 平日の放課後、授業後から夜 19 時ごろまでを過ごしたい場所（3つまで）



全体 (n=176)

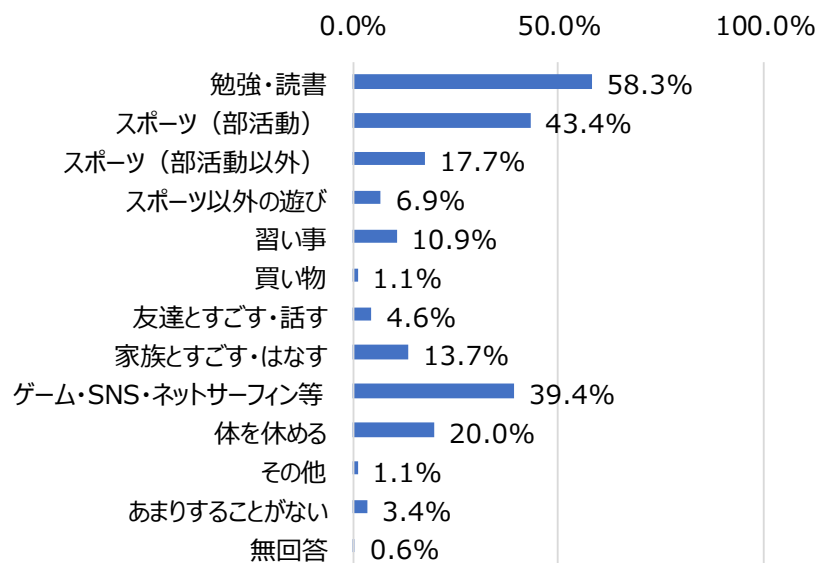
	N	%
学校	22	12.6%
自分の家	149	85.1%
親戚の家	7	4.0%
友達の家	18	10.3%
塾や習い事の教室	9	5.1%
公園	5	2.9%
公民館	4	2.3%
飲食店や商店	7	4.0%
その他	5	2.9%
あまり行き場所がなく困っている	5	2.9%
無回答	1	0.6%

その他

図書館	2
バスケのコート	1
集会所	1

放課後の過ごし方については勉強・読書が最も多く、次いでスポーツ（部活動）、ゲーム・SNS・ネットサーフィン等が多かった。スポーツ（部活動以外）も全体の2割程度が選択した。

図表 97 1-5 平日の放課後、授業後から夜19時ごろまでにすることが多い活動（3つまで）

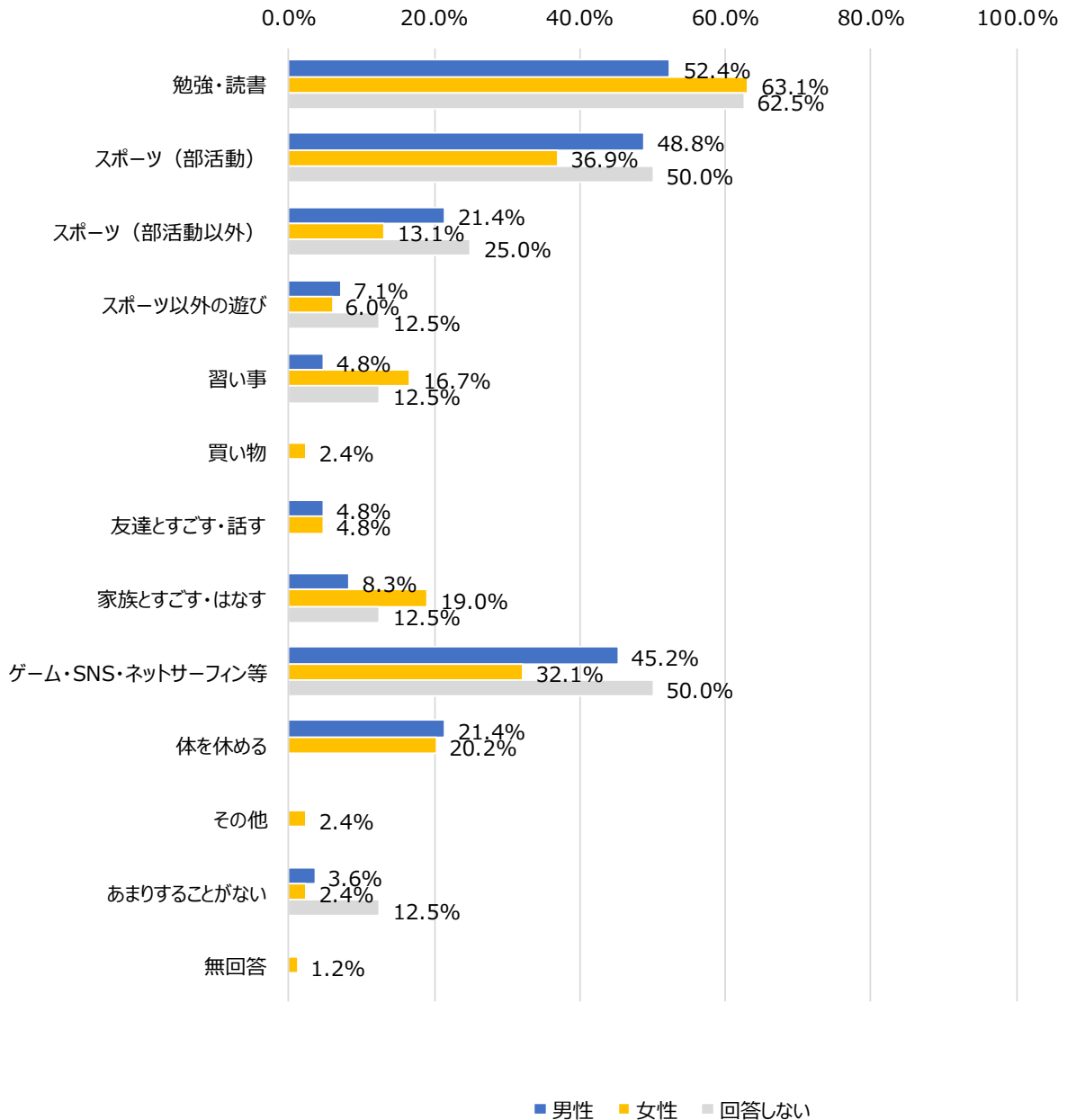


全体 (n=176)

	N	%
勉強	102	58.3%
スポーツ（部活動）	76	43.4%
スポーツ（部活動以外）	31	17.7%
スポーツ以外の遊び	12	6.9%
習い事	19	10.9%
買い物	2	1.1%
友達とすごす・話す	8	4.6%
家族とすごす・話す	24	13.7%
ゲーム・SNS・ネットサーフィン等	69	39.4%
体を休める	35	20.0%
その他	2	1.1%
あまりすることがない	6	3.4%
無回答	1	0.6%

放課後どのような場所で過ごすかには、男女で大きな差はなかった。放課後の活動については、男子はスポーツやゲーム・SNS・ネットサーフィン、女子は勉強・読書や習い事、家族とのだんらんを選択する割合が高かった。

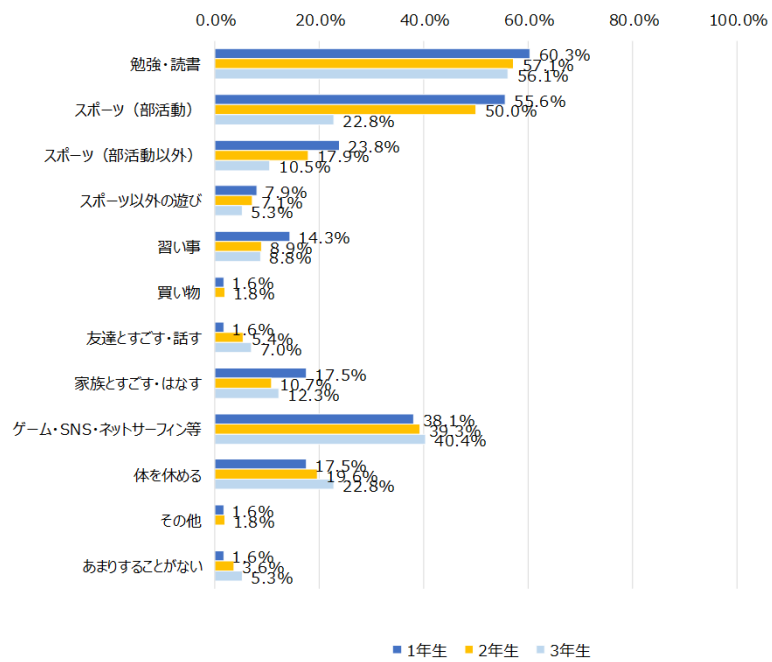
図表 98 1-5 平日の放課後、授業後から夜19時ごろまでにすることが多い活動（3つまで）
（×性別軸）



	全体	男性	女性	回答しない
全体	176	84	84	8
勉強・読書	102	44	53	5
スポーツ（部活動）	76	41	31	4
スポーツ（部活動以外）	31	18	11	2
スポーツ以外の遊び	12	6	5	1
習い事	19	4	14	1
買い物	2	0	2	0
友達とすごす・話す	8	4	4	0
家族とすごす・はなす	24	7	16	1
ゲーム・SNS・ネットサーフィン等	69	38	27	4
体を休める	35	18	17	0
その他	2	0	2	0
あまりすることがない	6	3	2	1
無回答	1	0	1	0

平日の放課後の活動について、学年別にみると、スポーツ（部活動以外）を選択する割合は、学年が低いほど高かった。

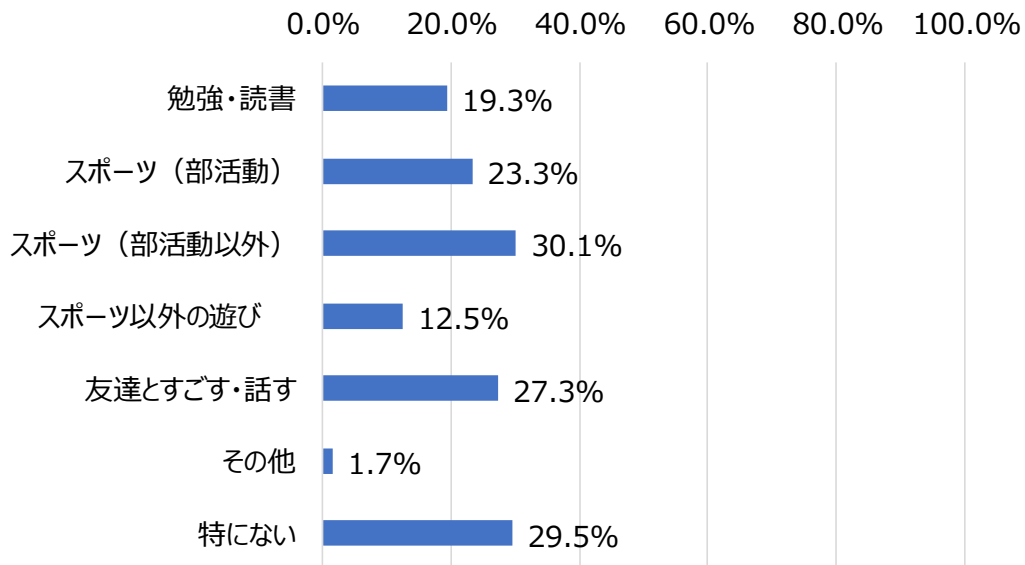
図表 99 1-5 平日の放課後にすることが多い活動（3つまで）（×学年軸）



	全体	1年生	2年生	3年生
全体	176	63	56	57
勉強・読書	102	38	32	32
スポーツ（部活動）	76	35	28	13
スポーツ（部活動以外）	31	15	10	6
スポーツ以外の遊び	12	5	4	3
習い事	19	9	5	5
買い物	2	1	1	0
友達とすごす・話す	8	1	3	4
家族とすごす・はなす	24	11	6	7
ゲーム・SNS・ネットサーフィン等	69	24	22	23
体を休める	35	11	11	13
その他	2	1	1	0
あまりすることがない	6	1	2	3
無回答	1	0	0	1

今後学校で放課後やってみたい活動として、最も多く選択されたのはスポーツ（部活動以外）であり、次いで「友達とすごす・話す」が多かった。回答傾向は比較的分散していた。

図表 100 1-6 今後、放課後に学校でやってみたい活動（3つまで）



全体 (n=176)

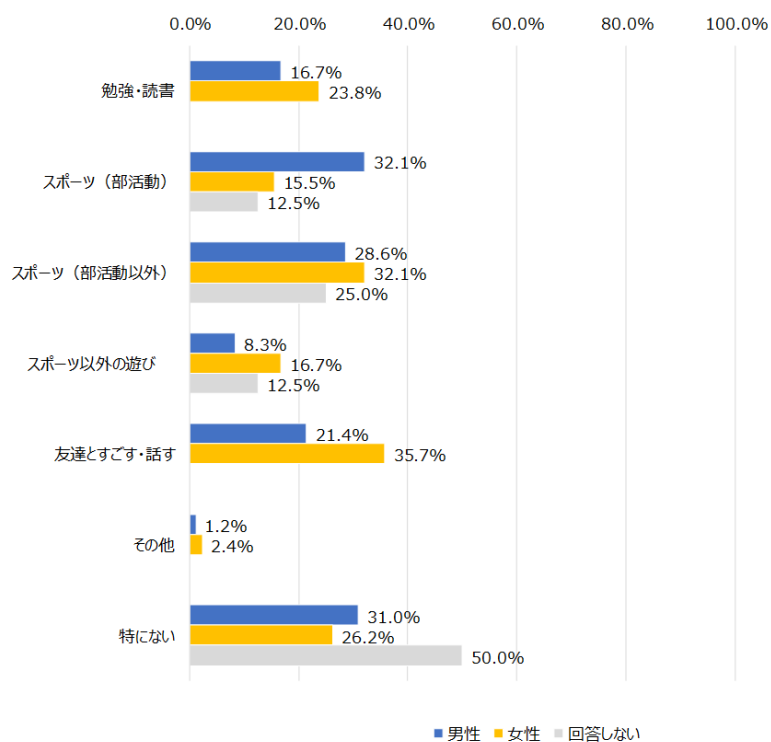
	N	%
勉強	34	19.3%
スポーツ（部活動）	41	23.3%
スポーツ（部活動以外）	53	30.1%
スポーツ以外の遊び	22	12.5%
友達とすごす・話す	48	27.3%
その他	3	1.7%
特にない	52	29.5%
無回答	0	0.0%

その他

お菓子作り	1
絵を描きたい	1

男女別にみると、スポーツ（部活動）は男子が選択する割合が高かった。他方、スポーツ（部活動以外）は男女を問わず高い割合で選択された。女子は「勉強・読書」や「友達と過ごす・話す」を選択する割合が相対的に高かった。

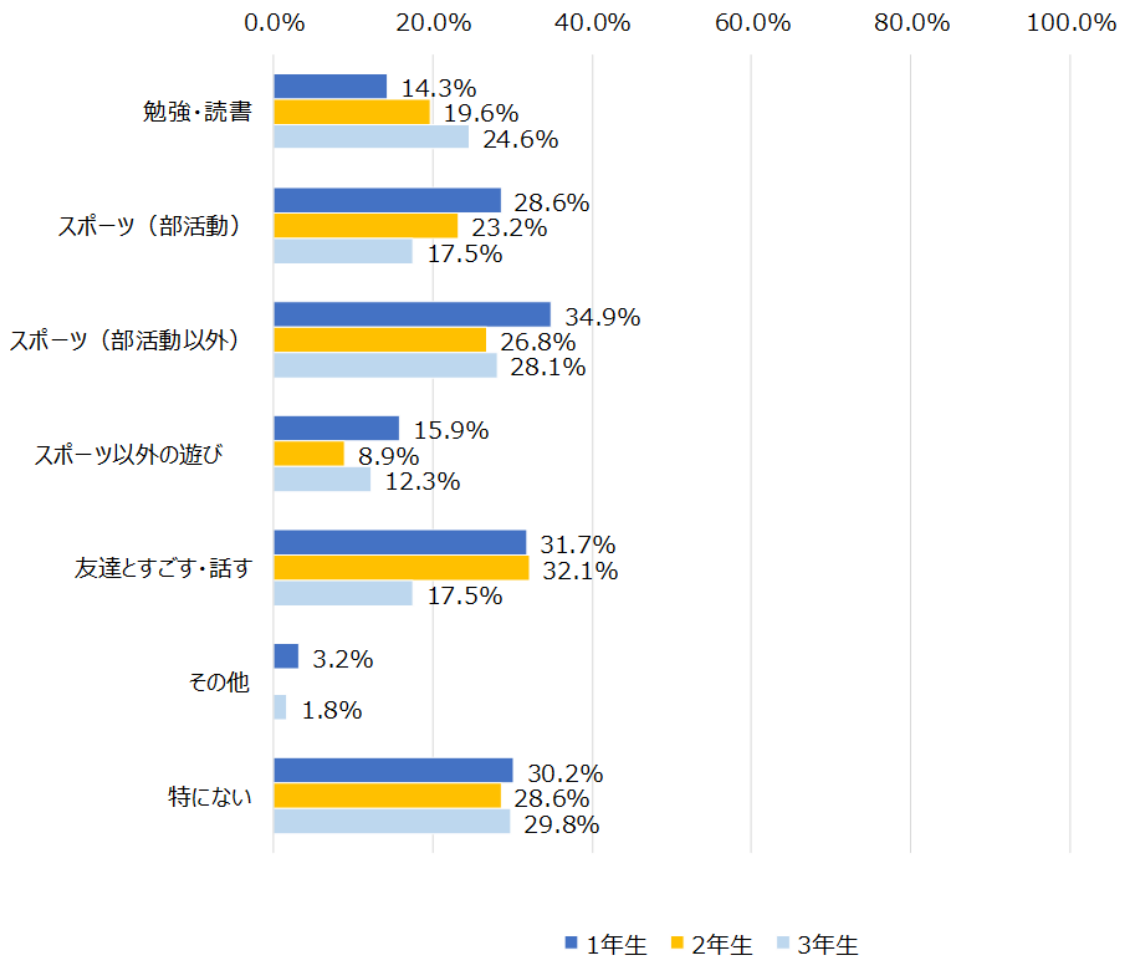
図表 101 1-6 今後、放課後に学校でやってみたい活動（3つまで）（×性別軸）



	全体	男性	女性	回答しない
全体	176	84	84	8
勉強・読書	34	14	20	0
スポーツ（部活動）	41	27	13	1
スポーツ（部活動以外）	53	24	27	2
スポーツ以外の遊び	22	7	14	1
友達と過ごす・話す	48	18	30	0
その他	3	1	2	0
特にない	52	26	22	4

学年別にみると、勉強・読書は学年が高いほど、スポーツ（部活動）は学年が低いほど多かった。こうした傾向には高校受験が影響を与えていることが類推される。

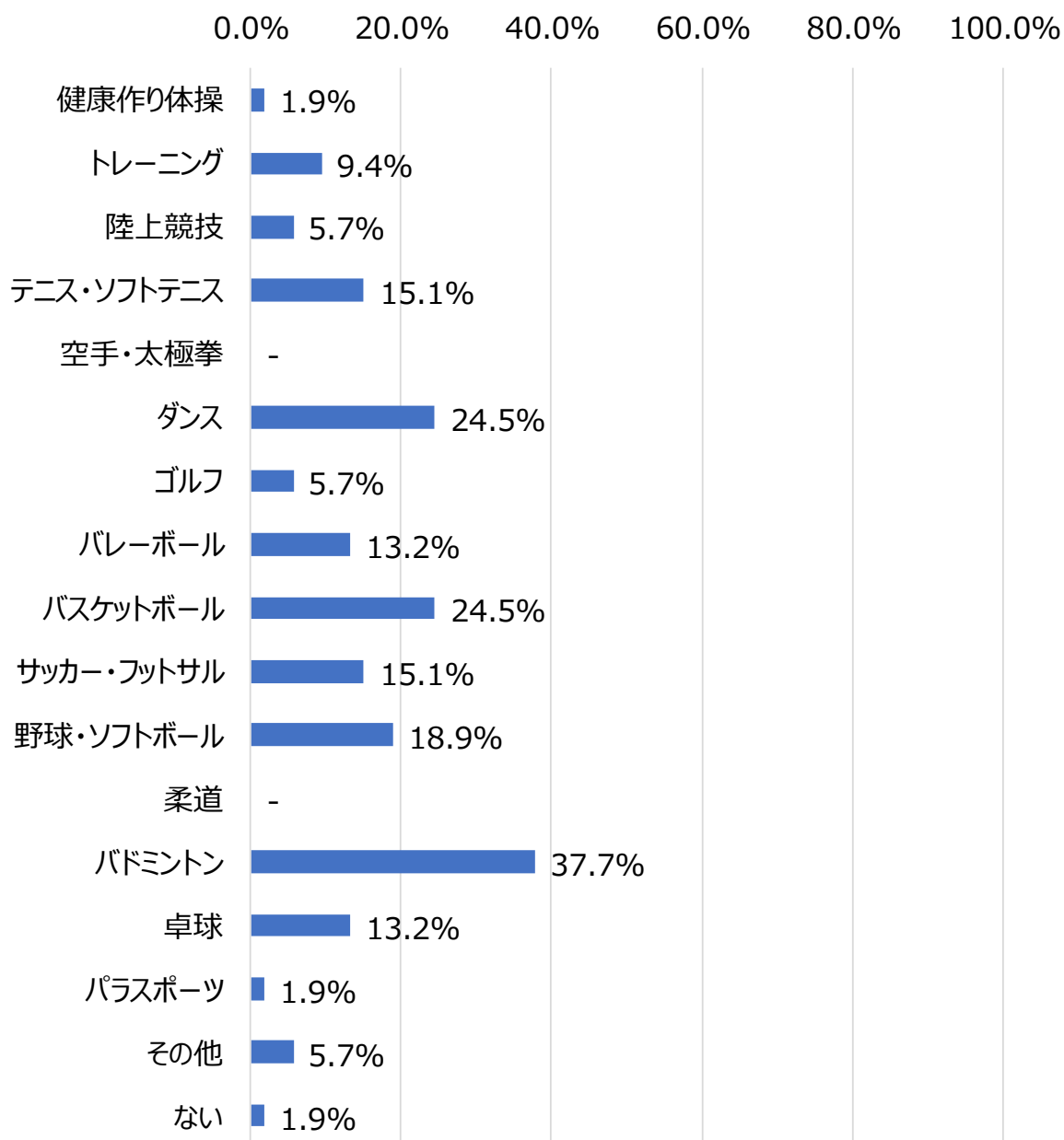
図表 102 1-6 今後、放課後に学校でやってみたい活動（3つまで）（×学年軸）



	全体	1年生	2年生	3年生
全体	176	63	56	57
勉強・読書	34	9	11	14
スポーツ（部活動）	41	18	13	10
スポーツ（部活動以外）	53	22	15	16
スポーツ以外の遊び	22	10	5	7
友達とすごす・話す	48	20	18	10
その他	3	2	0	1
特にない	52	19	16	17

「スポーツ（部活動以外）」を選択した生徒に対し、具体的にやってみたい種目を訊ねたところ、バドミントン、バスケットボール、ダンス等が多く選択された。こうした傾向からは、部活動では実施できない種目に対するニーズがあることが読み取れる。

図表 103 1-7 特にやってみたいスポーツ
 (1-6で「スポーツ（部活動以外）」を選んだ回答者、3つまで)



全体 (n=53)

	N	%
健康作り体操	1	1.9%
トレーニング	5	9.4%
陸上競技	3	5.7%
テニス・ソフトテニス	8	15.1%
空手・太極拳	0	0.0%
ダンス	13	24.5%
ゴルフ	3	5.7%
バレーボール	7	13.2%
バスケットボール	13	24.5%
サッカー・フットサル	8	15.1%
野球・ソフトボール	10	18.9%
柔道	0	0.0%
バドミントン	20	37.7%
卓球	7	13.2%
パラスポーツ	1	1.9%
その他	3	5.7%
ない	1	1.9%
無回答	0	0.0%

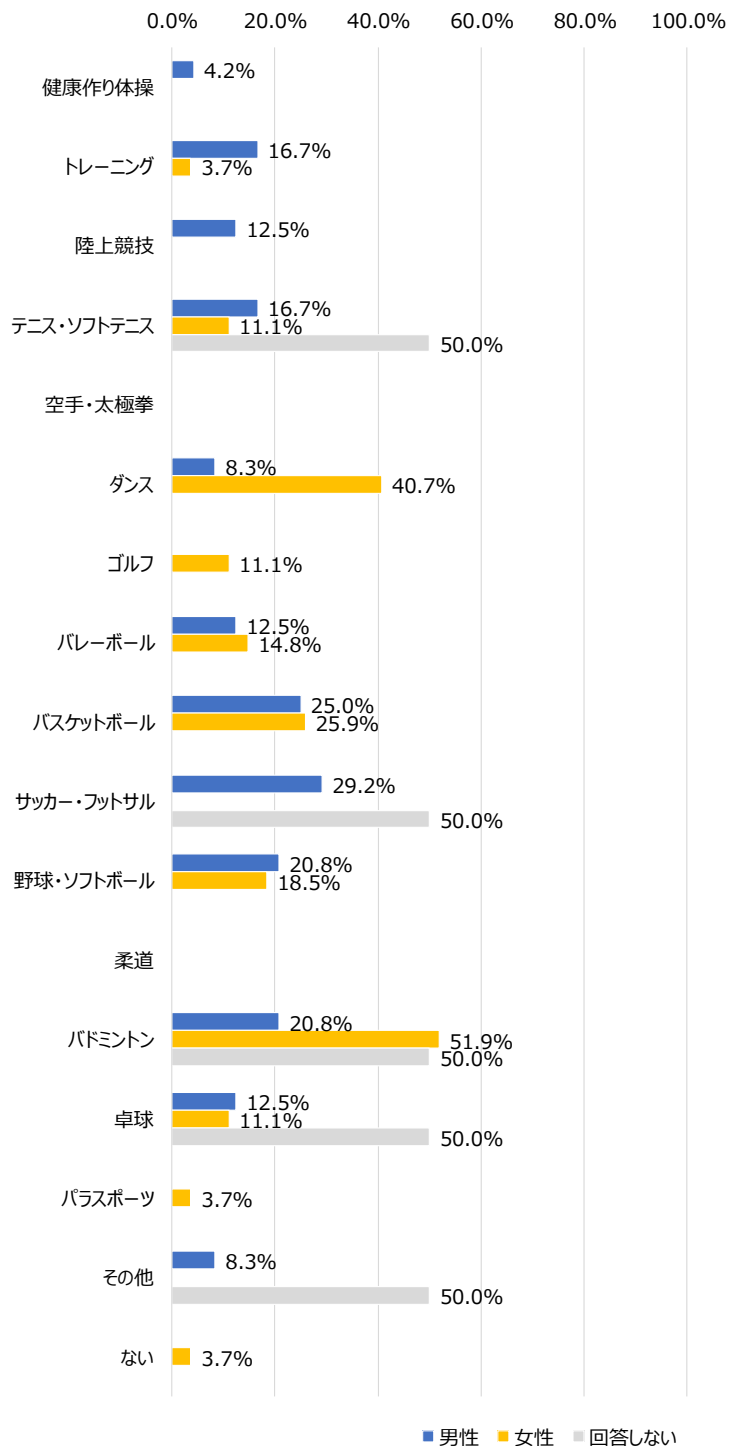
その他

ラグビー

自転車

男子の方が高い割合で選択したのはトレーニング、陸上競技、サッカー・フットサル等であった。女子の方が高い割合で選択したのはダンス、バドミントン等であった。バスケットボールは男女問わず人気があった。

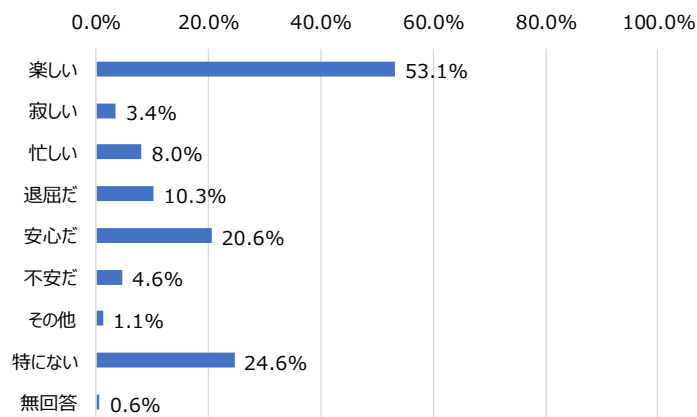
図表 104 1-7 特にやってみたいスポーツ
 (1-6で「スポーツ(部活動以外)」を選んだ回答者、3つまで)(×性別軸)



	全体	男性	女性	回答しない
全体	53	24	27	2
健康作り体操	1	1	0	0
トレーニング	5	4	1	0
陸上競技	3	3	0	0
テニス・ソフトテニス	8	4	3	1
空手・太極拳	0	0	0	0
ダンス	13	2	11	0
ゴルフ	3	0	3	0
バレーボール	7	3	4	0
バスケットボール	13	6	7	0
サッカー・フットサル	8	7	0	1
野球・ソフトボール	10	5	5	0
柔道	0	0	0	0
バドミントン	20	5	14	1
卓球	7	3	3	1
パラスポーツ	1	0	1	0
その他	3	2	0	1
ない	1	0	1	0

放課後の過ごし方に対する感想は「楽しい」「安心だ」「特にない」が多く、概ね現状に満足していると考えられる。

図表 105 1-8 自身の放課後の過ごし方について（3つまで）

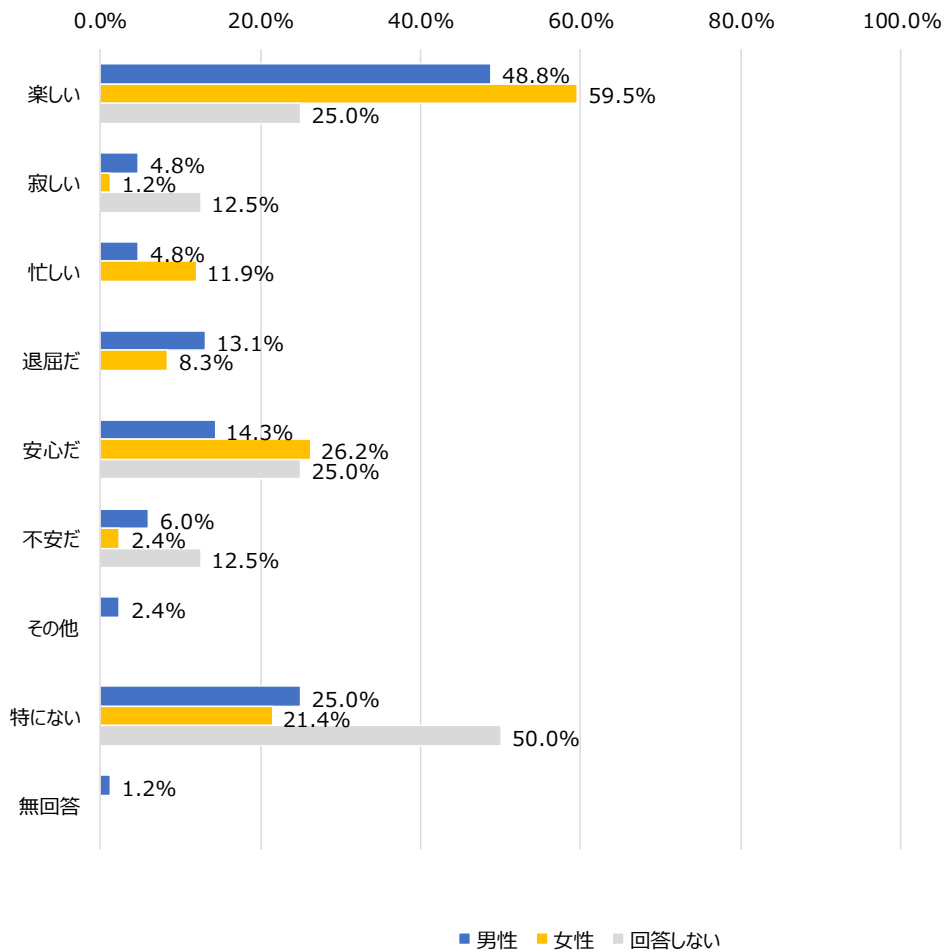


全体 (n=176)

	N	%
楽しい	93	53.1%
寂しい	6	3.4%
忙しい	14	8.0%
退屈だ	18	10.3%
安心だ	36	20.6%
不安だ	8	4.6%
その他	2	1.1%
特にない	43	24.6%
無回答	1	0.6%

男女別にみると、放課後の過ごし方の感想としては、「楽しい」「忙しい」「安心だ」は女子の方が高い割合で選択した。

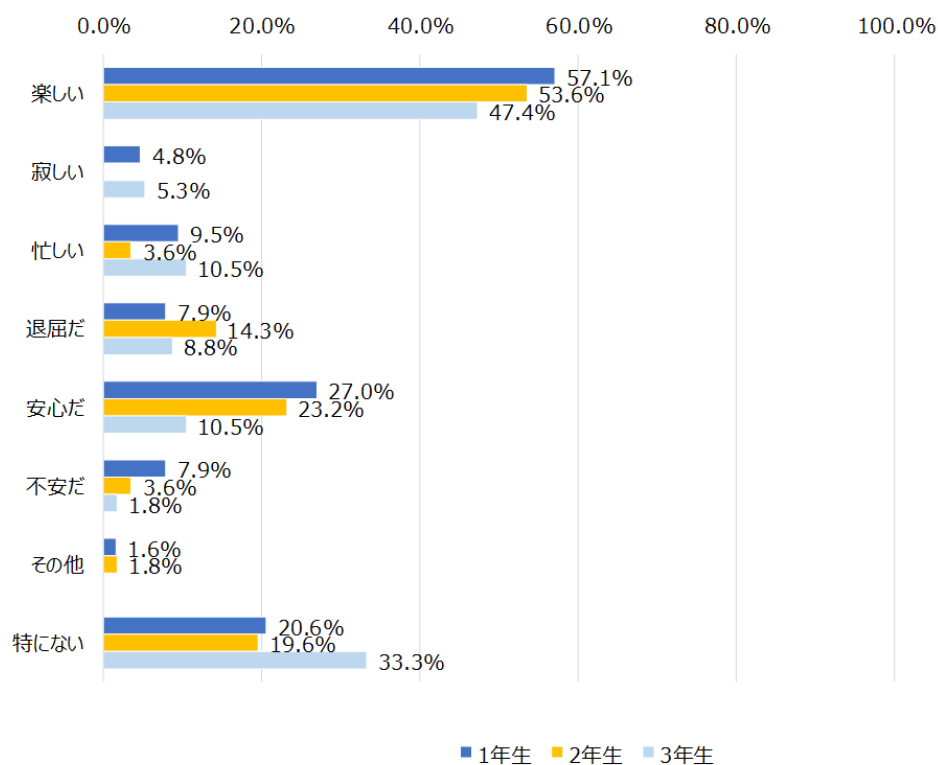
図表 106 1-8 自身の放課後の過ごし方について (3つまで) (×性別軸)



	全体	男性	女性	回答しない
全体	176	84	84	8
楽しい	93	41	50	2
寂しい	6	4	1	1
忙しい	14	4	10	0
退屈だ	18	11	7	0
安心だ	36	12	22	2
不安だ	8	5	2	1
その他	2	2	0	0
特にない	43	21	18	4
無回答	1	1	0	0

学年別にみると、「楽しい」「安心だ」は学年が低いほど高い割合で選択された。進路選択が近づく上級生は、安心感が得られにくいことが類推される

図表 107 1-8 自身の放課後の過ごし方について（3つまで）（×学年軸）

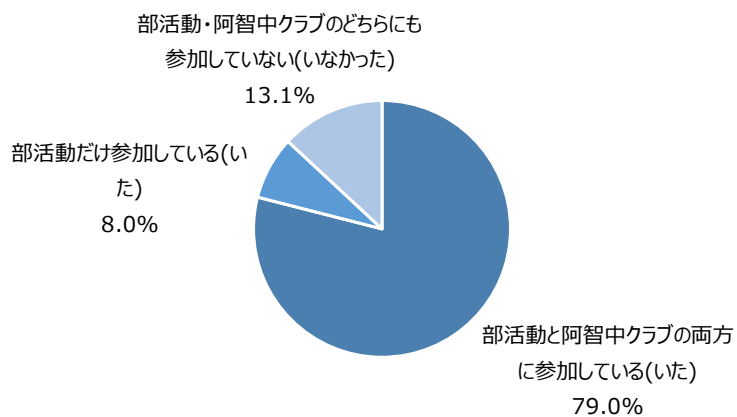


	全体	1年生	2年生	3年生
全体	176	63	56	57
楽しい	93	36	30	27
寂しい	6	3	0	3
忙しい	14	6	2	6
退屈だ	18	5	8	5
安心だ	36	17	13	6
不安だ	8	5	2	1
その他	2	1	1	0
特にない	43	13	11	19
無回答	1	0	1	0

(イ) 運動・スポーツ実施状況について

回答者の約8割が部活動・阿智中クラブの双方に参加している(いた)。最も割合が低いのは、部活動のみに参加している生徒で、全体の8%程度であった。

図表 108 2-1 部活動や阿智中クラブへの参加状況

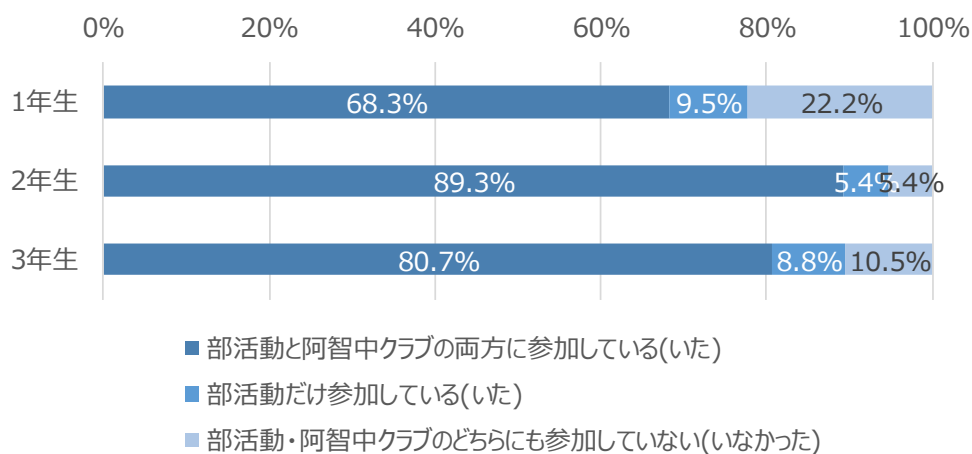


全体(n=176)

	N	%
部活動と阿智中クラブの両方に参加している(いた)	139	79.0%
部活動だけ参加している(いた)	14	8.0%
部活動・阿智中クラブのどちらにも参加していない(いなかった)	23	13.1%

学年別にみると、1年生は部活動や阿智中クラブへの参加率がやや低い。

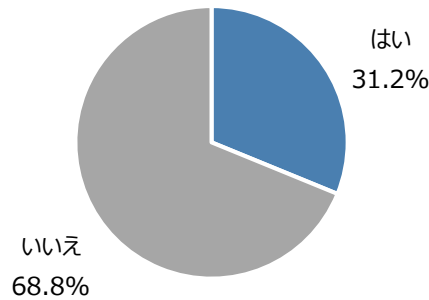
図表 109 2-1 部活動や阿智中クラブへの参加状況（×学年軸）



	全体	1年生	2年生	3年生
全体	176	63	56	57
部活動と阿智中クラブの両方に参加している(いた)	139	43	50	46
部活動だけ参加している(いた)	14	6	3	5
部活動・阿智中クラブのどちらにも参加していない(いなかった)	23	14	3	6

回答者の約3分の1が「部活動、阿智中クラブ、体育の授業以外で行っている運動・スポーツがある」と回答した。

図表 110 2-2 現在、部活動、阿智中クラブ、体育の授業以外で行っている運動・スポーツがあるか

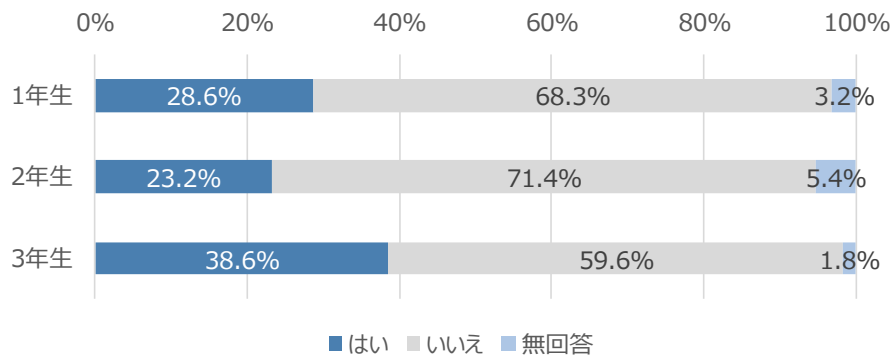


全体 (n=176)

	N	%
はい	53	31.2%
いいえ	117	68.8%
無回答	6	3.4%

学年別にみると、3年生は学校外で運動・スポーツを実施している割合がやや高かった。

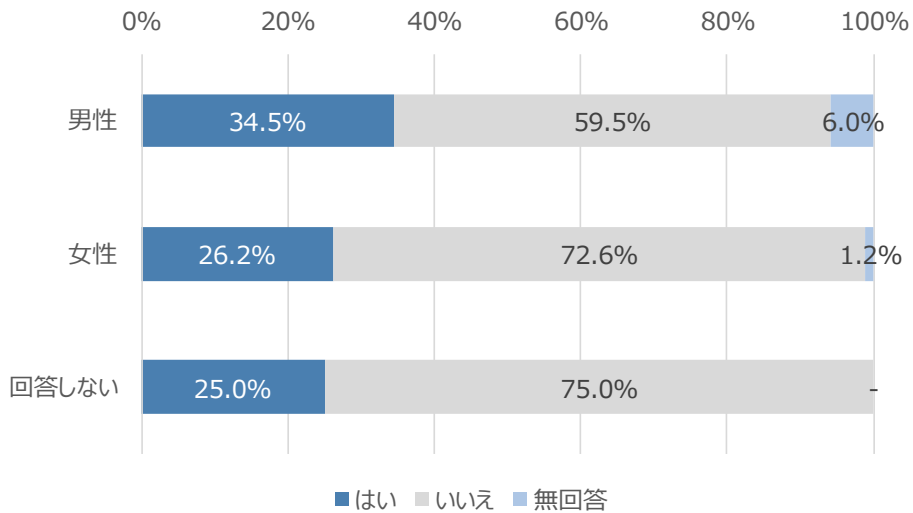
図表 111 2-2 現在、部活動、阿智中クラブ、体育の授業以外で行っている運動・スポーツがあるか



	全体	1年生	2年生	3年生
全体	176	63	56	57
はい	53	18	13	22
いいえ	117	43	40	34
無回答	6	2	3	1

男女別にみると、部活動・阿智中クラブ・体育の授業以外で運動・スポーツを実施している割合ともに男子の方が高かった（部活動・阿智中クラブへの加入率も高い）。

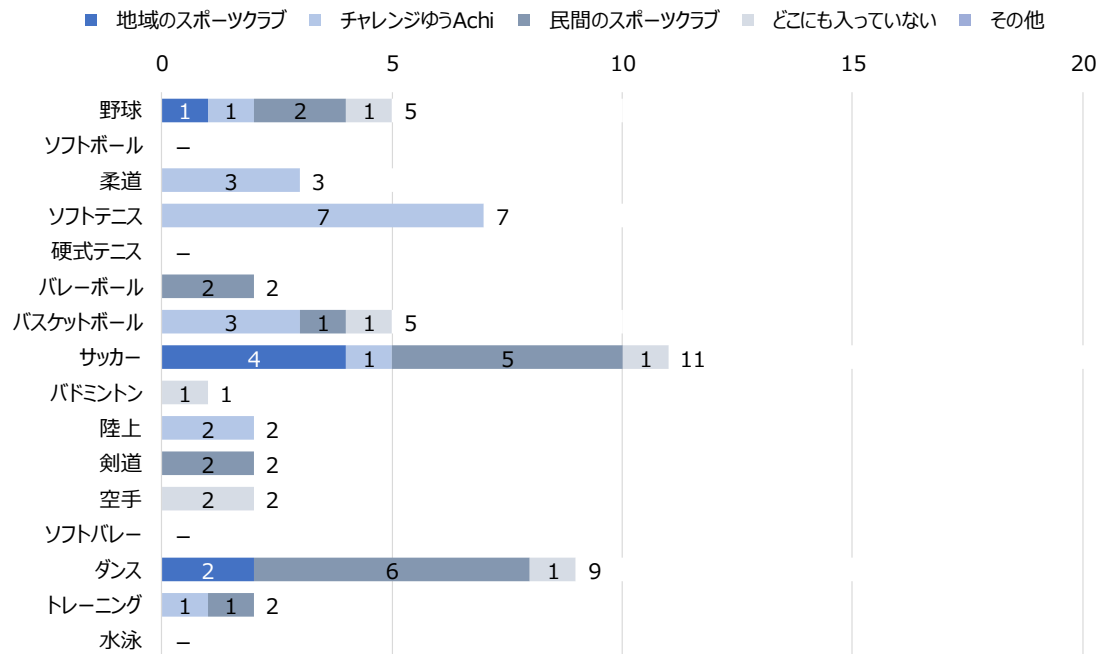
図表 112 2-2 現在、部活動、阿智中クラブ、体育の授業以外で行っている運動・スポーツがあるか（×性別軸）



	全体	男性	女性	回答しない
全体	176	84	84	8
はい	53	29	22	2
いいえ	117	50	61	6
無回答	6	5	1	0

学校以外での運動・スポーツの実施場所として最も多かったのは民間のスポーツクラブ、次いで多かったのがチャレンジゆう Achi であった。種目別にみるとバスケットボールやダンス等、部活動で実施できないものが多い。他方で野球なども選択されており、部活動で行える種目をより高いレベルで練習したいというニーズも一定程度あると考えられる。

図表 113 2-3 部活動、阿智中クラブ、体育の授業以外で行っている運動・スポーツの
【A】 種目と、**【B】** その種目を実施するにあたり、クラブ等に所属しているか
 (2-2で「はい」を選んだ回答者・3つまで)



全体(n=53)

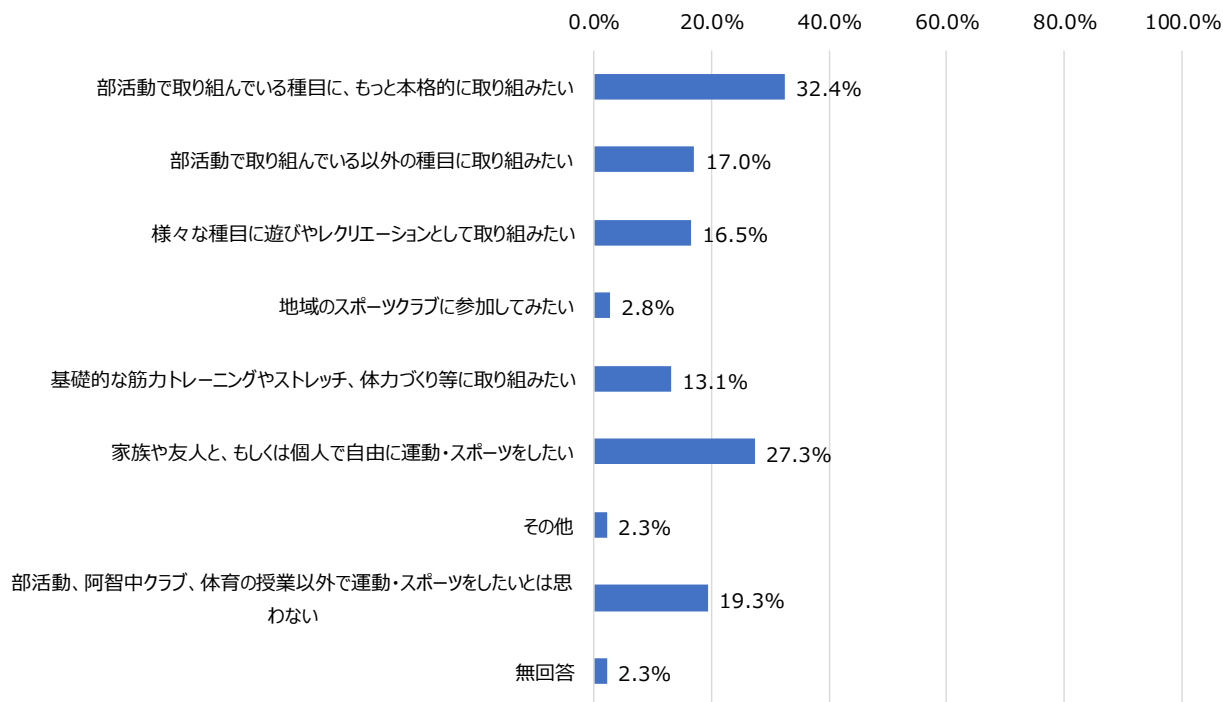
	地域のスポーツクラブ	チャレンジゆうAchi	民間のスポーツ	どこにも入っていない	その他	合計
野球	1	1	2	1	—	5
ソフトボール	—	—	—	—	—	—
柔道	—	3	—	—	—	3
ソフトテニス	—	7	—	—	—	7
硬式テニス	—	—	—	—	—	—
バレーボール	—	—	2	—	—	2
バスケットボール	—	3	1	1	—	5
サッカー	4	1	5	1	—	11
バドミントン	—	—	—	1	—	1
陸上	—	2	—	—	—	2
剣道	—	—	2	—	—	2
空手	—	—	—	2	—	2
ソフトバレー	—	—	—	—	—	—
ダンス	2	—	6	1	—	9

トレーニング	—	1	1	—	—	2
水泳	—	—	—	—	—	—
その他	2	1	3	2	—	8

その他	地域のスポーツクラブ	チャレンジジゆうAchi	民間のスポーツ	どこにも入っていない	その他
(卓球)	2	1	—	—	—
(クラシックバレエ)	—	—	1	—	—
(ラグビー)	—	—	1	—	—
(スキー)	—	—	1	—	—
(自転車)	—	—	—	1	—

今後、部活動、阿智中クラブ、体育の授業以外で運動・スポーツをしてみたいかどうかについては、「部活動で取り組んでいる種目に、もっと本格的に取り組みたい」と「家族や友人と、もしくは個人で自由に運動・スポーツをしたい」がそれぞれ同程度選択された。より高いレベルで取り組みたい生徒と、より気軽に取り組みたい生徒、2通りのニーズが存在すると考えられる。

図表 114 2-4 今後、部活動、阿智中クラブ、体育の授業以外で運動・スポーツをしてみたいか



全体 (n=172)

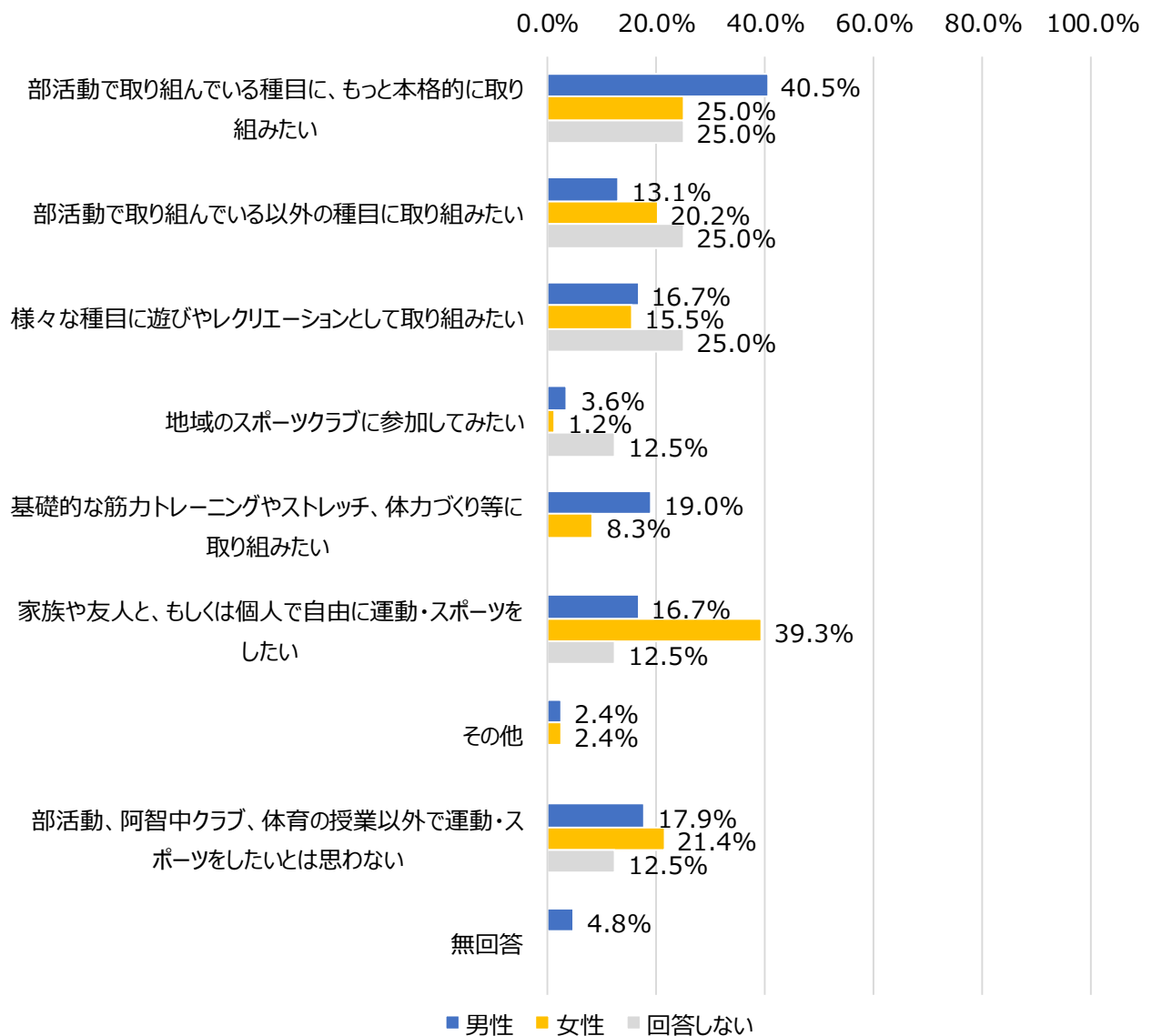
	N	%
部活動で取り組んでいる種目に、もっと本格的に取り組みたい	57	32.4%
部活動で取り組んでいる以外の種目に取り組みたい	30	17.0%
様々な種目に遊びやレクリエーションとして取り組みたい	29	16.5%
地域のスポーツクラブに参加してみたい	5	2.8%
基礎的な筋力トレーニングやストレッチ、体力づくり等に取り組みたい	23	13.1%
家族や友人と、もしくは個人で自由に運動・スポーツをしたい	48	27.3%
その他	4	2.3%
部活動、阿智中クラブ、体育の授業以外で運動・スポーツをしたいとは思わない	34	19.3%

その他

今の習い事を続けたい	1
ダウンヒル	1
今やっている習い事を本格的にがんばりたい	1

男女別にみると、男子は「部活動で取り組んでいる種目に、もっと本格的に取り組みたい」、女子は「家族や友人と、もしくは個人で自由に運動・スポーツをしたい」を選択する割合が高かった。

図表 115 2-4 部活動、阿智中クラブ、体育の授業以外での運動・スポーツ実施意向
(×性別軸)

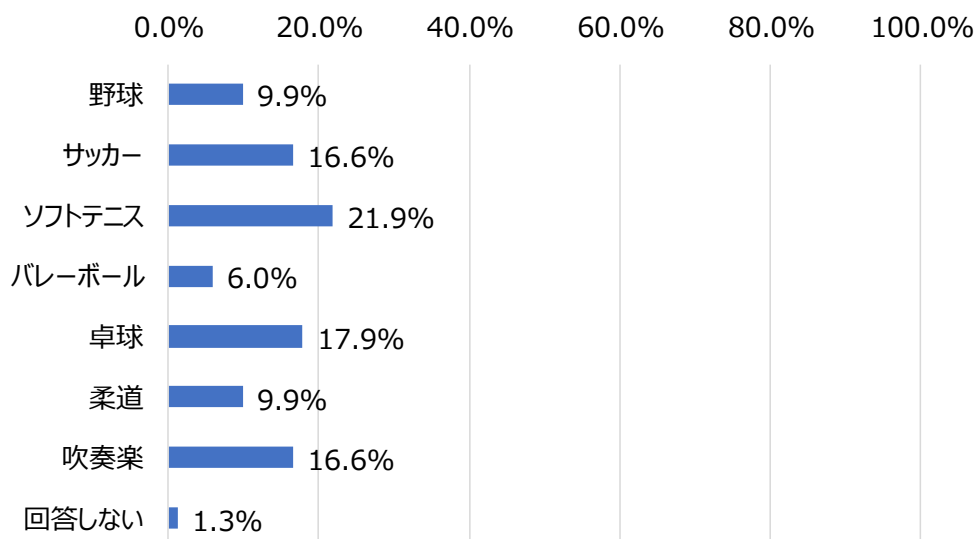


	全体	男性	女性	回答しない
全体	176	84	84	8
部活動で取り組んでいる種目に、もっと本格的に取り組みたい	57	34	21	2
部活動で取り組んでいる以外の種目に取り組みたい	30	11	17	2
様々な種目に遊びやレクリエーションとして取り組みたい	29	14	13	2
地域のスポーツクラブに参加してみたい	5	3	1	1
基礎的な筋力トレーニングやストレッチ、体力づくり等に取り組みたい	23	16	7	0
家族や友人と、もしくは個人で自由に運動・スポーツをしたい	48	14	33	1
その他	4	2	2	0
部活動、阿智中クラブ、体育の授業以外で運動・スポーツをしたいとは思わない	34	15	18	1
無回答	4	4	0	0

(ウ) 部活動について

回答者の部活動への所属状況は以下の通り。

図表 116 3-1 どの部活動に参加しているか

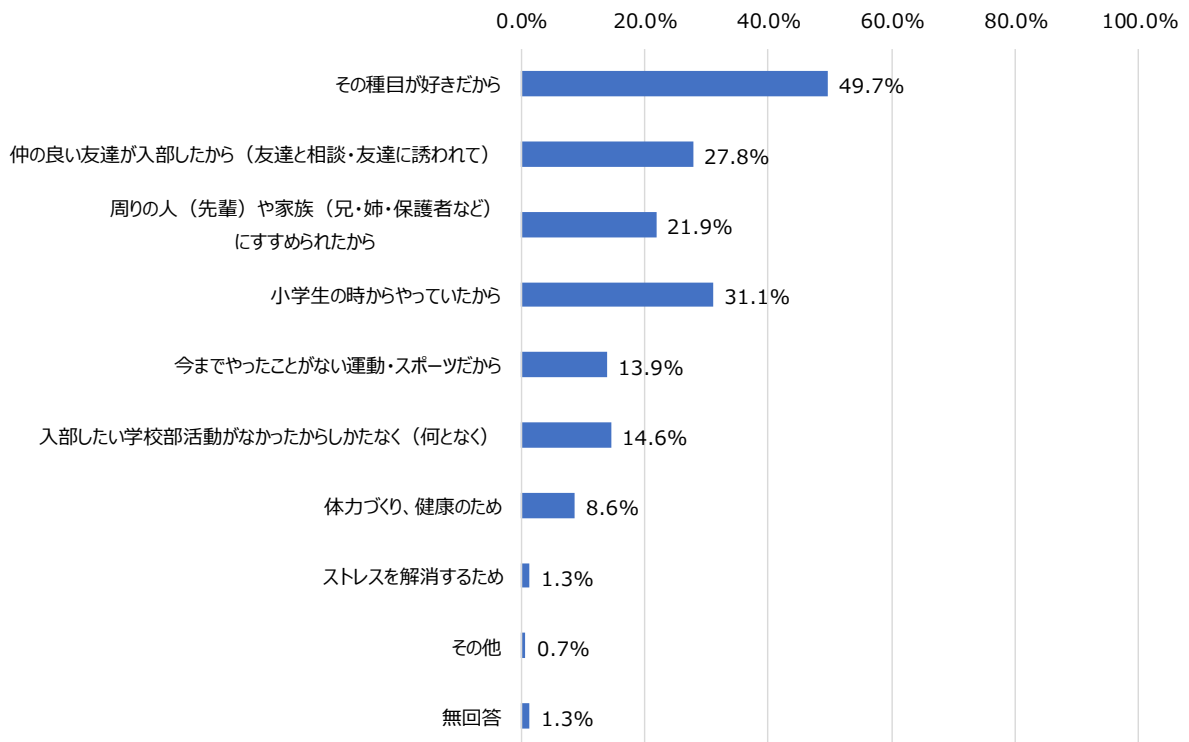


全体(n=151)

	N	%
野球	15	9.9%
サッカー	25	16.6%
ソフトテニス	33	21.9%
バレーボール	9	6.0%
卓球	27	17.9%
柔道	15	9.9%
吹奏楽	25	16.6%
回答しない	2	1.3%

部活動で行っている種目を選んだ理由としては「その種目が好きだから」が最も多く、次いで「小学生の時からやっていたから」や「周りの人（先輩）や家族（兄・姉・保護者など）にすすめられたから」が多い。

図表 117 3-2 部活動の選択理由

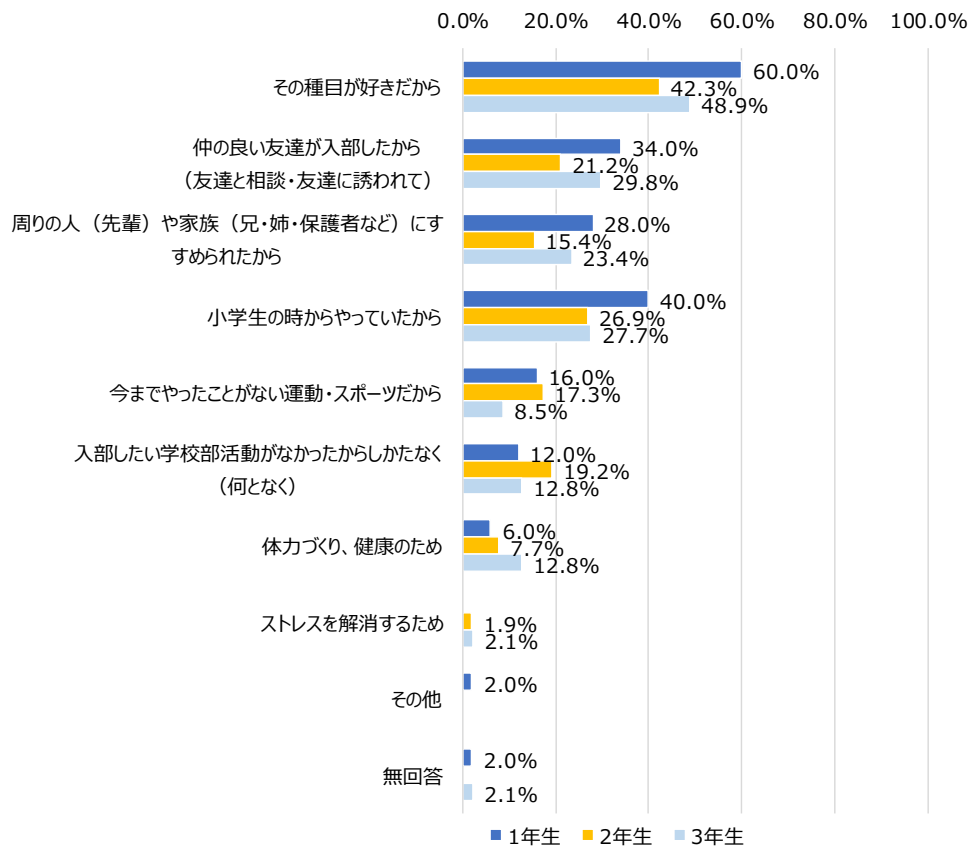


全体 (n=149)

	N	%
その種目が好きだから	75	49.7%
仲の良い友達が入部したから (友達と相談・友達に誘われて)	42	27.8%
周りの人 (先輩) や家族 (兄・姉・保護者など) にすすめられたから	33	21.9%
小学生の時からやっていたから	47	31.1%
今までやったことがない運動・スポーツだから	21	13.9%
入部したい学校部活動がなかったからしかたなく (何となく)	22	14.6%
体力づくり、健康のため	13	8.6%
ストレスを解消するため	2	1.3%
その他	1	0.7%
無回答	2	1.3%

学年別にみると、「その種目が好きだから」「小学生の時からやっていたから」は1年生が選択する割合が高かった。

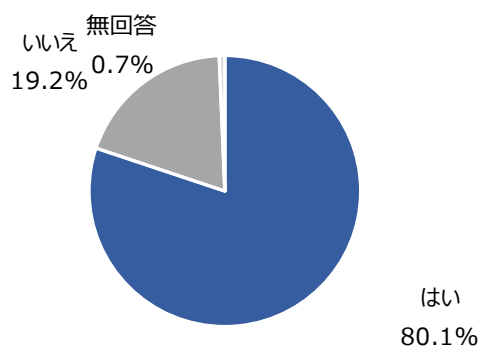
図表 118 3-2 その部活動を選んだのはなぜですか。(複数回答) (×学年軸)



	全体	1年生	2年生	3年生
全体	151	51	52	48
その種目が好きだから	75	30	22	23
仲の良い友達が入部したから（友達と相談・友達に誘われて）	42	17	11	14
周りの人（先輩）や家族（兄・姉・保護者など）にすすめられたから	33	14	8	11
小学生の時からやっていたから	47	20	14	13
今までやったことがない運動・スポーツだから	21	8	9	4
入部したい学校部活動がなかったからしかたなく（何となく）	22	6	10	6
体力づくり、健康のため	13	3	4	6
ストレスを解消するため	2	0	1	1
その他	1	1	0	0
無回答	2	1	0	1

約8割の生徒が部活動に満足している。やってみたい種目が部活動ではできない、とは認識しつつも、特段の不満は感じていないと考えられる。

図表 119 3-3 現在所属している部活動に満足しているか

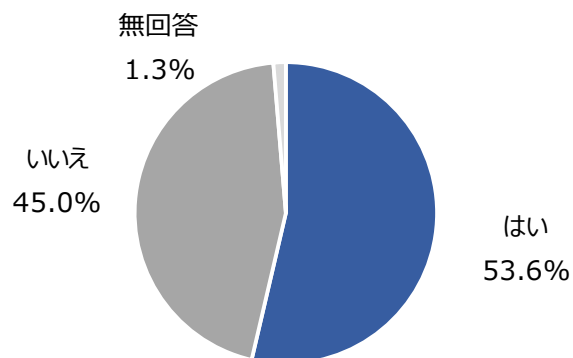


全体 (n=150)

	N	%
はい	121	80.1%
いいえ	29	19.2%
無回答	1	0.7%

部活動で実施している種目を高校以降も継続したいと考えている生徒は全体の 5 割程度であった。

図表 120 3-4 現在、部活動で行っている種目を中学校卒業後も続けたいか

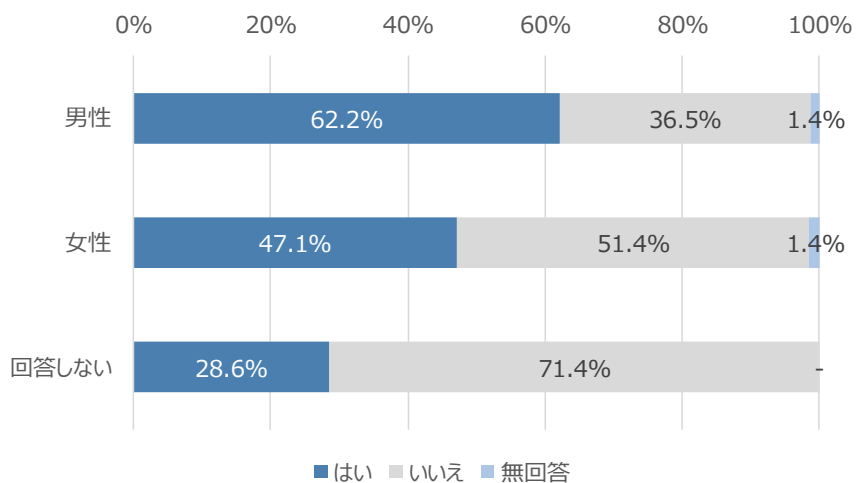


全体 (n=149)

	N	%
はい	81	54.4%
いいえ	68	45.6%
無回答	2	1.3%

男女別にみると、男子の方が高校以降も部活動で実施している種目の継続意向を有する割合が高かった。

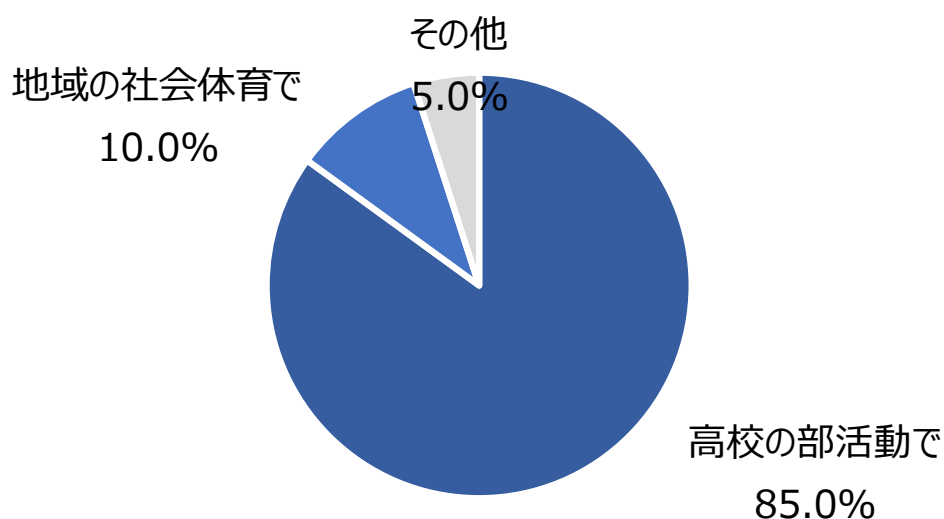
図表 121 3-4 現在、部活動で行っている種目を中学校卒業後も続けたいか (×性別軸)



	全体	男性	女性	回答しない
全体	151	74	70	7
はい	81	46	33	2
いいえ	68	27	36	5
無回答	2	1	1	0

部活動で行っている種目を中学校卒業後も継続したいと回答した生徒のほとんどは、高校以降は部活動において当該種目を実施したいと回答している。

図表 122 3-5 現在、部活動で行っている種目を中学校卒業後、どのような形で続けたいか
(3-4で「はい」を選んだ回答者)



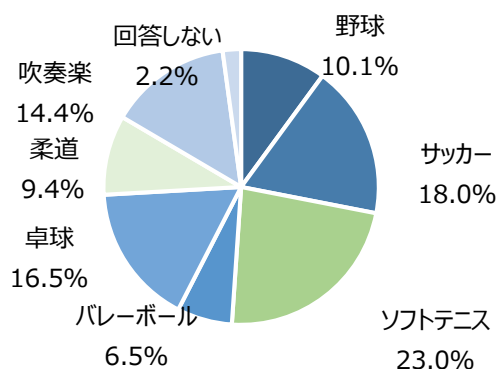
全体 (n=80)

	N	%
高校の部活動で	68	85.0%
地域の社会体育で	8	10.0%
その他	4	5.0%

(エ) 「阿智中クラブ」について

阿智中クラブへの参加の状況（種目別の内訳）は以下の通り。

図表 123 4-1 阿智中クラブのどの活動に参加しているか

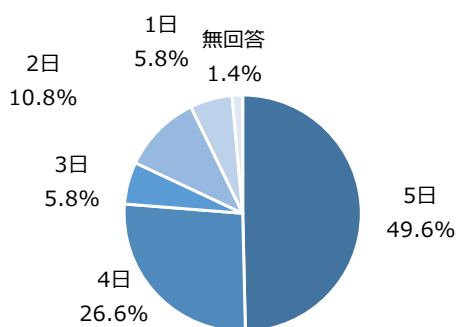


全体 (n=139)

	N	%
野球	14	10.1%
サッカー	25	18.1%
ソフトテニス	32	23.0%
バレーボール	9	6.5%
卓球	23	16.5%
柔道	13	9.4%
吹奏楽	20	14.4%
回答しない	3	2.2%

「阿智中クラブ」と部活動を合わせると、活動日数は平日4日以上、土日1日以上が多い。『運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン』で示された休養日の目安(週2日以上)を踏まえると、やや活動頻度が高いと考えられる。他方で、後段で示す通り、生徒自身は阿智中クラブの活動頻度が多すぎるとは感じていない。

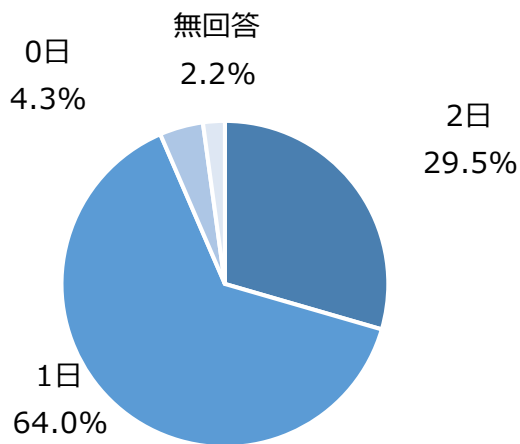
図表 124 4-2 平日(大会前等ではない、普段の練習)で部活動と、阿智中クラブに参加している日の合計



全体 (n=139)

	N	%
5 日	69	49.6%
4 日	37	26.6%
3 日	8	5.8%
2 日	15	10.8%
1 日	8	5.8%
無回答	2	1.4%

図表 125 4-3 土日（大会前等ではない、普段の練習）で部活動と、阿智中クラブに参加している日の合計

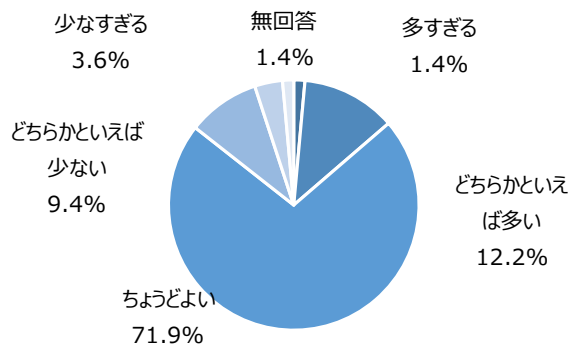


全体 (n=139)

	N	%
2 日	41	29.5%
1 日	89	64.0%
0 日	6	4.3%
無回答	3	2.2%

「阿智中クラブ」に対する生徒の評価については、以下に示す通り。すべての評価項目について、生徒は概ね満足している。総合的な満足度を問う質問では約 7 割が「満足」「どちらかといえば満足」、約 2 割強が「どちらかともいえない」を選択している。概ね不満はないものの、初年度ということもあり、評価を保留している生徒もいると考えられる。

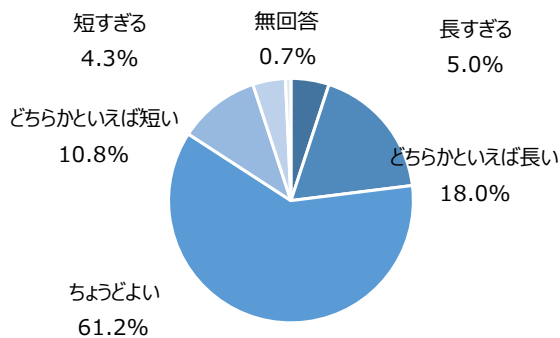
図表 126 4-4 実施頻度への評価



全体 (n=139)

	N	%
多すぎる	2	1.4%
どちらかといえば多い	17	12.2%
ちょうどよい	100	71.9%
どちらかといえば少ない	13	9.4%
少なすぎる	5	3.6%
無回答	2	1.4%

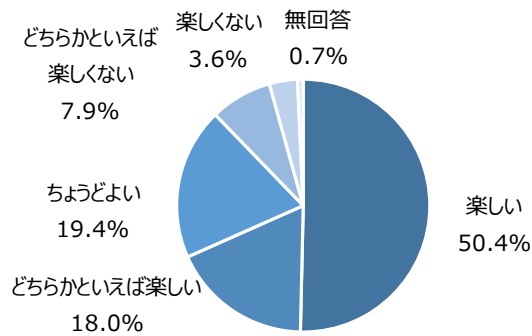
図表 127 4-5 活動時間の長さへの評価



全体 (n=139)

	N	%
長すぎる	7	5.0%
どちらかといえば長い	25	18.0%
ちょうどよい	85	61.2%
どちらかといえば短い	15	10.8%
短すぎる	6	4.3%
無回答	1	0.7%

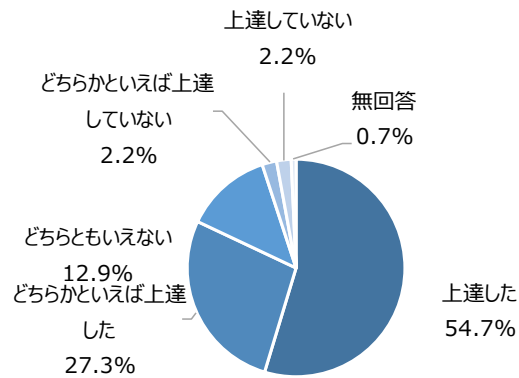
図表 128 4-6 楽しさへの評価



全体 (n=139)

	N	%
楽しい	70	50.4%
どちらかといえば楽しい	25	18.0%
ちょうどよい	27	19.4%
どちらかといえば楽しくない	11	7.9%
楽しくない	5	3.6%
無回答	1	0.7%

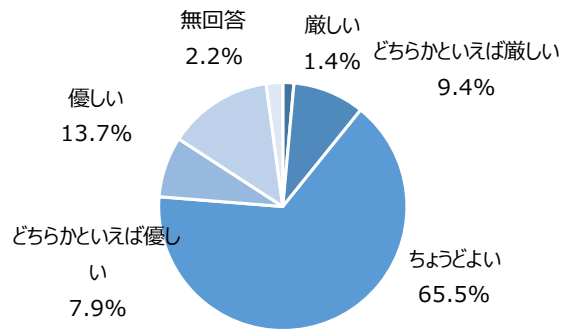
図表 129 4-7 上達度への評価



全体 (n=139)

	N	%
上達した	76	54.7%
どちらかといえば上達した	38	27.3%
どちらともいえない	18	12.9%
どちらかといえば上達していない	3	2.2%
上達していない	3	2.2%
無回答	1	0.7%

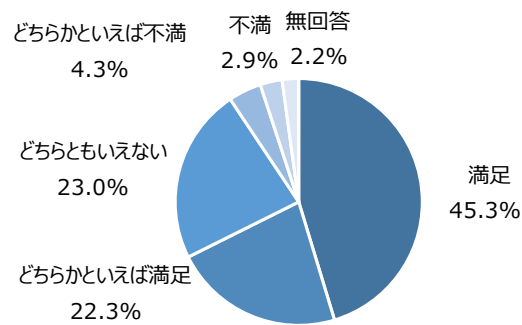
図表 130 4-8 指導者の態度への評価



全体 (n=139)

	N	%
厳しい	2	1.4%
どちらかといえば厳しい	13	9.4%
ちょうどよい	91	65.5%
どちらかといえば優しい	11	7.9%
優しい	19	13.7%
無回答	3	2.2%

図表 131 4-9 総合的な満足度

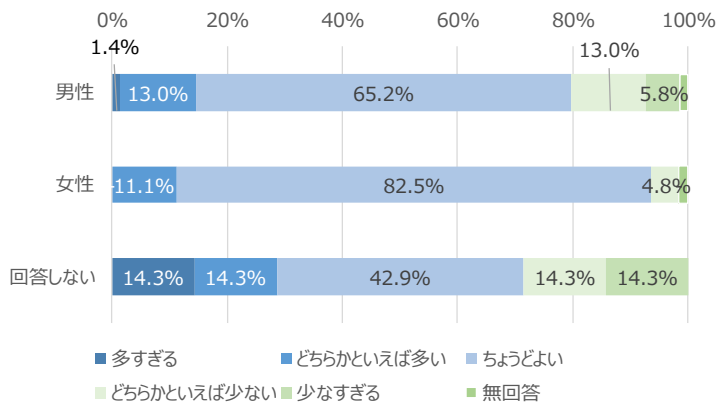


全体 (n=139)

	N	%
満足	63	45.3%
どちらかといえば満足	31	22.3%
どちらともいえない	32	23.0%
どちらかといえば不満	6	4.3%
不満	4	2.9%
無回答	3	2.2%

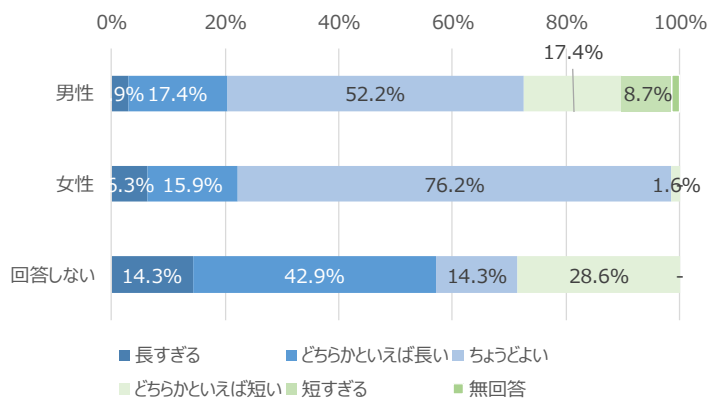
男女別の評価は以下に示す通り。「阿智中クラブ」の活動について、頻度が多い、活動時間が長いと感じる割合は男子の方が高かった。活動が楽しくないと感じる割合は女子の方が高かった。総合的な満足度には大差がなかった。

図表 132 4-4 活動頻度への評価（×性別軸）



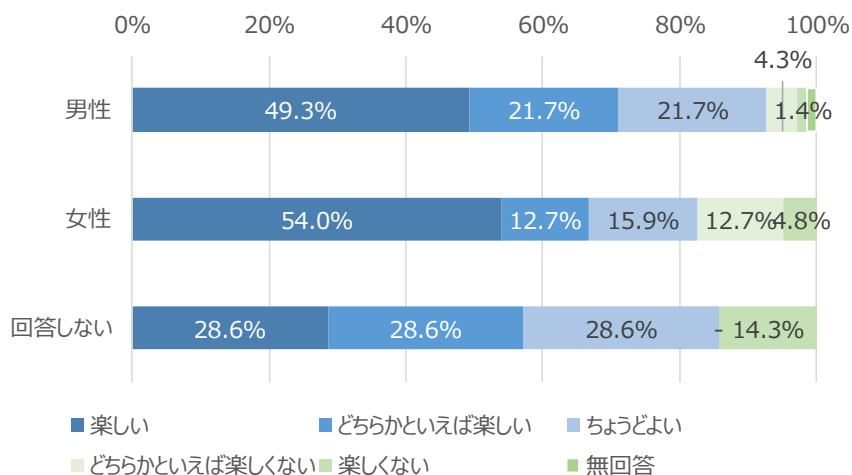
	全体	男性	女性	回答しない
全体	139	69	63	7
多すぎる	2	1	0	1
どちらかといえば多い	17	9	7	1
ちょうどよい	100	45	52	3
どちらかといえば少ない	13	9	3	1
少なすぎる	5	4	0	1
無回答	2	1	1	0

図表 133 4-5 活動時間の長さへの評価（×性別軸）



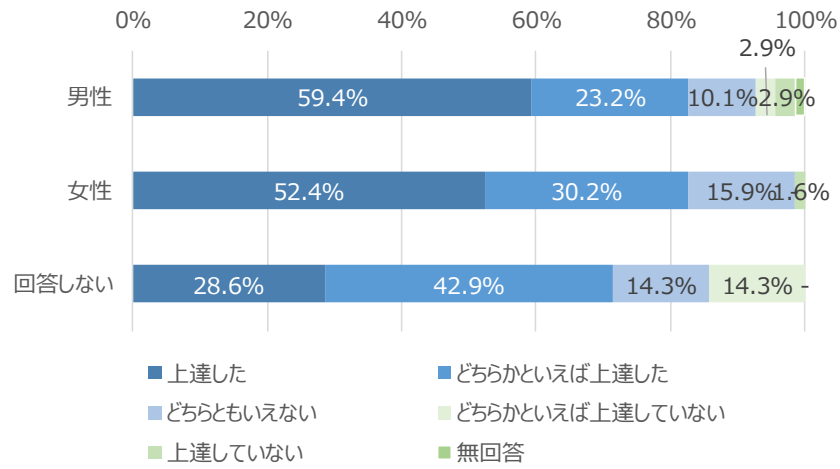
	全体	男性	女性	回答しない
全体	139	69	63	7
長すぎる	7	2	4	1
どちらかといえば長い	25	12	10	3
ちょうどよい	85	36	48	1
どちらかといえば短い	15	12	1	2
短すぎる	6	6	0	0
無回答	1	1	0	0

図表 134 4-6 楽しさへの評価 (×性別軸)



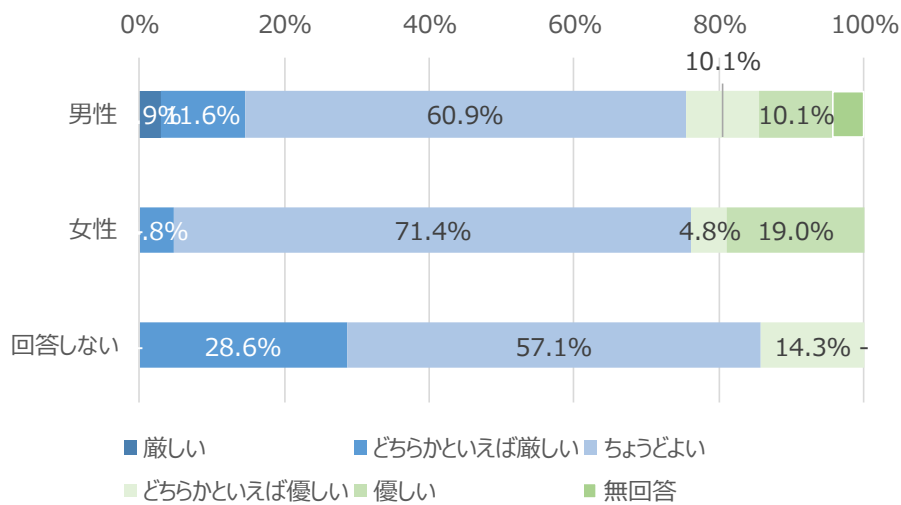
	全体	男性	女性	回答しない
全体	139	69	63	7
楽しい	70	34	34	2
どちらかといえば楽しい	25	15	8	2
ちょうどよい	27	15	10	2
どちらかといえば楽しくない	11	3	8	0
楽しくない	5	1	3	1
無回答	1	1	0	0

図表 135 4-7 上達度への評価（×性別軸）



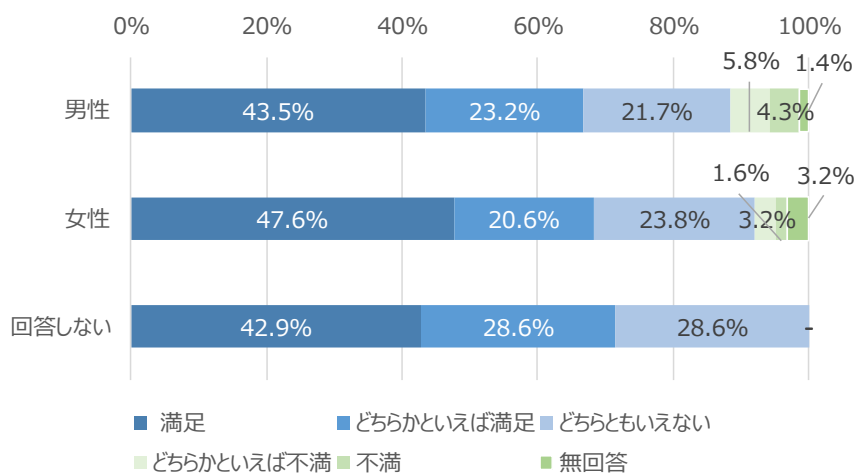
	全体	男性	女性	回答しない
全体	139	69	63	7
上達した	76	41	33	2
どちらかといえば上達した	38	16	19	3
どちらともいえない	18	7	10	1
どちらかといえば上達していない	3	2	0	1
上達していない	3	2	1	0
無回答	1	1	0	0

図表 136 4-8 指導者の態度への評価（×性別軸）



	全体	男性	女性	回答しない
全体	139	69	63	7
厳しい	2	2	0	0
どちらかといえば厳しい	13	8	3	2
ちょうどよい	91	42	45	4
どちらかといえば優しい	11	7	3	1
優しい	19	7	12	0
無回答	3	3	0	0

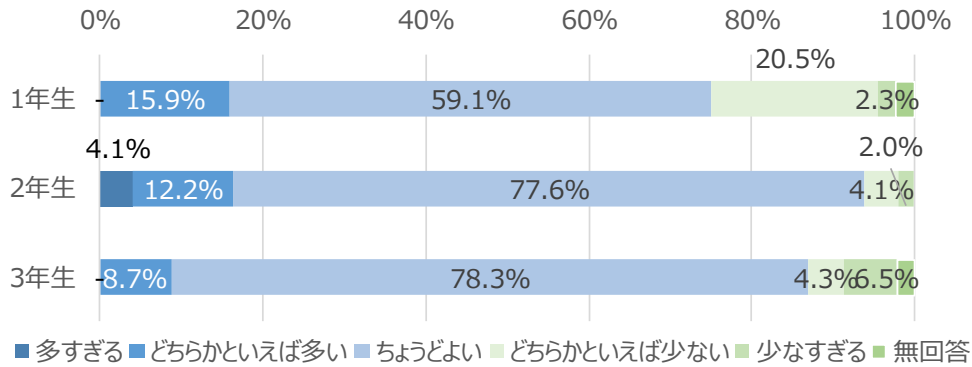
図表 137 4-9 総合的な満足度（×性別軸）



	全体	男性	女性	回答しない
全体	139	69	63	7
満足	63	30	30	3
どちらかといえば満足	31	16	13	2
どちらともいえない	32	15	15	2
どちらかといえば不満	6	4	2	0
不満	4	3	1	0
無回答	3	1	2	0

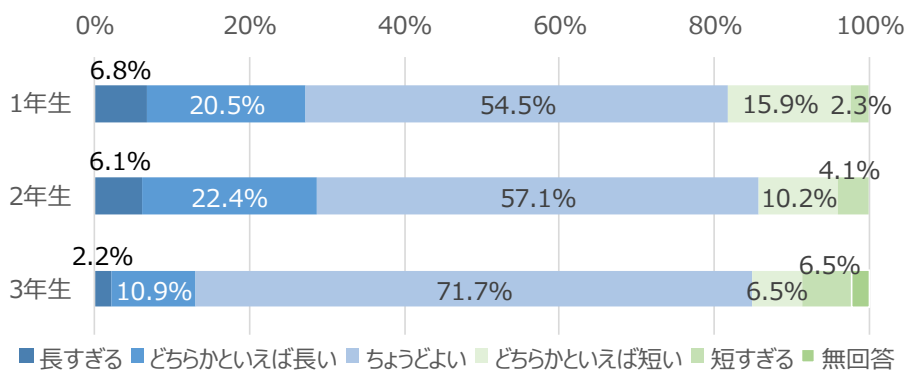
学年別の評価は以下の通り。「阿智中クラブ」の活動について、1年生はやや頻度が多いと感じる傾向にあった。他方、総合的な満足度には学年による差はなかった。

図表 138 4-4 活動頻度への評価（×学年軸）



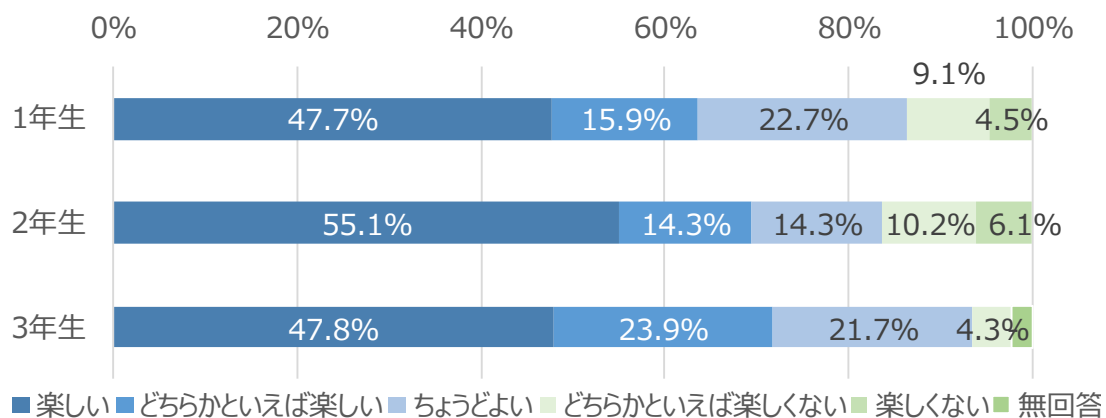
	全体	1年生	2年生	3年生
全体	139	44	49	46
多すぎる	2	0	2	0
どちらかといえば多い	17	7	6	4
ちょうどよい	100	26	38	36
どちらかといえば少ない	13	9	2	2
少なすぎる	5	1	1	3
無回答	2	1	0	1

図表 139 4-5 活動時間の長さへの評価（×学年軸）



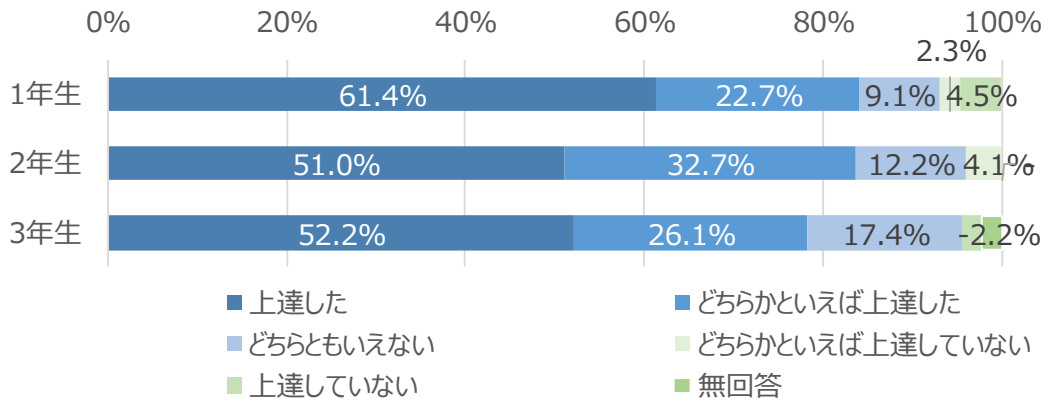
	全体	1年生	2年生	3年生
全体	139	44	49	46
長すぎる	7	3	3	1
どちらかといえば長い	25	9	11	5
ちょうどよい	85	24	28	33
どちらかといえば短い	15	7	5	3
短すぎる	6	1	2	3
無回答	1	0	0	1

図表 140 4-6 楽しさへの評価



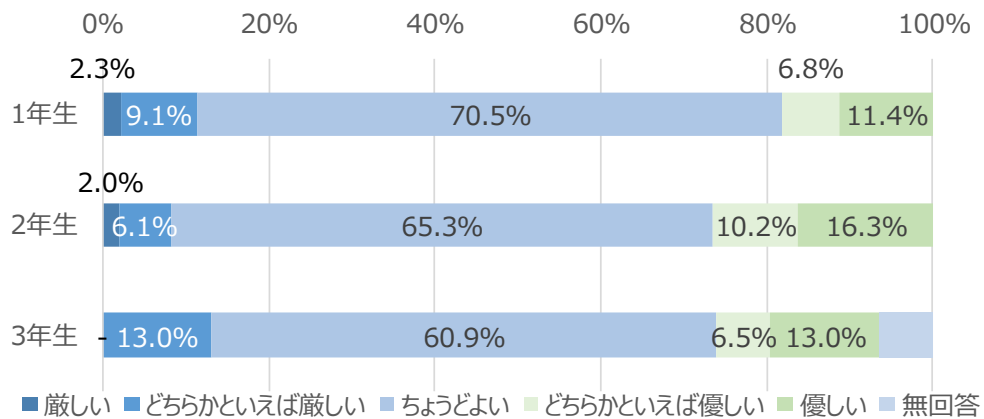
	全体	1年生	2年生	3年生
全体	139	44	49	46
楽しい	70	21	27	22
どちらかといえば楽しい	25	7	7	11
ちょうどよい	27	10	7	10
どちらかといえば楽しくない	11	4	5	2
楽しくない	5	2	3	0
無回答	1	0	0	1

図表 141 4-7 上達度への評価 (×学年軸)



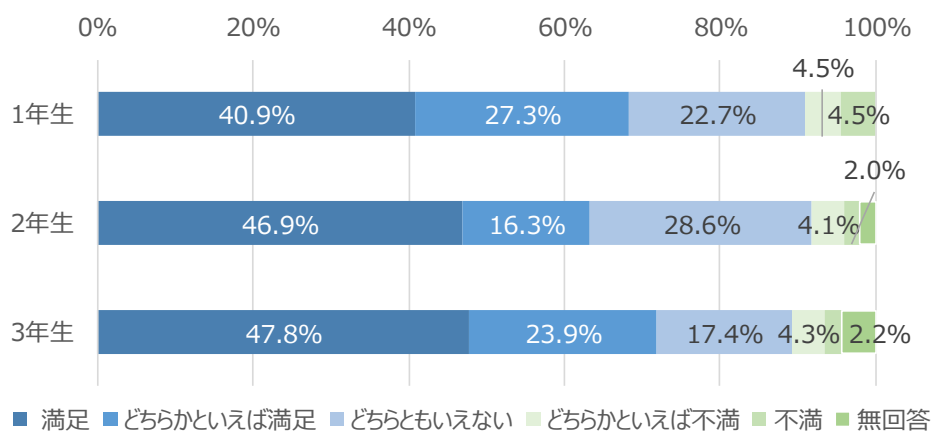
	全体	1年生	2年生	3年生
全体	139	44	49	46
上達した	76	27	25	24
どちらかといえば上達した	38	10	16	12
どちらともいえない	18	4	6	8
どちらかといえば上達していない	3	1	2	0
上達していない	3	2	0	1
無回答	1	0	0	1

図表 142 4-8 指導者の態度への評価 (×学年軸)



	全体	1年生	2年生	3年生
全体	139	44	49	46
厳しい	2	1	1	0
どちらかといえば厳しい	13	4	3	6
ちょうどよい	91	31	32	28
どちらかといえば優しい	11	3	5	3
優しい	19	5	8	6
無回答	3	0	0	3

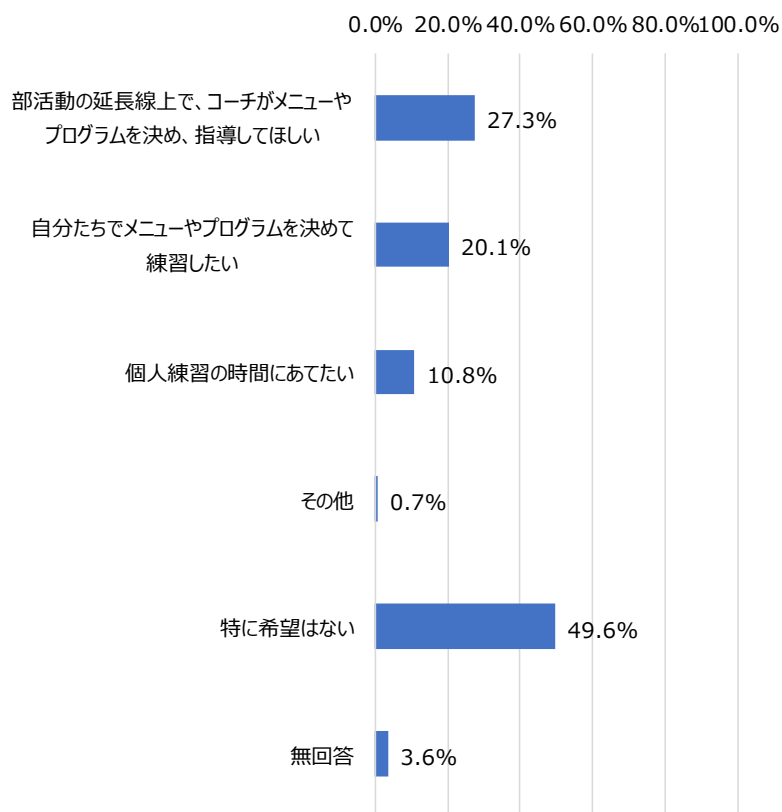
図表 143 4-9 総合的な満足度 (×学年軸)



	全体	1年生	2年生	3年生
全体	139	44	49	46
満足	63	18	23	22
どちらかといえば満足	31	12	8	11
どちらともいえない	32	10	14	8
どちらかといえば不満	6	2	2	2
不満	4	2	1	1
無回答	3	0	1	2

今後の活動の希望については、「特に希望はない」が5割で、最多であった。約3割が「部活動の延長線上で、コーチがメニューやプログラムを決め、指導してほしい」、約2割が「自分たちでメニューやプログラムを決めて練習したい」を選択しており、生徒の希望は一様ではない。

図表 144 4-10 今後の活動の方向性に対する要望

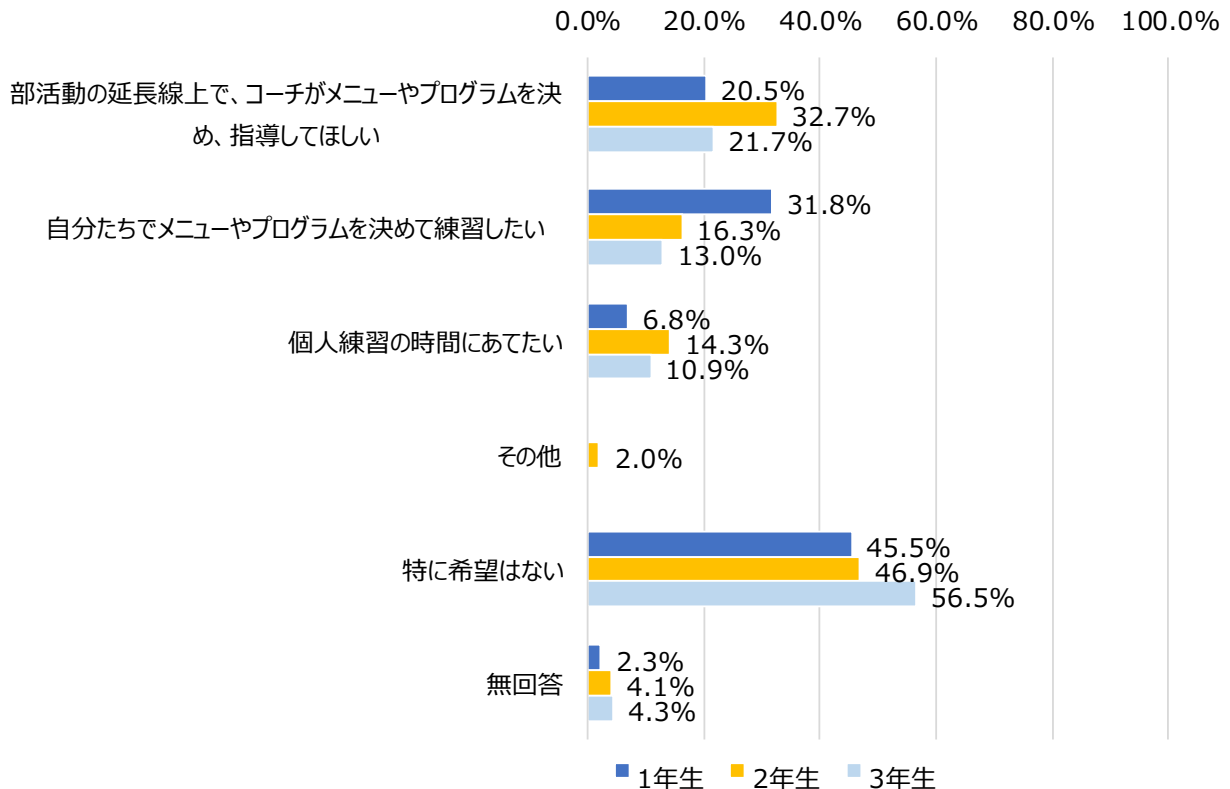


全体 (n=139)

	N	%
部活動の延長線上で、コーチがメニューやプログラムを決め、指導してほしい	38	27.3%
自分たちでメニューやプログラムを決めて練習したい	28	20.1%
個人練習の時間にあてたい	15	10.8%
その他	1	0.7%
特に希望はない	69	49.6%
無回答	5	3.6%

学年別にみると、2年生が「部活動の延長線上で、コーチがメニューやプログラムを決め、指導してほしい」、1年生が「自分たちでメニューやプログラムを決めて練習したい」を選択する割合が相対的に高かった。

図表 145 今後の活動の方向性に対する要望（×学年軸）



	全体	1年生	2年生	3年生
全体	139	44	49	46
部活動の延長線上で、コーチがメニューやプログラムを決め、指導してほしい	35	9	16	10
自分たちでメニューやプログラムを決めて練習したい	28	14	8	6
個人練習の時間にあてたい	15	3	7	5
その他	1	0	1	0
特に希望はない	69	20	23	26
無回答	5	1	2	2

阿智中クラブでの活動や前後の時間の過ごし方について、よかったことや、困っていることについて自由記述で訊ねたところ、以下の通りであった。

図表 146 4-11 活動に対する意見・感想

クラブの時間が少し長い
ちょっと時間が長い気がする。
クラブの前の時に宿題ができる
冬のランニングコースでの宿題などの時間が寒いです。
楽しいから OK です！
自由に使えるテニスコートがない
できていない所もていねいに教えてくれるので、上達できたと思う。
しっかりと練習できた。
少し勉強する時間が少ない。
体を動かすことができるので健康に良いと思う。
宿題ができてよかった
保護者が遅れると時間が足りない やる気のない人がいる
冬の期間で下校が早い時に社体が始まるまでの待ち場に困ります。
テニス部は皆 1 人 1 人が仲良しではないからもう少しなごやかにやりたいです
社体に行ってもあまり上達している感じがしている時としていない時があるので、もっと上手くなるような練習がしたいです。
冬などは放課後の部活がなくなってしまうので、阿智中クラブで練習できていいと思います。
しっかりと練習しやすい環境なのでこれからも続けてほしいです。
弱い所をしっかりとなおす練習が出来ている
勉強が終わってから移動するのと準備に時間がかかって開始時間が遅れてしまった。
時間を守らない指導者が多い。しっかりと時間を守ってほしい。
いつ保護者が来るのかわからないので、いつからいつの間に来るか決めてほしい。
先生が来ていない時は意味が少しくらいしか感じられない。
ひまな時間に好きなことができたりして、とてもいい機会だと思います。
前にくらべて、少し上達できたので良かったです。
団結して取り組んでいない。
私もなおさねばいけないところなのですが、先生や保護者に礼儀がなってないと思います。
いつも楽しくやらせてもらってます。
阿智中クラブの時間まで、学校で待たせてもらえるとありがたいです。
たくさん練習できてよかった。
阿智中クラブに参加して、技術が上達したと思うのでよかった。
先生が分かりやすく、ていねいに教えて下さり、楽しかったです。

上達できたし、楽しかった
活動時間が短い
みんなと楽しく運動ができました。
学校が終わってから阿智中クラブが始まるまでの時間、学校内の教室で待ってはいけないというルールは何のためにあるか分からない。土日の練習時間が制限されていて、思うように練習できない。もっと時間を増やしてほしい。
阿智中クラブのおかげで、上達するための練習方法が分かりました。

来年度以降の阿智中クラブの進め方について、自由記述で意見を訊ねたところ、以下の通りであった。

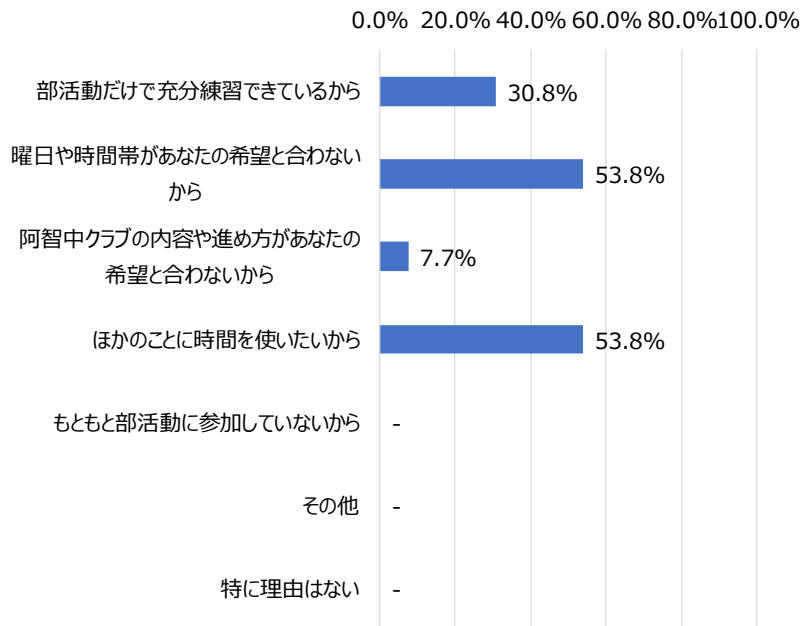
図表 147 4-12 来年度以降の活動に対する要望

来年もコーチがメニューを決めてほしい
部活動の顧問の先生が社体でも、自由に指導できるようにしてもらいたいです。
時間正確に始めて、時間正確に終わりにしてほしいです。
先生などの来る時間をめいかくにきめてほしい。5時30分ほどがいいです。
活動の頻度を少し少なくしてほしい。
もっと厳しく進めてほしい
毎回同じ事をやるのではなく、プログラムを変えて、行っていきたく感じました。
今の指導の仕方がとてもいいと思うので続けて行ってほしいです。
今年度同様に進めてくださるとうれしいです。
今のままでいいと思います！
教え方が良かったので上達した気がしました。
自分達のメニューを考えて無駄な時をつくらない。
水分補給をもう少し取ってほしい。
トレーニングがほしい。
皆が安心して参加できる場にしてほしい。
新設に指導してくれるので良いと思います。
いろんなスポーツをやってみたいです。
ルールがあいまいなところがあり、阿智中クラブになってから少し活動しにくい感じがするので、生徒の要望を聞いたうえで、ルールを決めてほしい。
あいさつをしっかりとしてほしい

(オ) その他

「阿智中クラブ」に参加しなかった理由として多く挙げられたのは「曜日や時間帯があなたの希望と合わないから」「ほかのことに時間を使いたいから」が多く、阿智中クラブの内容や進め方を理由に挙げる回答はほとんどなかった。

図表 148 5-1 阿智中クラブに参加しなかった理由

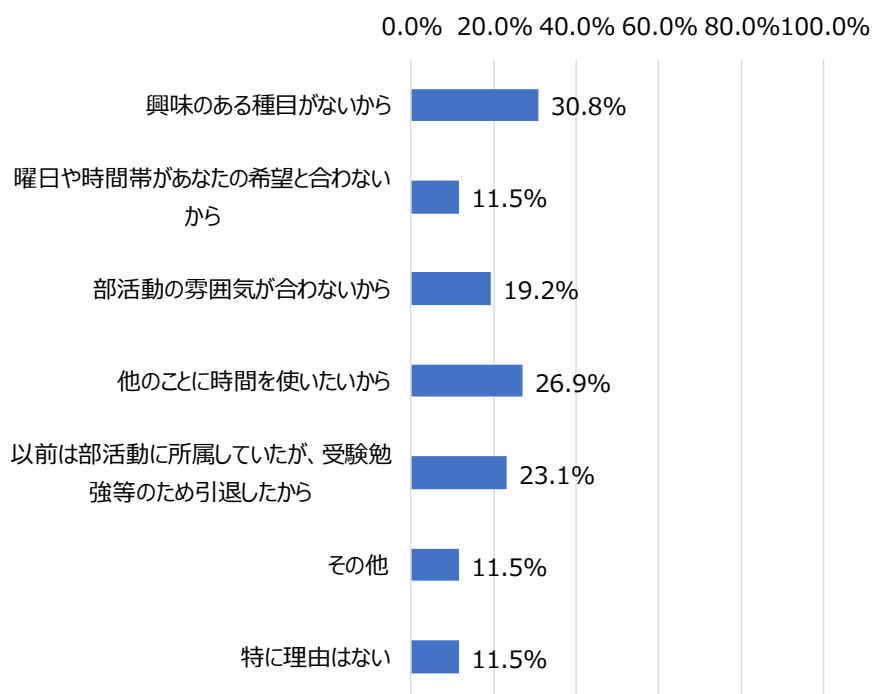


全体 (n=13)

	N	%
部活動だけで充分練習できているから	4	30.8%
曜日や時間帯があなたの希望と合わないから	7	53.8%
阿智中クラブの内容や進め方があなたの希望と合わないから	1	7.7%
ほかのことに時間を使いたいから	7	53.8%
もともと部活動に参加していないから	—	—
その他	—	—
特に理由はない	—	—

部活動に所属していない理由としては「興味のある種目がないから」「他のことに時間を使いたいから」が多く選択された。

図表 149 6-1 部活動に参加しなかった理由



全体 (n=26)

	N	%
興味のある種目がないから	8	30.8%
曜日や時間帯があなたの希望と合わないから	3	11.5%
部活動の雰囲気が合わないから	5	19.2%
他のことに時間を使いたいから	7	26.9%
以前は部活動に所属していたが、受験勉強等のため引退したから	6	23.1%
その他	3	11.5%
特に理由はない	3	11.5%

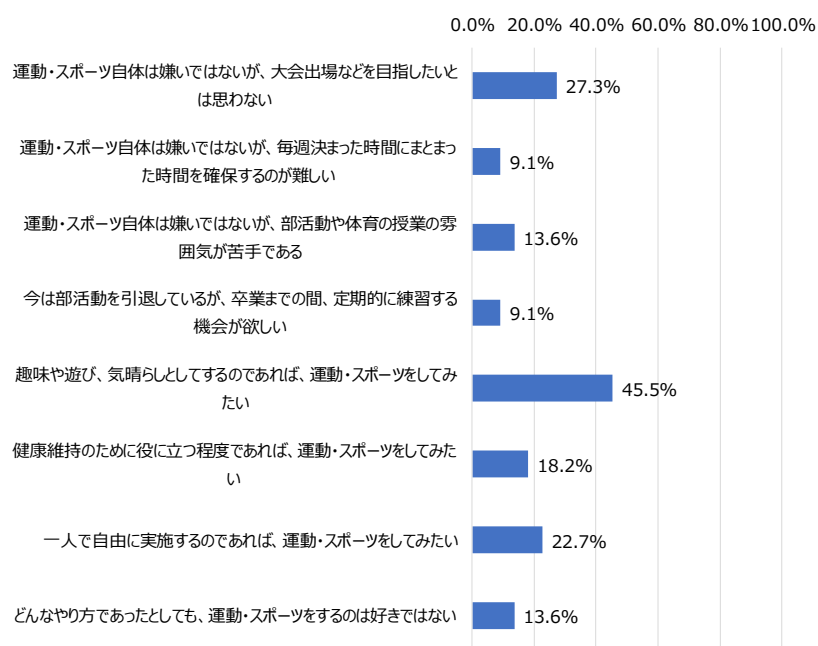
その他

他のクラブチームに所属している

高いレベルでいたいから

部活動に参加していない生徒に、スポーツに対する考え方を尋ねたところ、半数近くが「趣味や遊び、気晴らしとしてするのであれば、運動・スポーツをしてみたい」を選択した。また、「運動・スポーツ自体は嫌いではないが、大会出場などを目指したいとは思わない」も約3割が選択した。気軽にスポーツを楽しみたいというニーズがあることが示唆された。

図表 150 6-2 スポーツに対する考え方



全体(n=22)

	N	%
運動・スポーツ自体は嫌いではないが、大会出場などを目指したいとは思わない	6	27.3%
運動・スポーツ自体は嫌いではないが、毎週決まった時間にまとまった時間を確保するのが難しい	2	9.1%
運動・スポーツ自体は嫌いではないが、部活動や体育の授業の雰囲気が苦手である	3	13.6%
今は部活動を引退しているが、卒業までの間、定期的に練習する機会が欲しい	2	9.1%
趣味や遊び、気晴らしとしてするのであれば、運動・スポーツをしてみたい	10	45.5%
健康維持のために役に立つ程度であれば、運動・スポーツをしてみたい	4	18.2%
一人で自由に実施するのであれば、運動・スポーツをしてみたい	5	22.7%
どんなやり方であったとしても、運動・スポーツをするのは好きではない	3	13.6%

部活動に所属していない生徒の運動・スポーツに対する考え方のうち、「今は部活動を引退しているが、卒業までの間、定期的に練習する機会が欲しい」は3年生のみが選択した。具体的な活動の希望としては、全員が「部活動で取り組んでいた種目の練習」を選択した。

図表 151 6-3 部活動引退後に実施したい練習

全体 (n=2)

	N	%
基礎的な体力づくりやトレーニング	—	—
部活動で取り組んでいた種目の練習	2	100.0%
練習試合	—	—
その他	—	—

③ 考察

(ア) 回答者の基本属性、放課後の過ごし方について

現状の放課後の過ごし方については勉強・読書が最も多く、次いでスポーツ（部活動）、ゲーム・SNS・ネットサーフィン等が多かった。スポーツ（部活動以外）も全体の2割程度が選択した。

また、今後学校で放課後やってみたい活動として、最も多く選択されたのはスポーツ（部活動以外）であった。具体的な種目として多く挙げられたのはバドミントン、バスケットボール、ダンス等であり、部活動では実施できない種目に対するニーズがある。

男女別にみると、選択される種目には以下のような傾向があった。

男子：トレーニング、陸上競技、サッカー・フットサル等
 女子：ダンス、バドミントン等
 双方が選択：バスケットボール

チャレンジゆう Achi が中学生の「放課後に部活動以外のスポーツを実施してみたい」というニーズの受け皿となり、部活動で実施できないような種目に取り組む機会を提供する等すれば、一定のニーズはあると考えられる。特にバスケットボールやバドミントンは（初心者向け講座含め）クラブの年間プログラムに既に組み込まれている。これらの講座について積極的に情報提供を行ったり、拡充したりすることは、生徒にとって有益であると考えられる。

放課後の過ごし方に対する感想は「楽しい」「安心だ」「特にない」が多く、概ね現状に満足していると考えられる。

(イ) 運動・スポーツ実施状況について

回答者の約3分の1が「部活動、阿智中クラブ、体育の授業以外で行っている運動・スポーツがある」と回答した。実施場所として最も多かったのは民間のスポーツクラブ、次いで多かったのがチャレンジゆう Achi であった。チャレンジゆう Achi は「学校以外で運動・スポーツを実施する場所」の有力な選択肢になっており、活動が地域に浸透していると評価できる。

種目別にみるとバスケットボールやダンス等、部活動で実施できないものが多い。他方で野球なども選択されており、部活動で行える種目をより高いレベルで練習したいというニーズも一定程度あると考えられる。

今後、部活動、阿智中クラブ、体育の授業以外で運動・スポーツをしてみたいかどうかについては、「部活動で取り組んでいる種目に、もっと本格的に取り組みたい」と「家族や友人と、もしくは個人で自由に運動・スポーツをしたい」がそれぞれ同程度選択された。より高いレベルで取り組みたい生徒と、より気軽に取り組みたい生徒、2通りのニーズが存在すると考えられる。特に男子は「部活動で取り組んでいる種目に、もっと本格的に取り組みたい」、女子は「家族や友人と、もしくは個人で自由に運動・スポーツをしたい」を選択する割合が高かった。

地域の生涯にわたってスポーツに親しめる環境の担い手として、チャレンジゆう Achi においては「競技志向ではなく、より気軽にスポーツを実施したい」というニーズの受け皿となるようなプログラムを展開することが考えられる

(ウ) 部活動について

約8割の生徒が部活動に満足している。やってみたい種目が部活動ではできない、とは認識しつつも、特段の不満は感じていない状態であると考えられる。

部活動で実施している種目を高校以降も継続したいと考えている生徒は全体の5割程度であり、特に男子においてその割合が高かった。また、そのほとんどは高校以降は部活動において当該種目を実施したいと回答している。

高校進学以降、地域の社会体育でスポーツを続けたいと考えている生徒が少ない点は課題であるとも捉えられる。現状高校進学以降の競技継続を考えていない生徒に対しても、地域のクラブで緩やかに運動・スポーツを続けていく選択肢があることを示す必要があると考えられる。

(エ) 「阿智中クラブ」について

「阿智中クラブ」と部活動を合わせると、活動日数は平日4日以上、土日1日以上が多い。『運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン』で示された休養日の目安(週2日以上)を踏まえると、やや活動頻度が高いと考えられる。他方で、生徒自身は阿智中クラブの活動頻度が多すぎるとは感じていない。ただ、本調査が行われたのは新型コロナウイルス流行中という特異な状況下であり、通常と比較して部活動・阿智中クラブ等の実施回数が抑制されていることには注意が必要である。

すべての評価項目について、生徒は概ね満足しており、総合的な満足度を問う質問では約7割が

「満足」「どちらかといえば満足」、約2割強が「どちらかともいえない」を選択している。概ね不満はないものの、初年度ということもあり、評価を保留している生徒もいると考えられる。また、頻度が多い、活動時間が長いと感じる割合は男子の方が高かった。活動が楽しくないと感じる割合は女子の方が高かった。総合的な満足度には大差がなかった。

これらを踏まえると、「阿智中クラブ」については、新体制の初年度としては十分な評価を得られていると考えられる。ただし、活動の時間や頻度、楽しさ等について、まだ向上の余地は残されていると考えられ、今後も更なる工夫が必要である。特に活動頻度については、過大にならないよう注意する必要がある。なるべく部活のスケジュールと合わせる等して、十分な休養日(平日1日、土日1日以上)を確保することが望ましい。

今後の活動の希望については、「特に希望はない」が5割で、最多であった。約3割が「部活動の延長線上で、コーチがメニューやプログラムを決め、指導してほしい」、約2割が「自分たちでメニューやプログラムを決めて練習したい」を選択しており、生徒の希望は一様ではない。

現在の活動形態について、大きな問題はないと考えられるが、生徒のニーズは一様ではない(生徒側に裁量を持たせてほしいと考える場合もあれば、コーチが指導力を発揮することを求めている場合もある)ため、各クラブで個別に検討を行い、引き続きよりよいプログラムの在り方を検討するのが望ましい。

(オ) その他

「阿智中クラブ」に参加しなかった理由として多く挙げられたのは「曜日や時間帯があなたの希望と合わないから」「ほかのことに時間を使いたいから」が多く、阿智中クラブの内容や進め方を理由に挙げる回答はほとんどなかった。したがって、この結果からも、現状の「阿智中クラブ」の進め方に大きな問題はないことが分かる。

部活動に所属していない理由としては「興味のある種目がないから」「他のことに時間を使いたいから」が多く選択された。また、部活動に参加していない生徒にスポーツに対する考え方を尋ねたところ、半数近くが「他のことに時間を使いたいから」を選択し、「運動・スポーツ自体は嫌いではないが、大会出場などを目指したいとは思わない」も約3割が選択した。この回答結果からは、部活動に参加していない生徒にも気軽にスポーツを楽しみたいというニーズがあることが類推される。

チャレンジゆう Achi の既存プログラム(例えばイベント的なもの、初心者向けの難易度が低いもの)についての情報提供を充実させることで、これらのニーズに応えうる可能性がある。

(3) 事業効果の総合的な評価

本報告書では、実施計画書で示した下記の項目に沿って事業効果の評価を行った。詳細は後述するが、本事業においては、当初企図した通りの成果が得られたと評価できる。

図表 152 事業効果の評価の考え方

1 推進委員会による仕組みの検討	
(1)	運営スタッフの業務分担等の検討がなされたか。
(2)	学校体育施設の管理運営等の検討がなされたか。
(3)	事業評価がなされ、中長期的な改善への方策が明確になったか。
2 施設管理の仕組みの検討・検証（再委託事業含む）	
(1)	学校体育施設の利用や管理の先行研究の検討がなされたか。
(2)	学校体育施設の管理運営の課題が明確になったか。
(3)	実証事業の成果と課題を明確にして、報告書が出来上がったか。
3 学校体育施設における中学校部活動後の活動の支援の検討と検証	
(1)	関係者間の連携体制が構築されたか
(2)	通年実施した「阿智中クラブ」の参加者意識を整理できたか。
(3)	トップアスリート等講演会は有効であったか。
(4)	部活動後の活動のあり方・方向性等を提案できたか。
4 学校体育施設における有効なスポーツ教室のあり方の検証	
(1)	通年実施したスポーツ教室等の参加者意識を整理できたか。
(2)	指導者講習会が日常の指導にどう生かされたか。

① 推進委員会による仕組みの検討

事業推進委員会については、WEB 会議ツール「Zoom」を活用し、当初の予定通り計 4 回開催し、予定されていた議事をすべて消化することができた。また、その中では学校体育施設の管理運営等の在り方や、中長期的な改善方策について議論することができた。

② 施設管理の仕組みの検討・検証（再委託事業含む）

学校体育施設の利用や管理の先行研究の検討、管理運営の課題の洗い出し、報告書の作成については、問題なく実施された。

事業推進委員会においては、阿智中学校体育館建設時に社会体育施設としての機能を持たせたことの意義を改めて確認できた、との意見があった。

また、委託管理講習会において特定非営利法人高津総合型スポーツクラブ SELF の菊地氏に講演いただき、総合型地域スポーツクラブが複数学校施設を管理する事例について情報を得たことも大きな学びとなった。質疑応答の際は、クラブ運営の考え方等について、活発に質問が飛び交

った。

③ 学校体育施設における中学校部活動後の活動の支援の検討と検証

通年実施した「阿智中クラブ」の参加者意識については、アンケート調査を通じて把握したほか、下図表のとおり各クラブ代表者に個別に意見を聴取した。今後の部活動後の活動の在り方・方向性についても、本事業を通じて整理することができた。

図表 153 「阿智中クラブ」の感想

種目	感想
卓球	今年度のクラブでは、コーチの方をお迎えし、以前のクラブや通常の練習よりも集中して練習できるようになりました。また、コーチの方が来られない時に気をゆるめず練習できるようにしたいです。これからも練習時間を大切に、質の良い練習をしていきたいです。
吹奏楽	クラブ活動について、クラブ活動では基礎を主に行っています。教えていただきながら、アドバイスをいただけるので、全体的にとっても上達できます。個人でもコツなどをつかんで大会など発表などにも向けてとても良い演奏ができます。
野球	毎週、火、金曜日と土日の部活のない日などクラブをさせていただきました。練習は下條中と泰阜中といっしょにゴロ補球、ノックやロングティー、マシン打ちなど、基礎を大事にし、日々練習しています。来年はさらにながらんでるので、来年もよろしくお願ひします。
サッカー	ぼくたちはクラブで基礎練習から練習試合までたくさんの練習をしてきました。基礎練習では2人組でボールをけり、対面パスをやり、シュート練習などもやりました。練習試合では、2チームに分かれて試合をやりました。そのときは、試合のときをそうていしてやることを意識してやりました。
柔道	柔道部は、冬休みはクラブがありませんでしたが、夏や秋はたくさん練習することができたので新人戦のときにみんなでよい結果をのこせました。これからもクラブの時にたくさん練習し、もっと強くなれるようにしたいです。
テニス	テニス部では主に乱打やサーブ練習をしています。冬の時期は雪がつもり屋外でできることが少ないので、屋内でできるのはすごくありがたいです。なので、これからも一球一球を大切に練習していきたいです。
女子バレ	今年は新型コロナウイルスの関係で遠くへ行けなかったけれど、

	<p>いろいろな高校生が来てくれて、いい練習になりました。来年度も勉強と両立して練習してがんばります。</p>
--	---

トップアスリート講演会についても、以下の通り参加者の意見を聴取し、技術やモチベーションの向上に寄与したことを確認できた。

図表 154 トップアスリート講演会の感想

<p>世界チャンピオンに会えるのはなかなかないことだから、とれも良い経験になりました。今まで知らなかった、柔道の本当の名前、技、打ち込みの方法を知ることができて良かった。</p> <p>普通では体験できないようなことを体験させていただいて、今まで知らなかったことや、出口選手の昔の話もたくさん聞け、共感することや驚いたことが多くあり、とても楽しい時間となりました。技を教えてもらうときは、教えてもらってもすぐにできなかつたり、理解できないこともありましたが「これから自分に合ったやり方を探せば良いから、これは方法の1つとしてとらえてもらえばいいから」と言葉をかけてくれて、とてもやりやすかったです。</p> <p>とても、貴重な経験ができました。技の練習の時も楽しく練習することができました。柔道とは何かとても勉強になりました。これからの練習に生かしていきたいです。</p> <p>お二方の先生に教えてもらったことは、大外刈りの時に相手につり手がぴたりつくように手羽先みたいにやるといいとか、足のつき方などを教えてもらってから大外刈りをやる時にその意識をしてできるようになったのでよかったです。</p> <p>分かっていたところなど教えてもらい、とても勉強になりました。特に、投げ技のポイントを教えてもらえてよかったです。</p> <p>お二方ともとてもすごく、いつもみている先輩のプレーでもすごいと思っていましたが、次元が違うくらいすごかったです。これからどんどんモチベーションを上げていき、結果を残せるよう頑張りたいです。</p>

指導者・保護者の指導力向上を企図して行った各種講習会についても、当初の目的を達成することができた。スポーツ栄養学講習会については、日頃「阿智中クラブ」の運営に協力いただいている保護者への還元策としても位置付けて開催した（受入10項目においても、「⑨指導力向上、安全対応向上のため、研修会を実施する。」としている）。実際に保護者からは「ちょっとした工夫でもよいことが分かり、安堵した」等の声が聞かれ、好評であった。

本事業で実施したアンケートにより、中学生の意向を把握できたことについて、事業推進委員会において高く評価する声があった。また、チャレンジゆう Achi で活動した子供がまた戻ってきて指導を行うなど、地域スポーツに関わる人材が循環する仕組みが必要ではないかとの意見があった。

④ 学校体育施設における有効なスポーツ教室のあり方の検証

全村意識調査の一環として、クラブが主催する各種プログラムに対する参加者の意識を把握することができ、課題を洗い出すことができた。特に成人の運動不足の課題が明確になったことから、事業推進委員会では、改めて成人のスポーツ実施を促す取組が必要であるとの指摘がなされた。

指導者講習会についても予定通りすべて実施することができた。特にスポーツ栄養学講習会の参加者からは、「日頃のちょっとした工夫によって食事を改善することができる」と分かった、ほっとした」等の感想が聞かれた。

第4章 考察

1. 阿智中学校体育館管理について

全村意識調査の結果、これまでのチャレンジゆう Achi による施設管理については一定の評価を得ていることが確認できた。他方、同じく全村意識調査の結果から、今後運動頻度を増やしたいと思っている村民が多いものの、阿智中体育館が村民に開放されていることは知らない人も多いことが示唆された。

今後は、特に「利用しやすい環境づくり」の観点から、今年度策定した「阿智中学校体育館（学校体育施設開放）使用の申し合わせ」を広く周知するなどして、新規利用者にも体育館の利用方法・利用時のルールが分かりやすくなるよう工夫する。また、現在既に個人利用を受け付けているトレーニングルームの利用促進を図る等して、更なる利便性の向上に努めたい。

2. 体育館を活用したプログラム提供について

本年度はコロナウイルス感染拡大の影響はあったものの、「阿智中クラブ」を含め、予定されていた教室・イベントの大部分は開催することができた。全村意識調査の結果から、これまでクラブが実施してきた各種プログラムについては一定の評価が得られていることが確認できたものの、今後村民のニーズを踏まえ、更なる種目や開催時間帯の精査を行う。

運動部活動については、昨今全国的に改革が進展しており、今後は令和5年度の全国展開に向けて図表135のような取組が進められているものと認識している。

チャレンジゆう Achi ではこれまでも全国的な部活動改革の動向や長野県の方針等を注視しながら、「阿智中クラブ」のあり方を検討してきた。アンケート結果等からも、「阿智中クラブ」地域移行初年度については功を奏したといえる。

「阿智中クラブ」の一部活動は既に土日にも行われており、阿智村においては休日の部活動の地域移行は既に進んでいると考えられる。また、阿智中学校野球部は既に周辺校と合同での活動を行っている。したがって、「休日の部活動の段階的な地域移行」「合理的で効率的な部活動の推進」のいずれについても既に阿智村では取組が始まっているといえる。また、人口減少や少子高齢化等地域の状況等を踏まえても、今後こうした動きはさらに進展していくことが予想される。

今年度アンケート調査で明らかになった課題を改善するとともに、中長期的な部活動のあり方、総合型地域スポーツクラブの望ましい関与の仕方については、引き続き検討を深めたい。

図表 155 部活動改革の今後の動向について

学校の働き方改革を踏まえた部活動改革 概要

部活動の意義と課題

- ✓ 部活動は、教科学習とは異なる集団での活動を通じた**人間形成の機会**や、**多様な生徒が活躍できる場**である。
- ✓ 一方、これまで部活動は**教師による献身的な勤務**の下で成り立ってきたが、休日を含め、**長時間勤務の要因**であることや、**指導経験のない教師にとって多大な負担**であるとともに、**生徒にとっては望ましい指導を受けられない場合**が生じる。
- ✓ 中教審答申や給特法の国会審議において「**部活動を学校単位から地域単位の取組とする**」旨が指摘されている。

持続可能な部活動と教師の負担軽減の両方を実現できる改革が必要

改革の方向性

- ◆ **部活動は必ずしも教師が担う必要のない業務**であることを踏まえ、**部活動改革の第一歩**として、休日に教科指導を行わないことと同様に、**休日に教師が部活動の指導に携わる必要がない環境**を構築
- ◆ 部活動の指導を希望する教師は、引き続き**休日に指導を行うことができる仕組み**を構築
- ◆ 生徒の活動機会を確保するため、**休日における地域のスポーツ・文化活動を実施できる環境**を整備

具体的な方策

I. 休日の部活動の段階的な地域移行（令和5年度以降、段階的に実施）

- **休日の指導や大会への引率を担う地域人材の確保**
（育成・マッチングまでの民間人材の活用の仕組みの構築、兼職兼業の仕組みの活用）
- **保護者による費用負担、地方自治体による減免措置等と国による支援**
- **拠点校（地域）における実践研究の推進とその成果の全国展開**

II. 合理的で効率的な部活動の推進

- 地域の実情を踏まえ、都市・過疎地域における他校との**合同部活動の推進**
- 地理的制約を越えて、生徒・指導者間のコミュニケーションが可能となる**ICT活用の推進**
- 主に**地方大会の在り方の整理**（実態の把握、参加する大会の精選、大会参加資格の弾力化等）

※ 以上の取組は、主として中学校を対象とし、高等学校においても同様の考え方を基に取組を実施。
 ※ 私立学校は、以上に示した公立学校の取組を参考に、教師の負担軽減を考慮した適切な指導体制の構築に取り組むことが望ましい。

出所：スポーツ庁「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革（概要）」

3. 町村部における総合型地域スポーツクラブのあり方について

本事業では、個別の実証事業の取組についてのみならず、特に町村部において総合型地域スポーツクラブが果たすべき役割は何かについても検討を行った。

総合型地域スポーツクラブが住民のスポーツ実施・健康づくり・居場所づくり等の促進、ソーシャルキャピタルの醸成など、地域において様々な役割を担っているのはどのような地域においても共通する点である（同時に総合型クラブ自身の安定的な活動基盤を確立する（財政的自立やガバナンスの確保等、運営の質を高める）ことが町村部においても重要なのも自明である）。

しかしながら、町村部においては、人口密度が低い、スポーツ施設の数が少ない等、総合型クラブの活動を事業として成立させる上では課題となる点もある。他方で、地域活動が盛んであるなど、活動基盤を安定化の上ではプラスに働く要因もある。加えて、町村部においては、民間フィットネスクラブ等、類似するサービスを提供する主体が少なく、自治体の財源や人材も都市部と比較すれば制約があることから、総合型クラブに期待される役割が相対的に大きいと考えられる。

図表 156 町村部における総合型地域スポーツクラブのあり方について

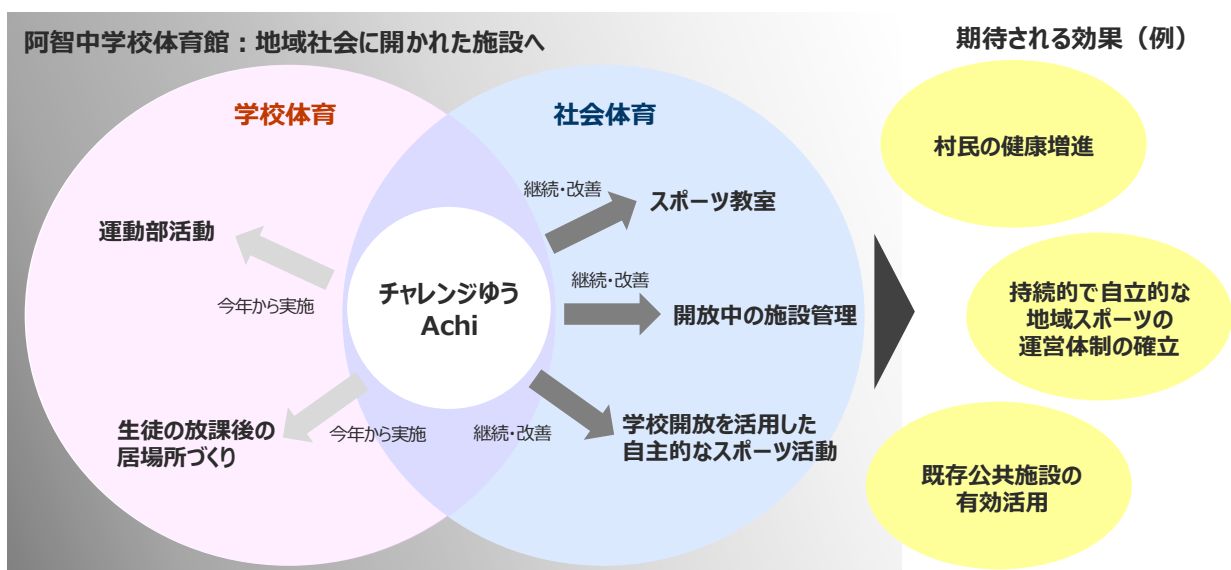
	都市部	町村部
共通点	<ul style="list-style-type: none"> 総合型地域スポーツクラブ（以下、総合型クラブ）は、住民のスポーツ実施・健康づくり・居場所づくり等の促進、ソーシャルキャピタルの醸成など、地域において様々な役割を担っている。 同時に、総合型クラブ自身の安定的な活動基盤を確立する（財政的自立やガバナンスの確保等、運営の質を高める）ことが求められている。 	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ実施・健康づくり・居場所づくり等の促進、ソーシャルキャピタルの醸成など、地域において様々な役割を担っている。 同時に、総合型クラブ自身の安定的な活動基盤を確立する（財政的自立やガバナンスの確保等、運営の質を高める）ことが求められている。
相違点	<ul style="list-style-type: none"> 人口密度が高い、スポーツ施設が充実している等、総合型クラブの活動を事業として成立させやすい条件が整っている。 他方、民間フィットネスクラブ等類似するサービスを提供する主体も多い。 自治体の財源や人材は相対的に潤沢である。 	<ul style="list-style-type: none"> 人口密度が低い、スポーツ施設の数が少ない等、総合型クラブの活動を事業として成立させるのは困難である。他方、地域活動が盛んであるなど、活動基盤を安定化する上ではプラスに働く要因もある。 民間フィットネスクラブ等、類似するサービスを提供する主体が少なく、相対的に総合型クラブに期待される役割が大きい。 自治体の財源や人材は相対的に制約されている。

これらの事情を踏まえると、町村部において、総合型地域スポーツクラブはより主体的に地域づくりに取り組み、行政を補完する役割を担うものと考えられる。

全村意識調査によれば、阿智村においては成人の週1回以上の運動・スポーツ実施率が全国と比較して低い。また、村民からは健康増進や、地域のコミュニティづくり・多世代交流の促進の場としての役割が期待されているところである。今後はこれら本業務で把握できた事項や、クラブ発足時から堅持している「総合型地域スポーツクラブは「村づくりの一つの手段（道具）」である」という理念を尊重しつつ、運動・スポーツの機会提供やコミュニティづくりを軸に、様々な地域課題の解決に取り組むことが望ましい。

例えば、生徒の放課後の居場所づくりという観点では、本年度「阿智中クラブ」の実施や、放課後学習用の備品導入等の取組を行ったが、将来的には放課後子ども教室等にも取り組むことも考えられる。また、「利用しやすい環境づくり」の観点からは、障がい者スポーツの体験機会の提供等を行うことも想定される。

図表 157 中長期的な将来像のイメージ（案）



(付録 1) 全村アンケート調査票

令和2年9月18日

阿智村民の皆様

チャレンジゆう Achi アンケートへの協力をお願い

特定非営利活動法人チャレンジゆう Achi 理事長

チャレンジゆう Achi は、平成17年の発足以来、総合型地域文化スポーツクラブとして、地域の皆様とともに、誰もが、いつでも、スポーツや文化活動ができる環境づくりを進めてまいりました。今年度、法人化し、スポーツ庁の事業委託を受ける中で、村民の皆様を対象にアンケート調査を実施し、クラブの更なる取組の向上と、村内のスポーツや文化活動の充実に役立てたいと考えました。ご多用とは存じますが、調査にご協力をお願いします。

このアンケート用紙は、**9月の組内回覧**を通して、**全戸に配布**されます。

全村民の皆様対象のスポーツ・文化活動の振興を考えるアンケートです。
小学生以上のご家族全員にご回答いただきますよう、お願いいたします。

【アンケートの調査方法】

- 1, 2の方法のうち、どちらか一方を選択し、ご回答ください。
- 1 カメラ付機能のあるスマホ等から、**QRコードを読み取って回答**する。
※本人の許可があれば、家族や友人の回答を代行することも可
- 2 **裏面にあるアンケート用紙に回答**して、中央公民館に提出する。
※1枚の回答用紙に色をかえたペンで記入する等、複数人の回答可

回答期間

10月1日(木)～10月31日(土)

QRコードによる回答手順

- 1 スマホ等のカメラ機能を起動させる
- 2 右のQRコードを読み取る。(注)
- 3 質問に回答していく
- 4 [送信]をクイックする。

(注) もし読み取れなかった場合は、以下のURLにアクセスしてください。

<https://questant.jp/q/7I5KFC9S>



ご回答いただいた内容は、適切に管理し個人が特定できる形で回答結果を対外的に公開することはありません。集計結果は、公表・活用させていただきます。

阿智村でつくるみんなのクラブ



「チャレンジゆう Achi」アンケート（紙面回答用）

実施期日 10月1日～10月31日 提出先 阿智村中央公民館

以下の質問について、あてはまるものに○印をしてください。質問によって複数回答の場合があります。

問 1 あなた自身の状況について、お伺いします

- 1-1 あなたの性別について、お答えください。（あてはまるものを一つだけ選択）
 ① 男性 ② 女性 ③ 回答しない
- 1-2 あなたの年齢について、お答えください。（カッコ内にご自身の年齢を記入）
 ① () 歳 ② 回答しない
- 1-3 あなたの最近 1 年間のスポーツの実施頻度をお答えください。（あてはまるものを一つだけ選択）
 ① 週 3 回以上 ② 週 1～2 回 ③ 月 1～3 回 ④ 年に数回 ⑤ 行わない
- 1-4 今後のスポーツの実施頻度について、どのようにしたいですか。（あてはまるものを一つだけ選択）
 ① 増やしたい ② 現状を維持したい ③ 減らしたい
- 1-5 今後どのようなスポーツをやってみたいですか。（あてはまるものをすべて選択）
 ① 健康作り体操 ② トレーニング ③ 陸上競技 ④ テニス・ソフトテニス ⑤ 空手・太極拳 ⑥ ダンス
 ⑦ ゴルフ ⑧ バレーボール ⑨ バasketボール ⑩ サッカー・フットサル ⑪ 野球・ソフトボール ⑫ 柔道
 ⑬ バドミントン ⑭ 卓球 ⑮ パラスポーツ ⑯ その他 () ⑰ ない

問 2 阿智村内の学校体育施設（阿智中学校体育館など）の利用状況について、お伺いします。

- 2-1 現在利用している村内体育施設をお答えください。（あてはまるものをすべて選択）
 ① 阿智中体育館 ② 阿智中グラウンド ③ 第一小体育館 ④ 第一小グラウンド ⑤ 第二小体育館
 ⑥ 第二小グラウンド ⑦ 第三小体育館 ⑧ 第三小グラウンド ⑨ 混合小体育館 ⑩ 混合小グラウンド
 ⑪ 清内路小体育館 ⑫ 清内路小グラウンド ⑬ 運動公園わい・Wai（ドームを含む） ⑭ マレットゴルフ場
 ⑮ 智里西村民体育館 ⑯ 清内路村民体育館 ⑰ 智里西村民グラウンド ⑱ 混合村民グラウンド
 ⑲ 民間スポーツ施設（フィットネスクラブ） ⑳ 自宅 ㉑ 道路・公園等の公共スペース ㉒ その他 () ㉓ ない

阿智中体育館を利用したことがある方は 2-2、ない方は 2-3 の質問に回答してください。

阿智中学校体育館は村民の皆様に対して開放されており、村内に居住または通勤・通学する 10 人以上の方々で組織する団体であれば、原則として無料で利用できます。利用の際は、「施設使用許可申込書」に記入・提出の上、使用許可を受ける必要があります。利用可能な時間帯は、平日 17 時半から 21 時までです（土日は、部活動等での利用を優先し、公的なもの、地区の行事、イベント的なものに限定して使用が認められます）。

- 2-2 あなたが阿智中学校体育館を利用した際の感想について教えてください。
 （以下のそれぞれの項目について、次の①～⑤のうち最もあてはまる選択肢を一つだけ選択）

① そう思う ② まあそう思う ③ どちらともいえない ④ あまりそう思わない ⑤ そう思わない

(1) 希望どおりの日程・時間帯に利用できている	①	②	③	④	⑤
(2) 利用時に、場所や時間が余っていると感じることがある	①	②	③	④	⑤
(3) 無料で利用できるため使用している	①	②	③	④	⑤
(4) 設備・備品の管理が行き届いている	①	②	③	④	⑤
(5) 管理人が受付や見回りを行っているため、安心できる	①	②	③	④	⑤
(6) 各種スポーツ教室等が充実している	①	②	③	④	⑤

2-3 阿智中学校体育館を利用しなかったのはなぜですか。(あてはまるものをすべて選択)

- ① 村民に開放されているの知らなかった ③ 開放されている曜日・時間帯が不適當
 ② 利用時の手続が複雑 ④ 利用するための条件が厳しい(10人以上の団体等) ⑤ 運動・スポーツへの関心が低い
 ⑥ その他() ⑦ 特に理由はない

問3 「チャレンジゆう Achi」の活動に対するあなたのお考えについて、お伺いします。

3-1 このアンケート調査に回答する前まで、あなたは「チャレンジゆう Achi」のことを知っていましたか。

また、活動に参加したことがありますか。(あてはまるものを一つだけ選択)

- ① 知らなかった (→問4へ) ② 聞いたことはあるが、具体的な活動は知らなかった (→3-2へ)
 ③ 具体的な活動内容を知っているが、参加経験はない (→3-2へ) ④ 活動に参加したことがある (→3-3、3-4へ)

①を選んだ方は問4、②、③を選んだ方は3-2、④を選んだ方は3-3と3-4の質問に回答して下さい。

3-2 「チャレンジゆう Achi」の活動に参加しなかったのはなぜですか。(あてはまるものをすべて選択)

- ① 活動に参加する方法が分からなかった ② 興味のある教室・イベント等がなかった
 ③ 地域団体の活動にあまり参加したことがなく、なじみがなかった ④ 活動の日程・時間帯が合わなかった
 ⑤ 運動・スポーツへの関心が低かった ⑥ 特に理由はない ⑦ その他()

3-3 あなたが「チャレンジゆう Achi」の活動に参加した際の感想について教えてください。

(以下のそれぞれの項目について、次の①～⑤のうち最もあてはまる選択肢を一つだけ選択)

- ① そう思う ② まあそう思う ③ どちらともいえない ④ あまりそう思わない ⑤ そう思わない

(1) ご自身の興味があるスポーツ種目・文化活動を実施できる	①	②	③	④	⑤
(2) 地域の誰もが参加しやすい雰囲気がある	①	②	③	④	⑤
(3) 活動を通じて世代間・地域間の新たな交流が生まれている	①	②	③	④	⑤
(4) 会費や受講料の金額は適切である	①	②	③	④	⑤
(5) 活動の曜日・時間帯は適切である	①	②	③	④	⑤

3-4 今後「チャレンジゆう Achi」にどのような役割を期待しますか。(あてはまるものをすべて選択)

- ① 村民の健康増進 ② 村民のスポーツ競技力向上 ③ スポーツや文化活動を通じたコミュニティづくり
 ④ 学校・保護者と協力した、子供たちのスポーツ環境充実や、放課後の居場所づくりへの取組
 ⑤ 村内の体育施設がより使いやすいよう管理 ⑥ その他()

問4 「阿智中クラブ」の活動に対するあなたのお考えについて、お伺いします。

阿智中学校では、部活動後も練習をしたい生徒たちは、「阿智中クラブ」として保護者の監督(当番制)の下で活動していました。今年からは中学生の技術向上や放課後の居場所づくりの観点から、「阿智中クラブ」を「チャレンジゆう Achi」の講座の一つとして実施することになり、学校・地域のスポーツ指導者・世話役(保護者)が協力して練習を指導・監督する体制がスタートしました。

4-1 このアンケート調査に回答する前、あなたは「阿智中クラブ」を知っていましたか。(あてはまるものを一つだけ選択)

- ① 知らなかった ② 聞いたことはあるが、具体的な内容は知らなかった ③ 具体的な内容を知っていた

4-2 「阿智中クラブ」の活動について、どのような印象を持ちましたか。(あてはまるものを一つだけ選択)

- ① 良いと思う ② まあ良いと思う ③ どちらともいえない ④ あまりよくないと思う ⑤ よくないと思う

アンケート調査は以上です。ご協力いただき、ありがとうございました。

(付録2) 全村アンケート結果

1-1 あなたの性別について、お答えください。(あてはまるものを一つだけ選択)

	全体	性別			年代						運動頻度			クラブへの参加			
		男性	女性	回答しない	小学生	中学生	16 54 0歳	41 56 0歳	61 歳	回答 しない	週1 回以上	週1 回未満	行 わない	知ら なかった	具 体的な 活動は 知らな かった	知 っている が参加 経験は ない	活 動に 参加し たこと がある
全体	285	0	0	0	49	117	21	54	32	12	178	67	40	24	52	68	141
男性	137	0	0	0	26	63	6	21	17	4	94	28	15	14	26	29	68
女性	143	0	0	0	23	54	15	33	14	4	82	38	23	10	26	38	69
回答しない	5	0	0	0	0	0	0	0	1	4	2	1	2	0	0	1	4

1-2 あなたの年齢について、お答えください。(カッコ内にご自身の年齢を記入)

	全体	性別			年代						運動頻度			クラブへの参加			
		男性	女性	回答しない	小学生	中学生	16 5 4 0 歳	41 5 6 0 歳	61 歳 5	回答しない	週1回以上	週1回未満	行わない	知らなかった	具体的な活動は知らなかった	知っているが参加経験はない	活動に参加したことがある
全体	285	137	143	5	0	0	0	0	0	0	178	67	40	24	52	68	141
小学生	49	26	23	0	0	0	0	0	0	0	42	5	2	8	11	10	20
中学生	117	63	54	0	0	0	0	0	0	0	105	7	5	9	20	14	74
16~40歳	21	6	15	0	0	0	0	0	0	0	3	12	6	0	6	11	4
41~60歳	54	21	33	0	0	0	0	0	0	0	17	24	13	1	6	21	26
61歳~	32	17	14	1	0	0	0	0	0	0	6	17	9	3	6	10	13
回答しない	12	4	4	4	0	0	0	0	0	0	5	2	5	3	3	2	4

1-3 あなたの最近1年間のスポーツの実施頻度をお答えください。(あてはまるものを一つだけ選択)

	全体	性別			年代						運動頻度			クラブへの参加			
		男性	女性	回答しない	小学生	中学生	16歳以下	41歳以下	61歳以下	回答しない	週1回以上	週1回未満	行わない	知らなかった	具体的な活動は知らなかった	知っているが参加経験はない	活動に参加したことがある
全体	285	137	143	5	49	117	21	54	32	12	0	0	0	24	52	68	141
週3回以上	114	65	47	2	26	73	2	8	3	2	0	0	0	9	16	18	71
週1~2回	64	29	35	0	16	32	1	9	3	3	0	0	0	6	12	13	33
月1~3回	31	11	19	1	2	6	3	9	10	1	0	0	0	1	6	7	17
年に数回	36	17	19	0	3	1	9	15	7	1	0	0	0	3	6	15	12
行わない	40	15	23	2	2	5	6	13	9	5	0	0	0	5	12	15	8

1-4 今後のスポーツの実施頻度について、どのようにしたいですか。(あてはまるものを一つだけ選択)

	全体	性別			年代						運動頻度			クラブへの参加			
		男性	女性	回答しない	小学生	中学生	16歳以下	41歳以下	61歳以下	回答しない	週1回以上	週1回未満	行わない	知らなかった	具体的な活動は知らなかった	知っているが参加経験はない	活動に参加したことがある
全体	285	137	143	5	49	117	21	54	32	12	178	67	40	24	52	68	141
増やしたい	121	53	67	1	11	40	15	34	18	3	53	44	24	10	21	35	55
現状を維持したい	160	80	76	4	37	74	6	20	14	9	121	23	16	13	31	33	83
減らしたい	4	4	0	0	1	3	0	0	0	0	4	0	0	1	0	0	3

1-5 今後どのようなスポーツをやってみたいですか。(あてはまるものをすべて選択)

	全体	性別			年代						運動頻度			クラブへの参加			
		男性	女性	回答しない	小学生	中学生	16歳以下	17歳～20歳	21歳～30歳	31歳～40歳	41歳～50歳	回答しない	週1回以上	週1回未満	行わない	知らなかった	具体的な活動は知らなかった
全体	541	255	280	6	91	236	45	98	50	21	348	140	53	41	87	128	285
健康作り体操	46	11	35	0	1	1	7	22	13	2	17	20	9	1	7	18	20
トレーニング	60	33	27	0	2	24	9	16	7	2	34	18	8	2	10	20	28
陸上競技	20	10	10	0	4	9	2	4	0	1	13	7	0	1	1	7	11
テニス・ソフトテニス	35	13	22	0	8	20	2	4	0	1	26	8	1	3	6	5	21
空手・太極拳	14	6	8	0	2	2	2	5	3	0	5	9	0	0	2	4	8
ダンス	32	3	29	0	6	18	1	6	0	1	21	9	2	4	6	7	15
ゴルフ	16	12	4	0	2	2	2	6	4	0	4	10	2	1	5	4	6
バレーボール	25	9	16	0	5	14	0	2	1	3	20	2	3	3	2	5	15
バスケットボール	33	16	17	0	9	22	0	1	0	1	29	4	0	4	5	5	19
サッカー・フットサル	33	29	4	0	8	21	4	0	0	0	27	6	0	3	3	4	23
野球・ソフトボール	20	19	1	0	4	12	1	0	3	0	17	3	0	1	5	0	14
柔道	6	5	1	0	1	5	0	0	0	0	6	0	0	2	0	0	4
バドミントン	86	34	51	1	17	44	6	12	4	3	64	16	6	4	13	19	50
卓球	41	18	22	1	10	19	1	9	0	2	29	9	3	3	8	8	22
パラスポーツ	9	3	6	0	2	4	0	0	3	0	7	2	0	1	2	3	3
その他	27	18	9	0	4	4	5	8	6	0	10	12	5	3	4	11	9
ない	38	16	18	4	6	15	3	3	6	5	19	5	14	5	8	8	17

2-1 現在利用している村内体育施設をお答えください。(あてはまるものをすべて選択)

	全体	性別			年代						運動頻度			クラブへの参加			
		男性	女性	回答しない	小学生	中学生	16歳以下	17歳～39歳	40歳～59歳	60歳以上	回答しない	週1回以上	週1回未満	行わない	知らなかった	具体的な活動は知らなかった	知っているが参加経験はない
全体	456	233	215	8	90	203	33	77	38	15	316	92	48	40	73	102	241
阿智中体育館	123	66	54	3	25	77	3	11	3	4	107	13	3	7	13	13	90
阿智中グラウンド	37	30	6	1	5	28	0	2	1	1	36	1	0	1	4	5	27
第一小体育館	18	7	11	0	6	8	2	1	1	0	16	2	0	1	4	3	10
第一小グラウンド	17	13	4	0	7	4	3	2	1	0	11	5	1	1	3	3	10
第二小体育館	10	2	8	0	1	4	1	4	0	0	7	1	2	1	3	4	2
第二小グラウンド	6	3	3	0	0	3	2	1	0	0	3	1	2	0	2	2	2
第三小体育館	4	1	3	0	3	0	1	0	0	0	3	1	0	0	0	1	3
第三小グラウンド	2	2	0	0	2	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	1
浪合小体育館	10	5	5	0	4	3	2	1	0	0	9	1	0	3	1	2	4
浪合小グラウンド	6	2	4	0	4	0	0	2	0	0	4	2	0	3	1	2	0
清内路小体育館	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
清内路小グラウンド	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1
運動公園わい・Wai(ドームを含む)	47	31	16	0	6	25	3	6	7	0	31	14	2	3	8	9	27
マレットゴルフ場	4	3	1	0	0	0	0	0	3	1	0	3	1	1	1	1	1
智里西村民体育館	2	0	2	0	0	0	2	0	0	0	0	1	1	0	0	2	0
清内路村民体育館	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
智里西村民グラウンド	3	1	2	0	1	1	1	0	0	0	2	0	1	0	0	1	2
浪合村民グラウンド	7	4	3	0	4	1	0	2	0	0	5	2	0	2	1	3	1
民間スポーツ施設(フィットネスクラブ)	5	2	3	0	1	0	0	2	1	1	2	3	0	0	2	0	3
自宅	47	19	27	1	8	17	4	12	4	2	30	10	7	6	10	15	16
道路・公園等の公共スペース	20	8	11	1	3	4	2	8	2	1	12	7	1	2	2	7	9
その他	14	2	12	0	3	4	0	5	1	1	9	4	1	2	3	0	9
ない	72	32	38	2	7	23	7	17	14	4	27	19	26	6	15	29	22

2-2 あなたが阿智中学校体育館を利用した際の感想について教えてください。

(1) 希望どおりの日程・時間帯に利用できている

	全体	性別			年代						運動頻度			クラブへの参加			
		男性	女性	回答しない	小学生	中学生	16歳以下	17歳～20歳	21歳～30歳	31歳～40歳	回答しない	週1回以上	週1回未満	行わない	知らなかった	具体的な活動は知らなかった	知っているが参加経験はない
全体	123	66	54	3	25	77	3	11	3	4	107	13	3	7	13	13	90
そう思う	80	38	39	3	19	48	2	5	2	4	71	7	2	3	10	11	56
まあそう思う	23	15	8	0	2	14	1	5	1	0	17	5	1	2	0	1	20
どちらともいえない	16	9	7	0	3	12	0	1	0	0	15	1	0	2	2	0	12
あまりそう思わない	2	2	0	0	1	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	1
そう思わない	2	2	0	0	0	2	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	1

(2) 利用時に、場所や時間が余っていると感じることもある

	全体	性別			年代						運動頻度			クラブへの参加			
		男性	女性	回答しない	小学生	中学生	16 54 0歳	41 56 0歳	61 歳	回答しない	週1回以上	週1回未満	行わない	知らなかった	具体的な活動は知らなかった	知っているが参加経験はない	活動に参加したことがある
全体	123	66	54	3	25	77	3	11	3	4	107	13	3	7	13	13	90
そう思う	18	12	3	3	3	11	0	0	1	3	15	1	2	0	3	2	13
まあそう思う	13	6	7	0	1	9	2	1	0	0	10	2	1	1	0	2	10
どちらともいえない	33	18	15	0	9	20	0	3	1	0	30	3	0	4	1	2	26
あまりそう思わない	28	14	14	0	8	14	1	4	1	0	24	4	0	0	5	5	18
そう思わない	31	16	15	0	4	23	0	3	0	1	28	3	0	2	4	2	23

(3) 無料で利用できるので使用している

	全体	性別			年代						運動頻度			クラブへの参加			
		男性	女性	回答しない	小学生	中学生	16歳以下	17歳～20歳	21歳～30歳	31歳～40歳	41歳～50歳	回答しない	週1回以上	週1回未満	行わない	知らなかった	具体的な活動は知らなかった
全体	123	66	54	3	25	77	3	11	3	4	107	13	3	7	13	13	90
そう思う	61	34	26	1	10	37	2	9	2	1	51	8	2	2	10	7	42
まあそう思う	22	13	8	1	3	15	0	2	1	1	17	4	1	2	1	3	16
どちらともいえない	28	12	16	0	9	18	1	0	0	0	27	1	0	3	1	2	22
あまりそう思わない	4	1	2	1	1	2	0	0	0	1	4	0	0	0	0	0	4
そう思わない	8	6	2	0	2	5	0	0	0	1	8	0	0	0	1	1	6

(4) 設備・備品の管理が行き届いている

	全体	性別			年代						運動頻度			クラブへの参加			
		男性	女性	回答しない	小学生	中学生	16 5 4 0 歳	41 5 6 0 歳	61 歳 5	回答しない	週1回以上	週1回未満	行わない	知らなかった	具体的な活動は知らなかった	知っているが参加経験はない	活動に参加したことがある
全体	123	66	54	3	25	77	3	11	3	4	107	13	3	7	13	13	90
そう思う	56	31	23	2	15	31	1	5	1	3	50	5	1	2	7	7	40
まあそう思う	39	21	18	0	5	25	2	6	1	0	30	8	1	2	4	3	30
どちらともいえない	22	10	11	1	5	15	0	0	1	1	21	0	1	3	1	2	16
あまりそう思わない	4	2	2	0	0	4	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	4
そう思わない	2	2	0	0	0	2	0	0	0	0	2	0	0	0	1	1	0

(5) 管理人が受付や見回りを行っているため、安心できる

	全体	性別			年代						運動頻度			クラブへの参加			
		男性	女性	回答しない	小学生	中学生	16 5 4 0 歳	41 5 6 0 歳	61 歳 5	回答しない	週1回以上	週1回未満	行わない	知らなかった	具体的な活動は知らなかった	知っているが参加経験はない	活動に参加したことがある
全体	123	66	54	3	25	77	3	11	3	4	107	13	3	7	13	13	90
そう思う	55	28	26	1	13	31	1	6	2	2	46	7	2	3	6	4	42
まあそう思う	30	16	14	0	6	20	1	3	0	0	27	3	0	2	1	3	24
どちらともいえない	28	15	12	1	3	21	1	1	1	1	25	2	1	2	3	4	19
あまりそう思わない	8	6	1	1	3	4	0	0	0	1	8	0	0	0	2	2	4
そう思わない	2	1	1	0	0	1	0	1	0	0	1	1	0	0	1	0	1

(6) 各種スポーツ教室等が充実している

	全体	性別			年代						運動頻度			クラブへの参加			
		男性	女性	回答しない	小学生	中学生	16 5 4 0 歳	41 5 6 0 歳	61 歳 5	回答しない	週1回以上	週1回未満	行わない	知らなかった	具体的な活動は知らなかった	知っているが参加経験はない	活動に参加したことがある
全体	123	66	54	3	25	77	3	11	3	4	107	13	3	7	13	13	90
そう思う	52	29	22	1	10	36	0	3	2	1	48	3	1	4	4	5	39
まあそう思う	35	18	16	1	9	18	2	4	0	2	29	5	1	1	3	3	28
どちらともいえない	27	14	13	0	5	19	0	3	0	0	24	3	0	2	4	2	19
あまりそう思わない	4	2	2	0	0	2	0	1	1	0	3	1	0	0	1	1	2
そう思わない	5	3	1	1	1	2	1	0	0	1	3	1	1	0	1	2	2

2-3 阿智中学校体育館を利用しなかったのはなぜですか。(あてはまるものをすべて選択)

	全体	性別			年代						運動頻度			クラブへの参加			
		男性	女性	回答しない	小学生	中学生	16歳以下	17歳～20歳	21歳～30歳	31歳～40歳	回答しない	週1回以上	週1回未満	行わない	知らなかった	具体的な活動は知らなかった	知っているが参加経験はない
全体	183	78	103	2	25	40	22	52	36	8	75	68	40	18	40	70	55
村民に開放されているのを知らなかった	35	15	20	0	6	4	5	10	8	2	9	19	7	5	10	17	3
利用時の手続きが複雑	9	4	5	0	0	2	2	3	2	0	3	5	1	0	2	4	3
開放されている曜日・時間帯が不適當	5	1	4	0	0	0	1	2	2	0	0	4	1	0	0	3	2
利用するための条件が厳しい(10人以上の団体等)	14	5	9	0	3	0	1	7	3	0	7	7	0	1	1	7	5
運動・スポーツへの関心が低い	19	7	12	0	3	3	3	6	4	0	5	7	7	1	7	9	2
その他	18	10	8	0	0	8	2	5	2	1	10	4	4	0	3	5	10
特に理由はない	83	36	45	2	13	23	8	19	15	5	41	22	20	11	17	25	30

3-1 このアンケート調査に回答する前まで、あなたは「チャレンジゆう Achi」のことを知っていましたか。

また、活動に参加したことがありますか。(あてはまるものを一つだけ選択)

	全体	性別			年代						運動頻度			クラブへの参加			
		男性	女性	回答しない	小学生	中学生	16歳以下	17歳～20歳	21歳～30歳	31歳～40歳	回答しない	週1回以上	週1回未満	行わない	知らなかった	具体的な活動は知らなかった	知っているが参加経験はない
全体	285	137	143	5	49	117	21	54	32	12	178	67	40	0	0	0	0
知らなかった	24	14	10	0	8	9	0	1	3	3	15	4	5	0	0	0	0
聞いたことはあるが、具体的な活動は知らなかった	52	26	26	0	11	20	6	6	6	3	28	12	12	0	0	0	0
具体的な活動内容を知っているが、参加経験はない	68	29	38	1	10	14	11	21	10	2	31	22	15	0	0	0	0
活動に参加したことがある	141	68	69	4	20	74	4	26	13	4	104	29	8	0	0	0	0

3-2「チャレンジゆう Achi」の活動に参加しなかったのはなぜですか。(あてはまるものをすべて選択)

	全体	性別			年代						運動頻度			クラブへの参加			
		男性	女性	回答しない	小学生	中学生	16歳以下	17歳～20歳	21歳～30歳	31歳～40歳	回答しない	週1回以上	週1回未満	行わない	知らなかった	具体的な活動は知らなかった	知っているが参加経験はない
全体	151	62	86	3	25	42	20	34	22	8	70	46	35	0	64	87	0
活動に参加する方法が分からなかった	5	3	2	0	0	1	0	1	3	0	0	3	2	0	4	1	0
興味のある教室・イベント等がなかった	25	8	16	1	3	6	3	7	5	1	10	7	8	0	8	17	0
地域団体の活動にあまり参加したことがなく、なじみがなかった	19	7	11	1	5	3	2	3	3	3	8	8	3	0	10	9	0
活動の日程・時間帯が合わなかった	34	9	24	1	6	5	6	10	5	2	14	14	6	0	10	24	0
運動・スポーツへの関心が低かった	14	7	7	0	2	5	1	4	2	0	6	3	5	0	6	8	0
特に理由はない	42	21	21	0	8	18	6	6	3	1	25	6	11	0	22	20	0
その他	12	7	5	0	1	4	2	3	1	1	7	5	0	0	4	8	0

3-3 あなたが「チャレンジゆう Achi」の活動に参加した際の感想について教えてください。(以下のそれぞれの項目について、次の①~⑤のうち最もあてはまる選択肢を一つだけ選択)

(1) ご自身の興味があるスポーツ種目・文化活動を実施できる

	全体	性別			年代						運動頻度			クラブへの参加			
		男性	女性	回答しない	小学生	中学生	16歳以下	17-20歳	21-30歳	31歳以上	回答しない	週1回以上	週1回未満	行わない	知らなかった	具体的な活動は知らなかった	知っているが参加経験はない
全体	141	68	69	4	20	74	4	26	13	4	104	29	8	0	0	0	141
そう思う	76	42	32	2	9	45	2	12	7	1	60	12	4	0	0	0	76
まあそう思う	52	20	31	1	8	23	2	12	5	2	35	13	4	0	0	0	52
どちらともいえない	7	3	4	0	2	4	0	0	1	0	5	2	0	0	0	0	7
あまりそう思わない	5	3	1	1	0	2	0	2	0	1	4	1	0	0	0	0	5
そう思わない	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1

(2) 利用時に、場所や時間が余っていると感じることもある

	全体	性別			年代						運動頻度			クラブへの参加				
		男性	女性	回答しない	小学生	中学生	16歳以下	17歳～20歳	21歳～30歳	31歳～40歳	41歳～50歳	51歳以上	回答しない	週1回以上	週1回未満	行わない	知らなかった	具体的な活動は知らなかった
全体	141	68	69	4	20	74	4	26	13	4	104	29	8	0	0	0	0	141
そう思う	48	28	19	1	5	27	1	8	6	1	37	9	2	0	0	0	0	48
まあそう思う	44	17	25	2	11	13	3	11	5	1	26	13	5	0	0	0	0	44
どちらともいえない	32	16	16	0	2	26	0	3	1	0	28	4	0	0	0	0	0	32
あまりそう思わない	14	6	8	0	1	7	0	4	1	1	11	2	1	0	0	0	0	14
そう思わない	3	1	1	1	1	1	0	0	0	1	2	1	0	0	0	0	0	3

(3) 無料で利用できるので使用している

	全体	性別			年代						運動頻度			クラブへの参加			
		男性	女性	回答しない	小学生	中学生	16歳以下	17歳～20歳	21歳～30歳	31歳～	回答しない	週1回以上	週1回未満	行わない	知らなかった	具体的な活動は知らなかった	知っているが参加経験はない
全体	141	68	69	4	20	74	4	26	13	4	104	29	8	0	0	0	141
そう思う	47	27	19	1	5	25	1	10	5	1	36	11	0	0	0	0	47
まあそう思う	46	19	25	2	10	19	2	8	5	2	33	7	6	0	0	0	46
どちらともいえない	31	15	16	0	4	19	1	5	2	0	21	8	2	0	0	0	31
あまりそう思わない	9	2	6	1	0	6	0	1	1	1	9	0	0	0	0	0	9
そう思わない	8	5	3	0	1	5	0	2	0	0	5	3	0	0	0	0	8

(4) 設備・備品の管理が行き届いている

	全体	性別			年代						運動頻度			クラブへの参加			
		男性	女性	回答しない	小学生	中学生	16 5 4 0 歳	41 5 6 0 歳	61 歳 5	回答しない	週1回以上	週1回未満	行わない	知らなかった	具体的な活動は知らなかった	知っているが参加経験はない	活動に参加したことがある
全体	141	68	69	4	20	74	4	26	13	4	104	29	8	0	0	0	141
そう思う	53	28	24	1	9	25	1	12	5	1	39	11	3	0	0	0	53
まあそう思う	43	20	21	2	9	19	2	7	4	2	31	9	3	0	0	0	43
どちらともいえない	37	19	18	0	1	28	1	4	3	0	29	6	2	0	0	0	37
あまりそう思わない	6	1	5	0	0	2	0	3	1	0	4	2	0	0	0	0	6
そう思わない	2	0	1	1	1	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	2

(5) 管理人が受付や見回りを行っているため、安心できる

	全体	性別			年代						運動頻度			クラブへの参加				
		男性	女性	回答しない	小学生	中学生	16歳以下	17歳～20歳	21歳～30歳	31歳～40歳	41歳～50歳	回答しない	週1回以上	週1回未満	行わない	知らなかった	具体的な活動は知らなかった	知っているが参加経験はない
全体	141	68	69	4	20	74	4	26	13	4	104	29	8	0	0	0	0	141
そう思う	50	28	21	1	8	30	0	8	3	1	43	5	2	0	0	0	0	50
まあそう思う	58	27	30	1	11	23	4	12	7	1	35	20	3	0	0	0	0	58
どちらともいえない	27	12	14	1	0	19	0	4	3	1	22	2	3	0	0	0	0	27
あまりそう思わない	3	1	2	0	0	2	0	1	0	0	3	0	0	0	0	0	0	3
そう思わない	3	0	2	1	1	0	0	1	0	1	1	2	0	0	0	0	0	3

3-4 今後「チャレンジゆう Achi」にどのような役割を期待しますか。(あてはまるものをすべて選択)

	全体	性別			年代						運動頻度			クラブへの参加			
		男性	女性	回答しない	小学生	中学生	16歳以下	41歳～60歳	61歳以上	回答しない	週1回以上	週1回未満	行わない	知らなかった	具体的な活動は知らなかった	知っているが参加経験はない	活動に参加したことがある
全体	285	143	138	4	44	129	10	70	28	4	191	75	19	0	0	0	285
村民の健康増進	64	29	33	2	7	19	3	23	10	2	39	22	3	0	0	0	64
村民のスポーツ競技力向上	51	33	17	1	8	28	1	8	5	1	38	8	5	0	0	0	51
スポーツや文化活動を通じたコミュニティづくり	59	26	32	1	8	28	1	15	6	1	40	13	6	0	0	0	59
学校・保護者と協力した、子供たちのスポーツ環境充実や、放課後の居場所づくりへの取組	63	29	34	0	15	27	4	13	4	0	42	17	4	0	0	0	63
村内の体育施設がより使いやすくなるよう管理	41	21	20	0	6	22	0	10	3	0	27	13	1	0	0	0	41
その他	7	5	2	0	0	5	1	1	0	0	5	2	0	0	0	0	7

4-1 このアンケート調査に回答する前、あなたは「阿智中クラブ」を知っていましたか。(あてはまるものを一つだけ選択)

	全体	性別			年代						運動頻度			クラブへの参加			
		男性	女性	回答しない	小学生	中学生	16 5 4 0 歳	41 5 6 0 歳	61 歳 5	回答しない	週1回以上	週1回未満	行わない	知らなかった	具体的な活動は知らなかった	知っているが参加経験はない	活動に参加したことがある
全体	285	137	143	5	49	117	21	54	32	12	178	67	40	24	52	68	141
知らなかった	78	37	40	1	19	2	12	20	19	6	31	29	18	11	24	22	21
聞いたことはあるが、具体的な内容は知らなかった	79	41	36	2	19	34	3	11	10	2	54	17	8	10	16	21	32
具体的な内容を知っていた	128	59	67	2	11	81	6	23	3	4	93	21	14	3	12	25	88

4-2 「阿智中クラブ」の活動について、どのような印象を持ちましたか。(あてはまるものを一つだけ選択)

	全体	性別			年代						運動頻度			クラブへの参加			
		男性	女性	回答しない	小学生	中学生	16歳以下	17歳～20歳	21歳～30歳	31歳～40歳	回答しない	週1回以上	週1回未満	行わない	知らなかった	具体的な活動は知らなかった	知っているが参加経験はない
全体	285	137	143	5	49	117	21	54	32	12	178	67	40	24	52	68	141
良いと思う	111	53	56	2	18	52	8	15	15	3	71	25	15	9	22	16	64
まあ良いと思う	88	41	45	2	13	39	4	17	11	4	55	22	11	7	14	21	46
どちらともいえない	72	36	35	1	17	22	8	17	5	3	43	18	11	8	12	25	27
あまりよくないと思う	9	4	5	0	1	3	0	2	1	2	8	1	0	0	2	3	4
よくないと思う	5	3	2	0	0	1	1	3	0	0	1	1	3	0	2	3	0

(付録3) 阿智中アンケート調査票

部活動と「阿智中クラブ」に関するアンケート

今年度から、「阿智中クラブ」をチャレンジゆう Achi の講座として位置づける新しい取組が始まりました。

このアンケートは、皆さんのスポーツや「阿智中クラブ」に対する意見・感想をお伺いし、来年度以降の取組をさらに良いものとするために実施します。なお、ご回答いただいた内容は、適切に管理し個人が特定できる形で回答結果を対外的に公開することはありません。集計結果は、公表・活用させていただきます。ご協力のほど、どうぞよろしくお願いたします。

問1 あなた自身の状況について、お伺いします。

1-1 あなたの性別について、お答えください。(あてはまるものを一つだけ選択)

- ① 男性 ② 女性 ③ 回答しない

1-2 あなたの学年について、お答えください。(あてはまるものを一つだけ選択)

- ① 1年生 ② 2年生 ③ 3年生

1-3 あなたは平日の放課後(授業が終わってから、夜19時ごろまで)、どのような場所で過ごすことが多いですか。(あてはまるものを3つまで選択)

- ① 学校 ② 自分の家 ③ 親戚の家 ④ 友達の家 ⑤ 塾や習い事の教室
⑥ 公園 ⑦ 公民館 ⑧ 飲食店や商店 ⑨ その他 ()
⑩ あまり行き場所がなく困っている

1-4 あなたは平日の放課後(授業が終わってから、夜19時ごろまで)、どのような場所で過ごしたいですか。(あてはまるものを3つまで選択)

- ① 学校 ② 自分の家 ③ 親戚の家 ④ 友達の家 ⑤ 塾や習い事の教室
⑥ 公園 ⑦ 公民館 ⑧ 飲食店や商店 ⑨ その他 ()
⑩ あまり行きたい場所がない

1-5 あなたは平日の放課後(授業が終わってから、夜19時ごろまで)、どのような活動をする人が多いですか。(あてはまるものを3つまで選択)

- ① 勉強・読書 ② スポーツ(部活動) ③ スポーツ(部活動以外) ④ スポーツ以外の遊び ⑤ 習い事
⑥ 買い物 ⑦ 友達と過ごす・話す ⑧ 家族と過ごす・はなす ⑨ ゲーム・SNS・ネットサーフィン等
⑩ 体を休める ⑪ その他 () ⑫ あまりすることがない

1-6 今後、放課後の時間を使って学校でやってみたい活動はありますか。(あてはまるものを3つまで選択)

- ① 勉強・読書 ② スポーツ(部活動) ③ スポーツ(部活動以外) ④ スポーツ以外の遊び
⑤ 友達と過ごす・話す ⑥ その他 () ⑦ 特にない

1-7 【1-6で③を選んだ方】特にやってみたいスポーツはありますか。(あてはまるものを3つまで選択)

- ① 健康作り体操 ② トレーニング ③ 陸上競技 ④ テニス・ソフトテニス ⑤ 空手・太極拳 ⑥ ダンス
⑦ ゴルフ ⑧ バレーボール ⑨ バスケットボール ⑩ サッカー・フットサル ⑪ 野球・ソフトボール ⑫ 柔道
⑬ バドミントン ⑭ 卓球 ⑮ パラスポーツ ⑯ その他 () ⑰ ない

1-8 ご自身の放課後の過ごし方について、あなたはどのように感じていますか。(あてはまるものを3つまで選択)

- ① 楽しい ② 寂しい ③ 忙しい ④ 退屈だ ⑤ 安心だ ⑥ 不安だ ⑦ その他 () ⑧ 特にない

問2 あなたの運動・スポーツの実施状況についてお伺いします。

2-1 あなたは現在、部活動や阿智中クラブに参加していますか。(あてはまるものを一つだけ選択)

- ① 部活動と阿智中クラブの両方に参加している (いた) ② 部活動だけ参加している (いた)
③ 部活動・阿智中クラブのどちらにも参加していない (いなかった)

問4 部活動と阿智中クラブ両方に参加している方にお伺いします。(阿智中クラブに参加していない方は問5に進んでください)

4-1 あなたは阿智中クラブのどの活動に参加していますか。(あてはまるものを一つだけ選択)

- ① 野球 ② サッカー ③ ソフトテニス ④ バレーボール ⑤ 卓球 ⑥ 柔道 ⑦ 吹奏楽 ⑧ 回答しない

4-2 平日(大会前等ではない、普段の練習)についてお伺いします。部活動に参加している日と、阿智中クラブに参加している日を合わせると、合計で何日くらいになりますか。(あてはまるものを一つだけ選択)

- ① 5日 ② 4日 ③ 3日 ④ 2日 ⑤ 1日

4-3 土日(大会前等ではない、普段の練習)についてお伺いします。部活動に参加している日と、阿智中クラブに参加している日を合わせると、合計で何日くらいになりますか。(あてはまるものを一つだけ選択)

- ① 2日 ② 1日 ③ 0日

4-4 阿智中クラブの活動の頻度について、どう思いますか。あなたの考えに一番近いものを選んでください。(あてはまるものを一つだけ選択)

- ① 多すぎる ② どちらかといえば多い ③ ちょうどよい ④ どちらかといえば少ない ⑤ 少なすぎる

4-5 阿智中クラブの活動時間の長さについて、どう思いますか。あなたの考えに一番近いものを選んでください。(あてはまるものを一つだけ選択)

- ① 長すぎる ② どちらかといえば長い ③ ちょうどよい ④ どちらかといえば短い ⑤ 短すぎる

4-6 阿智中クラブの活動は楽しいと感じますか。あなたの考えに一番近いものを選んでください。(あてはまるものを一つだけ選択)

- ① 楽しい ② どちらかといえば楽しい ③ ちょうどよい ④ どちらかといえば楽しくない ⑤ 楽しくない

4-7 阿智中クラブの活動を通じて、競技や演奏等が上達したと感じられましたか。あなたの考えに一番近いものを選んでください。(あてはまるものを一つだけ選択)

- ① 上達した ② どちらかといえば上達した ③ どちらともいえない ④ どちらかといえば上達していない ⑤ 上達していない

4-8 阿智中クラブでの指導方法について、どのように感じますか。あなたの考えに一番近いものを選んでください。(あてはまるものを一つだけ選択)

- ① 厳しい ② どちらかといえば厳しい ③ ちょうどよい ④ どちらかといえば優しい ⑤ 優しい

4-9 4-4 から 4-8 までのご回答を総合して、全体的に阿智中クラブでの活動に満足していますか。あなたの考えに一番近いものを選んでください。(あてはまるものを一つだけ選択)

- ① 満足 ② どちらかといえば満足 ③ どちらともいえない ④ どちらかといえば不満 ⑤ 不満

4-10 あなたは阿智中クラブで今後どのような活動がしたいですか。現状の活動内容とは関係なく、あなたの希望を教えてください。(あてはまるものをすべて選択)

- ① 部活動の延長線上で、コーチがメニューやプログラムを決め、指導してほしい
② 自分たちでメニューやプログラムを決めて練習したい ③ 個人練習の時間にあてたい
④ その他() ⑤ 特に希望はない

4-11 阿智中クラブでの活動や前後の時間の過ごし方について、よかったことや、困っていることはありますか。あなたの意見・感想を自由に書いてください。

4-12 来年度以降の阿智中クラブの進め方について、あなたのご要望や意見・感想を自由に書いてください。

阿智中クラブに参加されている方へのご質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

問4 部活動と阿智中クラブ両方に参加している方にお伺いします。(阿智中クラブに参加していない方は問5に進んでください)

4-1 あなたは阿智中クラブのどの活動に参加していますか。(あてはまるものを一つだけ選択)

- ① 野球 ② サッカー ③ ソフトテニス ④ バレーボール ⑤ 卓球 ⑥ 柔道 ⑦ 吹奏楽 ⑧ 回答しない

4-2 平日(大会前等ではない、普段の練習)についてお伺いします。部活動に参加している日と、阿智中クラブに参加している日を合わせると、合計で何日くらいになりますか。(あてはまるものを一つだけ選択)

- ① 5日 ② 4日 ③ 3日 ④ 2日 ⑤ 1日

4-3 土日(大会前等ではない、普段の練習)についてお伺いします。部活動に参加している日と、阿智中クラブに参加している日を合わせると、合計で何日くらいになりますか。(あてはまるものを一つだけ選択)

- ① 2日 ② 1日 ③ 0日

4-4 阿智中クラブの活動の頻度について、どう思いますか。あなたの考えに一番近いものを選んでください。(あてはまるものを一つだけ選択)

- ① 多すぎる ② どちらかといえば多い ③ ちょうどよい ④ どちらかといえば少ない ⑤ 少なすぎる

4-5 阿智中クラブの活動時間の長さについて、どう思いますか。あなたの考えに一番近いものを選んでください。(あてはまるものを一つだけ選択)

- ① 長すぎる ② どちらかといえば長い ③ ちょうどよい ④ どちらかといえば短い ⑤ 短すぎる

4-6 阿智中クラブの活動は楽しいと感じますか。あなたの考えに一番近いものを選んでください。(あてはまるものを一つだけ選択)

- ① 楽しい ② どちらかといえば楽しい ③ ちょうどよい ④ どちらかといえば楽しくない ⑤ 楽しくない

4-7 阿智中クラブの活動を通じて、競技や演奏等が上達したと感じられましたか。あなたの考えに一番近いものを選んでください。(あてはまるものを一つだけ選択)

- ① 上達した ② どちらかといえば上達した ③ どちらともいえない ④ どちらかといえば上達していない ⑤ 上達していない

4-8 阿智中クラブでの指導方法について、どのように感じますか。あなたの考えに一番近いものを選んでください。(あてはまるものを一つだけ選択)

- ① 厳しい ② どちらかといえば厳しい ③ ちょうどよい ④ どちらかといえば優しい ⑤ 優しい

4-9 4-4 から 4-8 までのご回答を総合して、全体的に阿智中クラブでの活動に満足していますか。あなたの考えに一番近いものを選んでください。(あてはまるものを一つだけ選択)

- ① 満足 ② どちらかといえば満足 ③ どちらともいえない ④ どちらかといえば不満 ⑤ 不満

4-10 あなたは阿智中クラブで今後どのような活動がしたいですか。現状の活動内容とは関係なく、あなたの希望を教えてください。(あてはまるものをすべて選択)

- ① 部活動の延長線上で、コーチがメニューやプログラムを決め、指導してほしい
② 自分たちでメニューやプログラムを決めて練習したい ③ 個人練習の時間にあてたい
④ その他() ⑤ 特に希望はない

4-11 阿智中クラブでの活動や前後の時間の過ごし方について、よかったことや、困っていることはありますか。あなたの意見・感想を自由に書いてください。

4-12 来年度以降の阿智中クラブの進め方について、あなたのご要望や意見・感想を自由に書いてください。

阿智中クラブに参加されている方へのご質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

(付録4) 阿智中アンケート結果

1-1 あなたの性別について、お答えください。(あてはまるものを一つだけ選択)

	全体	男性	女性	回答しない	1年生	2年生	3年生	部活動と阿智中クラブの両方に 参加している(いた)	部活動だけ参加している(いた)	部活動・阿智中クラブのどちら にも参加していない(いなかった)
全体	176	84	84	8	63	56	57	139	14	23
男性	0	0	0	0	27	25	32	68	8	8
女性	0	0	0	0	32	30	22	64	6	14
回答しない	0	0	0	0	4	1	3	7	0	1

1-2 あなたの学年について、お答えください。(あてはまるものを一つだけ選択)

	全体	男性	女性	回答しない	1年生	2年生	3年生	部活動と阿智中クラブの両方に参加している(いた)	部活動だけ参加している(いた)	部活動・阿智中クラブのどちらにも参加していない(いなかった)
全体	176	84	84	8	63	56	57	139	14	23
1年生	63	27	32	4	0	0	0	43	6	14
2年生	56	25	30	1	0	0	0	50	3	3
3年生	57	32	22	3	0	0	0	46	5	6

1-3 あなたは平日の放課後（授業が終わってから、夜 19 時ごろまで）、どのような場所で過ごすことが多いですか。（あてはまるものを3つまで選択）

	全体	男性	女性	回答しない	1年生	2年生	3年生	部活動と阿智中クラブの両方に参加している（いた）	部活動だけ参加している（いた）	部活動・阿智中クラブのどちらにも参加していない（いなかった）
全体	176	84	84	8	63	56	57	139	14	23
学校	56	25	28	3	28	17	11	51	2	3
自分の家	168	79	81	8	63	49	56	132	13	23
親戚の家	5	3	2	0	2	1	2	5	0	0
友達の家	1	0	1	0	0	1	0	1	0	0
塾や習い事の教室	20	8	11	1	9	6	5	14	1	5
公園	2	1	1	0	2	0	0	0	0	2
公民館	2	2	0	0	0	2	0	1	1	0
飲食店や商店	1	0	1	0	0	1	0	1	0	0
その他	4	2	1	1	2	2	0	2	0	2
あまり行き場所がなく困っている	1	0	1	0	0	1	0	1	0	0

1-4 あなたは平日の放課後（授業が終わってから、夜 19 時ごろまで）、どのような場所で過ごしたいですか。（あてはまるものを3つまで選択）

	全体	男性	女性	回答しない	1年生	2年生	3年生	部活動と阿智中クラブの両方に参加している（いた）	部活動だけ参加している（いた）	部活動・阿智中クラブのどちらにも参加していない（いなかった）
全体	176	84	84	8	63	56	57	139	14	23
学校	22	11	10	1	9	8	5	21	0	1
自分の家	149	69	76	4	56	48	45	115	11	23
親戚の家	7	4	3	0	5	1	1	5	2	0
友達の家	18	9	8	1	9	5	4	16	1	1
塾や習い事の教室	9	2	7	0	4	2	3	6	0	3
公園	5	3	1	1	4	1	0	3	0	2
公民館	4	1	3	0	0	0	4	3	1	0
飲食店や商店	7	4	2	1	4	1	2	7	0	0
その他	5	1	3	1	1	2	2	3	0	2
あまり行きたい場所がない	5	4	1	0	0	2	3	4	1	0
無回答	1	0	0	1	1	0	0	1	0	0

1-5 あなたは平日の放課後（授業が終わってから、夜 19 時ごろまで）、どのような活動をする
 ことが多いですか。（あてはまるものを3つまで選択）

	全 体	男 性	女 性	回 答 し な い	1 年 生	2 年 生	3 年 生	部 活 動 と 阿 智 中 ク ラ ブ の 両 方 に 参 加 し て い る （ い た ）	部 活 動 だ け 参 加 し て い る （ い た ）	部 活 動 ・ 阿 智 中 ク ラ ブ の ど ち ら に も 参 加 し て い な い （ い な か つ た ）
全体	176	84	84	8	63	56	57	139	14	23
勉強・読書	102	44	53	5	38	32	32	82	8	12
スポーツ（部活動）	76	41	31	4	35	28	13	71	4	1
スポーツ（部活動以外）	31	18	11	2	15	10	6	22	3	6
スポーツ以外の遊び	12	6	5	1	5	4	3	5	2	5
習い事	19	4	14	1	9	5	5	13	1	5
買い物	2	0	2	0	1	1	0	1	0	1
友達と過ごす・話す	8	4	4	0	1	3	4	7	1	0
家族と過ごす・はなす	24	7	16	1	11	6	7	19	0	5
ゲーム・SNS・ネットサーフィン等	69	38	27	4	24	22	23	56	5	8
体を休める	35	18	17	0	11	11	13	29	2	4
その他	2	0	2	0	1	1	0	1	1	0
あまりすることがない	6	3	2	1	1	2	3	3	1	2
無回答	1	0	1	0	0	0	1	1	0	0

1-6 今後、放課後の時間を使って学校でやってみたい活動はありますか。(あてはまるものを3つまで選択)

	全体	男性	女性	回答しない	1年生	2年生	3年生	部に活動と阿智中クラブの両方に参加している(いた)	部活動だけ参加している(いた)	部活動・阿智中クラブのどちらにも参加していない(いなかった)
全体	176	84	84	8	63	56	57	139	14	23
勉強・読書	34	14	20	0	9	11	14	28	4	2
スポーツ(部活動)	41	27	13	1	18	13	10	37	2	2
スポーツ(部活動以外)	53	24	27	2	22	15	16	42	3	8
スポーツ以外の遊び	22	7	14	1	10	5	7	17	1	4
友達と話す・話す	48	18	30	0	20	18	10	39	2	7
その他	3	1	2	0	2	0	1	2	0	1
特になし	52	26	22	4	19	16	17	41	4	7

1-7 【1-6 でを選んだ方】特にやってみたいスポーツはありますか。(あてはまるものを3つまで選択)

	全体	男性	女性	回答しない	1年生	2年生	3年生	部活動と阿智中クラブの両方に参加している(いた)	部活動だけ参加している(いた)	部活動・阿智中クラブのどちらにも参加していない(いなかった)
全体	53	24	27	2	22	15	16	42	3	8
健康作り体操	1	1	0	0	1	0	0	1	0	0
トレーニング	5	4	1	0	1	2	2	4	0	1
陸上競技	3	3	0	0	1	1	1	2	0	1
テニス・ソフトテニス	8	4	3	1	2	0	6	7	0	1
空手・太極拳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ダンス	13	2	11	0	4	4	5	8	2	3
ゴルフ	3	0	3	0	3	0	0	2	0	1
バレーボール	7	3	4	0	3	2	2	5	1	1
バスケットボール	13	6	7	0	6	4	3	10	2	1
サッカー・フットサル	8	7	0	1	5	2	1	6	0	2
野球・ソフトボール	10	5	5	0	7	3	0	9	0	1
柔道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
バドミントン	20	5	14	1	10	2	8	17	1	2
卓球	7	3	3	1	2	2	3	4	2	1
バラスポーツ	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0
その他	3	2	0	1	1	1	1	2	0	1
ない	1	0	1	0	0	1	0	1	0	0

1-8 ご自身の放課後の過ごし方について、あなたはどのように感じていますか。(あてはまるものを3つまで選択)

	全体	男性	女性	回答しない	1年生	2年生	3年生	部活動と阿智中クラブの両方に参加している(いた)	部活動だけ参加している(いた)	部活動・阿智中クラブのどちらにも参加していない(いなかった)
全体	176	84	84	8	63	56	57	139	14	23
楽しい	93	41	50	2	36	30	27	69	9	15
寂しい	6	4	1	1	3	0	3	3	1	2
忙しい	14	4	10	0	6	2	6	11	1	2
退屈だ	18	11	7	0	5	8	5	16	0	2
安心だ	36	12	22	2	17	13	6	29	3	4
不安だ	8	5	2	1	5	2	1	6	1	1
その他	2	2	0	0	1	1	0	2	0	0
特にない	43	21	18	4	13	11	19	34	3	6
無回答	1	1	0	0	0	1	0	1	0	0

2-1 あなたは現在、部活動や阿智中クラブに参加していますか。(あてはまるものを一つだけ選択)

	全体	男性	女性	回答しない	1年生	2年生	3年生
全体	176	84	84	8	63	56	57
部活動と阿智中クラブの両方に参加している(いた)	139	68	64	7	43	50	46
部活動だけ参加している(いた)	14	8	6	0	6	3	5
部活動・阿智中クラブのどちらにも参加していない(いなかった)	23	8	14	1	14	3	6

2-2 あなたは現在、部活動、阿智中クラブ、体育の授業以外で行っている運動・スポーツがありますか（あてはまるものを一つだけ選択）

	全体	男性	女性	回答しない	1年生	2年生	3年生
全体	176	84	84	8	63	56	57
はい	53	29	22	2	43	50	46
いいえ	117	50	61	6	6	3	5
無回答	6	5	1	0	14	3	6

2-3 【2-2で「はい」を選んだ方】あなたが部活動、阿智中クラブ、体育の授業以外で行っている運動・スポーツの【A】種目と、【B】その種目を実施するにあたり、クラブ等に所属しているかを教えてください（あてはまるものを3つまで選択）

	地域のスポーツクラブ						
	全体	男性	女性	回答しない	1年生	2年生	3年生
全体	53	5	3	1	2	2	5
野球	5	1	0	0	0	0	1
ソフトボール	-	0	0	0	0	0	0
柔道	3	0	0	0	0	0	0
ソフトテニス	7	0	0	0	0	0	0
硬式テニス	-	0	0	0	0	0	0
バレーボール	2	0	0	0	0	0	0
バスケットボール	5	0	0	0	0	0	0
サッカー	11	2	1	1	1	0	3
バドミントン	1	0	0	0	0	0	0
陸上	2	0	0	0	0	0	0
剣道	2	0	0	0	0	0	0
空手	2	0	0	0	0	0	0
ソフトバレー	-	0	0	0	0	0	0
ダンス	9	0	2	0	1	0	1
トレーニング	2	0	0	0	0	0	0
水泳	-	0	0	0	0	0	0
その他	8	2	0	0	0	2	0

	チャレンジゆうAchi						
	全体	男性	女性	回答しない	1年生	2年生	3年生
全体	53	10	9	0	5	2	12
野球	5	1	0	0	0	0	1
ソフトボール	-	0	0	0	0	0	0
柔道	3	2	1	0	1	0	2
ソフトテニス	7	3	4	0	1	1	5
硬式テニス	-	0	0	0	0	0	0
バレーボール	2	0	0	0	0	0	0
バスケットボール	5	1	2	0	2	1	0
サッカー	11	1	0	0	0	0	1
バドミントン	1	0	0	0	0	0	0
陸上	2	2	0	0	0	0	2
剣道	2	0	0	0	0	0	0
空手	2	0	0	0	0	0	0
ソフトバレー	-	0	0	0	0	0	0
ダンス	9	0	0	0	0	0	0
トレーニング	2	0	1	0	1	0	0
水泳	-	0	0	0	0	0	0
その他	8	0	1	0	0	0	1

	民間のスポーツクラブ						
	全体	男性	女性	回答しない	1年生	2年生	3年生
全体	53	11	10	1	10	6	6
野球	5	2	0	0	1	0	1
ソフトボール	-	0	0	0	0	0	0
柔道	3	0	0	0	0	0	0
ソフトテニス	7	0	0	0	0	0	0
硬式テニス	-	0	0	0	0	0	0
バレーボール	2	0	2	0	0	1	1
バスケットボール	5	1	0	0	0	0	1
サッカー	11	4	1	0	2	1	2
バドミントン	1	0	0	0	0	0	0
陸上	2	0	0	0	0	0	0
剣道	2	2	0	0	1	0	1
空手	2	0	0	0	0	0	0
ソフトバレー	-	0	0	0	0	0	0
ダンス	9	0	6	0	2	4	0
トレーニング	2	1	0	0	1	0	0
水泳	-	0	0	0	0	0	0
その他	8	1	1	1	3	0	0

	どこにも入っていない						
	全体	男性	女性	回答しない	1年生	2年生	3年生
全体	53	5	4	0	6	2	1
野球	5	1	0	0	1	0	0
ソフトボール	-	0	0	0	0	0	0
柔道	3	0	0	0	0	0	0
ソフトテニス	7	0	0	0	0	0	0
硬式テニス	-	0	0	0	0	0	0
バレーボール	2	0	0	0	0	0	0
バスケットボール	5	1	0	0	0	1	0
サッカー	11	1	0	0	1	0	0
バドミントン	1	0	1	0	1	0	0
陸上	2	0	0	0	0	0	0
剣道	2	0	0	0	0	0	0
空手	2	0	2	0	2	0	0
ソフトバレー	-	0	0	0	0	0	0
ダンス	9	0	1	0	1	0	0
トレーニング	2	0	0	0	0	0	0
水泳	-	0	0	0	0	0	0
その他	8	2	0	0	0	1	1

	全体	その他					
		男性	女性	回答しない	1年生	2年生	3年生
全体	53	0	0	0	0	0	0
野球	5	0	0	0	0	0	0
ソフトボール	-	0	0	0	0	0	0
柔道	3	0	0	0	0	0	0
ソフトテニス	7	0	0	0	0	0	0
硬式テニス	-	0	0	0	0	0	0
バレーボール	2	0	0	0	0	0	0
バスケットボール	5	0	0	0	0	0	0
サッカー	11	0	0	0	0	0	0
バドミントン	1	0	0	0	0	0	0
陸上	2	0	0	0	0	0	0
剣道	2	0	0	0	0	0	0
空手	2	0	0	0	0	0	0
ソフトバレー	-	0	0	0	0	0	0
ダンス	9	0	0	0	0	0	0
トレーニング	2	0	0	0	0	0	0
水泳	-	0	0	0	0	0	0
その他	8	0	0	0	0	0	0

2-4 あなたは今後、部活動、阿智中クラブ、体育の授業以外で運動・スポーツをしてみたいと思いますか。あなたの考えに近いものを選んでください。(あてはまるものをすべて選択)

	全体	男性	女性	回答しない	1年生	2年生	3年生
全体	176	84	84	8	63	56	57
部活動で取り組んでいる種目に、もっと本格的に取り組みたい	57	34	21	2	22	21	14
部活動で取り組んでいる以外の種目に取り組みたい	30	11	17	2	13	7	10
様々な種目に遊びやレクリエーションとして取り組みたい	29	14	13	2	10	14	5
地域のスポーツクラブに参加してみたい	5	3	1	1	1	1	3
基礎的な筋力トレーニングやストレッチ、体力づくり等に取り組みたい	23	16	7	0	4	6	13
家族や友人と、もしくは個人で自由に運動・スポーツをしたい	48	14	33	1	23	11	14
その他	4	2	2	0	1	2	1
部活動、阿智中クラブ、体育の授業以外で運動・スポーツをしたいとは思わない	34	15	18	1	13	13	8
無回答	4	4	0	0	0	1	3

3-1 あなたはどの部活動に参加していますか。(あてはまるものを一つだけ選択)

	全 体	男 性	女 性	回 答 し な い	1 年 生	2 年 生	3 年 生
全体	151	74	70	7	51	52	48
野球	15	15	0	0	9	0	6
サッカー	25	21	2	2	8	9	8
ソフトテニス	33	10	21	2	8	11	14
バレーボール	9	0	9	0	0	7	2
卓球	27	15	12	0	11	10	6
柔道	15	11	3	1	6	8	1
吹奏楽	25	1	23	1	8	7	10
回答しない	2	1	0	1	1	0	1

3-2 その部活動を選んだのはなぜですか。(あてはまるものをすべて選択)

	全体	男性	女性	回答しない	1年生	2年生	3年生
全体	151	74	70	7	51	52	48
その種目が好きだから	75	36	38	1	30	22	23
仲の良い友達が入部したから(友達と相談・友達に誘われて)	42	22	18	2	17	11	14
周りの人(先輩)や家族(兄・姉・保護者など)にすすめられたから	33	16	17	0	14	8	11
小学生の時からやっていたから	47	26	20	1	20	14	13
今までやったことがない運動・スポーツだから	21	8	11	2	8	9	4
入部したい学校部活動がなかったからしかたなく(何となく)	22	11	10	1	6	10	6
体力づくり、健康のため	13	9	3	1	3	4	6
ストレスを解消するため	2	0	1	1	0	1	1
その他	1	0	0	1	1	0	0
無回答	2	1	1	0	1	0	1

3-3 あなたは現在所属している部活動に満足していますか。(あてはまるものを一つだけ選択)

	全体	男性	女性	回答しない	1年生	2年生	3年生
全体	150	72	71	7	51	52	48
はい	121	60	56	5	43	36	42
いいえ	29	12	15	2	8	16	5

3-4 あなたは現在、部活動で行っている種目を中学校卒業後も続けたいですか。(あてはまるものを一つだけ選択)

	全体	男性	女性	回答しない	1年生	2年生	3年生
全体	151	74	70	7	51	52	48
はい	81	46	33	2	28	25	28
いいえ	68	27	36	5	23	26	19
無回答	2	1	1	0	0	1	1

3-5 【3-4 で「はい」を選んだ方】どのような形で続けたいですか。(あてはまるものを一つだけ選択)

	全体	男性	女性	回答しない	1年生	2年生	3年生
全体	81	46	33	2	28	25	28
高校の部活動で	68	38	28	2	24	20	24
地域の社会体育で	8	4	4	0	3	3	2
その他	4	4	0	0	1	2	1
無回答	1	0	1	0	0	0	1

4-1 あなたは阿智中クラブのどの活動に参加していますか。(あてはまるものを一つだけ選択)

	全 体	男 性	女 性	回 答 し な い	1 年 生	2 年 生	3 年 生
全体	139	69	63	7	44	49	46
野球	14	13	1	0	8	0	6
サッカー	25	20	3	2	8	10	7
ソフトテニス	32	10	20	2	8	10	14
バレーボール	9	0	9	0	0	7	2
卓球	23	13	10	0	8	10	5
柔道	13	10	2	1	5	6	2
吹奏楽	20	2	17	1	6	5	9
回答しない	3	1	1	1	1	1	1

4-2 平日（大会前等ではない、普段の練習）についてお伺いします。部活動に参加している日と、阿智中クラブに参加している日を合わせると、合計で何日くらいになりますか。（あてはまるものを一つだけ選択）

	全体	男性	女性	回答しない	1年生	2年生	3年生
全体	139	69	63	7	44	49	46
5日	69	35	32	2	19	19	31
4日	37	20	15	2	17	15	5
3日	8	2	4	2	5	1	2
2日	15	7	7	1	0	9	6
1日	8	3	5	0	2	5	1
無回答	2	2	0	0	1	0	1

4-3 土日（大会前等ではない、普段の練習）についてお伺いします。部活動に参加している日と、阿智中クラブに参加している日を合わせると、合計で何日くらいになりますか。（あてはまるものを一つだけ選択）

	全体	男性	女性	回答しない	1年生	2年生	3年生
全体	139	69	63	7	44	49	46
2日	41	25	13	3	15	16	10
1日	89	39	47	3	28	28	33
0日	6	3	2	1	0	5	1
無回答	3	2	1	0	1	0	2

4-4 阿智中クラブの活動の頻度について、どう思いますか。あなたの考えに一番近いものを選んでください。(あてはまるものを一つだけ選択)

	全 体	男 性	女 性	回 答 し な い	1 年 生	2 年 生	3 年 生
全体	139	69	63	7	44	49	46
多すぎる	2	1	0	1	0	2	0
どちらかといえば多い	17	9	7	1	7	6	4
ちょうどよい	100	45	52	3	26	38	36
どちらかといえば少ない	13	9	3	1	9	2	2
少なすぎる	5	4	0	1	1	1	3
無回答	2	1	1	0	1	0	1

4-5 阿智中クラブの活動時間の長さについて、どう思いますか。あなたの考えに一番近いものを選んでください。(あてはまるものを一つだけ選択)

	全 体	男 性	女 性	回 答 し な い	1 年 生	2 年 生	3 年 生
全体	139	69	63	7	44	49	46
長すぎる	7	2	4	1	3	3	1
どちらかといえば長い	25	12	10	3	9	11	5
ちょうどよい	85	36	48	1	24	28	33
どちらかといえば短い	15	12	1	2	7	5	3
短すぎる	6	6	0	0	1	2	3
無回答	1	1	0	0	0	0	1

4-6 阿智中クラブの活動は楽しいと感じますか。あなたの考えに一番近いものを選んでください。
 (あてはまるものを一つだけ選択)

	全 体	男 性	女 性	回 答 し な い	1 年 生	2 年 生	3 年 生
全体	139	69	63	7	44	49	46
楽しい	70	34	34	2	21	27	22
どちらかといえば楽しい	25	15	8	2	7	7	11
ちょうどよい	27	15	10	2	10	7	10
どちらかといえば楽しくない	11	3	8	0	4	5	2
楽しくない	5	1	3	1	2	3	0
無回答	1	1	0	0	0	0	1

4-7 阿智中クラブの活動を通じて、競技や演奏等が上達したと感じられましたか。あなたの考えに一番近いものを選んでください。(あてはまるものを一つだけ選択)

	全体	男性	女性	回答しない	1年生	2年生	3年生
全体	139	69	63	7	44	49	46
上達した	76	41	33	2	27	25	24
どちらかといえば上達した	38	16	19	3	10	16	12
どちらともいえない	18	7	10	1	4	6	8
どちらかといえば上達していない	3	2	0	1	1	2	0
上達していない	3	2	1	0	2	0	1
無回答	1	1	0	0	0	0	1

4-8 阿智中クラブでの指導方法について、どのように感じますか。あなたの考えに一番近いものを選んでください。(あてはまるものを一つだけ選択)

	全体	男性	女性	回答しない	1年生	2年生	3年生
全体	139	69	63	7	44	49	46
厳しい	2	2	0	0	1	1	0
どちらかといえば厳しい	13	8	3	2	4	3	6
ちょうどよい	91	42	45	4	31	32	28
どちらかといえば優しい	11	7	3	1	3	5	3
優しい	19	7	12	0	5	8	6
無回答	3	3	0	0	0	0	3

4-9 4-4 から 4-8 までのご回答を総合して、全体的に阿智中クラブでの活動に満足していますか。あなたの考えに一番近いものを選んでください。(あてはまるものを一つだけ選択)

	全体	男性	女性	回答しない	1年生	2年生	3年生
全体	139	69	63	7	44	49	46
満足	63	30	30	3	18	23	22
どちらかといえば満足	31	16	13	2	12	8	11
どちらともいえない	32	15	15	2	10	14	8
どちらかといえば不満	6	4	2	0	2	2	2
不満	4	3	1	0	2	1	1
無回答	3	1	2	0	0	1	2

4-10 あなたは阿智中クラブで今後どのような活動がしたいですか。現状の活動内容とは関係なく、あなたの希望を教えてください（あてはまるものをすべて選択）

	全体	男性	女性	回答しない	1年生	2年生	3年生
全体	139	69	63	7	44	49	46
部活動の延長線上で、コーチがメニューやプログラムを決め、指導してほしい	35	17	17	1	9	16	10
自分たちでメニューやプログラムを決めて練習したい	28	16	10	2	14	8	6
個人練習の時間にあてたい	15	7	8	0	3	7	5
その他	1	1	0	0	0	1	0
特に希望はない	69	34	31	4	20	23	26
無回答	5	1	4	0	1	2	2

5-1 阿智中クラブに参加しなかった理由は何ですか。(あてはまるものをすべて選択)

	全 体	男 性	女 性	回 答 し な い	1 年 生	2 年 生	3 年 生
全体	13	5	8	0	6	4	3
部活動だけで充分練習できているから	4	2	2	0	1	1	2
曜日や時間帯があなたの希望と合わないから	7	2	5	0	4	1	2
阿智中クラブの内容や進め方があなたの希望と合わないから	1	0	1	0	0	1	0
ほかのことに時間を使いたいから	7	2	5	0	1	4	2
もともと部活動に参加していないから	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
特に理由はない	0	0	0	0	0	0	0

6-1 あなたが部活動に所属していない理由を教えてください。(あてはまるものをすべて選択)

	全体	男性	女性	回答しない	1年生	2年生	3年生
全体	26	10	15	1	13	4	9
興味のある種目がないから	8	3	5	0	6	1	1
曜日や時間帯があなたの希望と合わないから	3	0	3	0	2	1	0
部活動の雰囲気合わないから	5	2	3	0	2	1	2
他のことに時間を使いたいから	7	1	6	0	5	2	0
以前は部活動に所属していたが、受験勉強等のため引退したから	6	2	4	0	1	1	4
その他	3	2	0	1	2	0	1
特に理由はない	3	1	2	0	1	1	1

6-2 運動・スポーツに対するあなたのお考えに近いものを選んでください。(あてはまるものをすべて選択)

	全体	男性	女性	回答しない	1年生	2年生	3年生
全体	26	10	15	1	13	4	9
運動・スポーツ自体は嫌いではないが、大会出場などを狙いたいとは思わない	6	0	6	0	5	0	1
運動・スポーツ自体は嫌いではないが、毎週決まった時間にまとまった時間を確保するのが難しい	2	0	2	0	2	0	0
運動・スポーツ自体は嫌いではないが、部活動や体育の授業の雰囲気は苦手である	3	0	3	0	2	0	1
今は部活動を引退しているが、卒業までの間、定期的に練習する機会が欲しい	2	2	0	0	0	0	2
趣味や遊び、気晴らしとしてするのであれば、運動・スポーツをしてみたい	10	5	5	0	5	1	4
健康維持のために役に立つ程度であれば、運動・スポーツをしてみたい	4	0	4	0	2	0	2
一人で自由に実施するのであれば、運動・スポーツをしてみたい	5	3	2	0	4	0	1
どんなやり方であったとしても、運動・スポーツをするのは好きではない	3	1	2	0	1	2	0
無回答	4	2	1	1	2	1	1

6-3 【6-2 で選んだ方】あなたのしてみたい活動に近いものを選んでください。(あてはまるものをすべて選択)

	全体	男性	女性	回答しない	1年生	2年生	3年生
全体	2	2	0	0	0	0	2
基礎的な体力づくりやトレーニング	0	0	0	0	0	0	0
部活動で取り組んでいた種目の練習	0	2	0	0	0	0	2
練習試合	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0

(付録5) 令和2年度 阿智中学校体育館(学校体育施設開放)使用の申し合わせ

令和2年8月27日

令和2年12月3日追加

令和2年度 阿智中学校体育館(学校体育施設開放)使用の申し合わせ

阿智中学校体育館管理委員会

1 基本方針

(1) 「阿智村学校体育施設開放に関する規則」教委規則第2号平成24年3月23日改訂により、阿智中学校体育館(学校体育施設開放)(以下、「中学校体育館」という)を管理・利用する。

(2) 阿智中学校体育館管理委員会(以下、「管理委員会」という)を設置して、利用者及び社会体育関係者が、責任を持って中学校体育館を管理し、計画的に利用する。

2 管理委員会の設置

(1) 管理委員会は、利用団体及び社会体育関係者で構成し、定期的に体育館の有効利用や管理方法等について協議する。

(2) 管理委員会に次の役員を置く。委員長 1名、副委員長 若干名、

事務局を教育委員会(中央公民館)に置く。

管理委員会は、次の利用団体及び社会体育関係者で構成する。

体協及びチャレンジゆう Achi の利用団体代表、中学校代表、スポーツ推進委員

2年度 委員長:岡庭 啓眞、副委員長:園原 健志

3 利用のきまり

(1) 平日の利用時間は、午後5時30分から9時までとする。休日の利用は、その都度中学校(窓口:教頭)と協議する。

(2) 利用人数は、10名以上の登録団体とする。トレーニングルーム等の個人使用は、チャレンジゆう Achi の活動メニューに位置付けることで利用できる。

(3) 中学校の行事や部活動等の利用を優先する。事前に使用できない日時連絡を受け、利用者に周知する。

(4) 利用申込みは、中央公民館で申し込む。休日の利用は、事前に中学校と協議の上で決定する。村の公的な行事等を優先する。

(5) 体育館への入退館は、体育館2階の社会体育館入口を使用する。1階多目的玄関は、目的に応じて使用する。校舎と体育館は、開放時パイプシャッターで仕切られる。

(6) 利用者は、入口に用意された使用簿に、所属・氏名・入退時間を記入する。

(7) 利用者は、使用後に清掃及び用具の整頓を行い、消灯、施錠等をきちんと行う。

(8) 多目的トイレが衛生的に使用できるように、必要に応じて点検・清掃を行う。

(9) 活動に必要な物品は倉庫に収納する。

(10) トイレ・倉庫入口の鍵は、活動時以外は施錠し、社会開放室内で管理する。

4 体育館の管理

(1) 村教育委員会の委託を受け、チャレンジゆう Achi が管理する。

(2) 管理人は、利用者の利便性を図り、安全に施設管理を行うため、次のことを行う。

- ・解錠、施錠 ・開始及び終了時の見回り、点検 ・利用者の入退館の把握
- ・社会開放室等の開放 ・社会開放室での待機 ・清掃、整頓 ・管理日誌の記入
- ・トイレ、倉庫入口の鍵の管理 ・多目的トイレ、倉庫の点検、清掃

(3) 鍵は、中央公民館及びチャレンジゆう Achi 管理人が管理する。

休日や時間外に使用する場合は、利用者が中央公民館または管理人(田中興平宅)より鍵を借り受け、使用后返却する。

5 社会開放室の利用

(1) 児童生徒の放課後の居場所づくり(学習や待機場所)として使用する。

(2) 少人数(10人程度)の会合場所として使用する。(電話、コピー機の使用も可)

(3) 管理人の待機場所の他、チャレンジゆう Achi のクラブハウスとして使用する。

令和2年度スポーツ庁委託事業
スポーツスペース・ボードレスプロジェクト
(学校体育施設の有効活用推進事業)
報告書

令和3年3月
特定非営利活動法人チャレンジゆう Achi